

平成 28 年度

甲州市母子保健調査報告書



平成 30 年 3 月

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

平成 28 年度

甲州市母子保健調査報告書

平成 30 年 3 月

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

はじめに

甲州市母子保健調査は1988年7月に通称「塩山プロジェクト」として開始され、その後塩山市、勝沼町、大和村が市町村合併をして甲州市となつてからも「甲州市母子保健調査(甲州プロジェクト)」は継続され、今年2018年に30周年を迎えました。長期にわたりご協力いただいております住民の皆様、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。このように長期にわたる子どもたちの健康調査は、わが国はもちろん世界でも多くはなく、大変貴重な健康調査です。本調査は甲州市市制10周年の2015年から甲州市山梨大学包括的連携協定の主事業として行われています。

これまでの調査の成果は報告書でご紹介していますが、そのうちのひとつをあらためてご紹介いたします。

妊娠期の喫煙がその子どもの肥満の危険因子であるということが、2003年に判明し、日本で最初の報告として国際医学雑誌(*Obesity*, 2007)に発表しました。これは、妊娠届け出時の調査で喫煙をしていると答えた妊婦から生まれた子どもは、喫煙をしていなかった妊婦から生まれた子どもに比べて5歳児の時に肥満である可能性が5倍高くなるというものです。同時に、妊娠中に朝食をとっていないとその子どもが肥満になりやすいことも明らかになりました。本来であれば、喫煙は低出生体重児の危険因子ですし、妊娠中に朝食をとらずに低栄養の状態にあると低出生体重児になる可能性が高くなります。しかし、妊娠中の喫煙や低栄養は幼児期の肥満の危険因子であることが判明したのです。これは、DOHaD(ドーハド: **Development origins of health and disease**)という、かつて、バーカー説や胎児期成人病発症説といわれていた概念で説明されるもので、胎児期や新生児期の低栄養、化学物質、ストレスがその後の成長や健康に影響を与えるというものです。これは英国のバーカー先生が妊娠中の低栄養が成人期の心筋梗塞のリスクだと主張したところから始まったものです。このように、生活習慣病のような成人期、高齢期の病気の一部は胎児期から始まっていることがわかったのです。

この概念は、わが国の健康政策にも導入されており、国民運動計画である「健やか親子21」や「健康日本21」で低出生体重児の割合の低下を目標値にしていることはその表れです。また、甲州市の「ママとあかちゃんのための子育て支援シリーズ」の中で紹介して、妊娠中の喫煙の危険性を啓発しています。

このようにわが国の健康政策に対して、科学的根拠の提供という点で甲州市母子保健調査は寄与しています。今後も甲州市からわが国の、ひいては世界の子どもたちの健康増進に貢献する成果を発信して、甲州市をはじめ全国の将来を担う子どもたちが、安全にすくすく育つ環境づくりをしていくことができればと思います。

2018年3月

山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授 山縣然太郎

甲州市母子保健調査プロジェクト組織

甲州市役所 健康増進課

課長 町田 幸一
課員 武藤 陽子 岡部 裕美 姫野 由香
小池 あゆみ 荻原 恵美香 村田 ひろみ
木納 よし哉 中村 恵理 加山 志帆

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

教授 山縣 然太郎
准教授 横道 洋司
助教 小島 令嗣 (報告書作成担当)
助教 秋山 有佳
助教 大岡 忠生
大学院生 大出 幸子 長野 康平 春山 佳代 平出 諒太 田中 深雪
岩淵 正博 太田 昭生 山崎 さやか 武内 三恵 久島 萌
日吉 恭則 原田 直輝 大山 裕冬 岡 猛 須田 みゆき
ライフサイエンス特進コース学生
池田 公司郎 塚原 怜 小村 慶和
技術専門職員 今井 小絵
技術補佐員等 山田 七重 川村 由美子 雨宮 志乃 安達 麻衣子

山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

センター長 山縣 然太郎
特任准教授 大西 一成
特任助教 佐藤 美理
特任助手 小田和 早苗

目次

I. 調査実施概要	1
II. 調査結果概要	5
III. 調査回答者の属性	15
III - 1. 母子健康手帳交付時	17
III - 2. 出生時	20
III - 3. 3ヶ月児健診時	27
III - 4. 1歳6ヶ月児健診時	29
III - 5. 2歳児健診時	41
III - 6. 3歳児健診時	47
III - 7. 5歳児健診時	59
IV. 調査結果	71
IV - 1. 母子健康手帳交付時	73
IV - 2. 1歳6ヶ月児健診時	105
IV - 3. 3歳児健診時	139
IV - 4. 5歳児健診時	175
V. 調査票	203
V - 1. 母子健康手帳交付時調査票	205
V - 2. 1歳6ヶ月児健診時調査票	208
V - 3. 3歳児健診時調査票	212
V - 4. 5歳児健診時調査票	216
VI. 個別研究	219
VI - 1. Pubertal timing and a family history of hypertension: Prospective cohort study.	221
VI - 2. 両親の学歴と子ども運動時間の関連. 運動疫学研究	222
VI - 3. Effect of maternal smoking during pregnancy on childhood growth by quartile of birth weight using multilevel analysis	223
VI - 4. Effects of depression on later onset of Internet addiction in puberty: A community-based cohort study	224
VI - 5. Effect of maternal smoking during pregnancy on childhood growth by quartile of birth weight using multilevel analysis	225
VI - 6. 子どものスポーツクラブ等の所属と Grit (やり抜く力) との関連	226
VI - 7. 5歳時の就寝時刻に影響を及ぼす3歳児の生活習慣因子	228
VI - 8. 5歳時の睡眠習慣と関連する因子の検討—甲州市母子保健縦断調査から—	229

VI - 9. 子どものスポーツクラブの所属および身体活動と社会経済状況との関連	230
VI - 10. 小学生の骨強度と加速度計で測定した身体活動、座位時間の関連	231
VI - 11. 5歳児健診で発達障害が疑われた児と関連する1歳6か月時の生活習慣	232
VI - 12. 思春期の口腔内細菌の相対量に関連する因子の検討	233
VI - 13. 日本の中学生における不正咬合と顎関節症との関連性について～甲州市母子保健縦断調査～	234
VI - 14. 講演会・研修会	235

■お詫びと訂正

母子手帳交付時_Q.あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。 (平成21年度～平成27年度)	237
---	-----

I . 調査実施概要

I. 調査実施概要

I. 調査実施概要

1. 調査の目的

甲州市における妊娠、出産、育児、母子の健康、生活習慣等の母子保健の現状を把握し、今後の母子健康行政に役立てることを目的とするものである。

2. 調査対象

妊婦に関しては平成 28 年度に母子健康手帳交付を甲州市で申請した妊婦に対して行った。児に対しては、平成 28 年度に甲州市で実施された 1 歳 6 ヶ月児健診、2 歳児歯科健診、3 歳児健診、5 歳児健診受診者を対象とした。なお、体格データについては、上記の健診時に加え、出生時のデータを使用し、家族形態や生活様式、妊娠中の体重増加については、3 ヶ月児健診時のデータから集計を行った。

3. 調査方法

調査の実施はアンケート用紙を各健診の受診予定者に、健診案内とともにあらかじめ郵送し、記入の上、健診時に持参する形式をとった。健診当日に記入漏れの事項や事故に関する二次質問などを面接で聴取した。

4. データの保管及び、集計方法

データの入力は Microsoft Access2013 を用い、統計ソフト SAS ver9.4 による単純集計を行った。Microsoft Excel 2013 を用いて図表化を行った。

I. 調査実施概要

II. 調查結果概要

II. 調查結果概要

II. 調査結果概要

1. 対象と回収率

甲州市において、平成 28 年度（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月の間）に、母子健康手帳交付をした妊婦、1 歳 6 か月児(1.6 歳児と略)健康診査、2 歳児歯科健康診査、3 歳児健康診査、5 歳児健康診査を、それぞれ受診した幼児とその母親を対象として行った。妊婦に対しては母子健康手帳交付時に直接自記式調査を行った。1.6 歳、3 歳、5 歳の各健診時では健診日の 2, 3 週間前に自宅に郵送した調査票を前もって記入した上で健診日に持参してもらい、未記入者は当日記入する形で調査を行った。各健診における回収率は例年高く、これらの調査から得られる結果はほぼ悉皆調査と考えられ、甲州市の母子の実態を把握していると考えられる。

妊婦の調査年月		回答者数	対象者数	回収率
母子手帳交付時	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	168	-	-
児の出生期間		出生数		
出生時	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	154		
対象児の出生年月		受診者数	対象者数	回収率
1 歳 6 か月児健診	平成 26 年 9 月～平成 27 年 8 月生	200	206	97.1%
2 歳児健診	平成 25 年 11 月～平成 26 年 11 月生	199	204	97.5%
3 歳児健診	平成 24 年 12 月～平成 25 年 9 月生	154	162	95.1%
5 歳児健診	平成 23 年 3 月～平成 24 年 2 月生	217	221	98.2%

2. 分析対象者数、無回答の取り扱い

上記の解析対象者全員から、記入漏れや無回答を解析対象から除外し、各分類の頻度と有効回答数に対する割合を算出した。質問項目によっては、複数回答もしくは、前質問での選択者のみの回答もある。

3. 妊婦・母親の生活習慣及び就労

両親の年齢

母親の年齢は、母子手帳交付時、平均 31.2 歳と、昨年度と変わらなかった。父親の年齢のばらつきが母親の年齢のばらつきよりも大きいことは例年と変わらなかった。

	母子手帳	1.6 歳	3 歳	5 歳
母親の平均年齢±標準偏差(歳)	31.2±5.6	33.1±5.7	35.3±5.2	36.9±4.6
父親の平均年齢±標準偏差(歳)	33.7±6.9	35.3±6.8	37.4±6.2	39.0±6.0

届出

母子手帳交付の届出週数は平均 8.8 週であり、昨年度の 8.9 週と変わらなかった。12 週までの届出は 94.4%であり、昨年度と変わらなかった。9 週未満での届出は 50.0%と、昨年度の 50.0%と変わらなかった。そして 21 週以降の届け出は 4 人 (2.5%) であった。

妊娠の計画

妊娠が計画的であったものの割合は55.0%であり、昨年度の57.9%より、やや減少した。

育児希望数

子供の希望は本人が2人もしくは3人を希望する人が約80%を占めており、昨年度とほぼ同程度であった。わからないと答えた人は10.0%と横ばいだった。夫は2人もしくは3人を希望する人が75%程度であった。4人以上を希望している人は妻が1.3%（2人）、夫が1.9%（3人）と、夫婦差はほぼなくなった。わからないと答えている人は妻が10.0%（16人）夫が16.8%（26人）であった。

喫煙

妊娠初期の喫煙率は3.1%であり、昨年度の7.9%から減少した。

妊娠初期の夫の喫煙率は46.2%であり、過去の喫煙を含めると61.0%に喫煙経験があると回答していたが、どちらの喫煙率も昨年度より減少した。妊娠を契機に禁煙を行っている割合は、妊婦に比べ夫では少なかった。夫以外の同居家族の喫煙率は17.3%で、昨年度の14.7%より増加した。

1.6歳児健診時における母親の喫煙率は6.0%であり、昨年度の11.6%から減少した。

飲酒

妊娠により飲酒をやめた割合は38.8%であり、昨年度の36.0%よりも増加した。妊娠中も飲酒をすると回答した割合は3.7%→3.1%と減少していた。

妊婦の食生活

朝食を毎日食べている人は70.0%であり、昨年度と同程度だった。朝食をまったく食べないと回答した人は10.4%→7.5%と減少していた。

就労状況(就労率、就労割合)

妊娠時、1.6歳、3歳、5歳児健診時それぞれの就労率は、昨年度と比較して64.0→69.4%、55.1→56.8%、63.8→70.4%そして78.7→81.9%とすべてで増加していた。出産時に仕事をやめ、児が1.6歳から3歳の間にも再度就労を行う母親の傾向は例年と同じであったが、5歳児の就労率の上昇が目立った。また出産後パート職に就く人の割合は45～50%前後であった。

	母子手帳	1.6歳	3歳	5歳
仕事をしている	111 (69.4)	113 (56.8)	107 (70.4)	176 (81.9)
仕事をしているが現在休職中	10 (6.3)	14 (7.0)	9 (5.9)	9 (4.2)
仕事はしていない(専業主婦)	36 (22.5)	69 (34.7)	36 (23.7)	30 (14.0)
学生である	3 (1.9)	3 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	160 (100)	199 (100)	152 (100)	215 (100)

就労状況（就労日数、就労時間）

各年齢すべてにおいて、就労日数の最頻値は5日であった。就労時間は、昨年度はほぼ1峰性で、1.6歳や3歳の最頻値は8時間、5歳では6時間であったが、今年度はいずれの年齢も8時間と4～6時間の2峰性の分布が認められ最頻値は8時間であった。

4. 発育

1.6歳、3歳、5歳児の発育、肥満度

各年齢の身長、体重の平均値はほぼ例年通りであった。肥満度20%以上の割合は、1.6歳、3歳、5歳児でそれぞれ3.6%（7人）、2.0%（3人）、0.4%（1人）と、5歳児では減少したが1.6歳児と3歳児では増加した。

男児	1.6歳	3歳	5歳
平均身長±標準偏差(cm)	78.9±4.0	96.3±3.6	106.8±4.0
平均体重±標準偏差(kg)	10.6±1.1	14.7±2.1	17.4±2.1

女児	1.6歳	3歳	5歳
平均身長±標準偏差(cm)	78.0±3.0	94.3±3.4	105.9±3.9
平均体重±標準偏差(kg)	10.1±1.1	13.9±1.4	17.0±1.8

5. 子どもの生活

欠食

欠食がある子どもの割合は、3歳児では変わらなかったが、5歳児では昨年度1人（0.5%）から今年度3人（1.4%）に増えた。

	3歳	5歳
欠食あり	4 (2.6)	3 (1.4)
欠食なし	149 (97.4)	211 (98.6)
合計	153 (100)	214 (100)

おやつ

おやつは時間を決めて与えると回答した割合は、1.6歳児では昨年度の62.1%から減少し、3歳児では昨年度の55.6%と変わらなかった。5歳児では昨年度の60.7%から減少した。

	1.6歳	3歳	5歳
時間を決めて与える	107 (53.8)	87 (56.5)	115 (53.7)
欲しがる時に与える	59 (29.7)	45 (29.2)	58 (27.1)
特に気をつけていない	33 (16.6)	22 (14.3)	41 (19.2)
合計	199 (100)	154 (100)	214 (100)

起床、就寝時刻、昼寝時間

起床時刻は各年齢において7時台と回答した人が50～60%、6時台に起きると回答した人が30～40%であり例年と同様の傾向であった。いずれの年齢も最頻値は昨年度と同様7時であった。

就寝時刻は各年齢ともに21時台と回答した人が約60%で例年と傾向は変わらなかった。最頻値は1.6歳児で21時、3歳児と5歳児で21時半であった。22時以降の就寝は1.6歳児で18.5%（昨年度16.1%）、3歳児で31.3%（昨年度25.7%）、5歳児で32.0%（昨年度24.3%）といずれの年齢でも増加していた。また年齢にしたがって増加傾向であった。

昼寝時間は年齢と共に少なくなり、3歳児では3.4%（5名）、5歳児では19.3%（36名）が昼寝をしないと回答した。

	1.6 歳	3 歳	5 歳
しない	0 (0.0)	5 (3.4)	36 (19.3)
1 時間未満	2 (1.0)	1 (0.7)	10 (5.4)
1 時間	49 (24.8)	39 (26.7)	74 (39.6)
2 時間	124 (62.6)	99 (67.8)	62 (33.2)
3 時間以上	23 (11.6)	2 (1.4)	5 (2.7)
合計	198 (100)	146 (100)	187 (100)

戸外での遊び

「戸外でよく遊ぶ」と回答した割合が1.6歳では80.8%→77.4%、3歳では84.4%→81.2%とやや減少した。

	1.6 歳	3 歳
よくある	154 (77.4)	125 (81.2)
ときどきある	43 (21.6)	25 (16.2)
あまりない	1 (0.5)	4 (2.6)
ほとんどない	1 (0.5)	0 (0.0)
合計	199 (100)	154 (100)

TVやビデオ・DVDの時間

TVやビデオ・DVDを見る時間は、いずれの年齢でも1時間～2時間が最も多く1.6歳で43.9%、3歳で51.3%、5歳で53.0%と年齢にしたがって増加していた。2時間以上見る児は、1.6歳で25.2%、3歳児で34.4%、5歳児で31.7%と3歳児で最も高かった。

	1.6 歳		3 歳		5 歳	
見ない	4	(2.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
1 時間以下	57	(28.8)	22	(14.3)	32	(14.9)
1～2 時間	87	(43.9)	79	(51.3)	114	(53.0)
2～3 時間	40	(20.2)	35	(22.7)	47	(21.9)
3～4 時間	6	(3.0)	13	(8.4)	18	(8.4)
4～5 時間	4	(2.0)	4	(2.6)	2	(0.9)
5 時間以上	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.5)
合計	198	(100)	154	(100)	215	(100)

保育所・幼稚園への通園

1.6歳児と3歳児の間で、通園を開始する家庭が多いことがうかがえる傾向は変わらなかった。昨年度1.6歳児の通園の「あり」と「なし」の割合が逆転したが、その傾向は変わらなかった。

	1.6 歳		3 歳	
通園あり	103	(51.8)	136	(88.3)
通園なし	96	(48.2)	18	(11.7)
合計	199	(100)	154	(100)

事故、病気

事故やケガで医療機関を受診した割合は、1.6歳児で18.7%→14.5%と昨年度よりやや減少したが、3歳児では17.1%→16.9%と昨年度と同程度であった。救急外来の受診割合は、1.6歳児で52.4%→42.9%と昨年度より減少したが、3歳児では38.8%→45.0%と昨年度より増加した。また、病気で入院したことがある割合は、1.6歳児で28.7%→29.1%、3歳児で16.5%→18.3%と昨年度と同程度であった。

事故やケガで受診	1.6歳		3歳	
はい	29	(14.5)	26	(16.9)
いいえ	171	(85.5)	128	(83.1)
合計	200	(100)	154	(100)

救急外来の受診	1.6歳		3歳	
ある	85	(42.9)	68	(45.0)
ない	113	(57.1)	83	(55.0)
合計	198	(100)	151	(100)

病気で医療機関に入院	1.6歳		3歳	
ある	58	(29.1)	28	(18.3)
ない	141	(70.9)	125	(81.7)
合計	199	(100)	153	(100)

6. 育児の状況

母親のストレス

ストレスをいつも感じる母親は、3歳児以外の各健診時において、例年同様10～15%程度認められた。今年度は3歳児で15.8%→18.2%と増加していた。

ストレスを感じる	母子	1.6歳	3歳	5歳
いつも	13 (8.2)	27 (13.5)	28 (18.2)	26 (12.3)
時々	113 (71.1)	131 (65.5)	108 (70.1)	149 (70.3)
ほとんど感じない	33 (20.8)	42 (21.0)	18 (11.7)	37 (17.5)
合計	159 (100)	200 (100)	154 (100)	212 (100)

ストレスの解消については、各調査時期とも約80%がストレスを解消できている、まあまあできていると回答しており、例年と同様であった。

ストレスの解消	母子	1.6歳	3歳	5歳
できている	29 (18.2)	55 (27.8)	29 (18.8)	44 (20.8)
まあまあできている	105 (66.0)	118 (59.6)	98 (63.6)	130 (61.3)
できていない	11 (6.9)	14 (7.1)	15 (9.7)	19 (9.0)
何ともいえない	14 (8.8)	11 (5.6)	15 (7.8)	19 (9.0)
合計	159 (100)	198 (100)	154 (100)	212 (100)

ストレスの内容

各健診時において家庭での人間関係が最も多いストレスの内容となった。次いで、育児に関してであった。3歳児、5歳児では3番目が経済的な心配事であったが、1.6歳児では健康上の心配事であった。経済的な心配事を挙げる人の割合は約25%前後であり、昨年度とほぼ同様であった。

夫の育児への関わり

夫が子供によく接すると答えた割合は、1.6歳児では65.8%→62.7%とやや減少し、3歳児では60.9%→61.7%と昨年度よりやや増加した。5歳児では66.7%→56.2%と昨年より減少していた。

	1.6歳	3歳	5歳
よく接する	116 (62.7)	87 (61.7)	114 (56.2)
普通	63 (34.1)	51 (36.2)	79 (38.9)
あまりかまわない	6 (3.2)	3 (2.1)	10 (4.9)
合計	185 (100)	141 (100)	203 (100)

育児についての夫婦の会話

夫婦の会話をよくすると回答した割合は、例年約 70～80%であり、1.6 歳児では 82.7%→83.2%、3 歳児では 74.8%→76.1%、5 歳児では 68.8%→73.0%と増加した。子どもの年齢が上がるにつれて減少する傾向は変わらなかった。

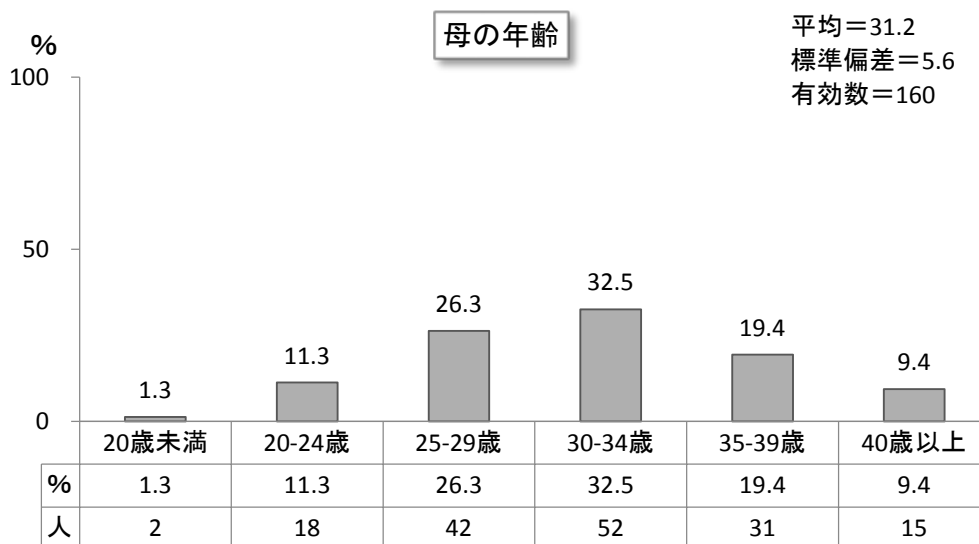
	1.6 歳	3 歳	5 歳
よくする	154(83.2)	108(76.1)	149(73.0)
時々する	26(14.1)	27(19.0)	42(20.6)
あまりしない	2(1.1)	4(2.8)	7(3.4)
ほとんどしない	1(0.5)	2(1.4)	5(2.5)
何ともいえない	2(1.1)	1(0.7)	1(0.5)
合計	185(100)	142(100)	204(100)

Ⅲ. 調査回答者の属性

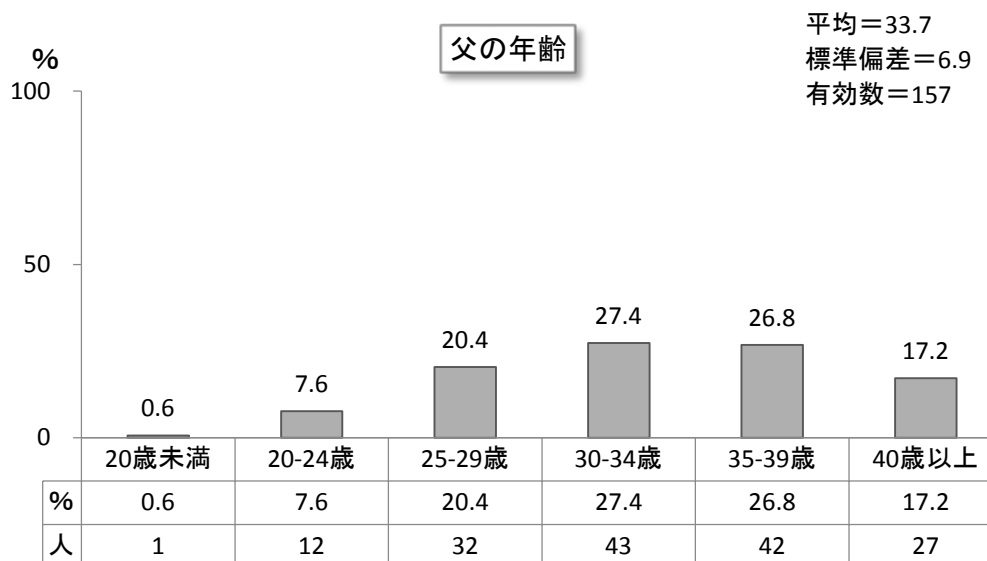
Ⅲ. 調査回答者の属性

1. 母子健康手帳交付時

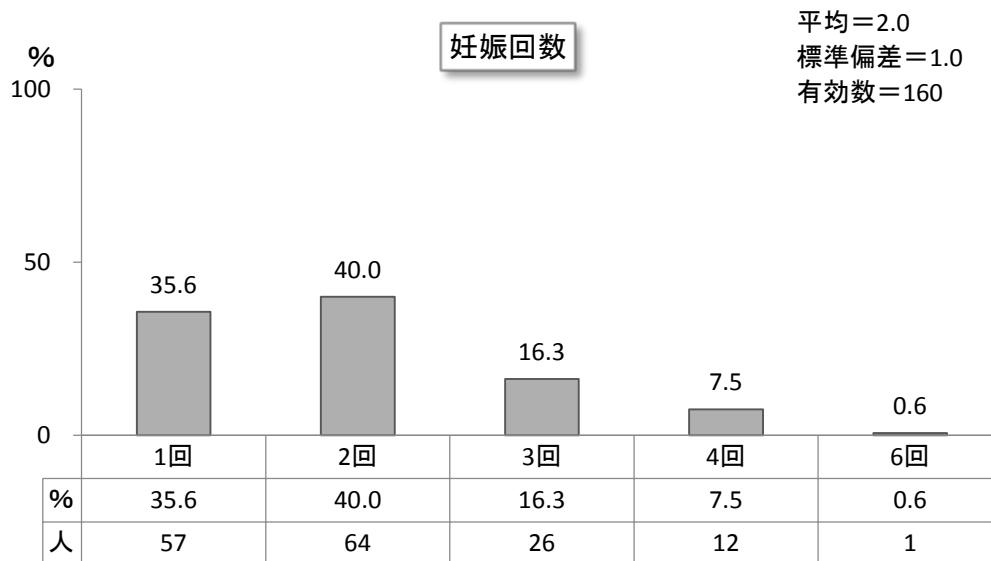
(1) 母親 (回答者) の年齢



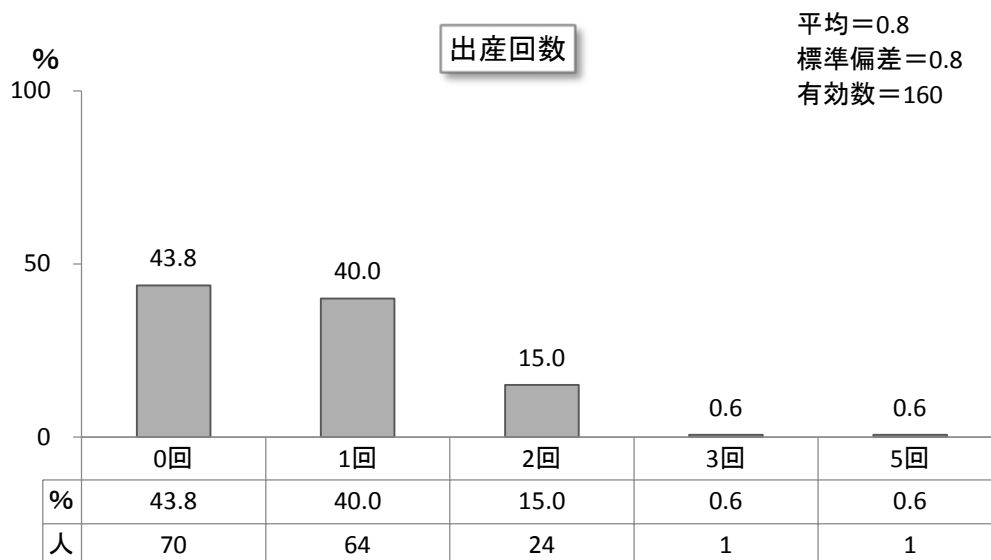
(2) 父親 (回答者の夫) の年齢



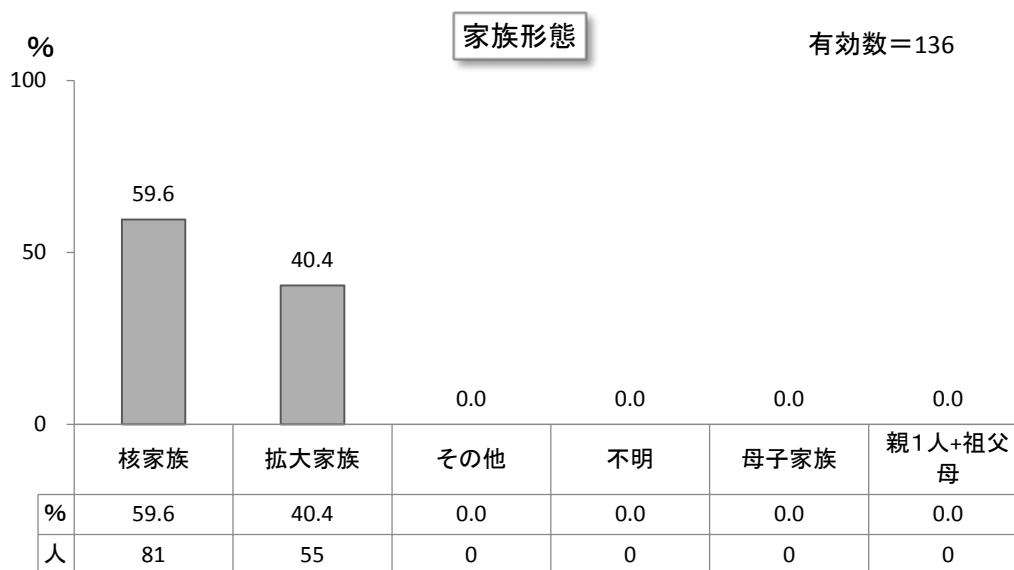
(3) 妊娠回数



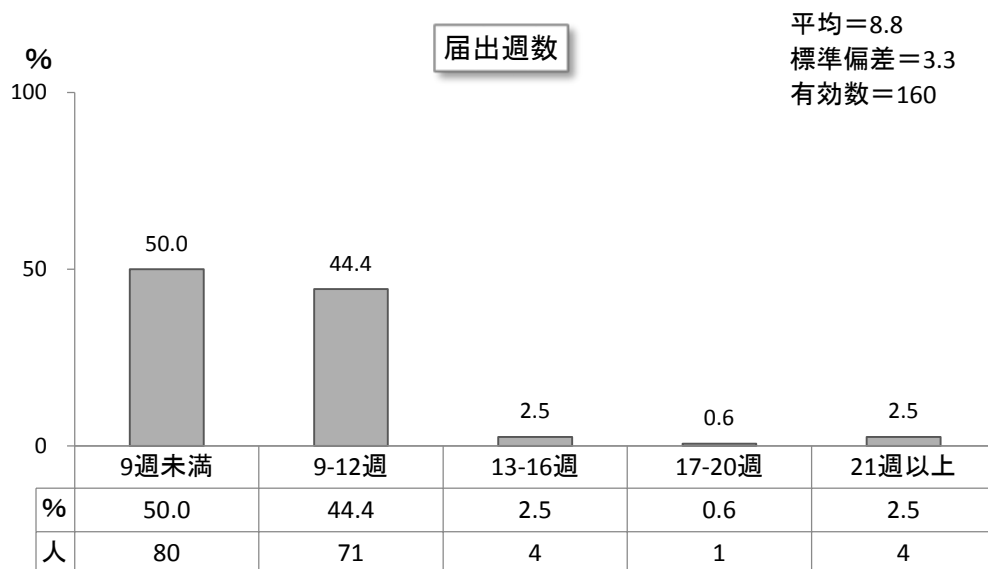
(4) 出産回数



(5) 家族形態

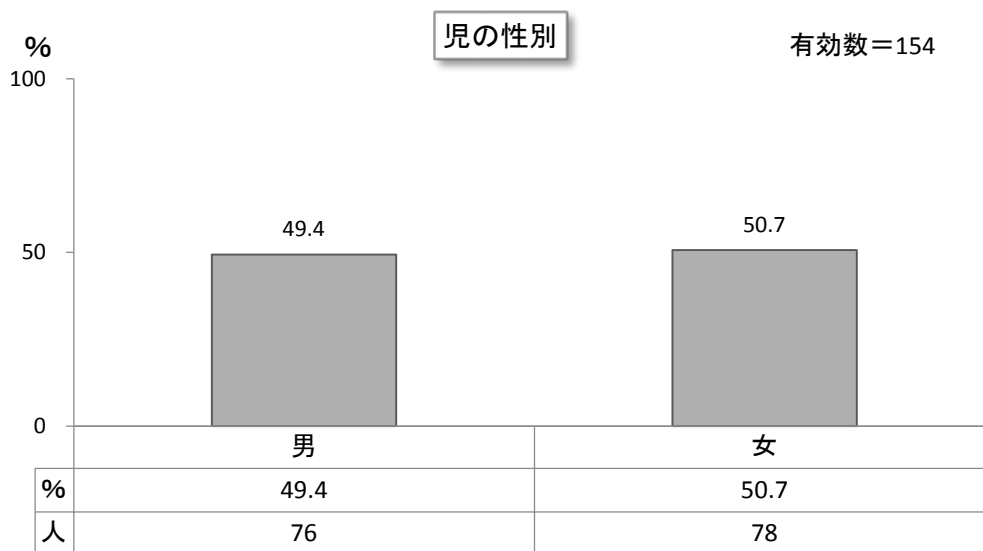


(6) 届出週数

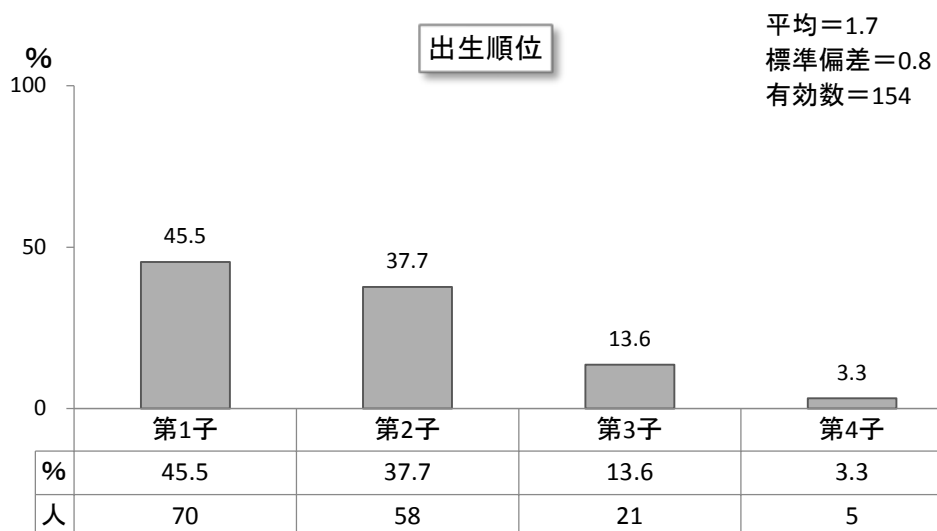


2. 出生時

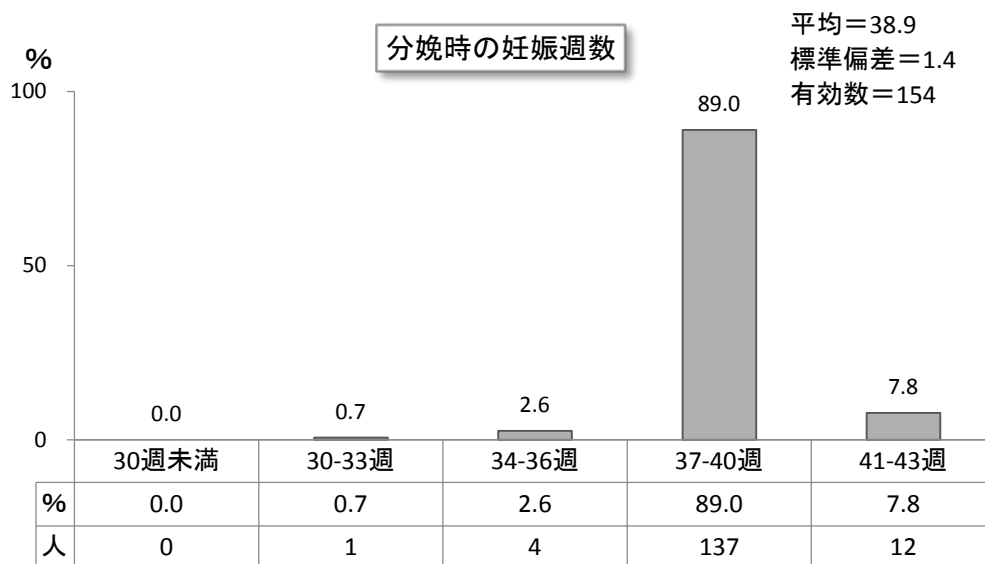
(1) 児の性別



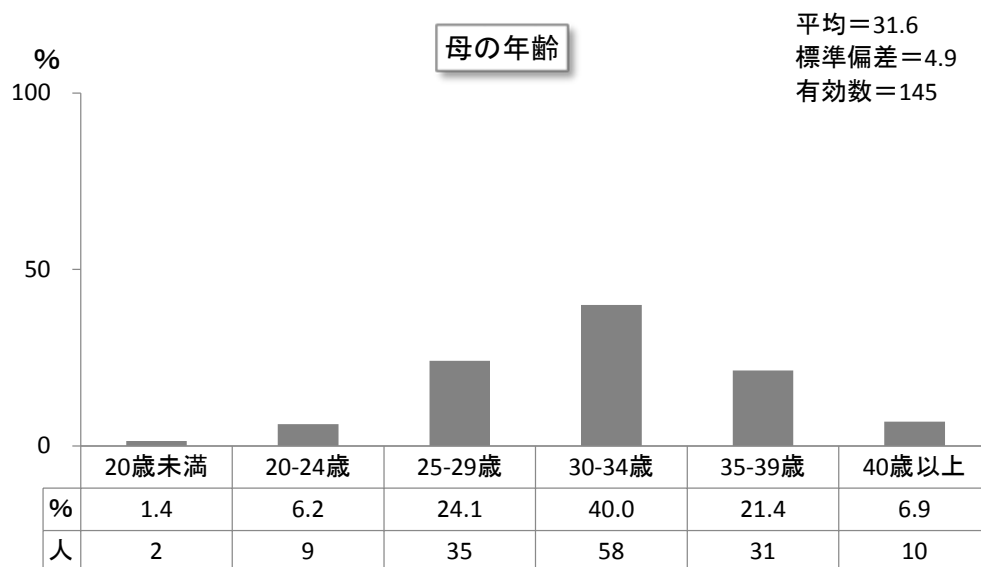
(2) 出生順位



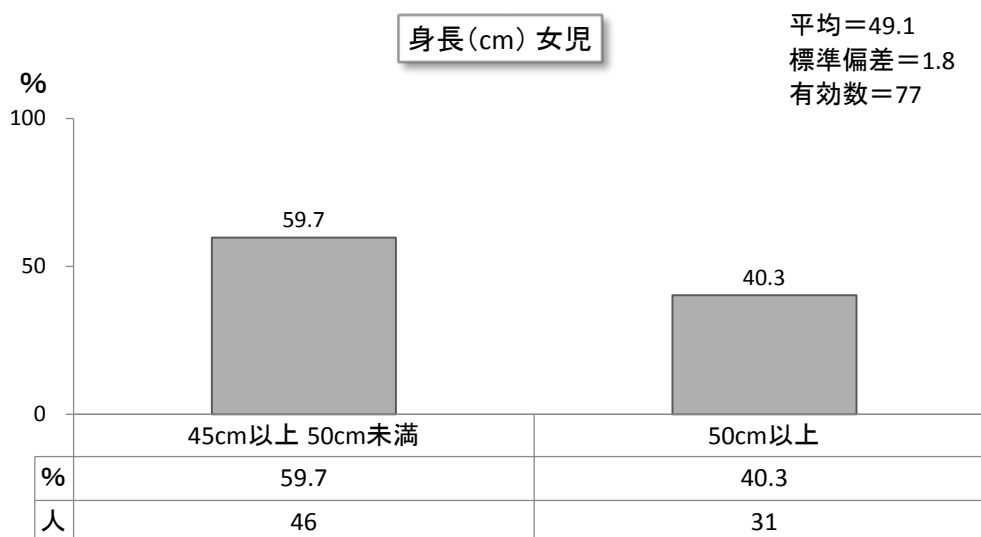
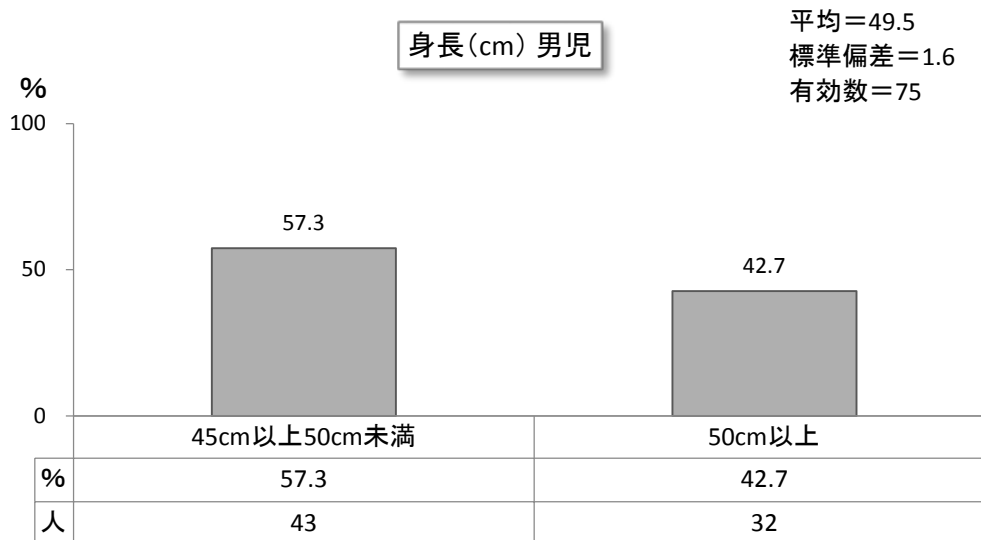
(3) 分娩時の妊娠週数



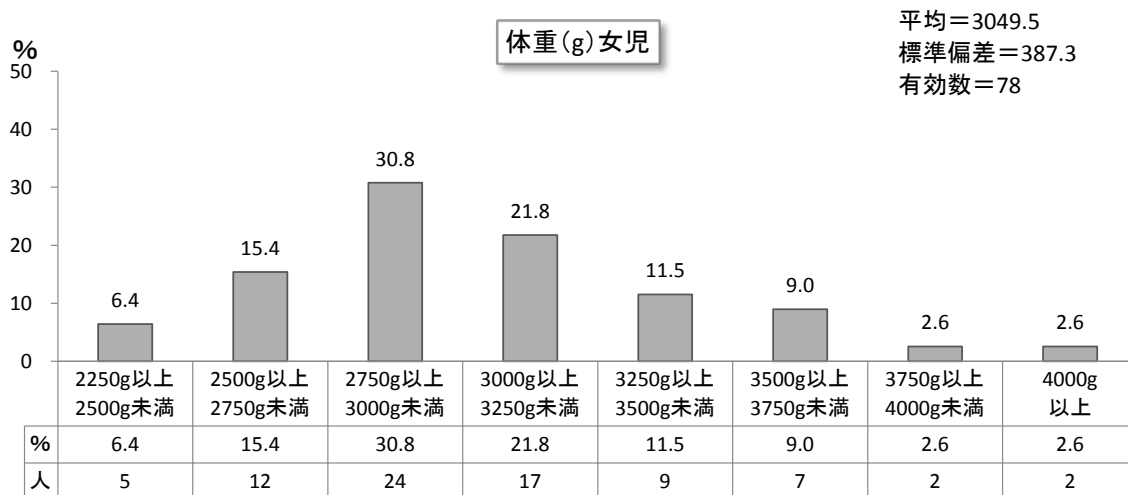
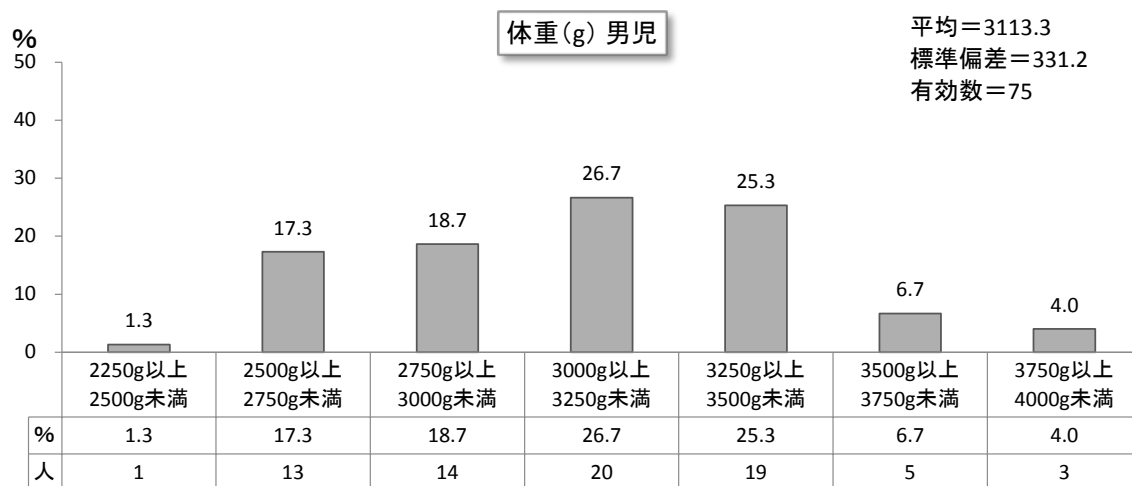
(4) 母親の年齢



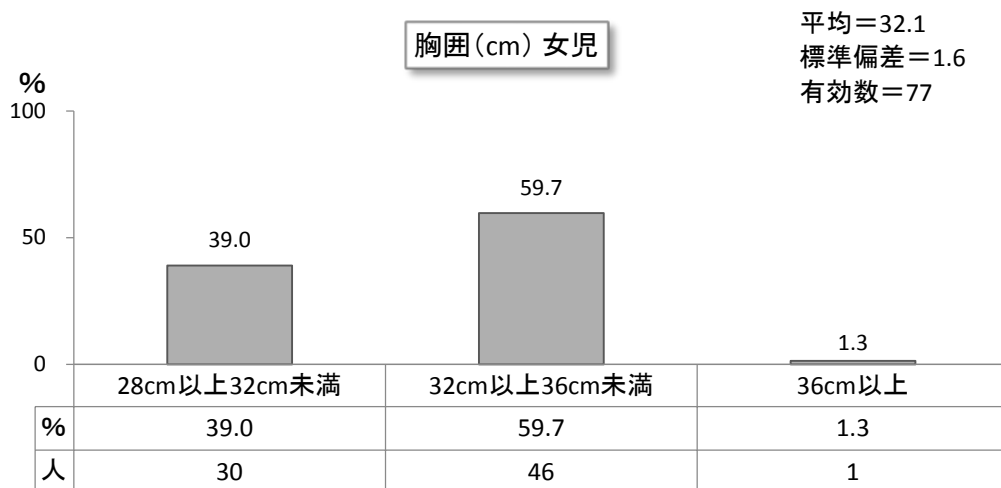
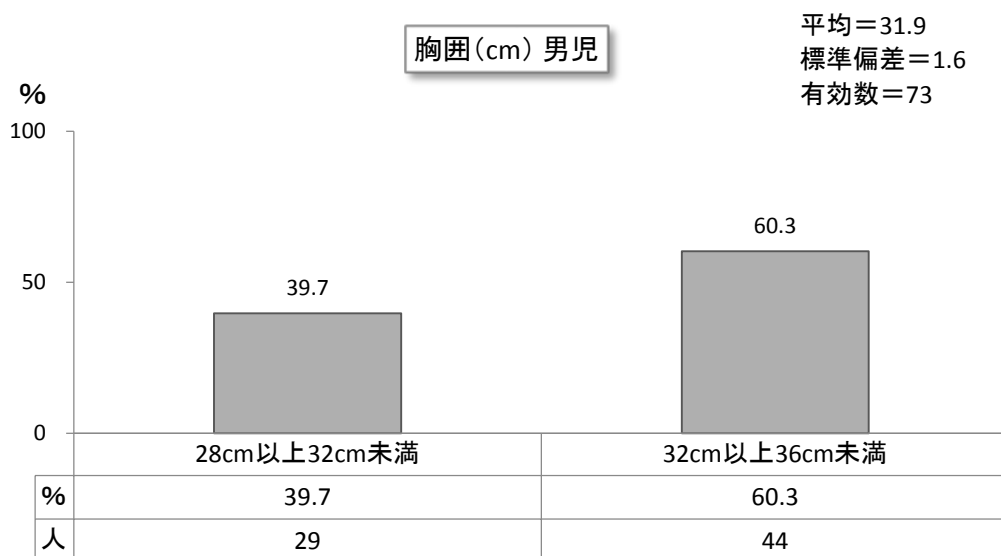
(5) 身長



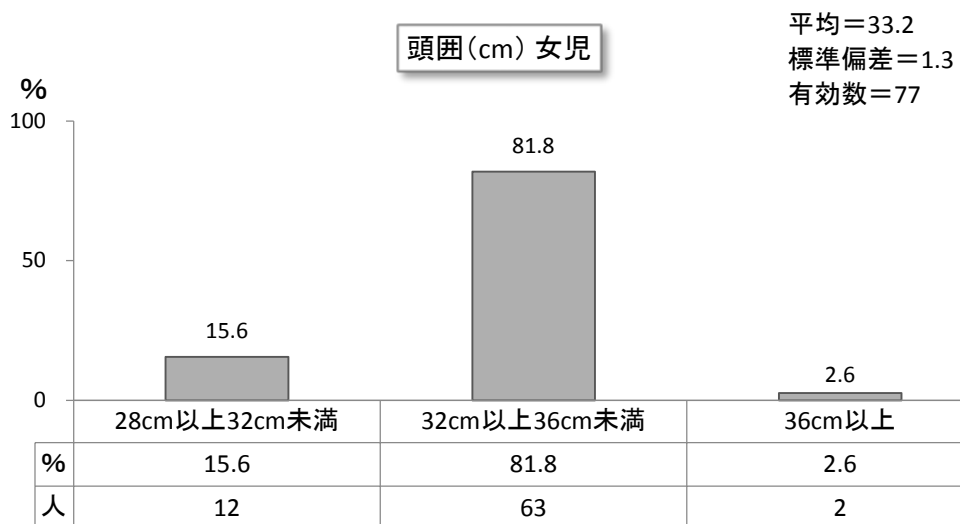
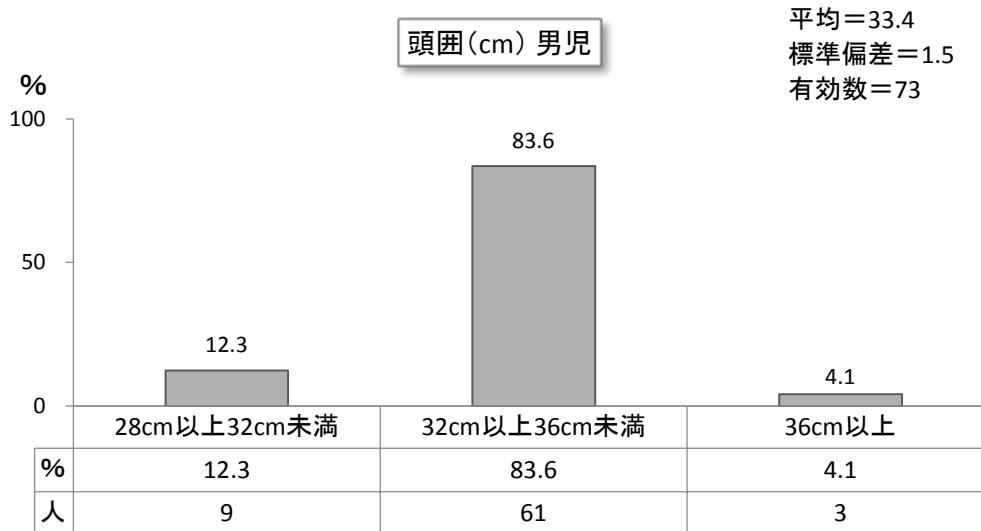
(6) 体重



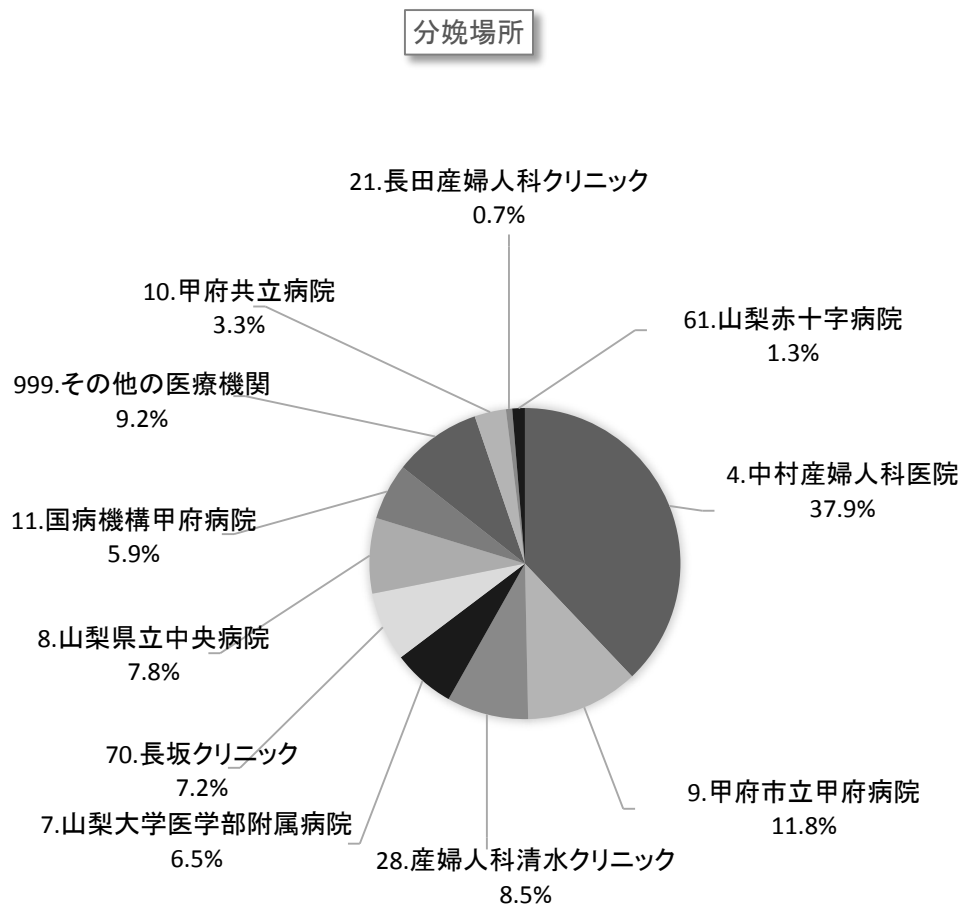
(7) 胸囲



(8) 頭囲



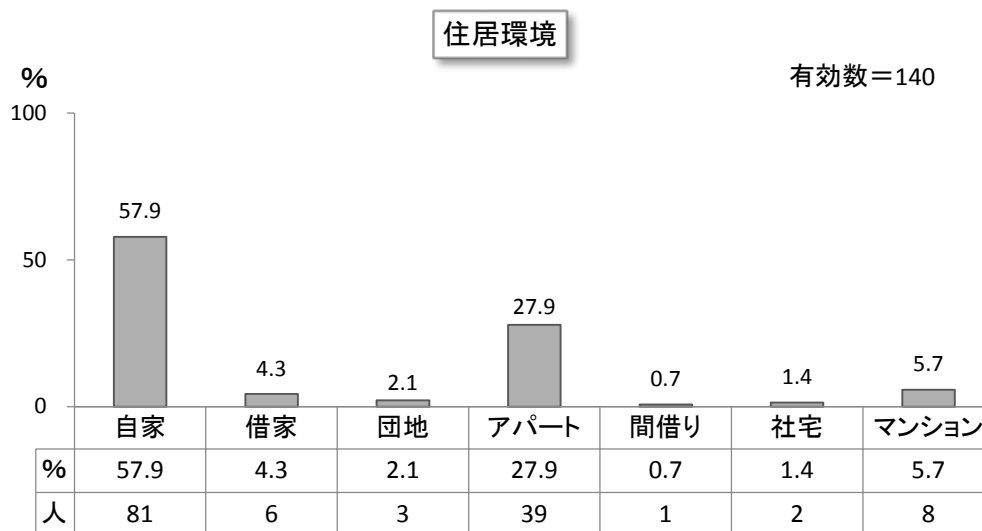
(9) 分娩場所



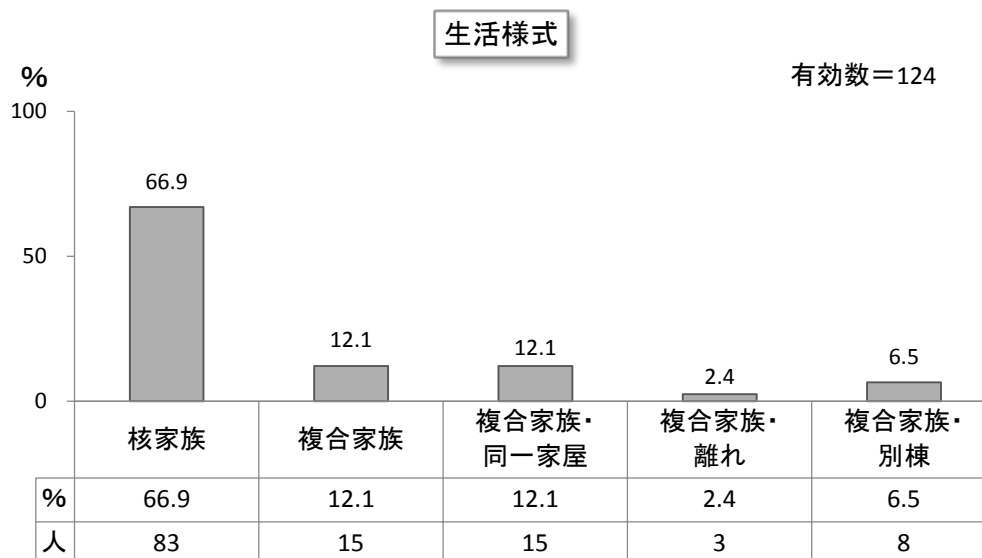
分娩場所	人数	%
4. 中村産婦人科医院	58	37.9
9. 甲府市立甲府病院	18	11.8
28. 産婦人科清水クリニック	13	8.5
7. 山梨大学医学部附属病院	10	6.5
70. 長坂クリニック	11	7.2
8. 山梨県立中央病院	12	7.8
11. 国病機構甲府病院	9	5.9
999. その他の医療機関	14	9.2
10. 甲府共立病院	5	3.3
21. 長田産婦人科クリニック	1	0.7
61. 山梨赤十字病院	2	1.3
	153	100

3.3ヶ月児健診時

(1) 住居環境



(2) 生活様式

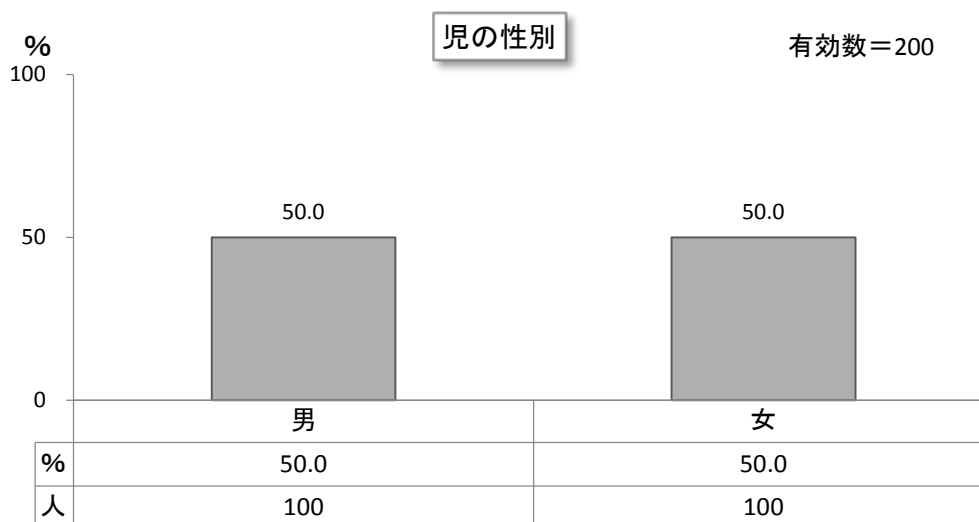


(3) 体重の変化

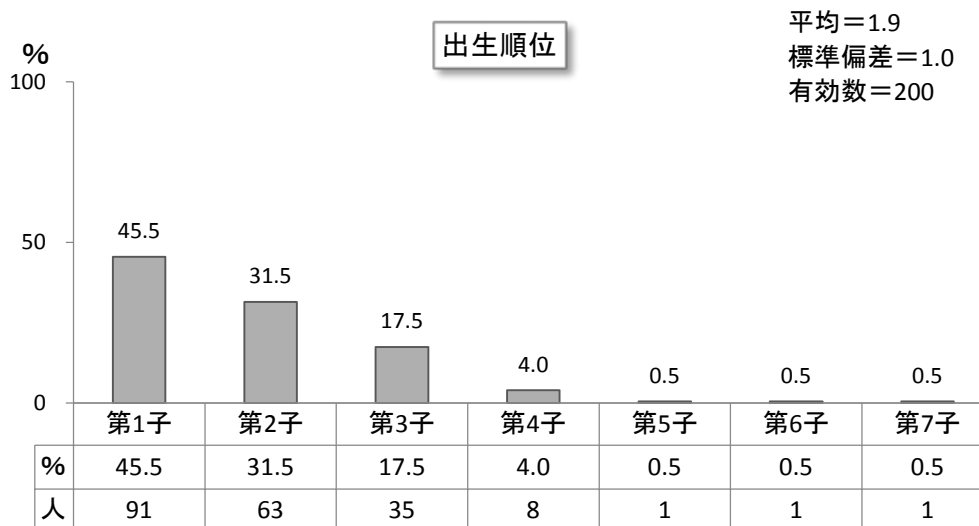
妊娠前の 体格	人数 (人)	平均体重 増加量 (kg)	標準偏差	最小値 (kg)	最大値 (kg)
やせ	16	11.4	3.0	6.5	17.0
標準	100	11.2	3.3	4.0	19.0
肥満	19	10.5	5.2	3.4	20.4

4.1歳6ヶ月児健診時

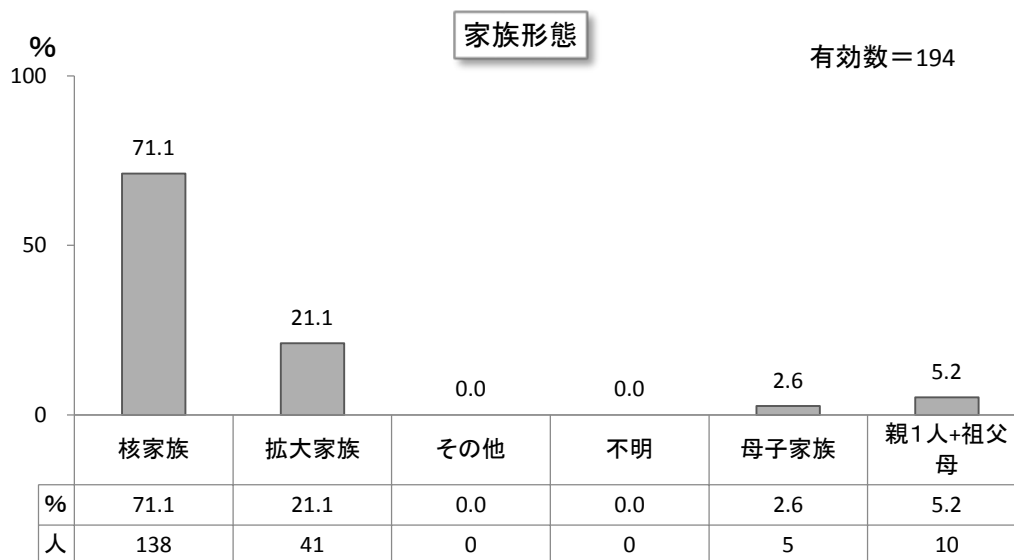
(1) 児の性別



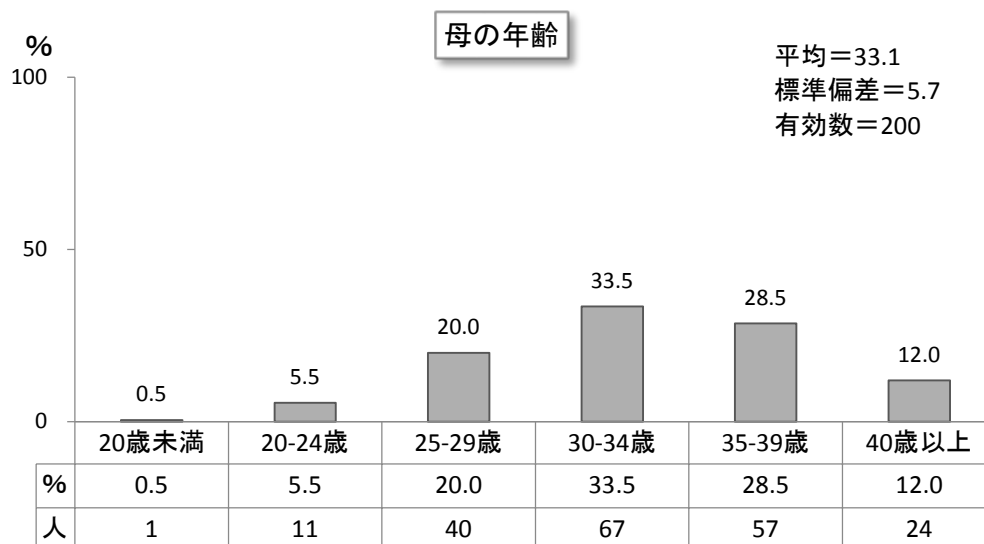
(2) 出生順位



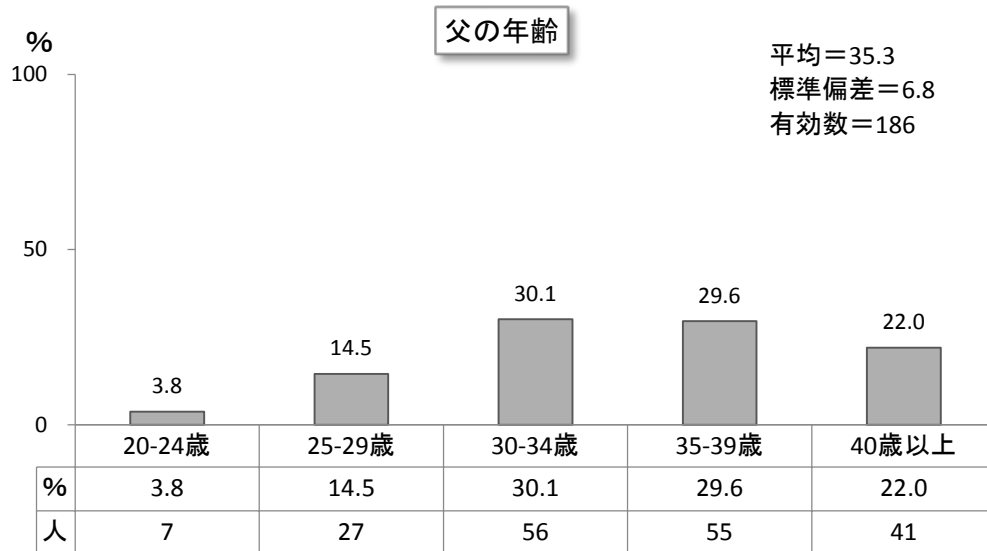
(3) 家族形態



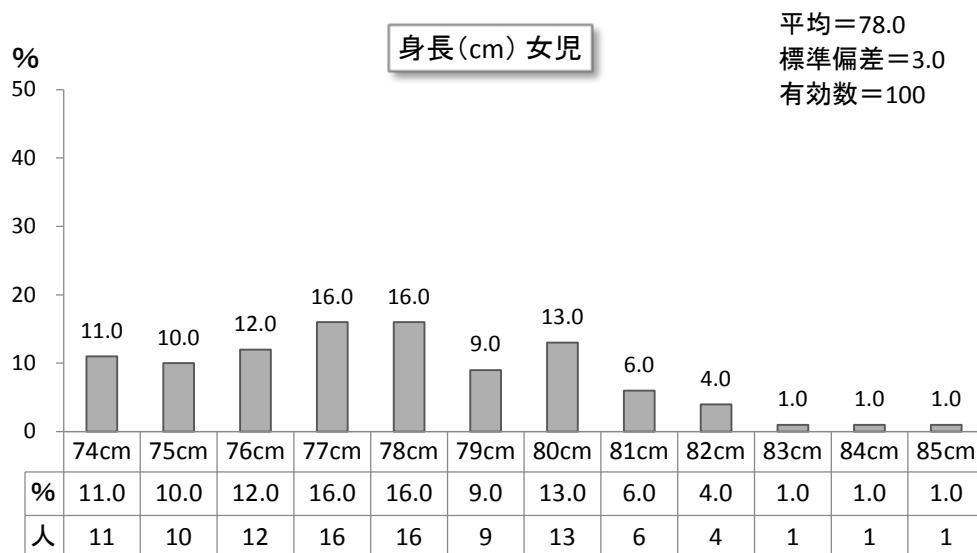
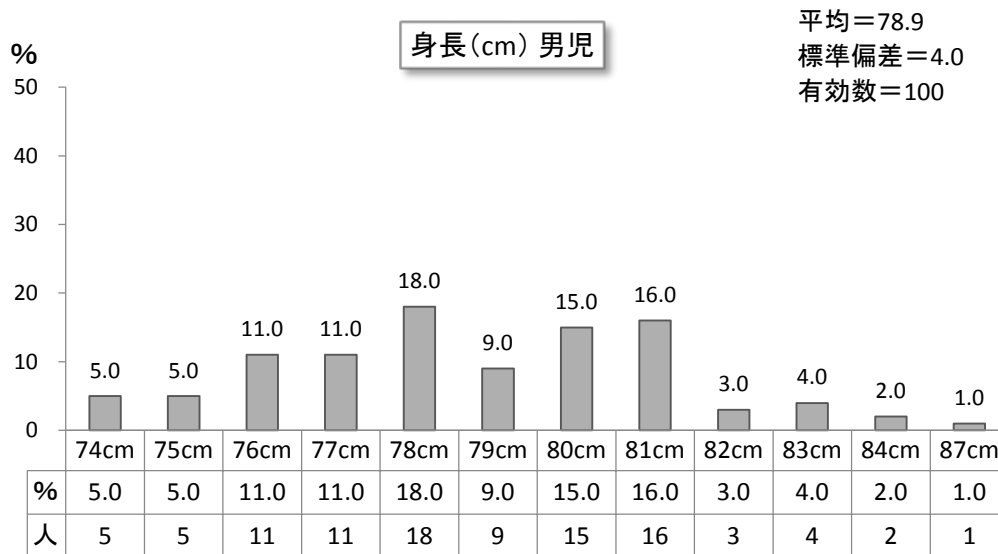
(4) 母親の年齢



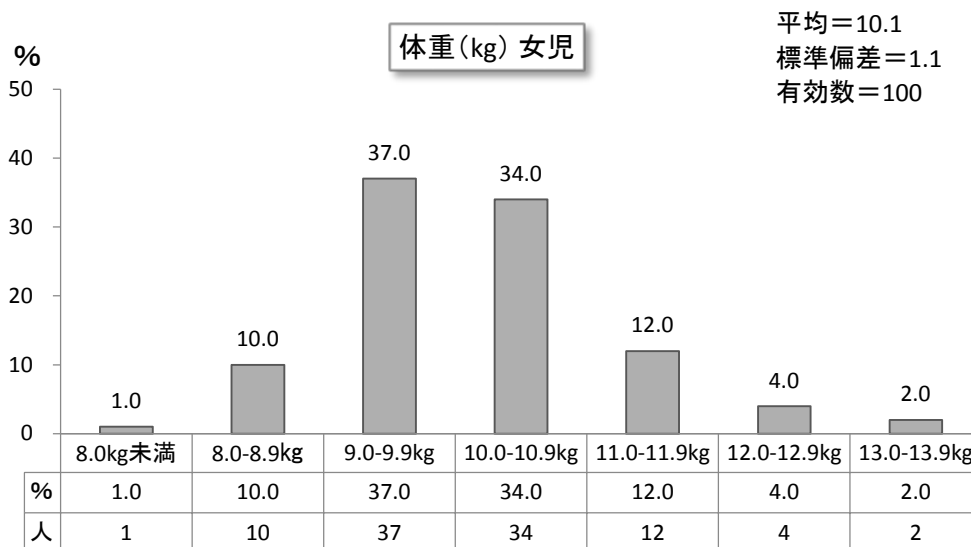
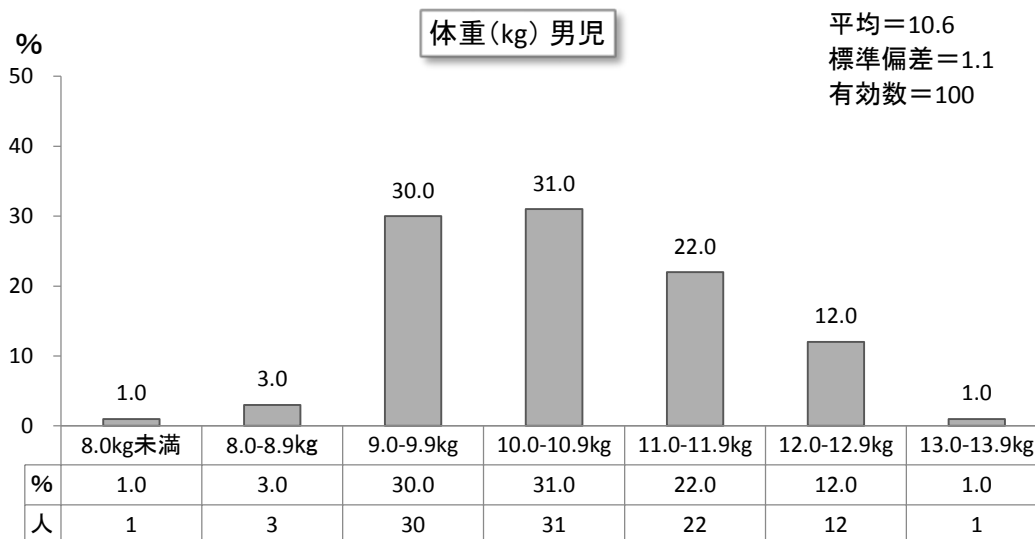
(5) 父親の年齢



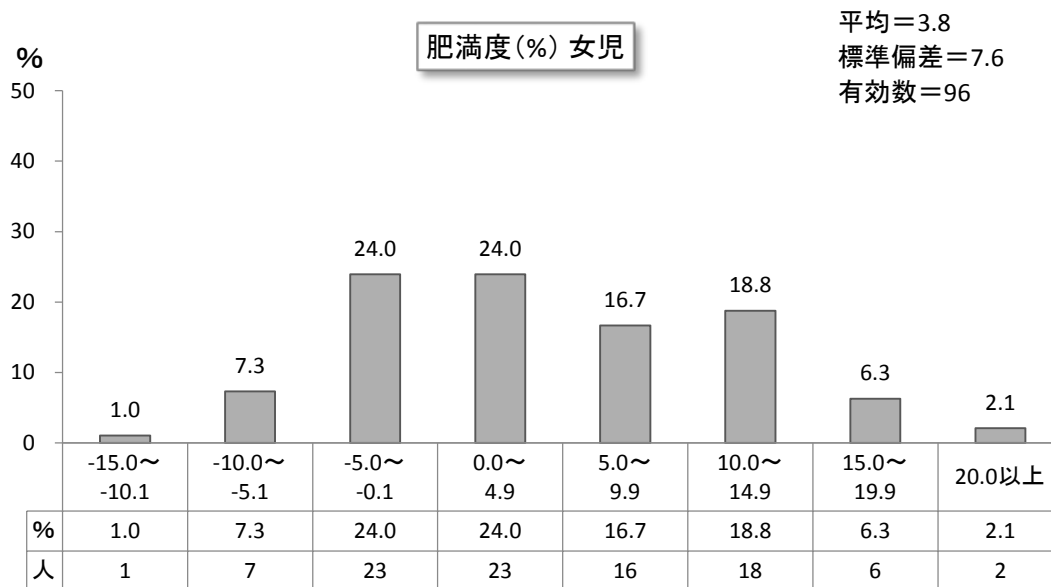
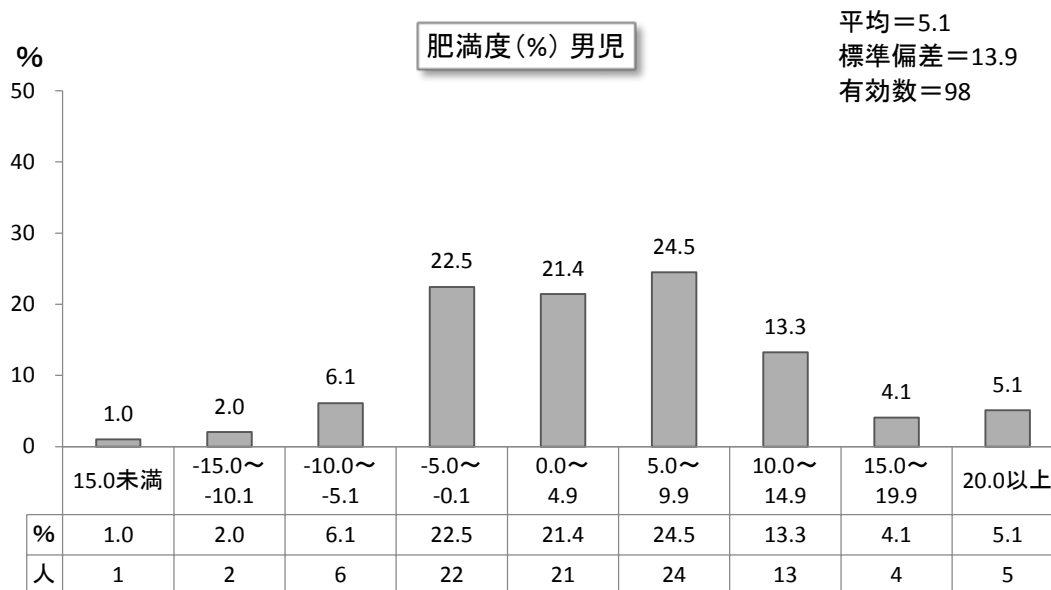
(6) 身長



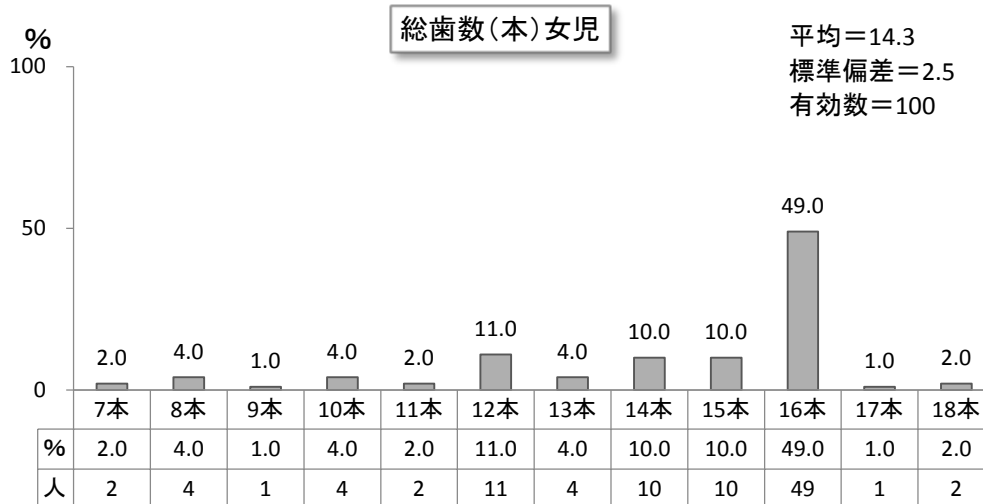
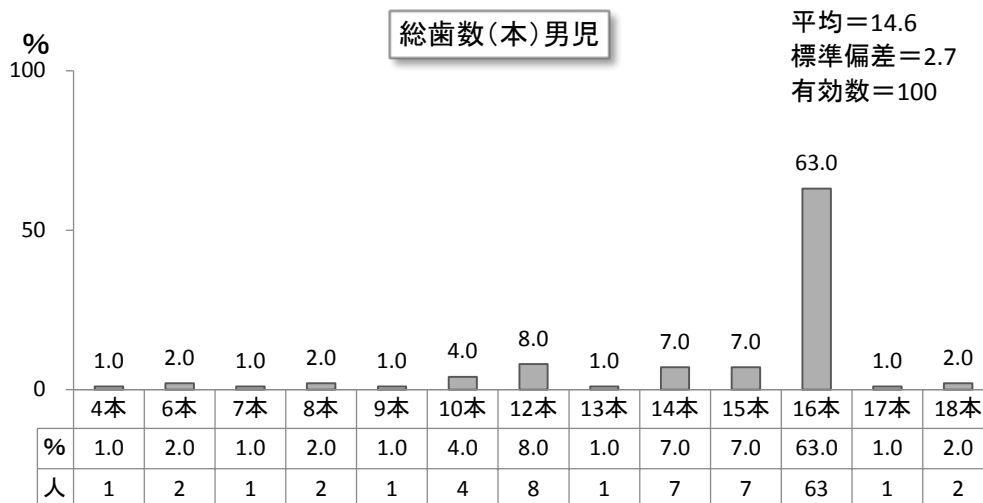
(7) 体重



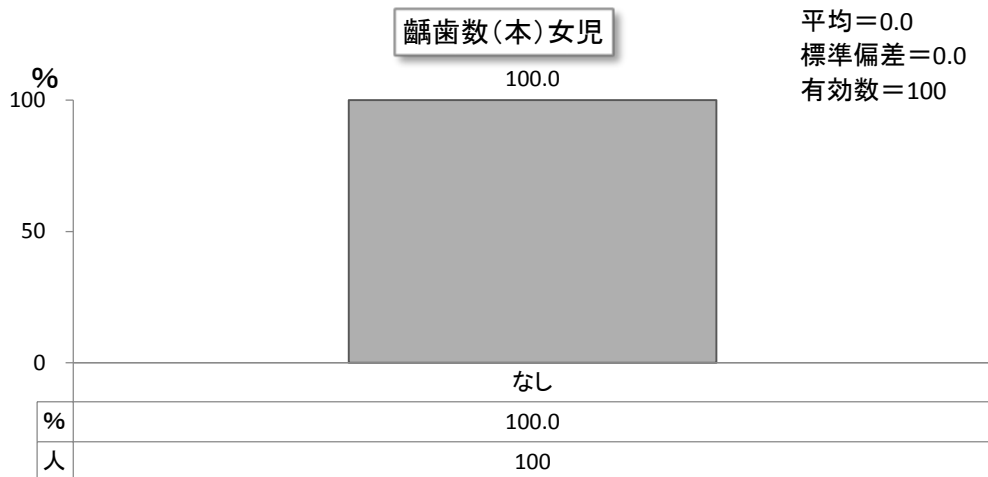
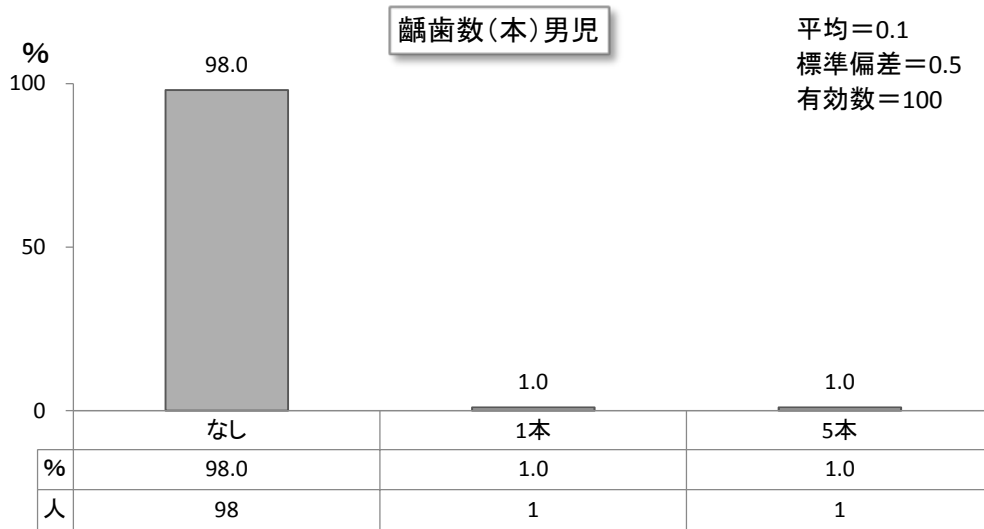
(8) 肥満度



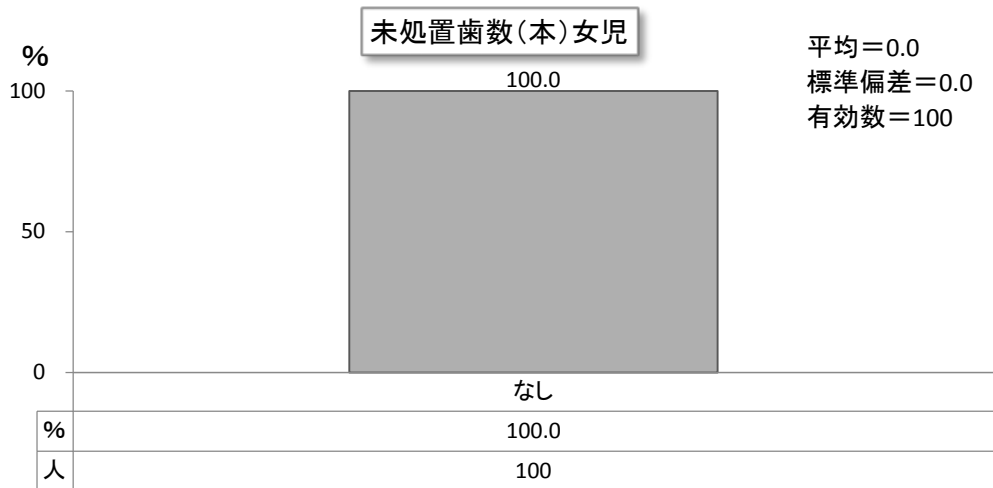
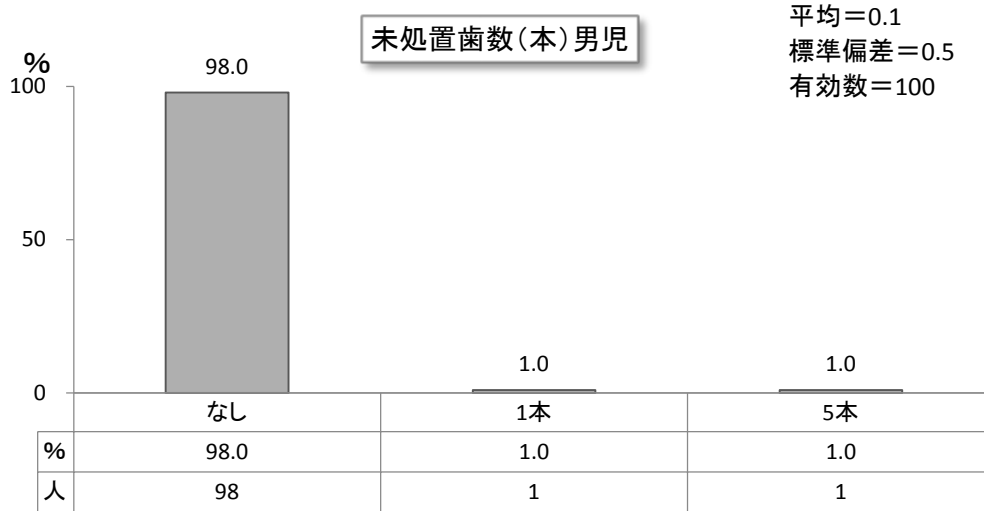
(9) 総歯数



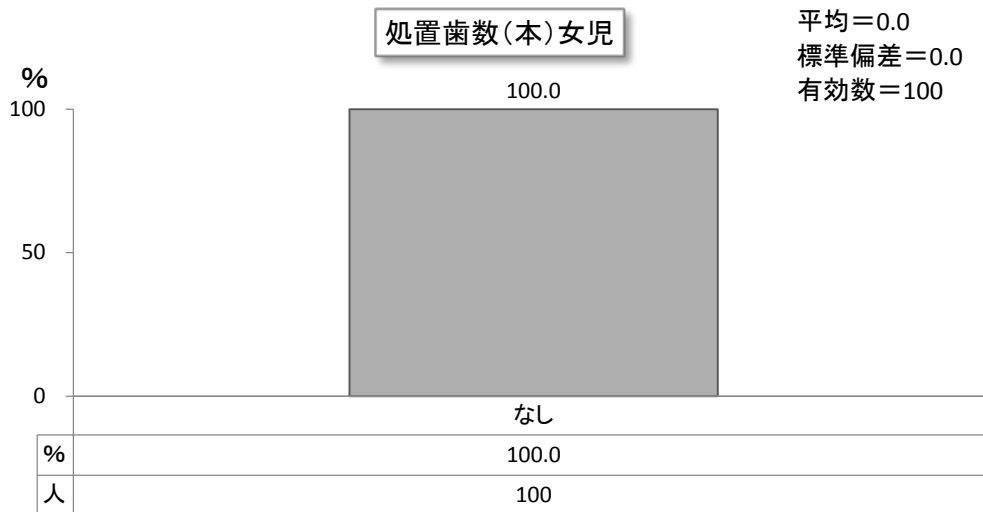
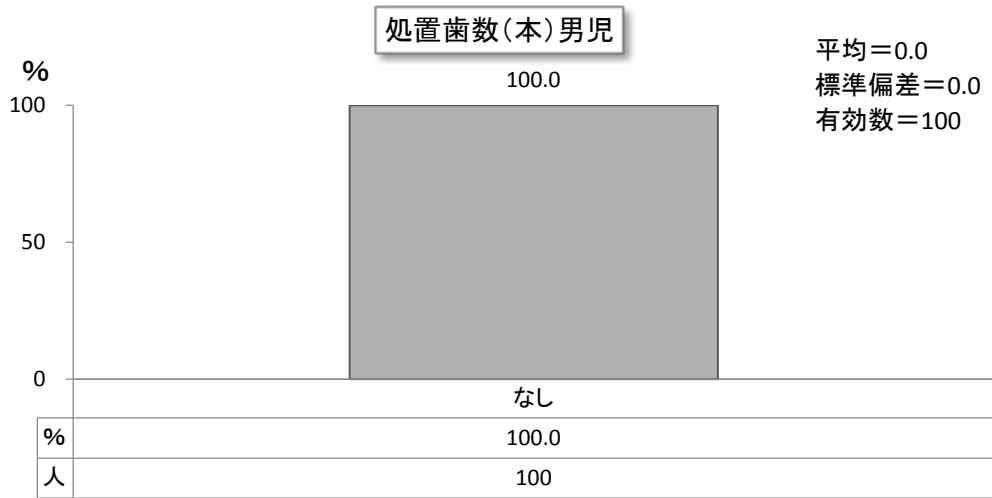
(10) 齲歯数



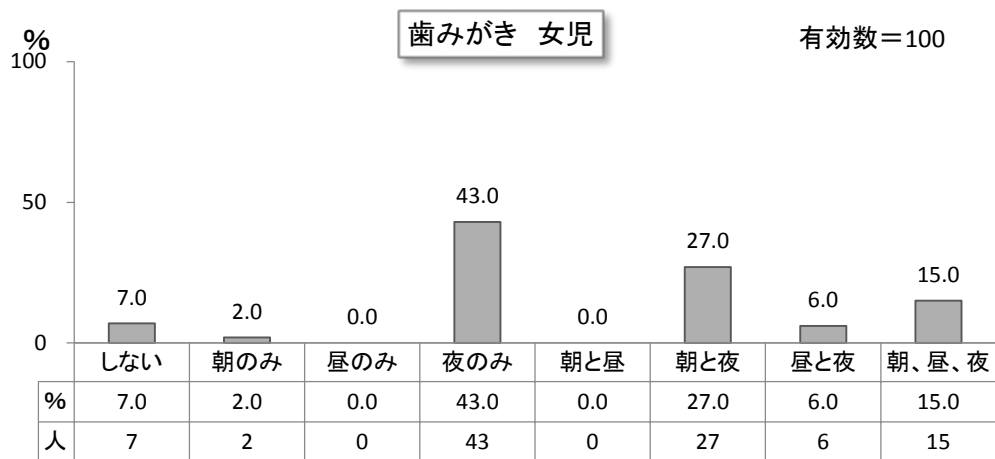
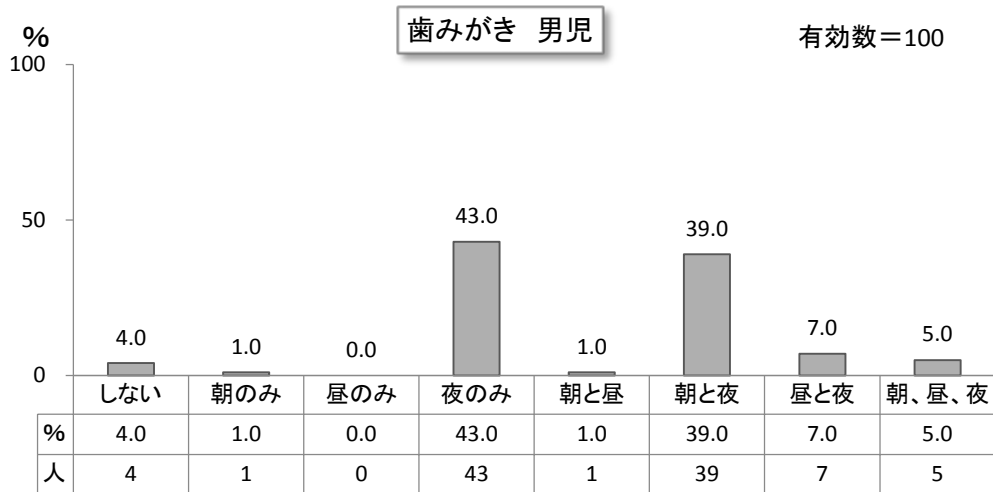
(11) 未処置歯数



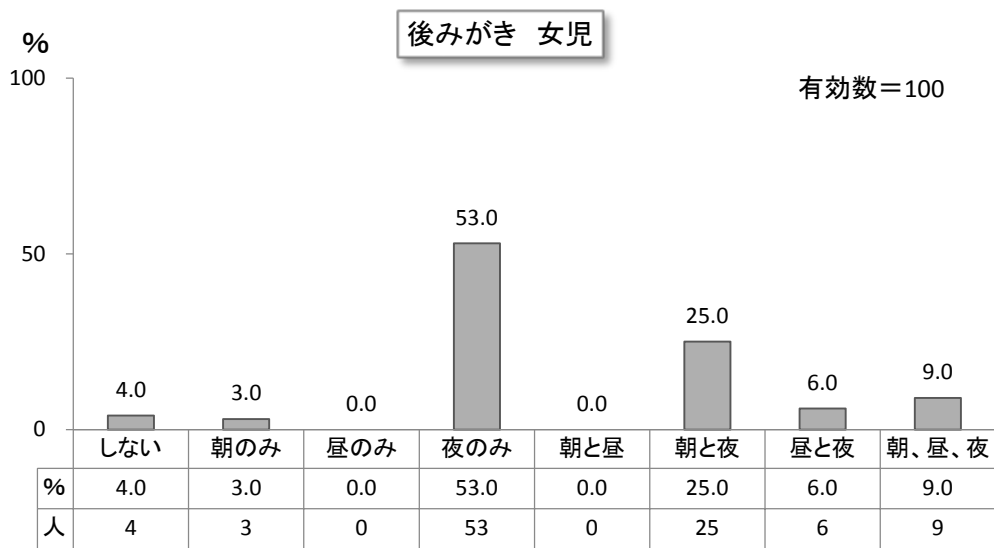
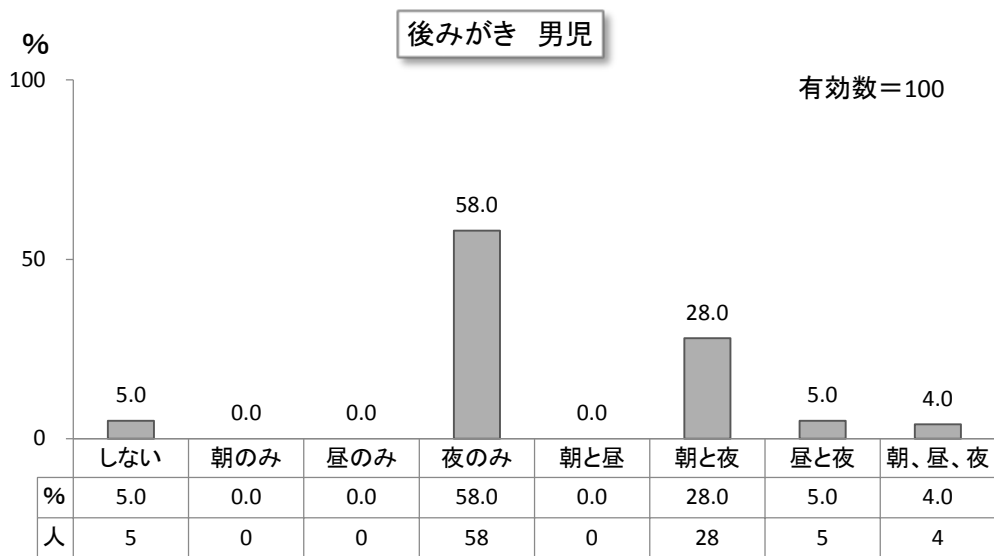
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき

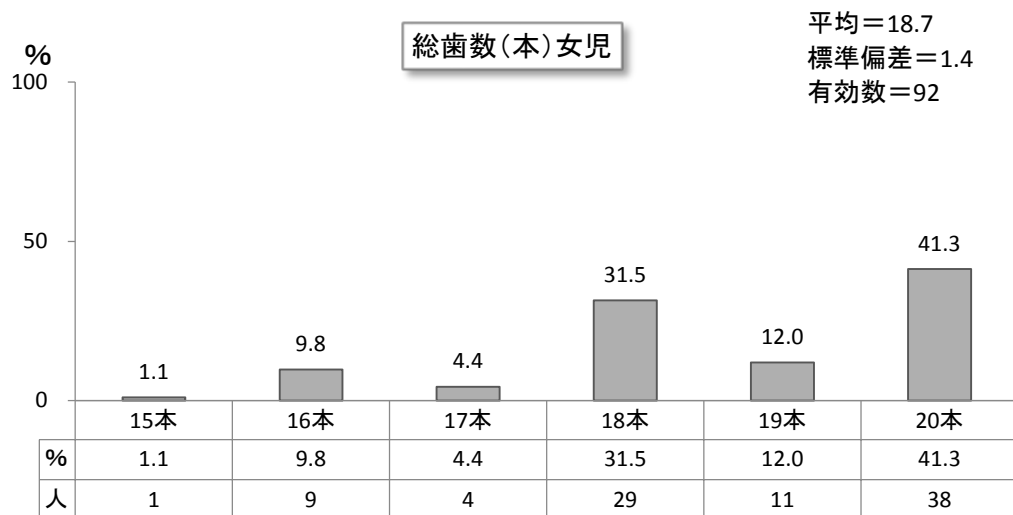
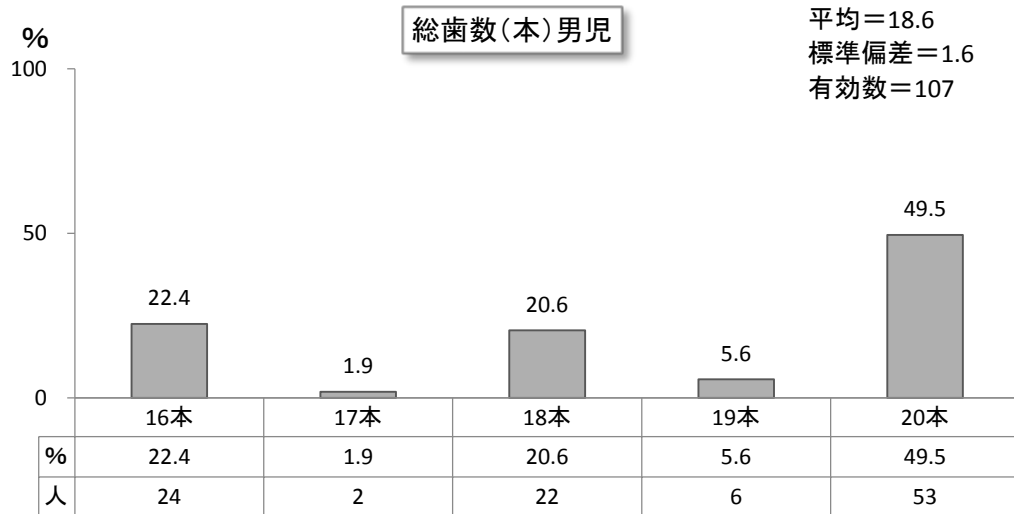


(14) 後みがき

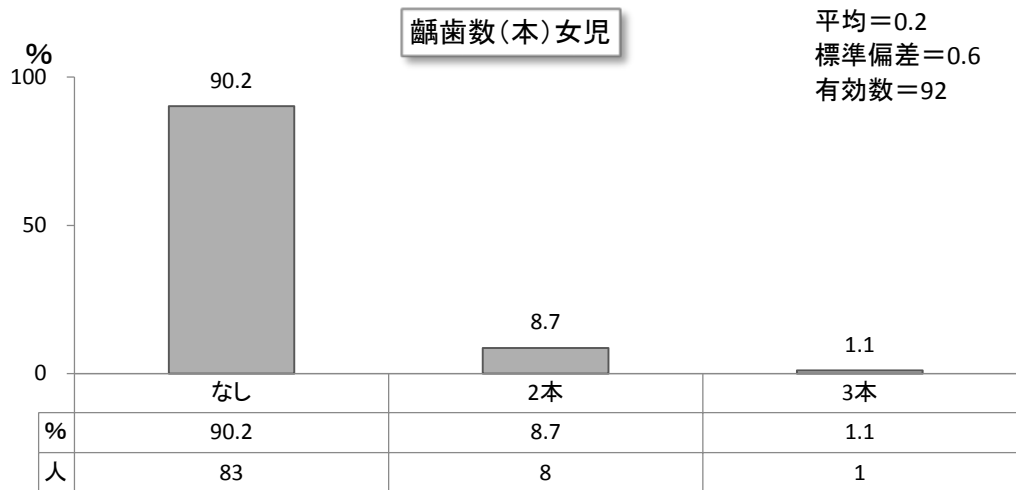
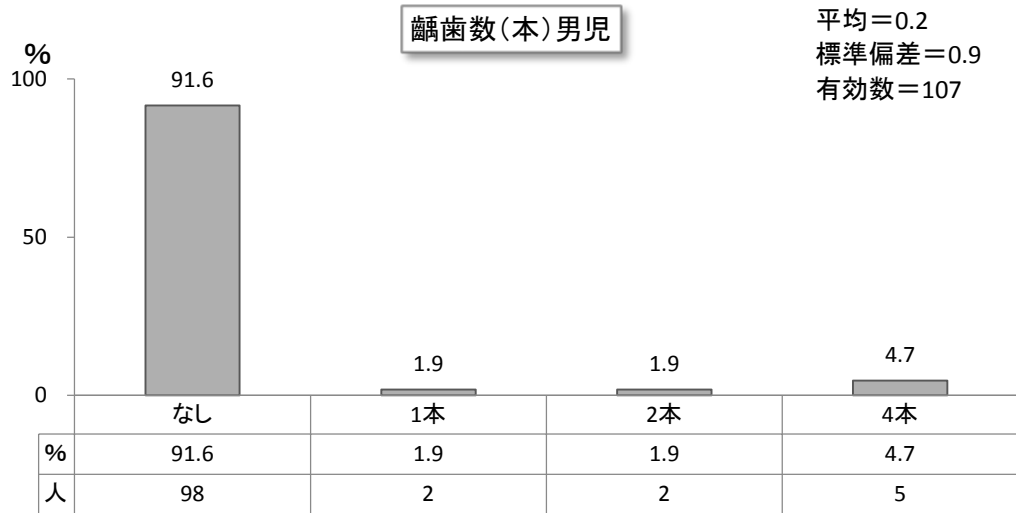


5.2 歳児健診時

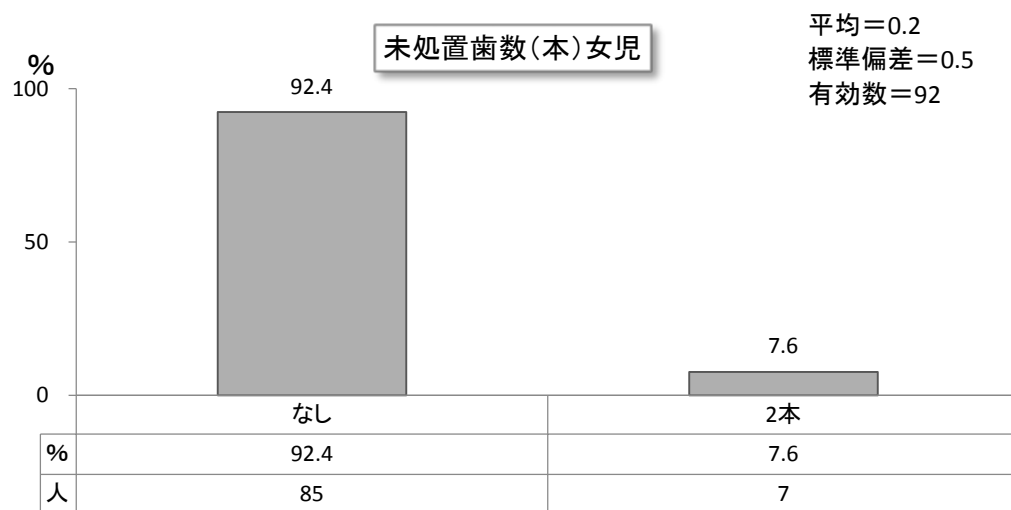
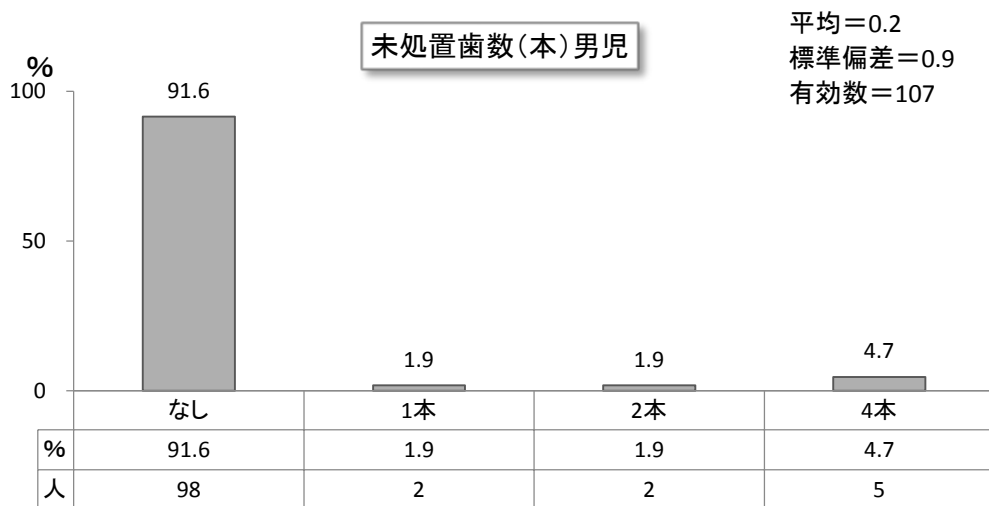
(1) 総歯数



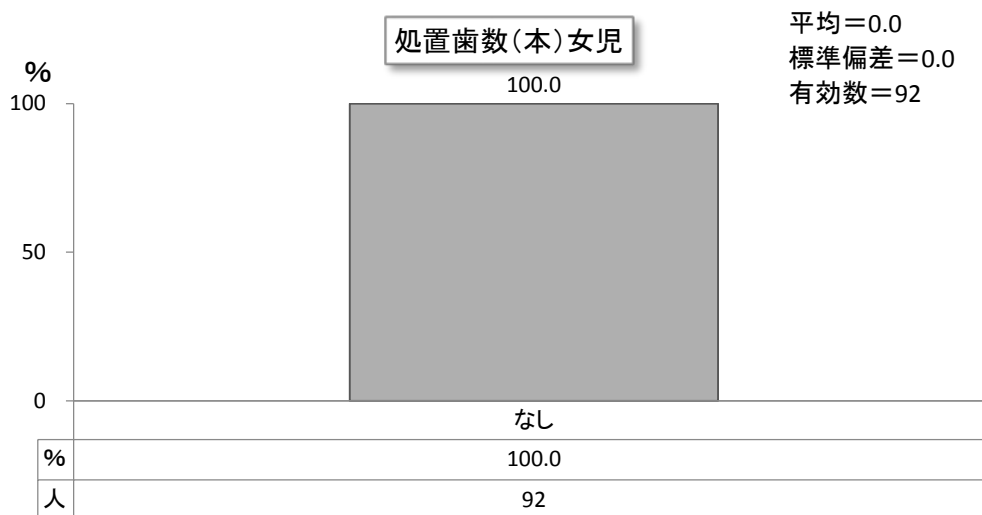
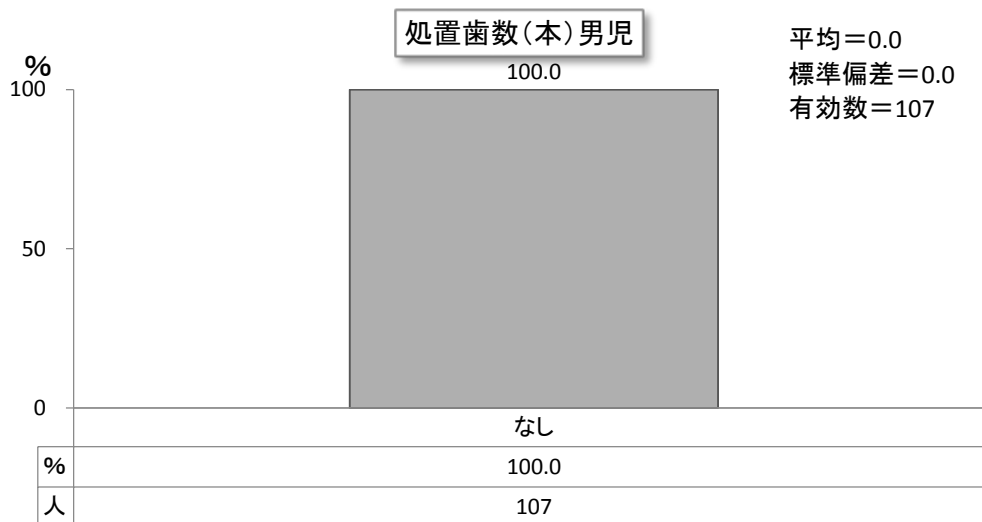
(2) 齲歯数



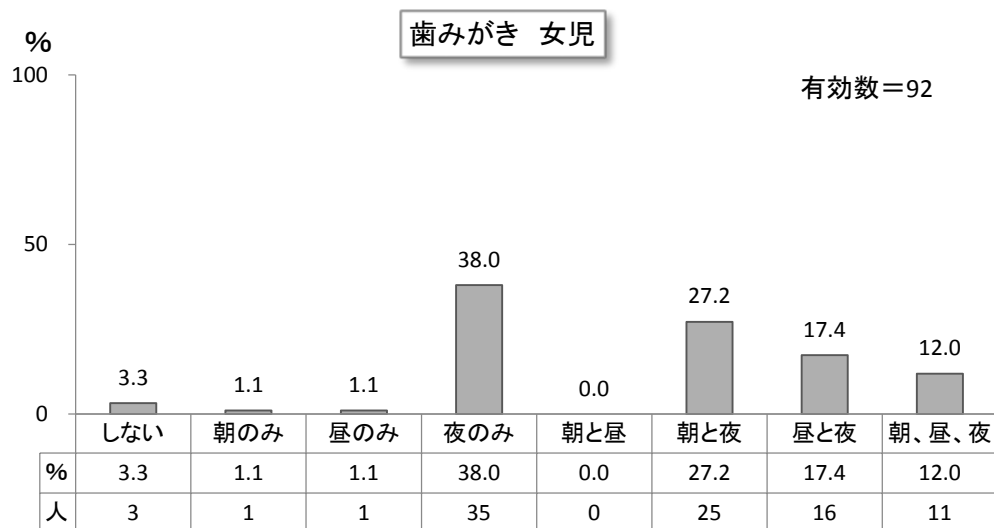
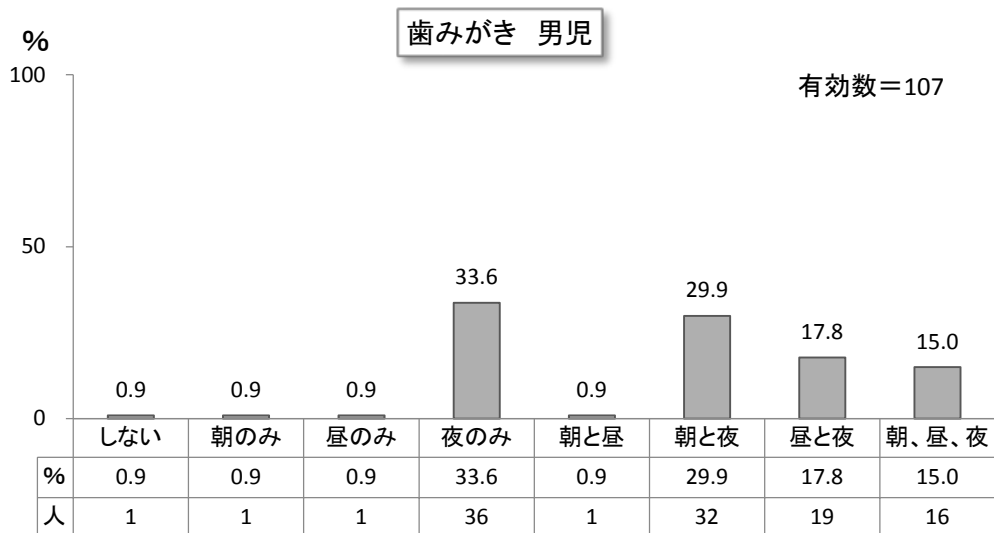
(3) 未処置歯数



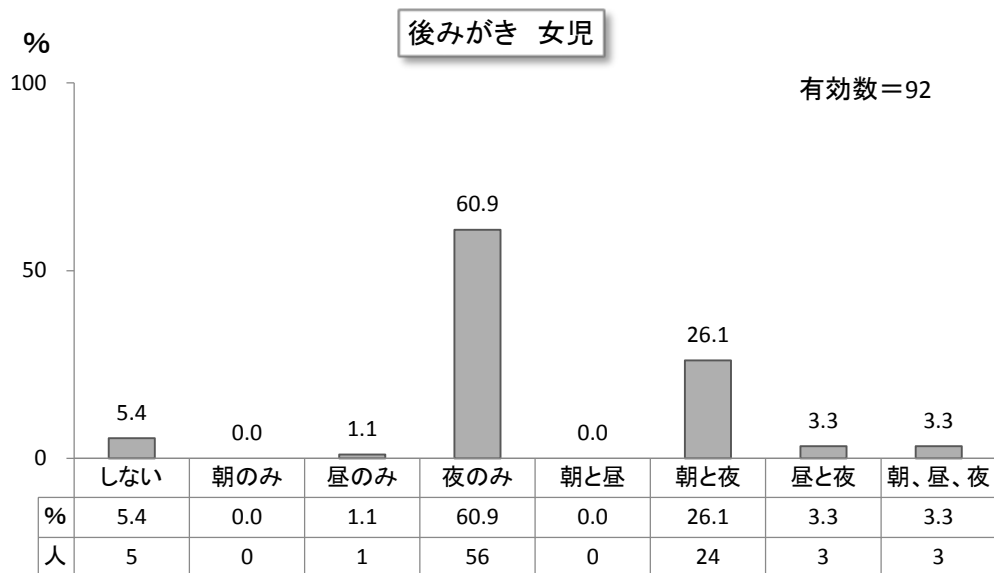
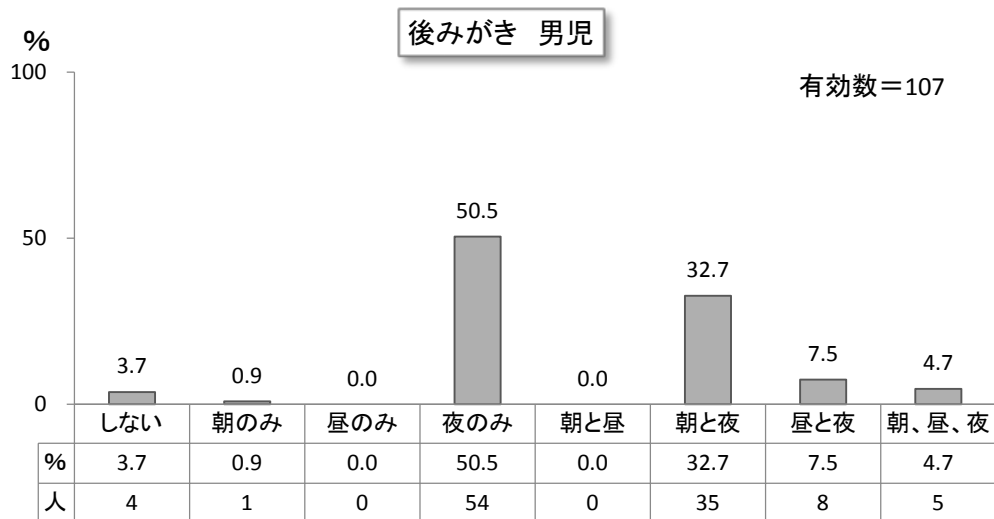
(4) 処置歯数



(5) 歯みがき

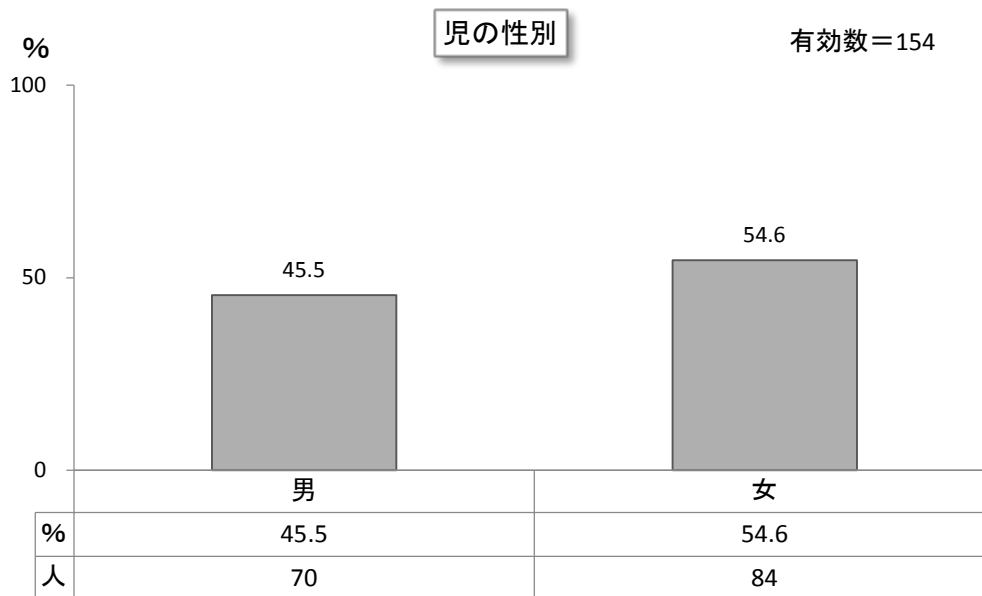


(6) 後みがき

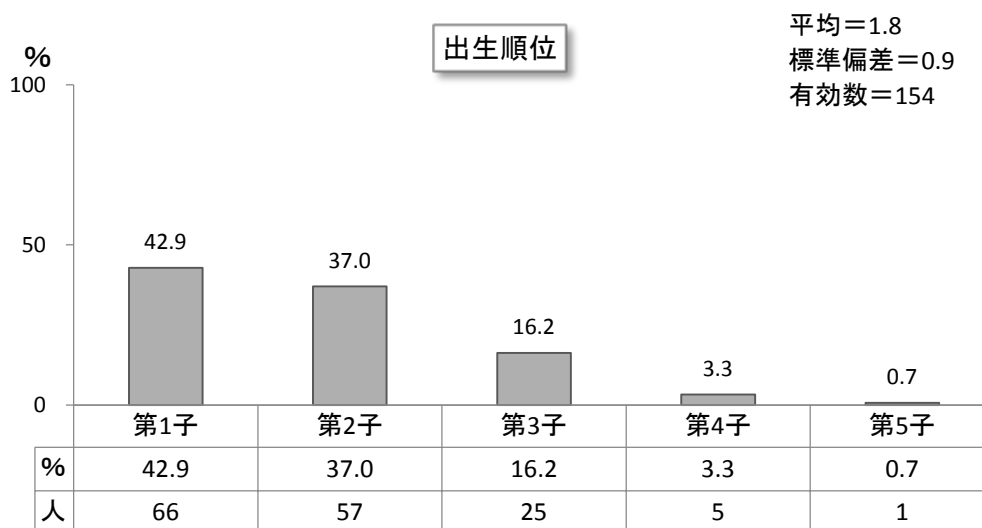


6.3 歳児健診時

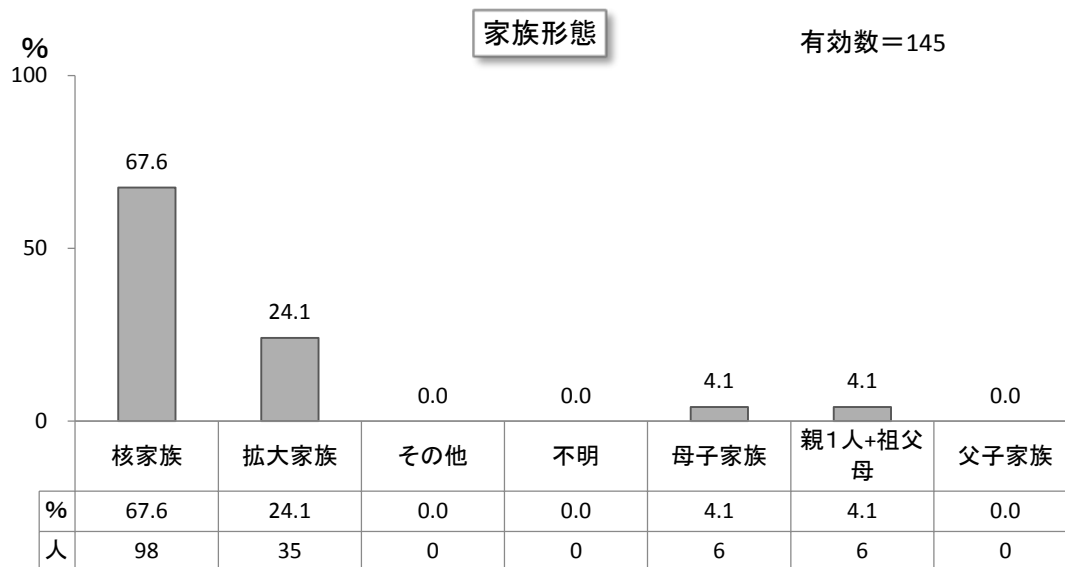
(1) 児の性別



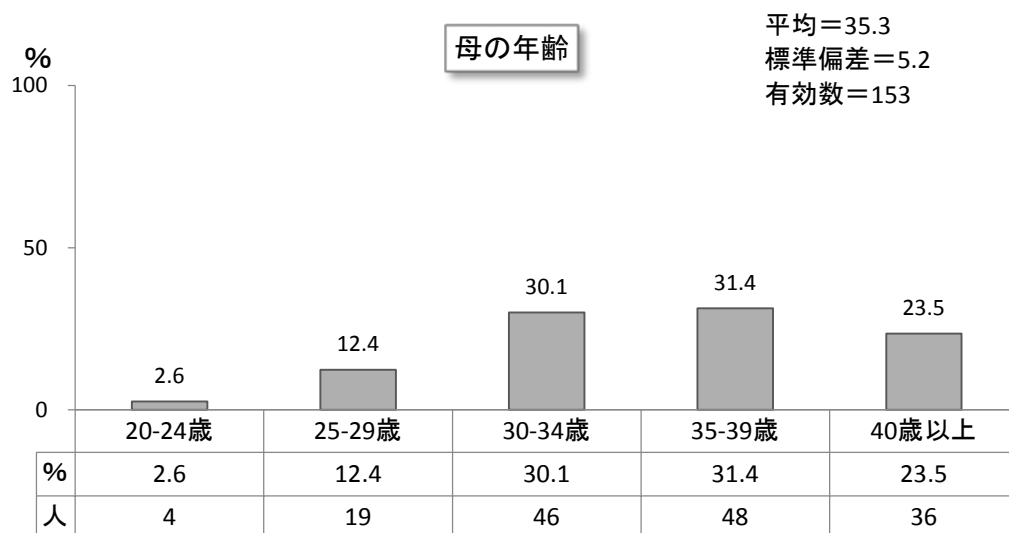
(2) 出生順位



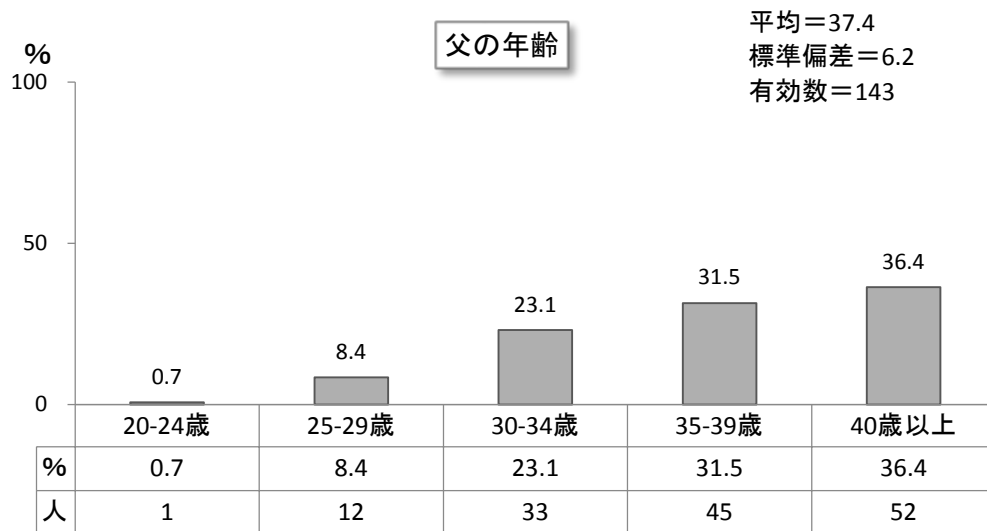
(3) 家族形態



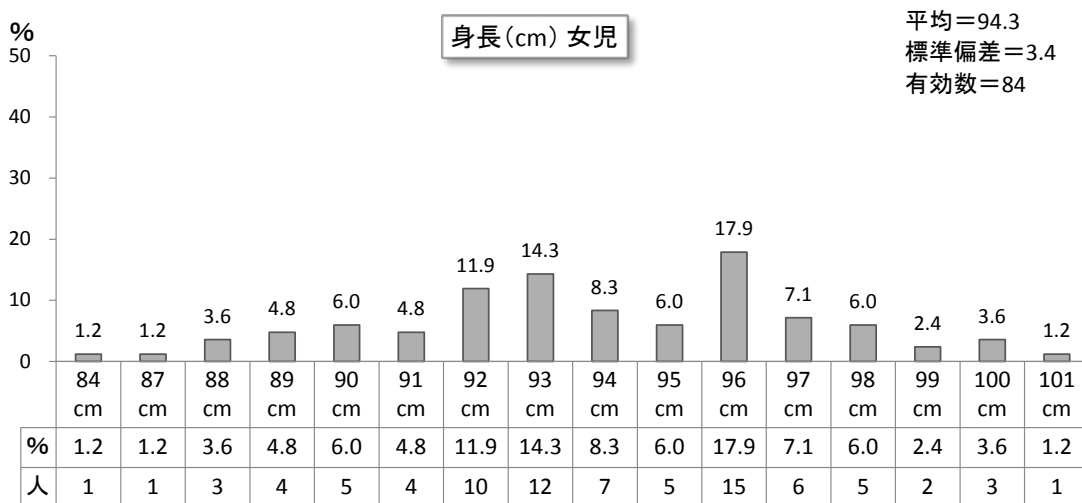
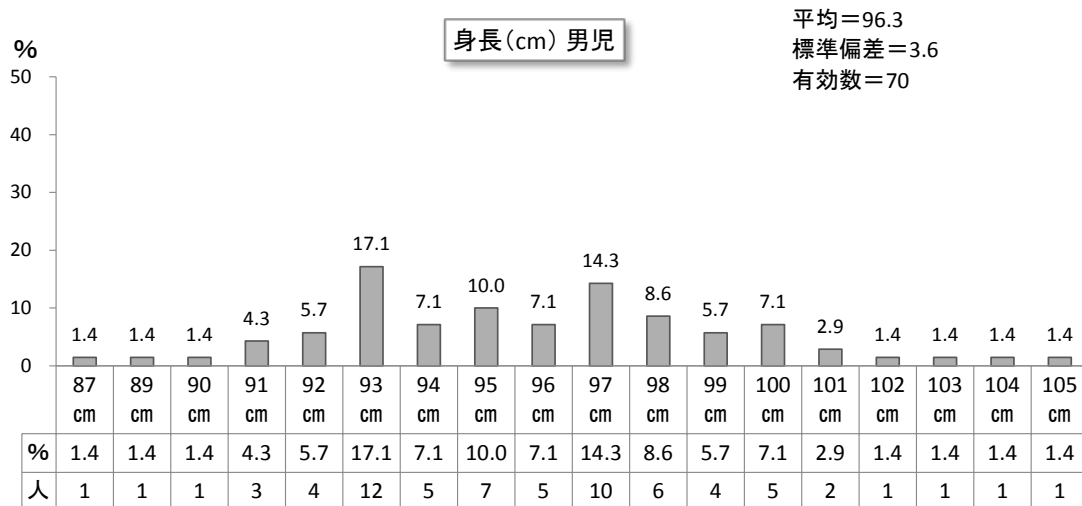
(4) 母親の年齢



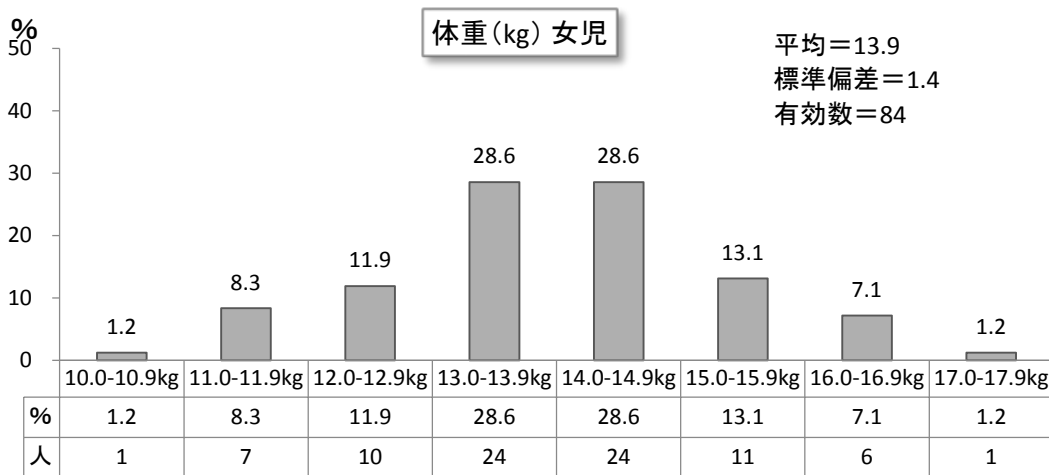
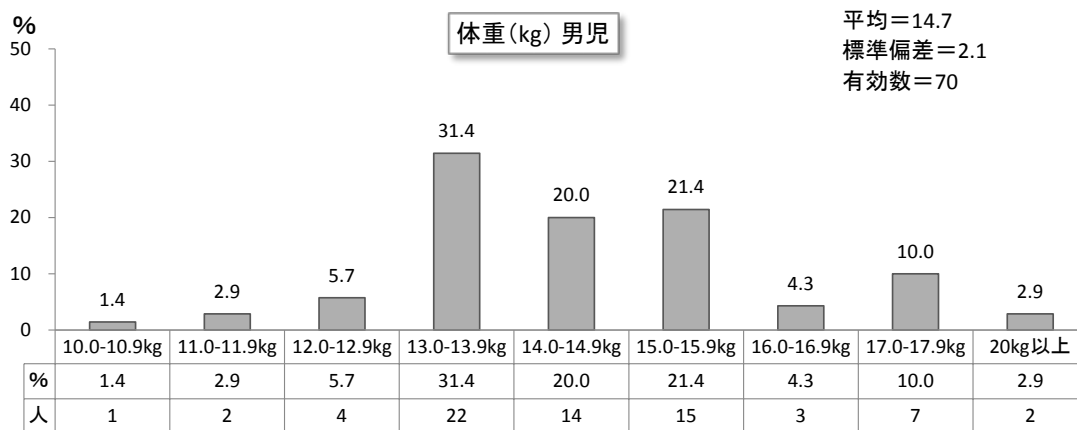
(5) 父親の年齢



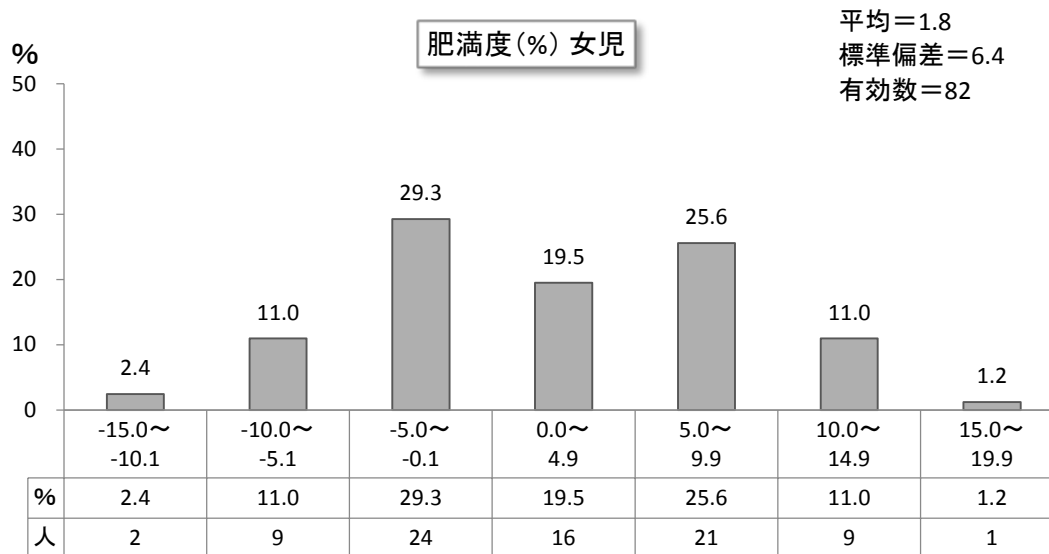
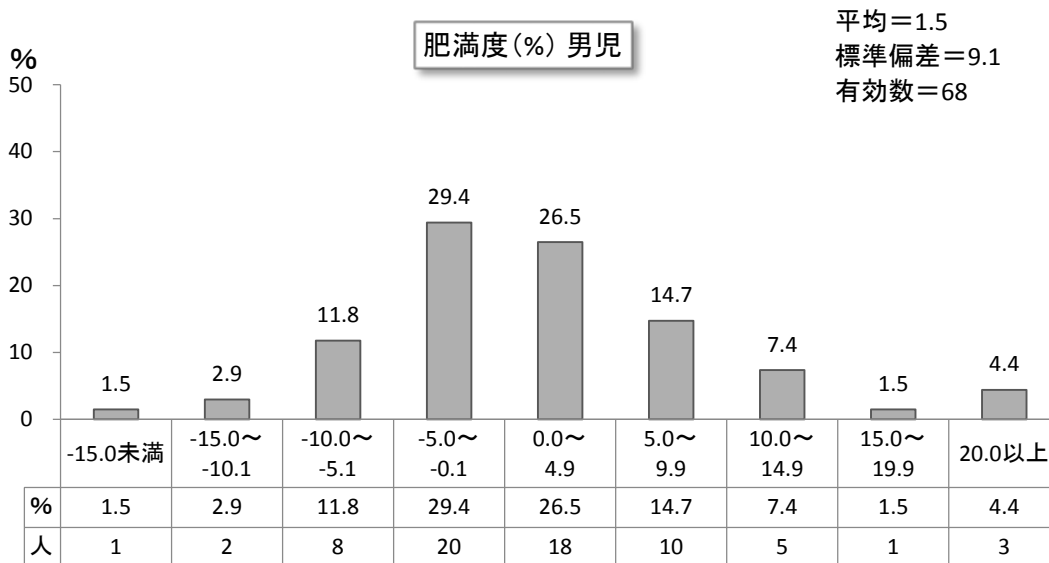
(6) 身長



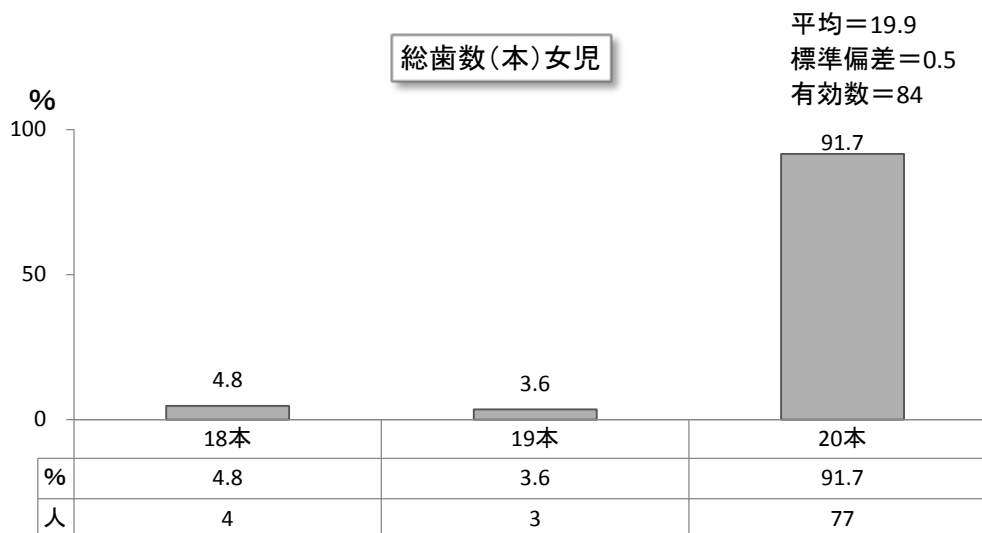
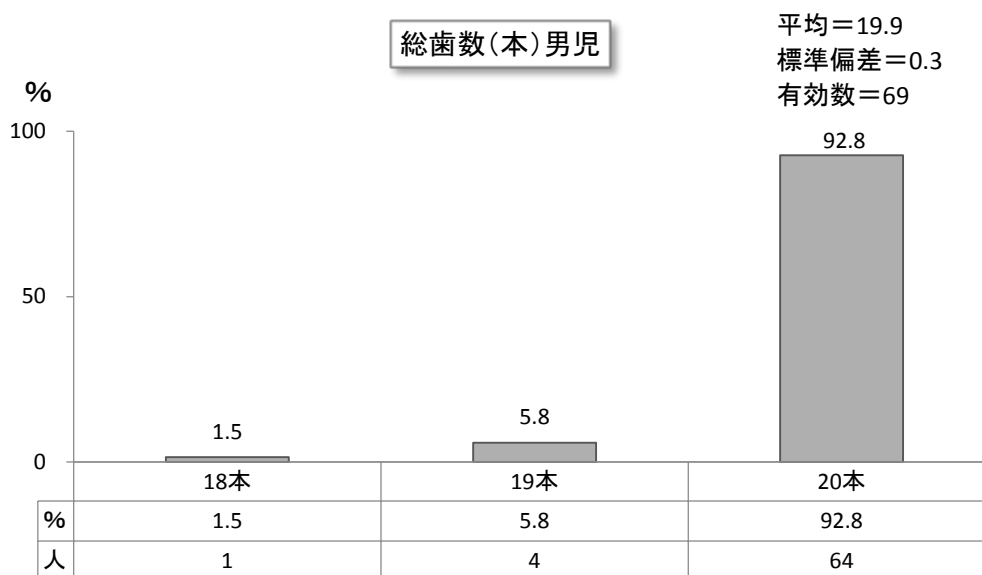
(7) 体重



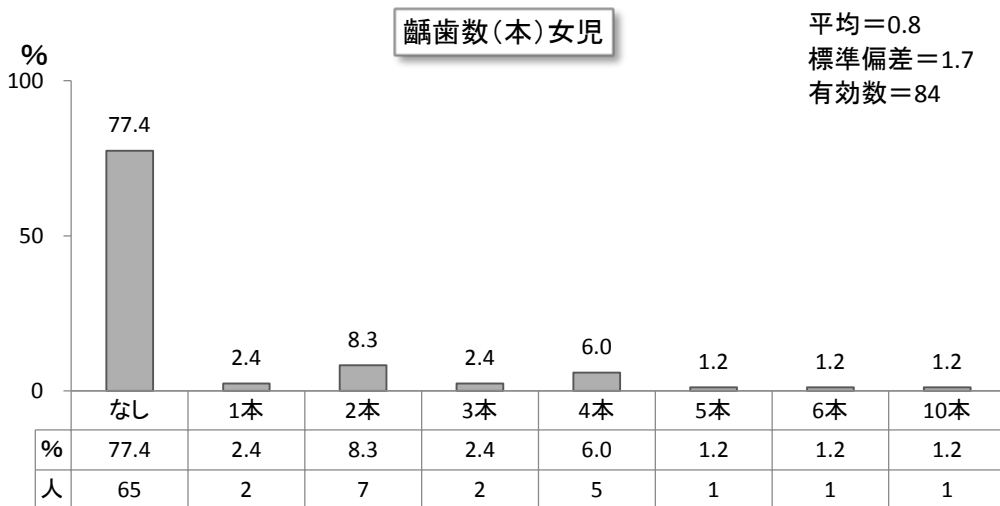
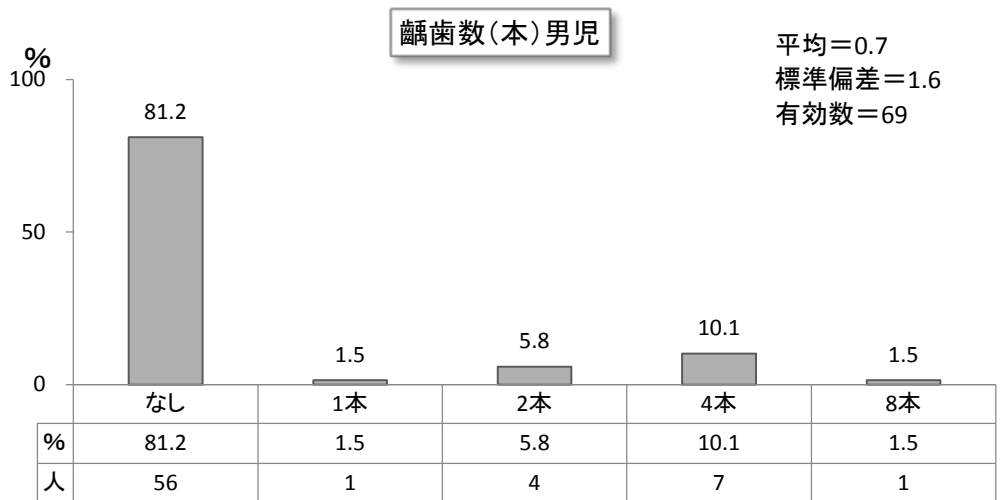
(8) 肥満度



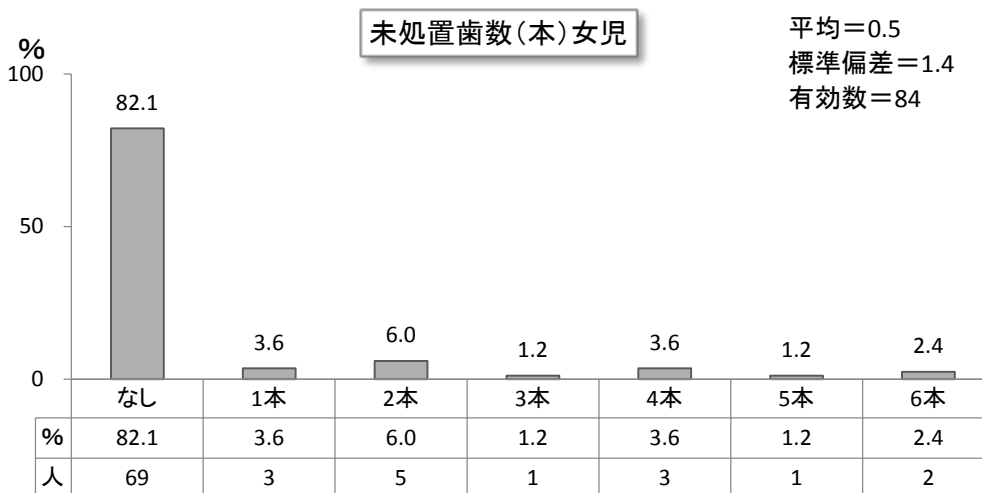
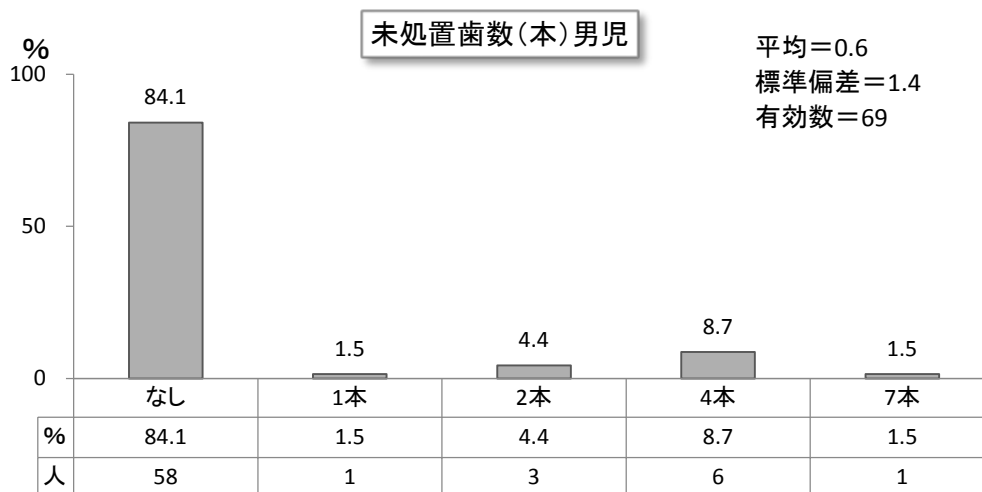
(9) 総歯数



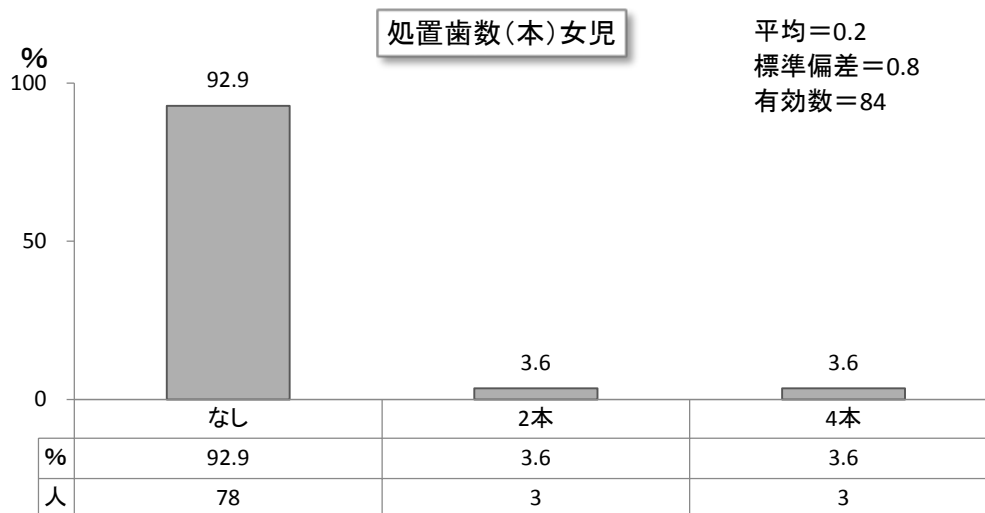
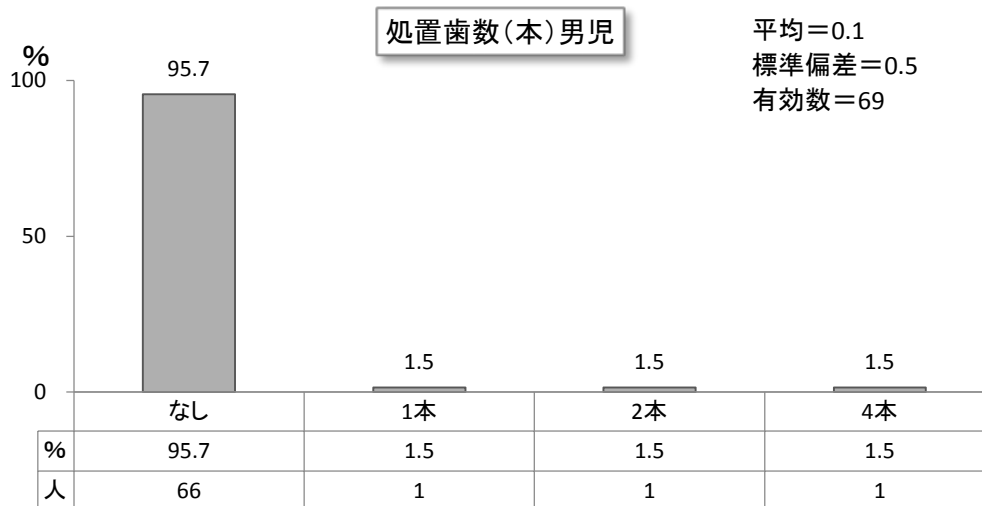
(10) 齲歯数



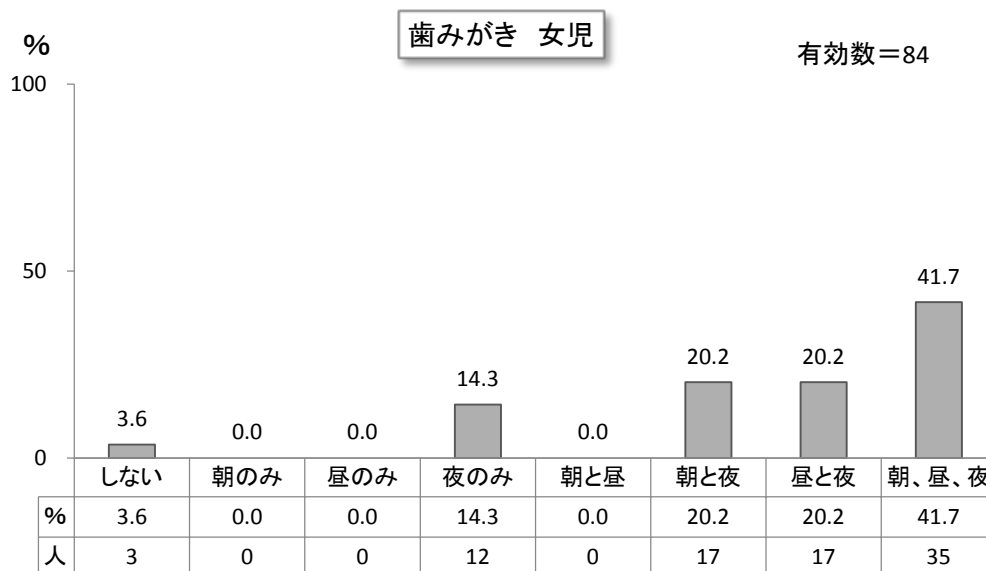
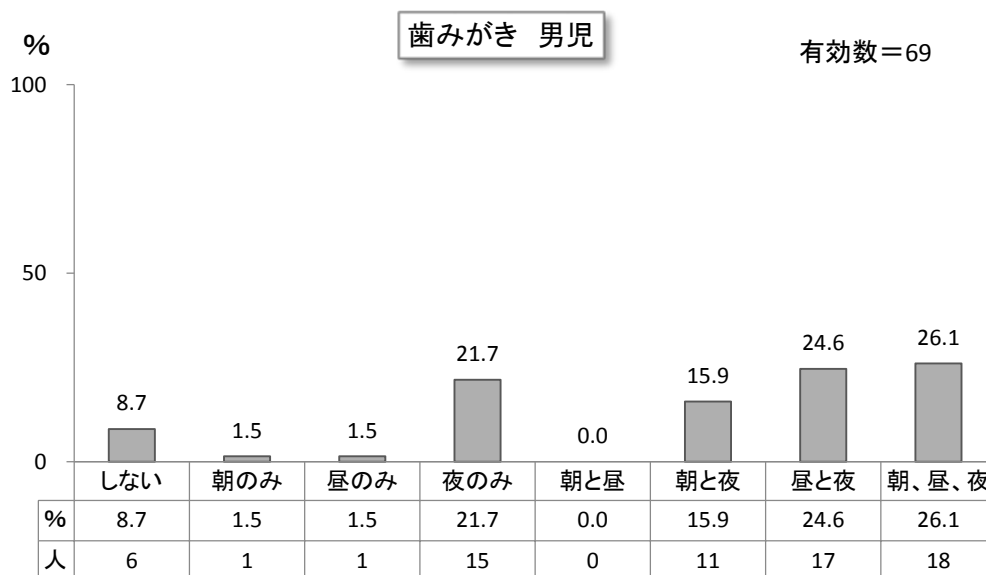
(11) 未処置歯数



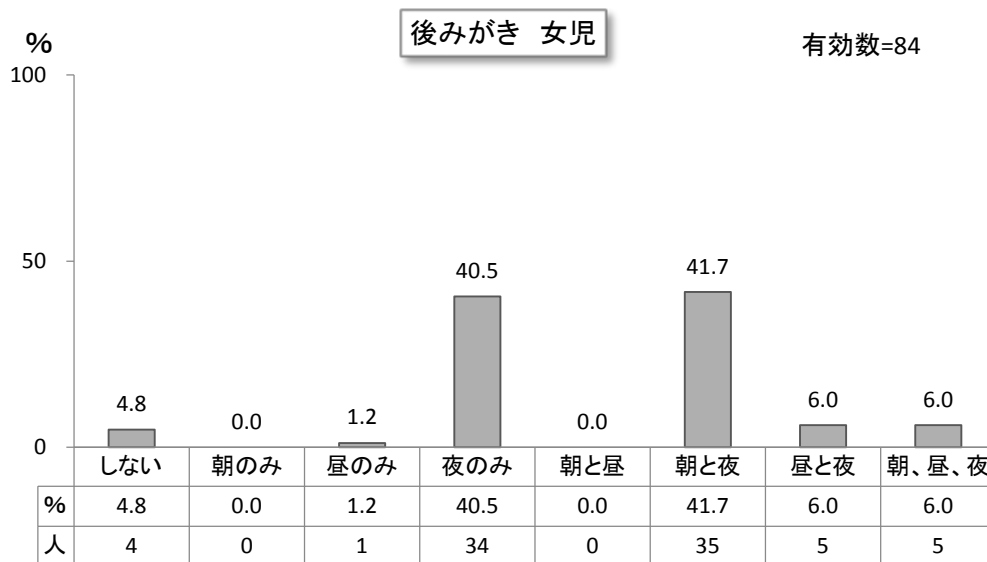
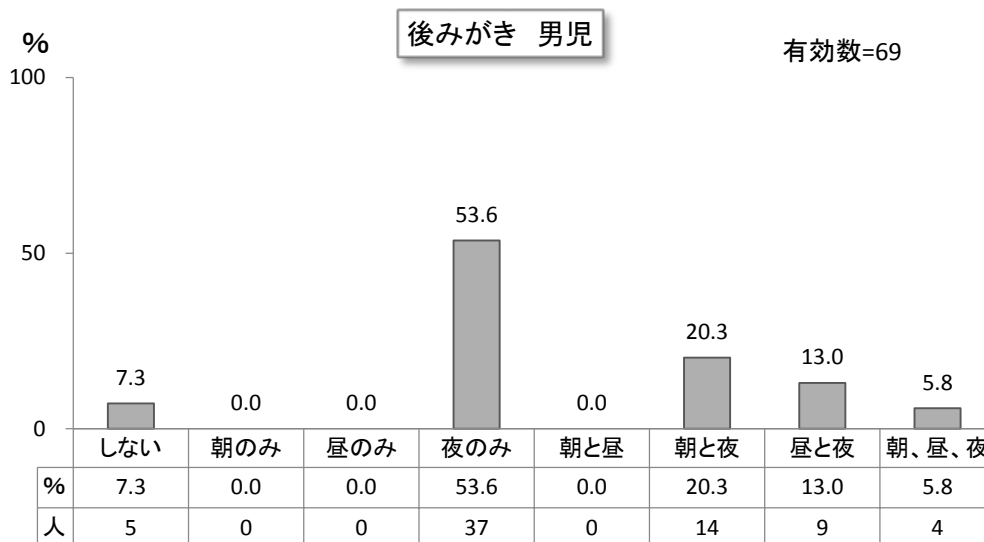
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき

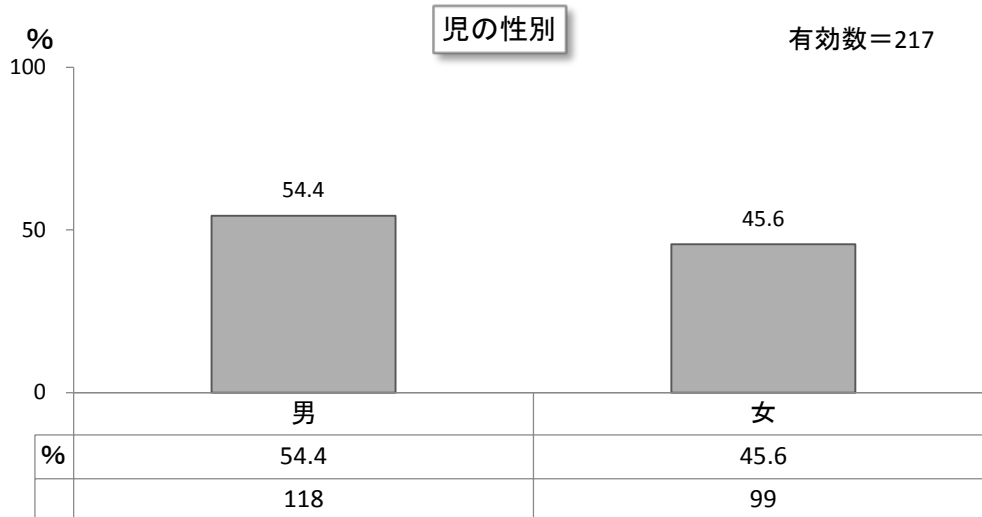


(14) 後みがき

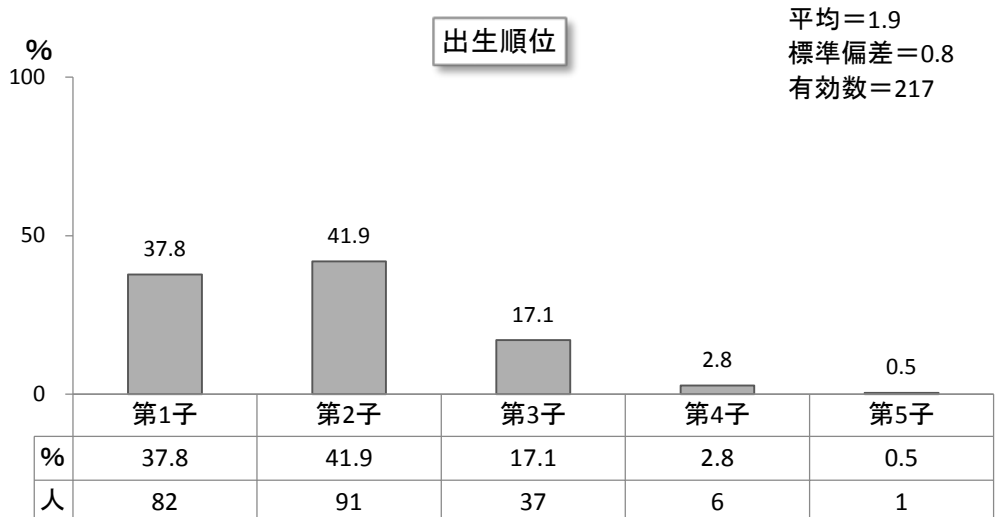


7.5 歳児健診時

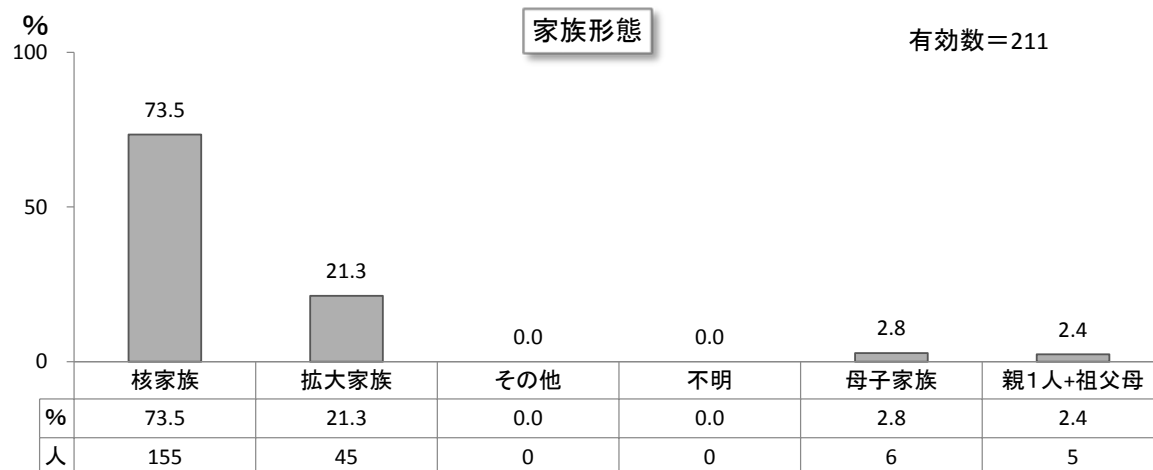
(1) 児の性別



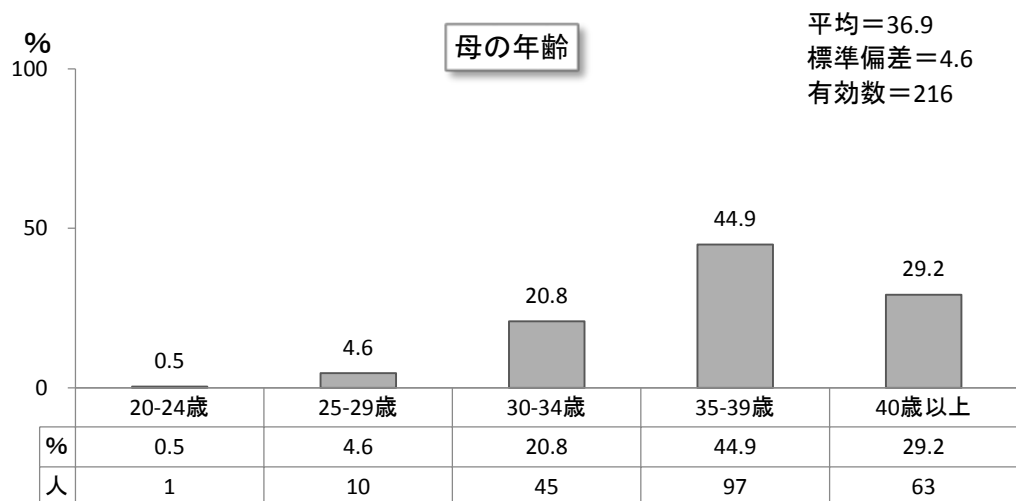
(2) 出生順位



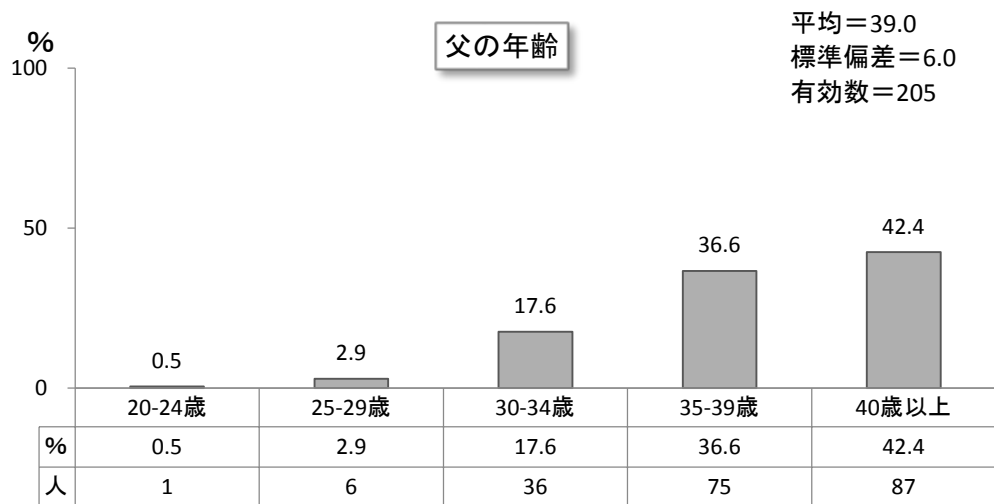
(3) 家族形態



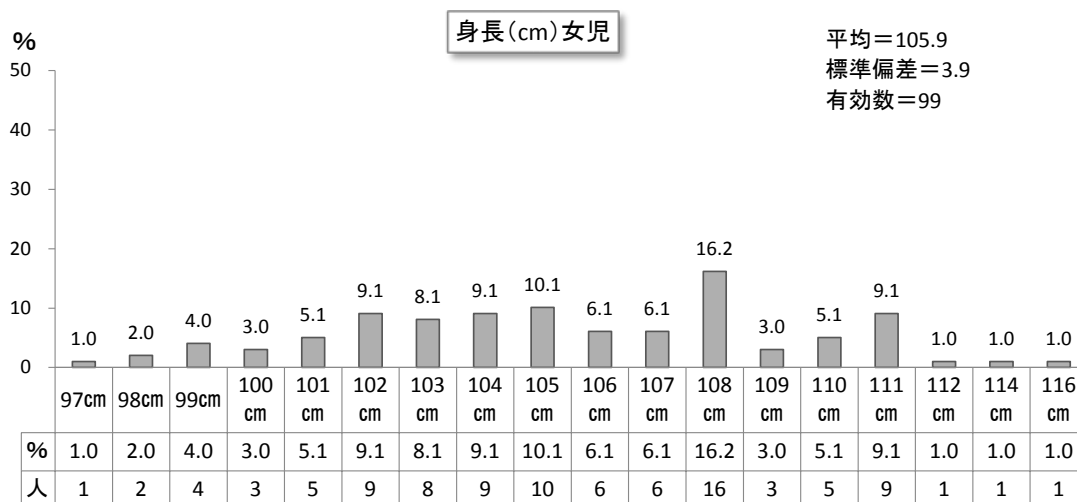
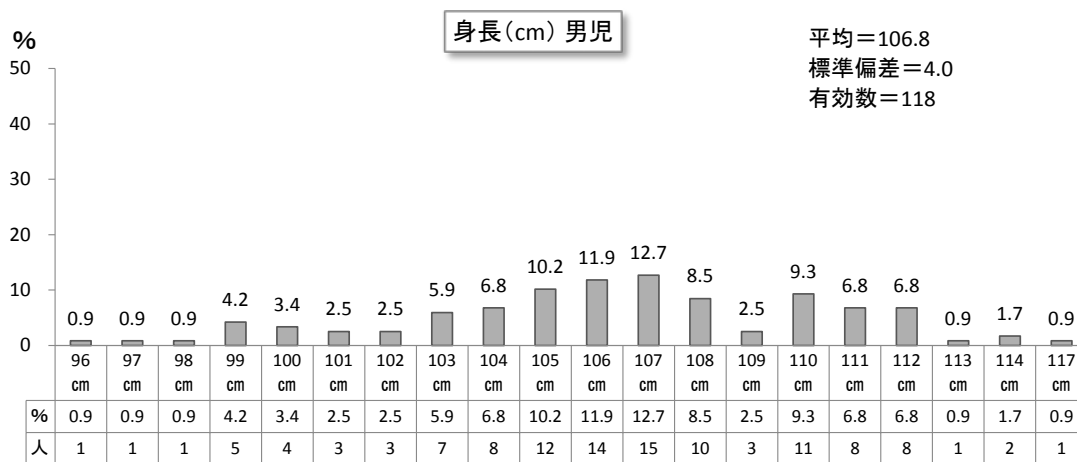
(4) 母親の年齢



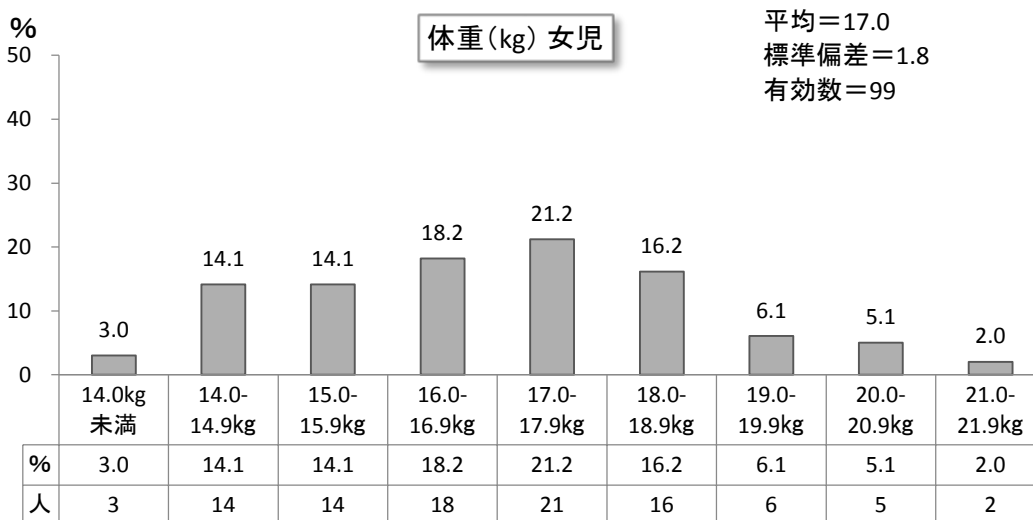
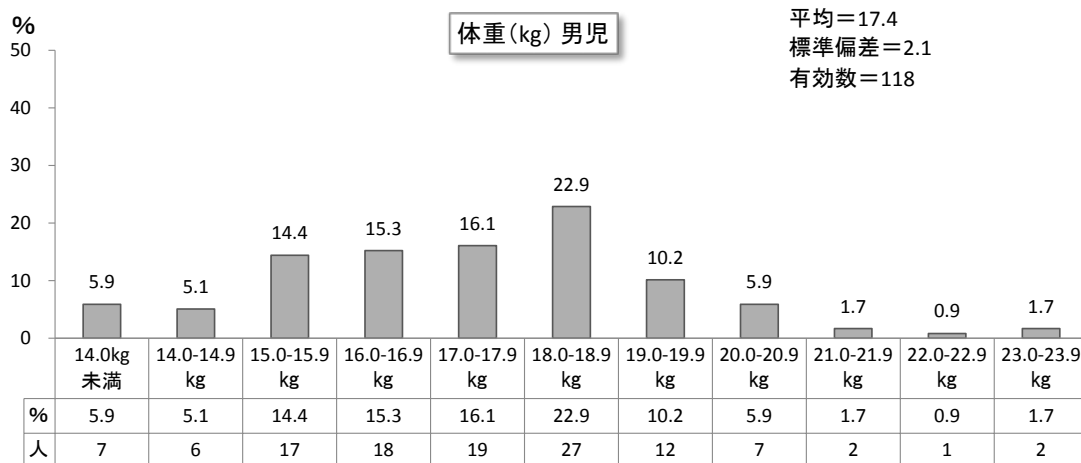
(5) 父親の年齢



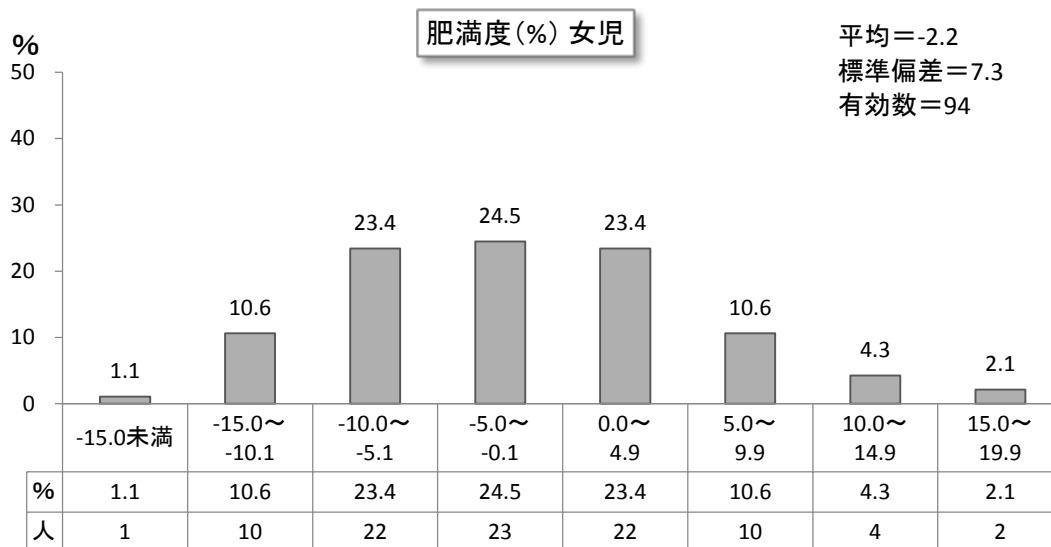
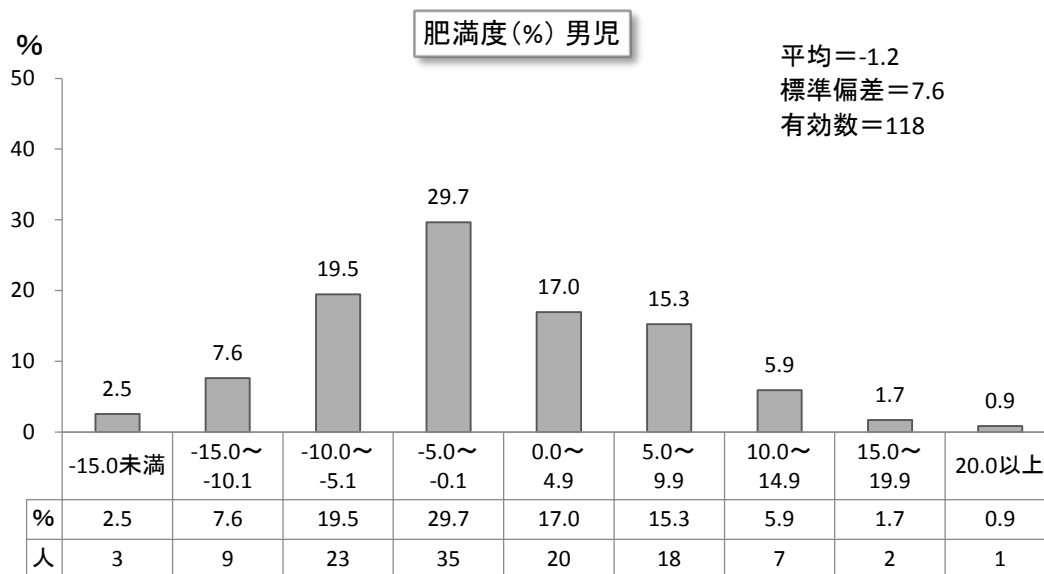
(6) 身長



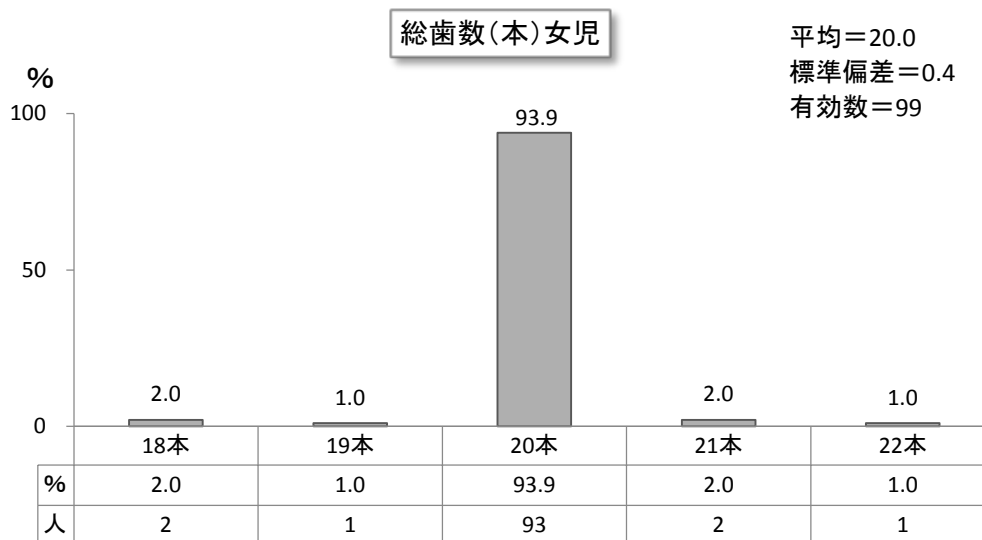
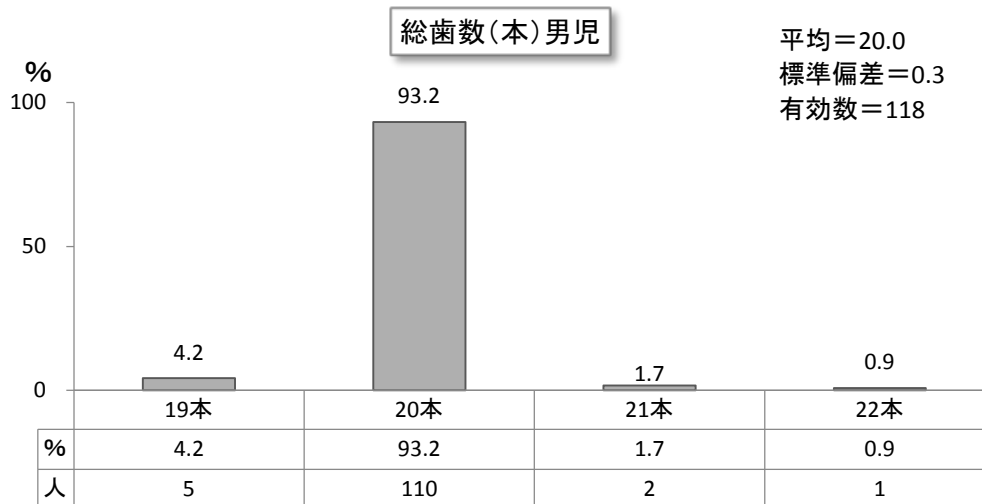
(7) 体重



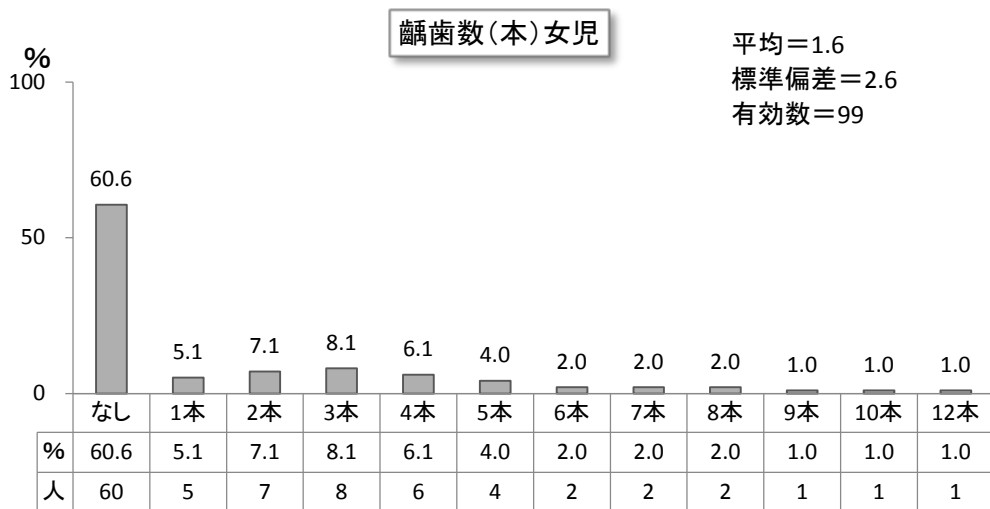
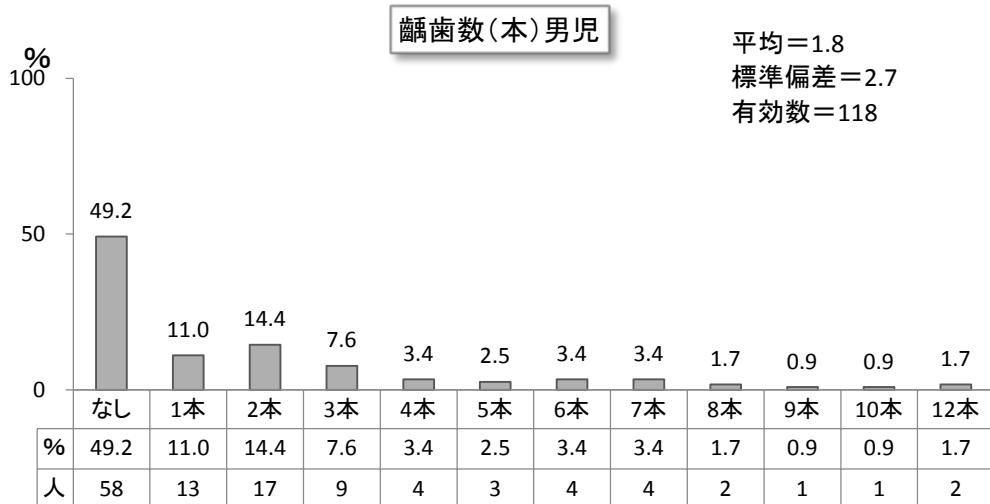
(8) 肥満度



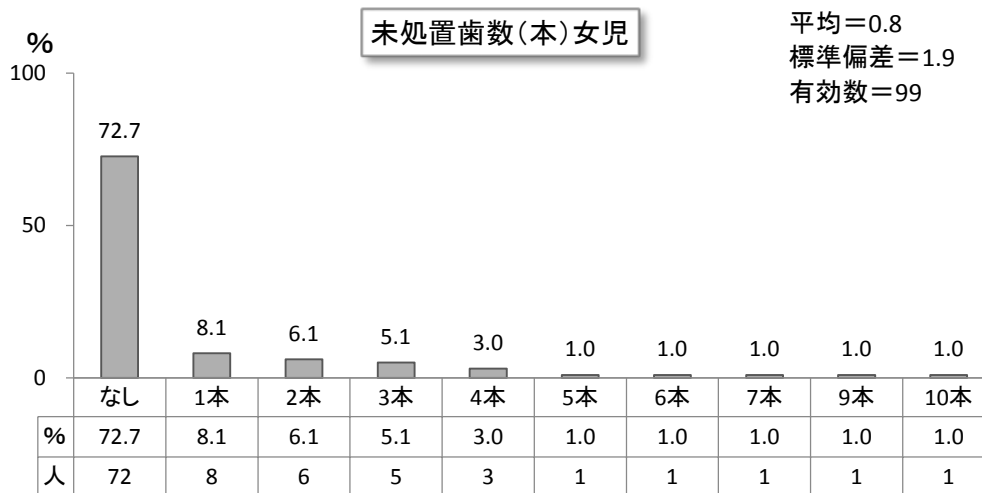
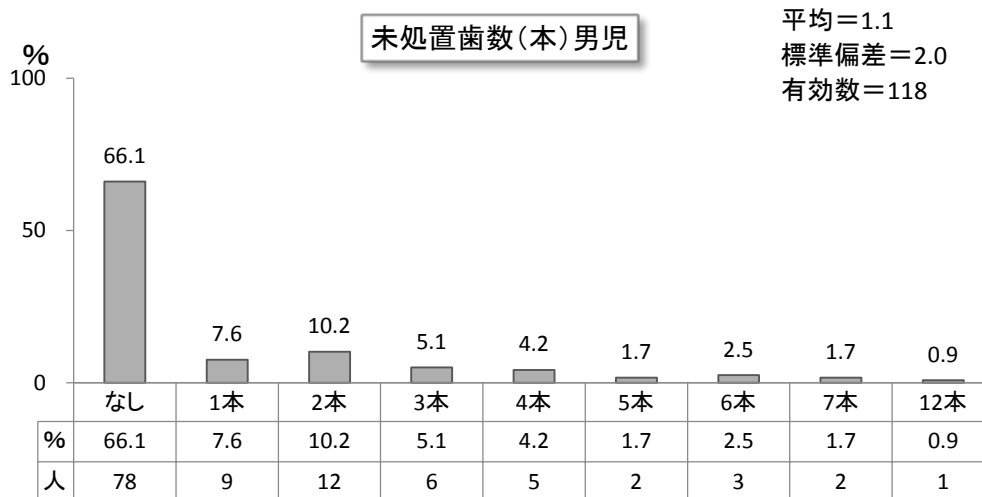
(9) 総歯数



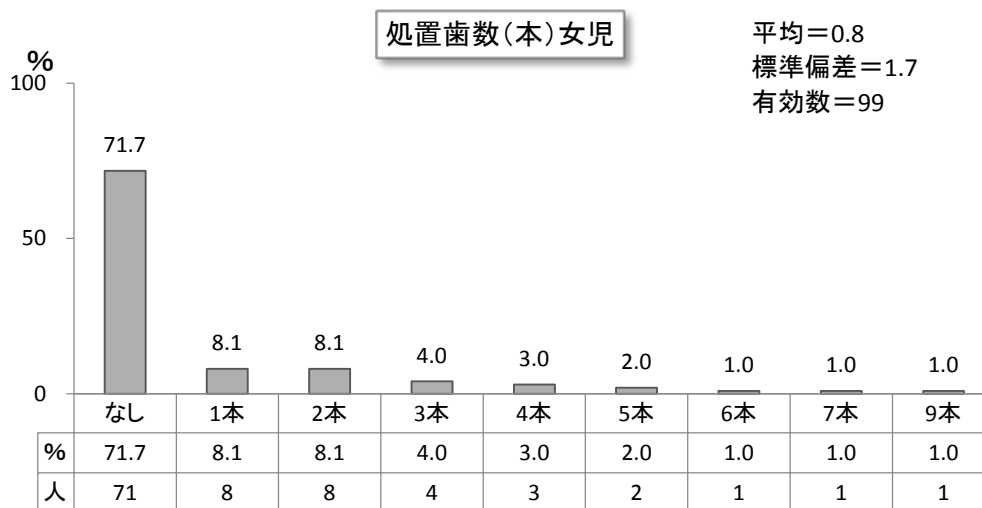
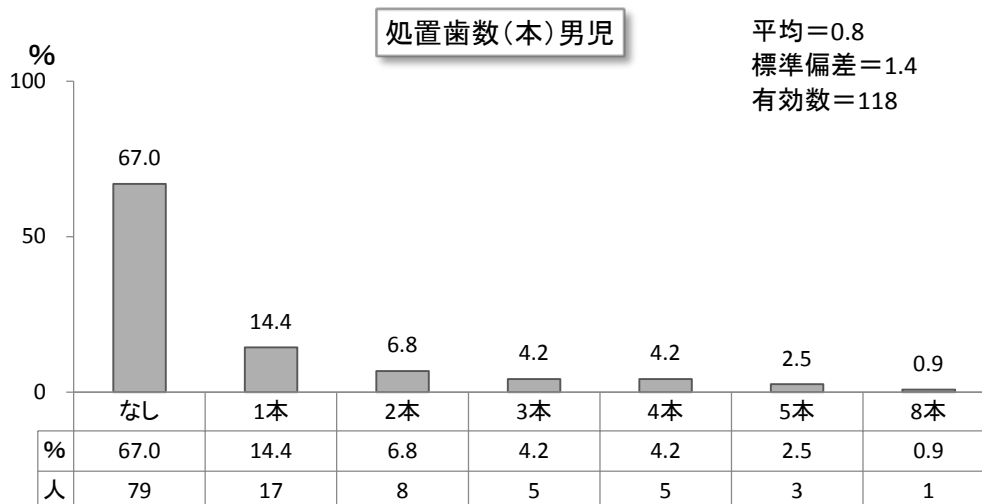
(10) 齲歯数



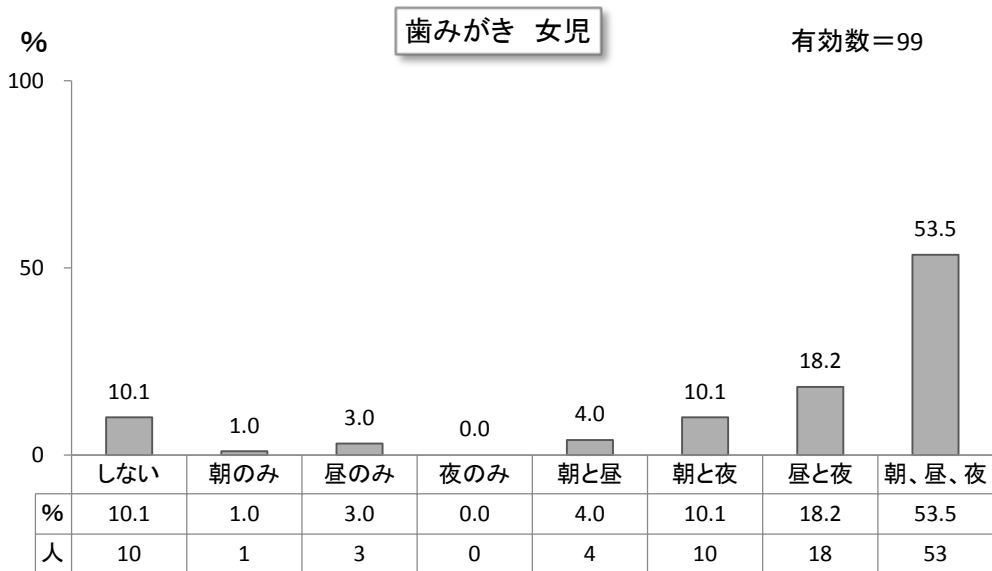
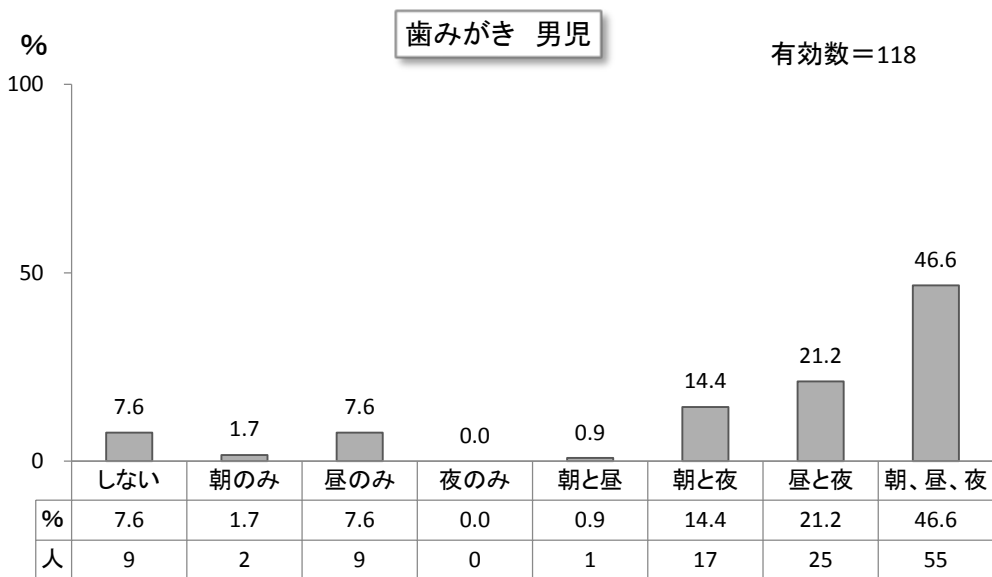
(11) 未処置歯数



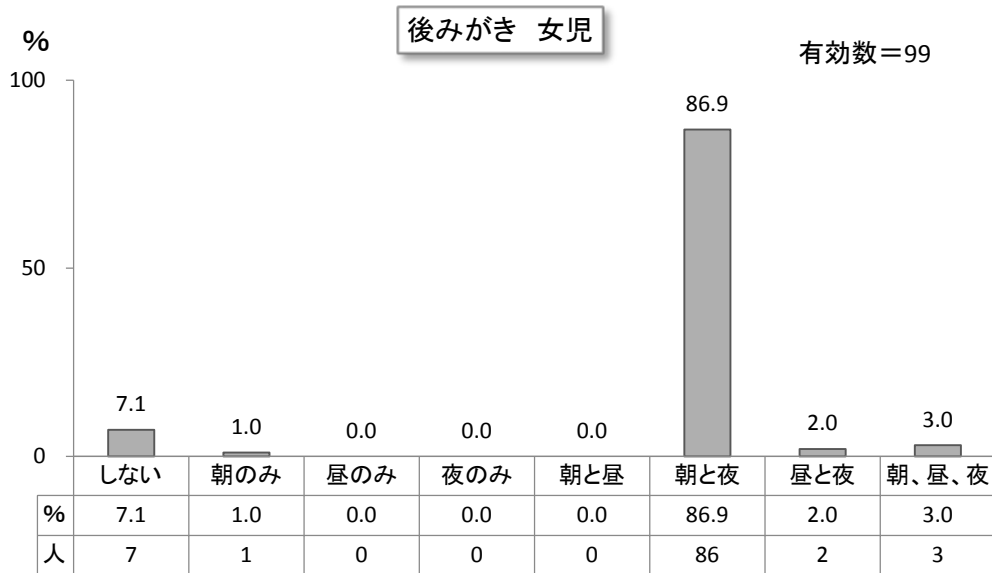
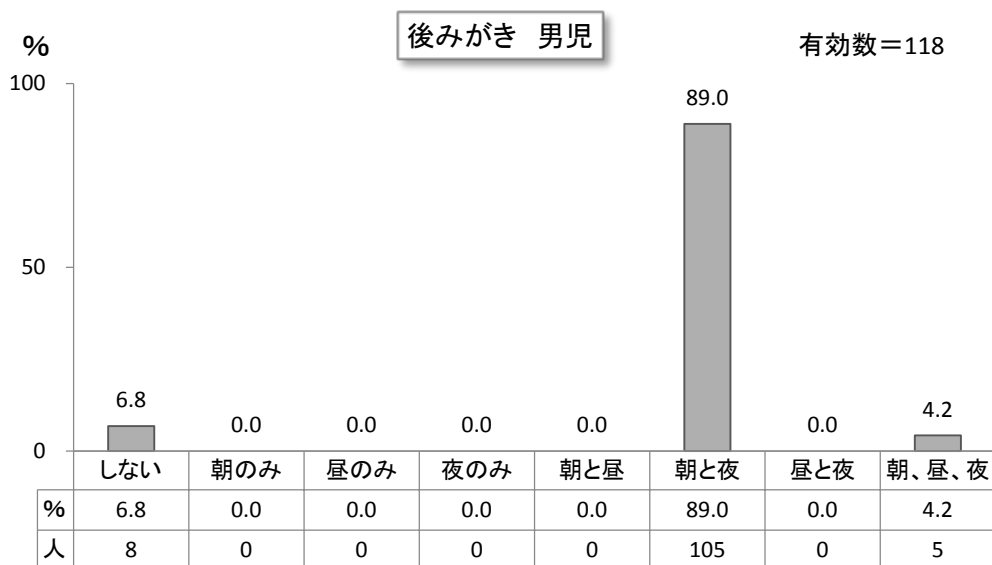
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき



(14) 後みがき



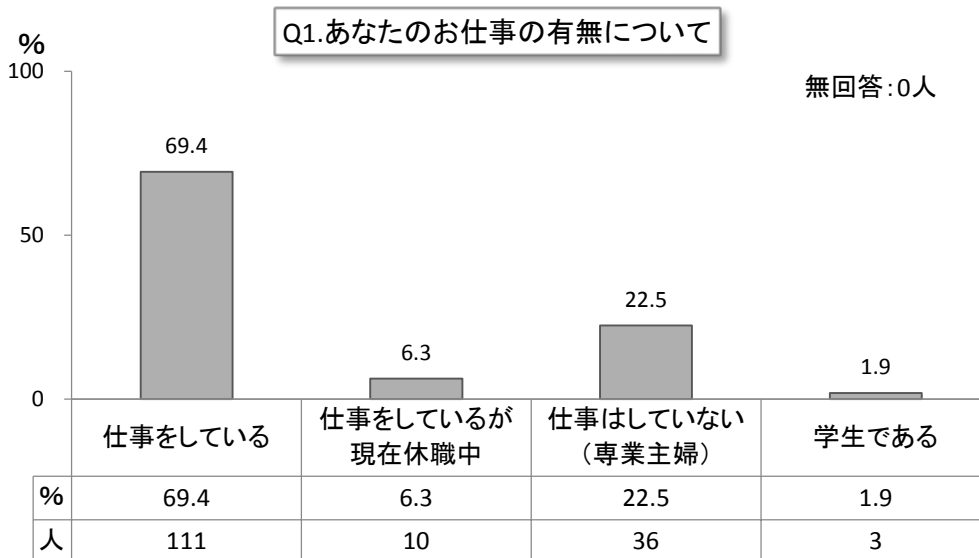
IV. 調查結果

IV-1. 母子健康手帳交付時

IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)

Q1. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

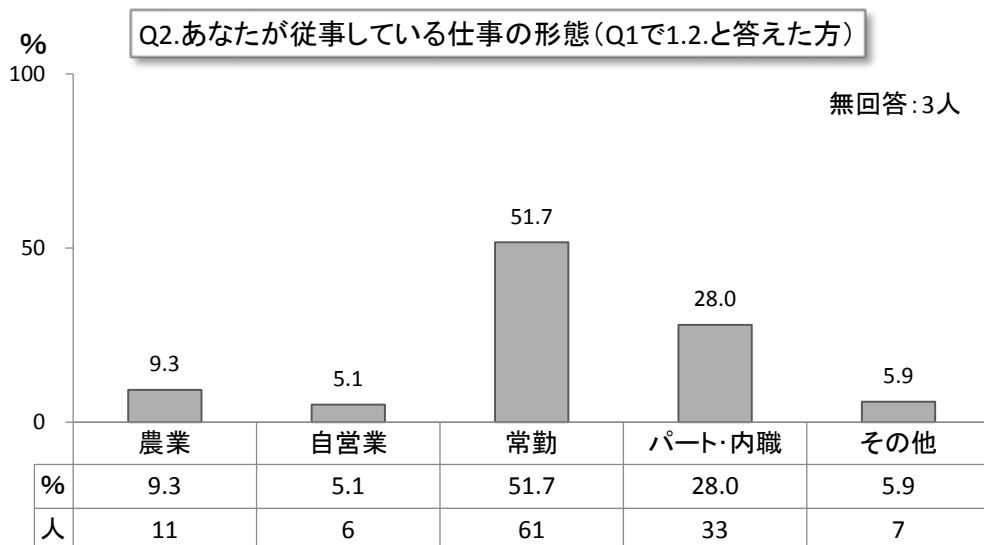
- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q3. へお進みください



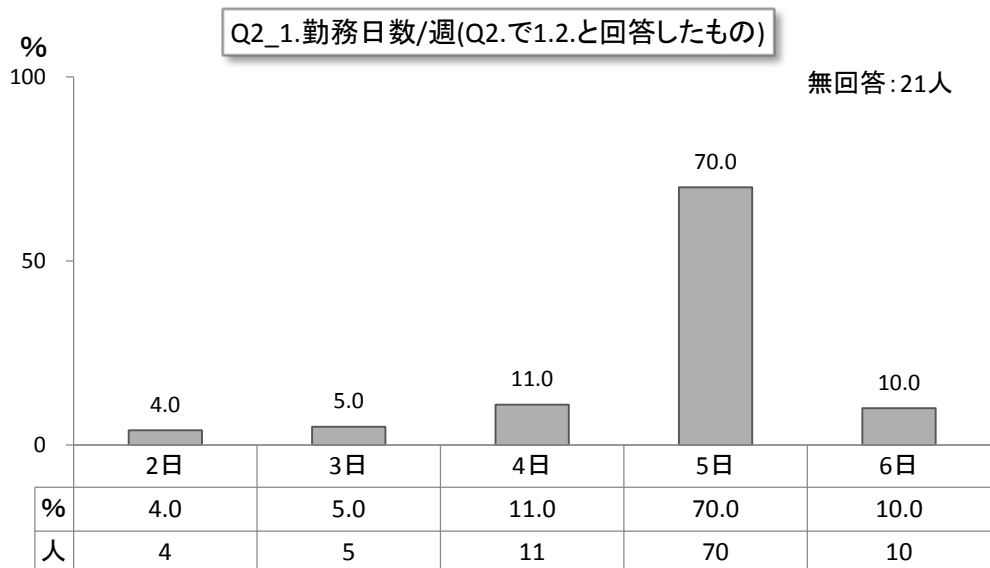
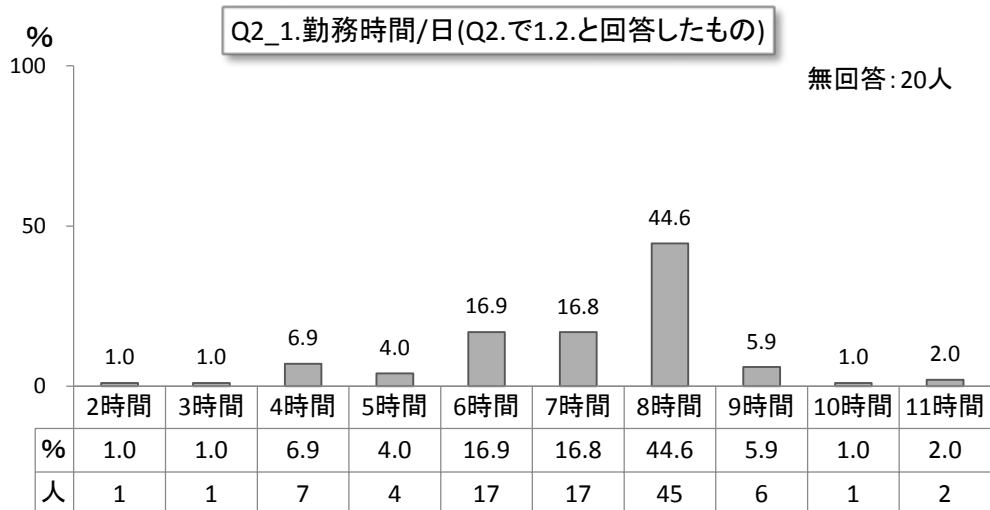
Q2. Q1で1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. その他 ()

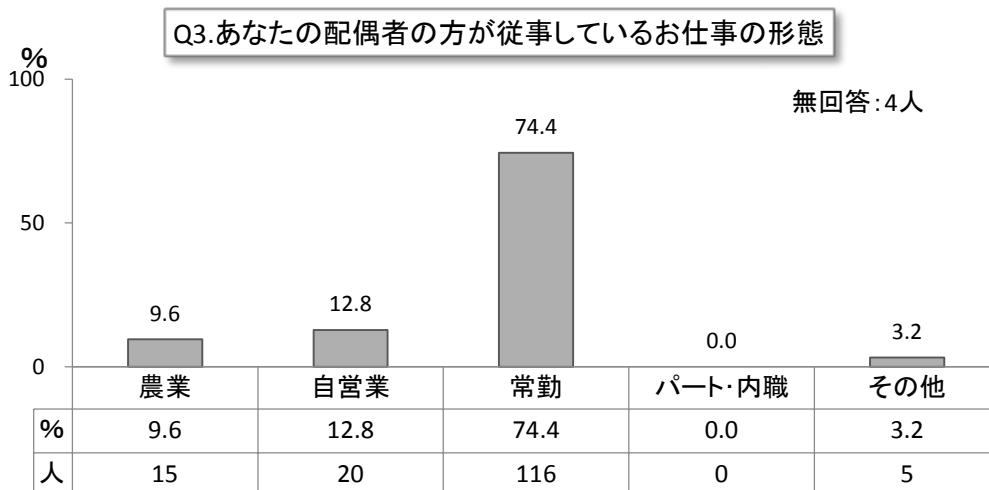


2-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

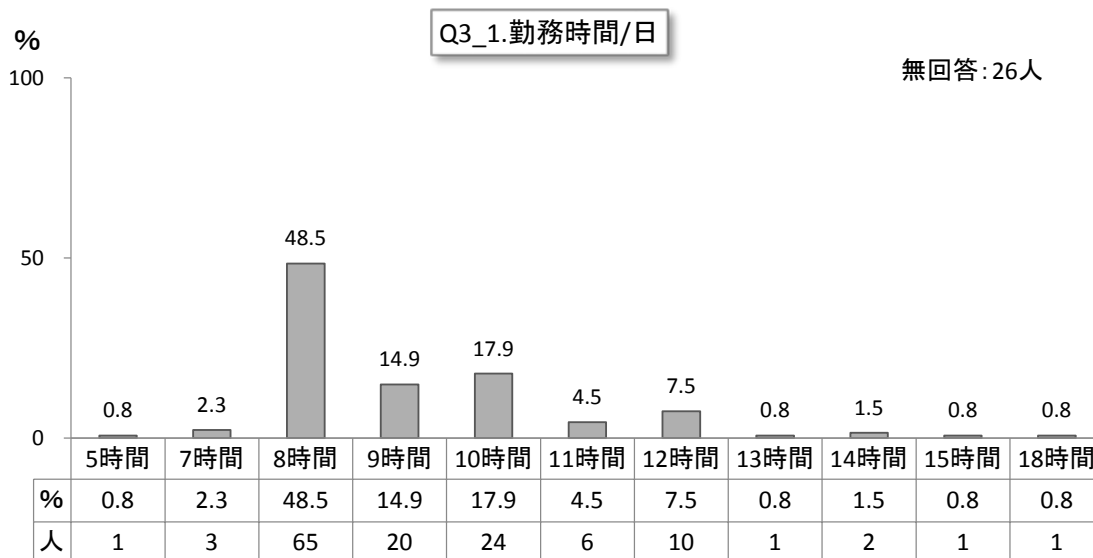


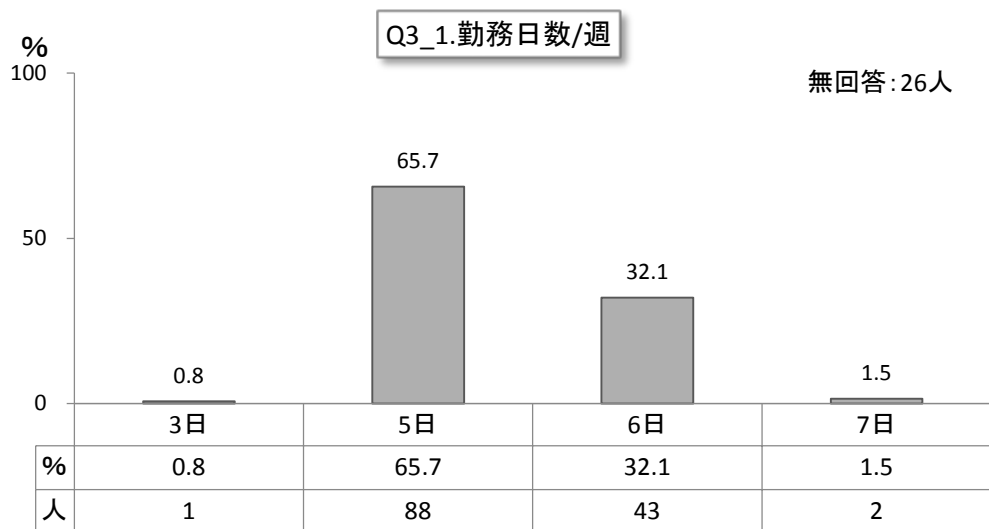
Q3. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

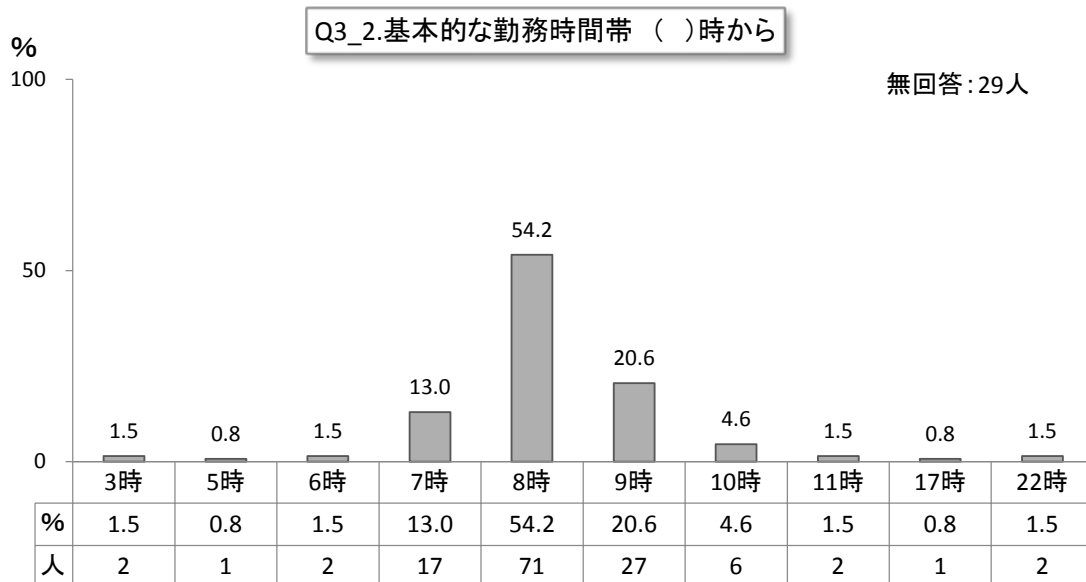


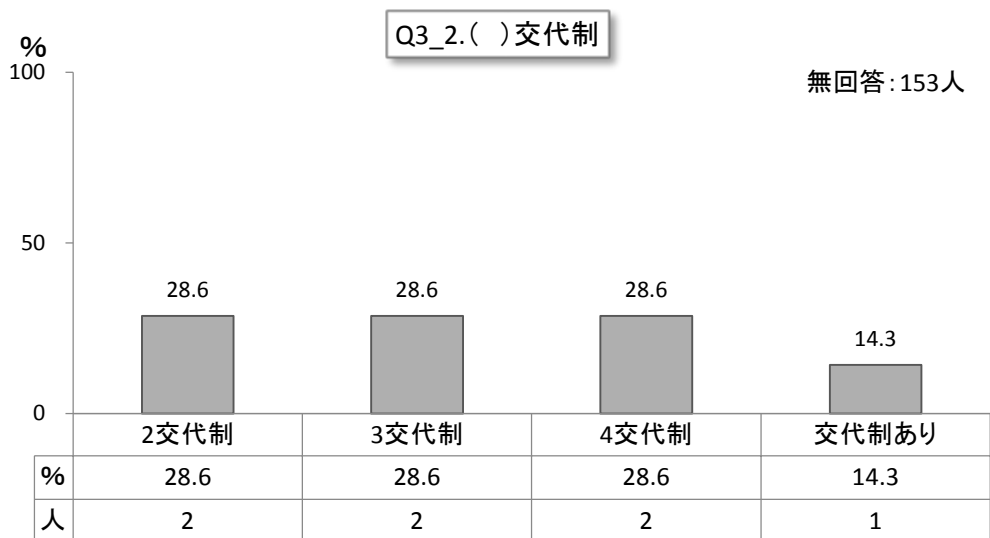
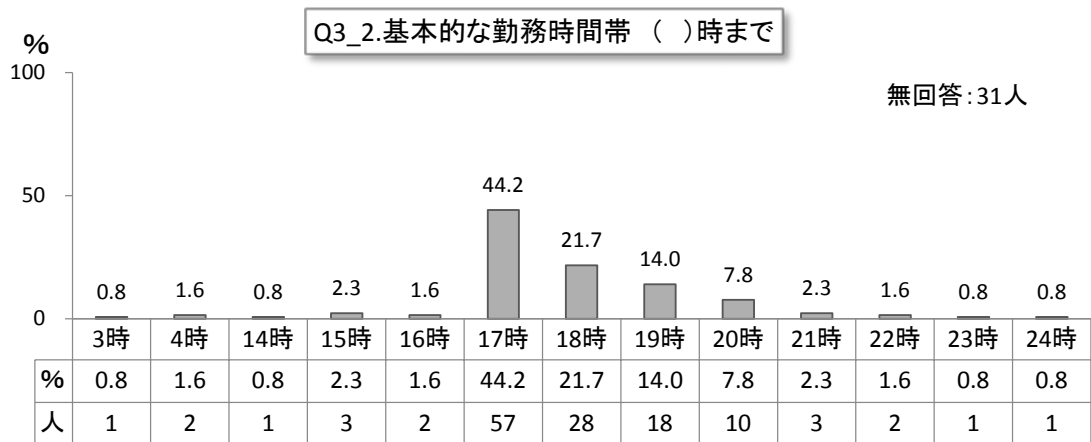
3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務





3-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制





Q4. 妊娠とわかった時の気持ちはどんなでしたか。

SQ1. あなた自身

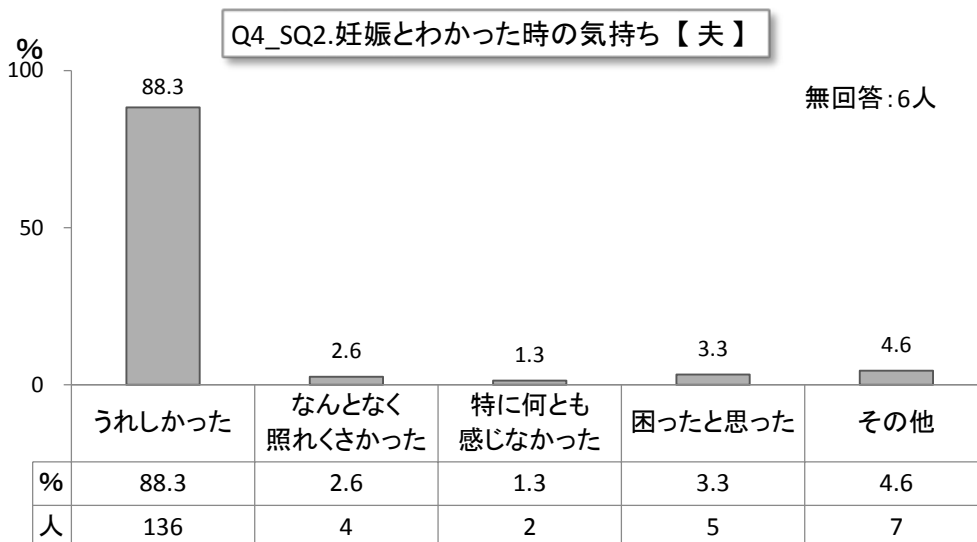
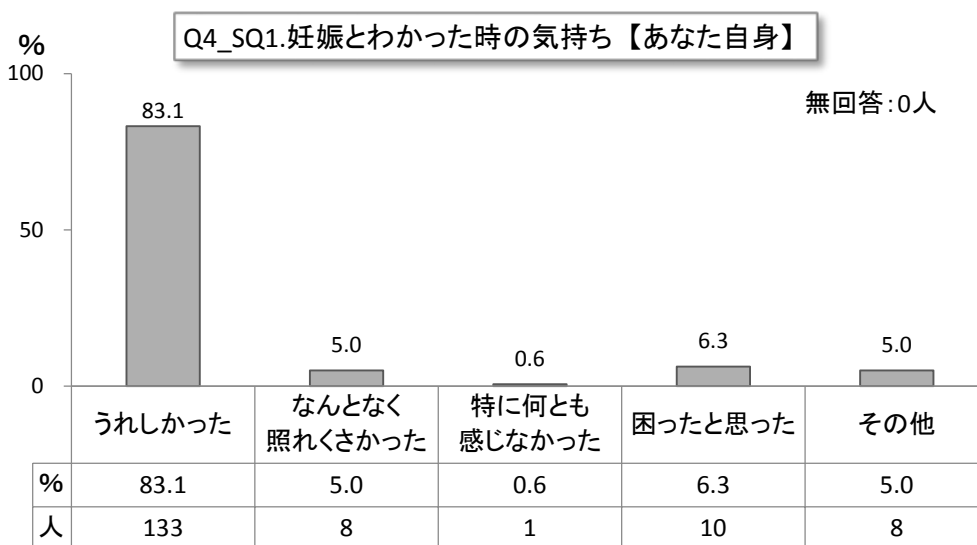


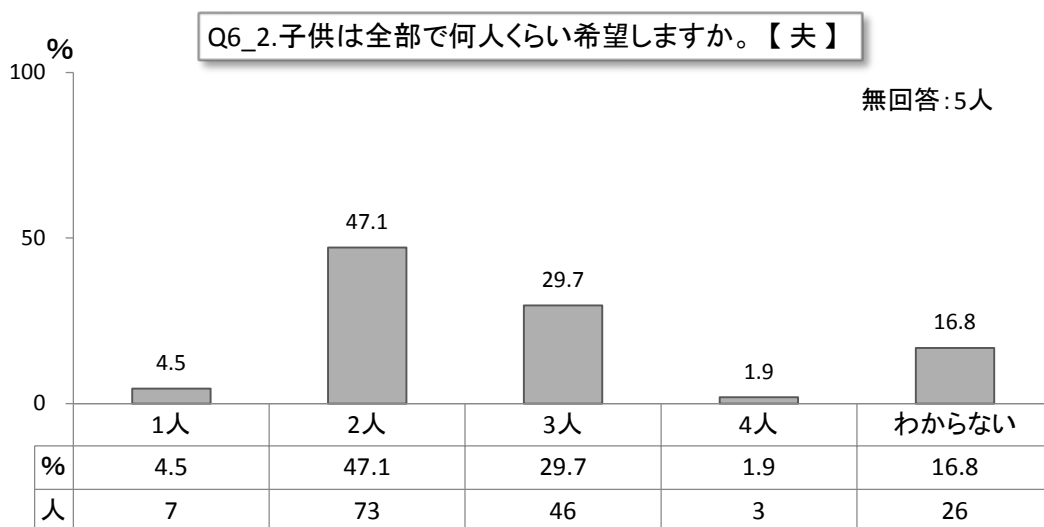
1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他 ()

SQ2. 夫



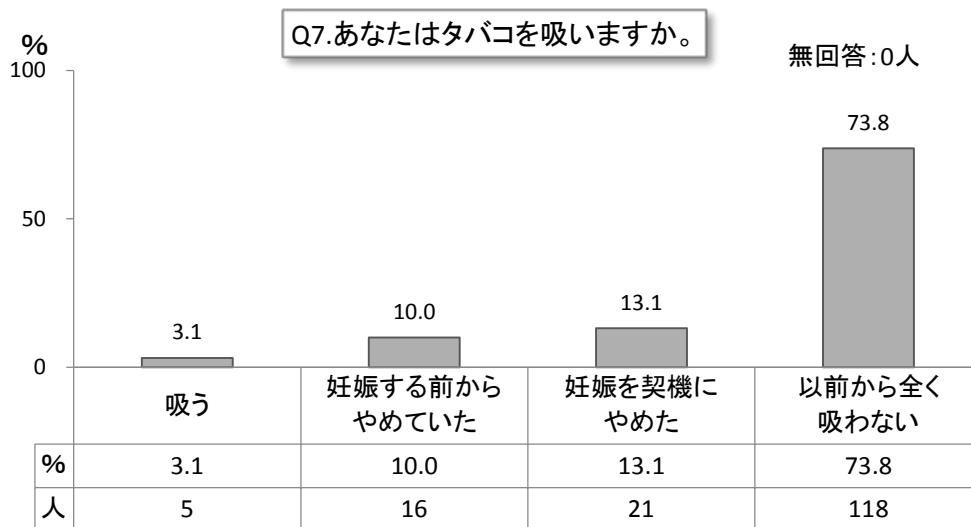
1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他 ()

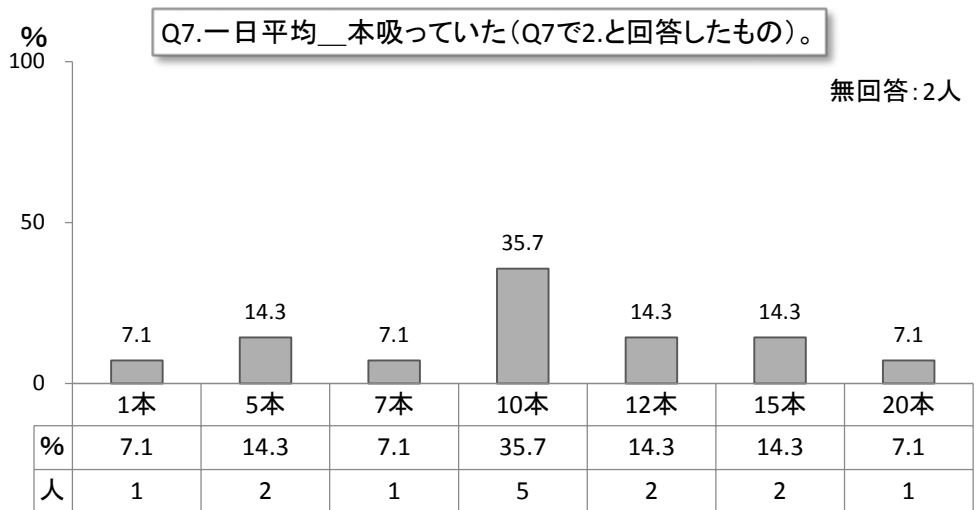
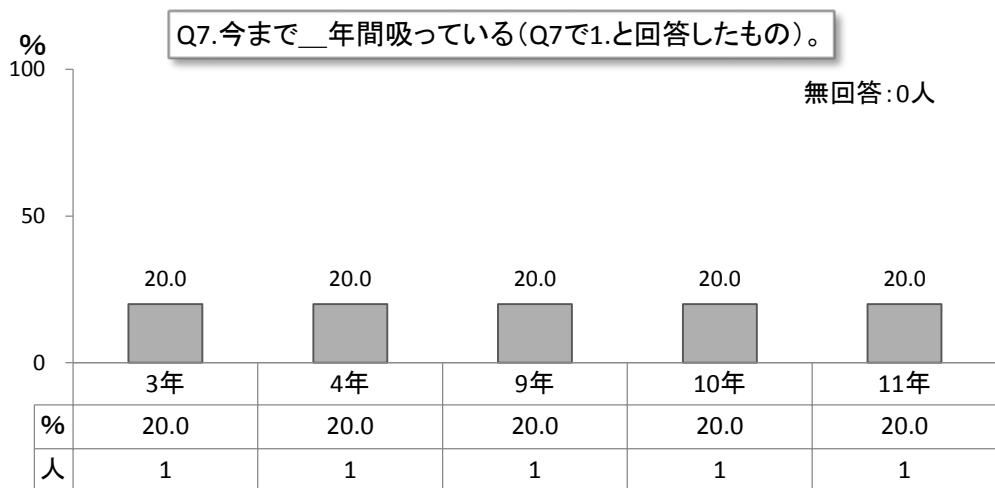
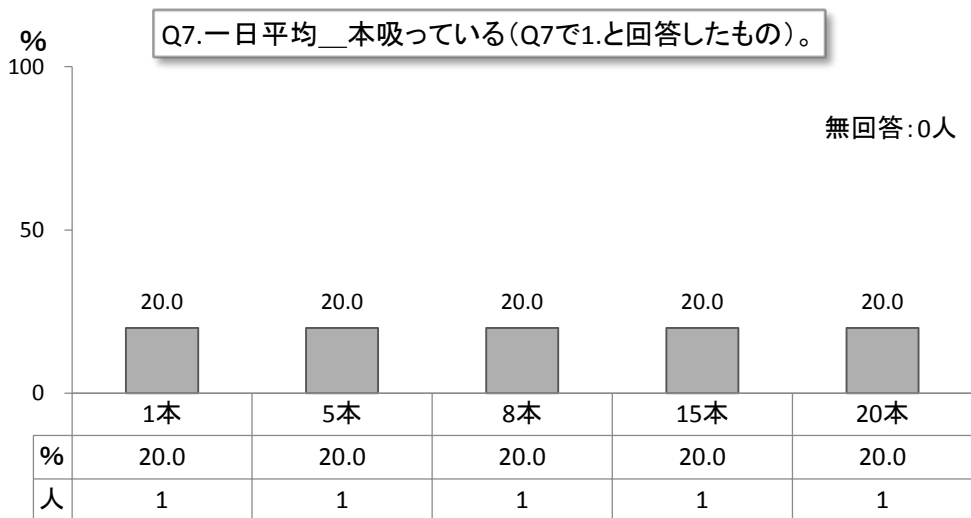


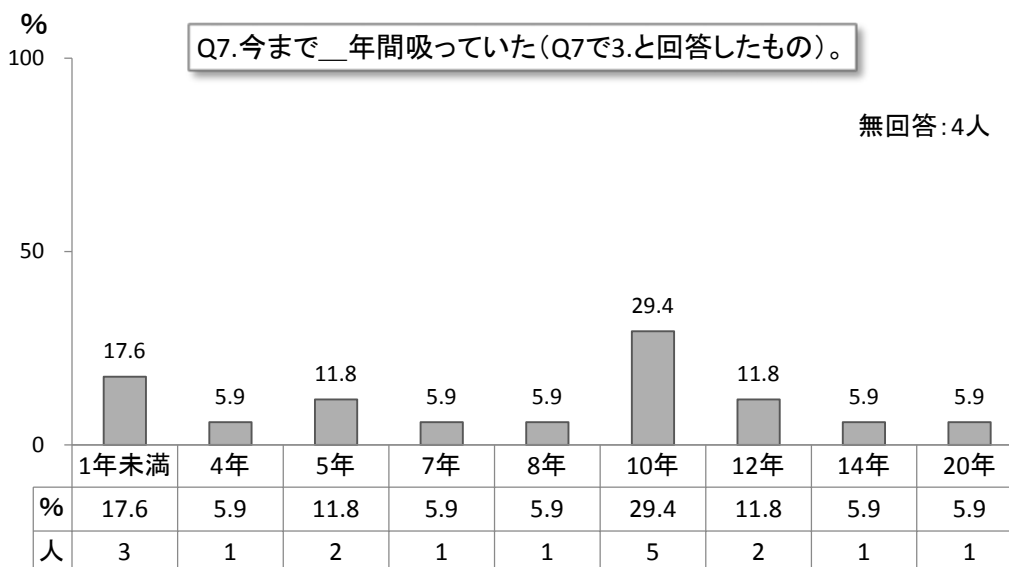
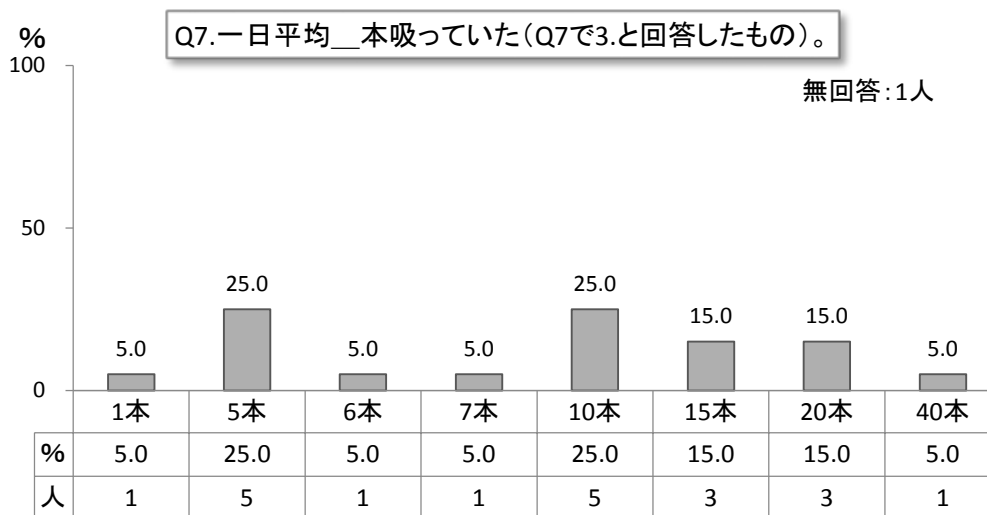
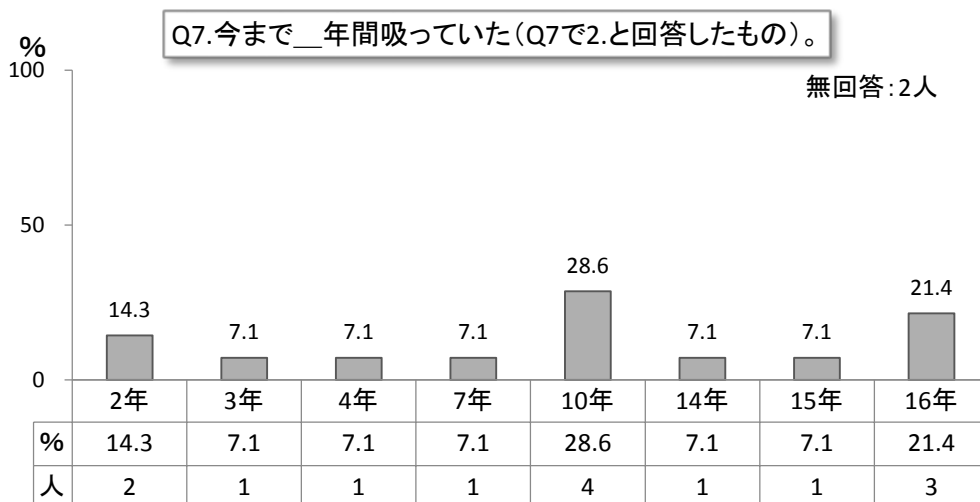


Q7. あなたはタバコを吸いますか。

1. 吸う (一日平均___本、今まで___年間吸っている)
2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均___本、今まで___年間吸った)
3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均___本、今まで___年間吸った)
4. 以前から全く吸わない



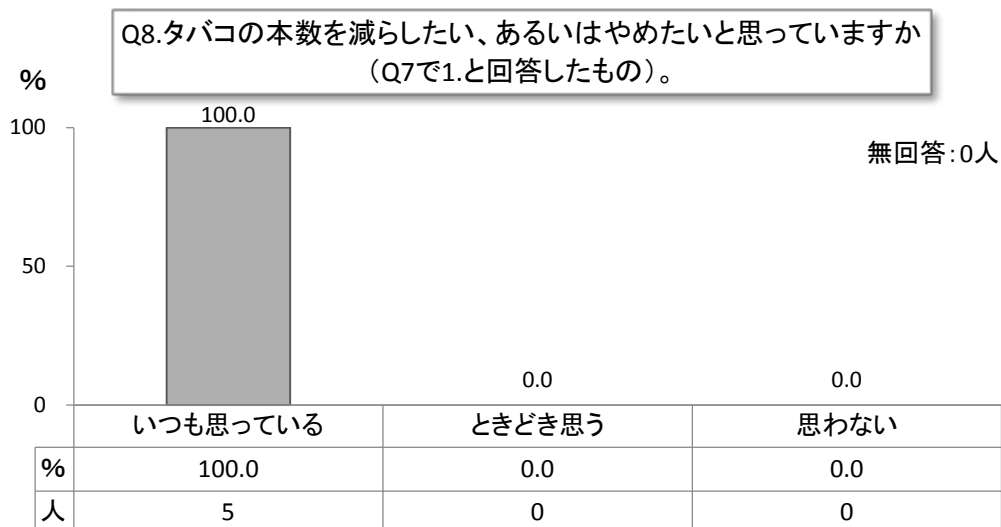




Q8. Q7で1. と答えた方のみお答えください。

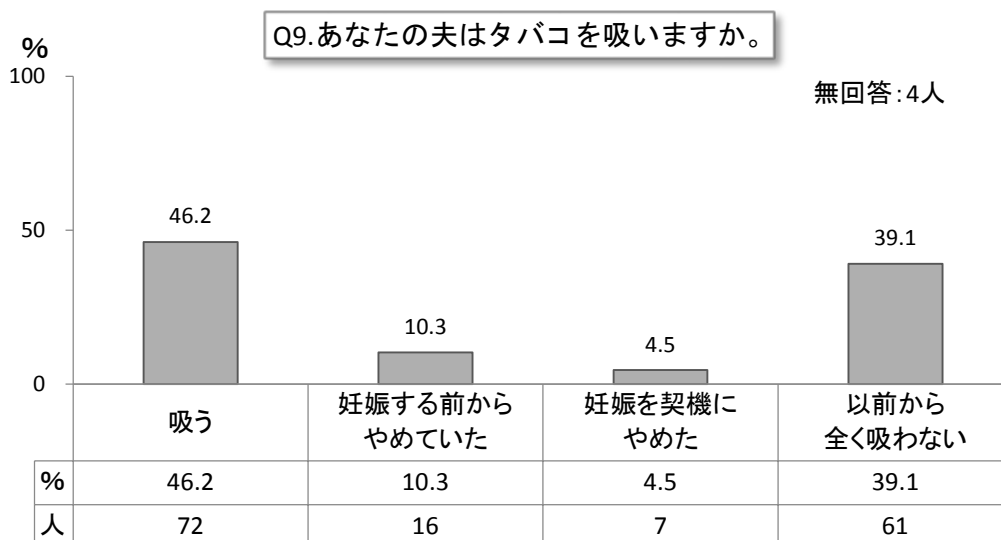
あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

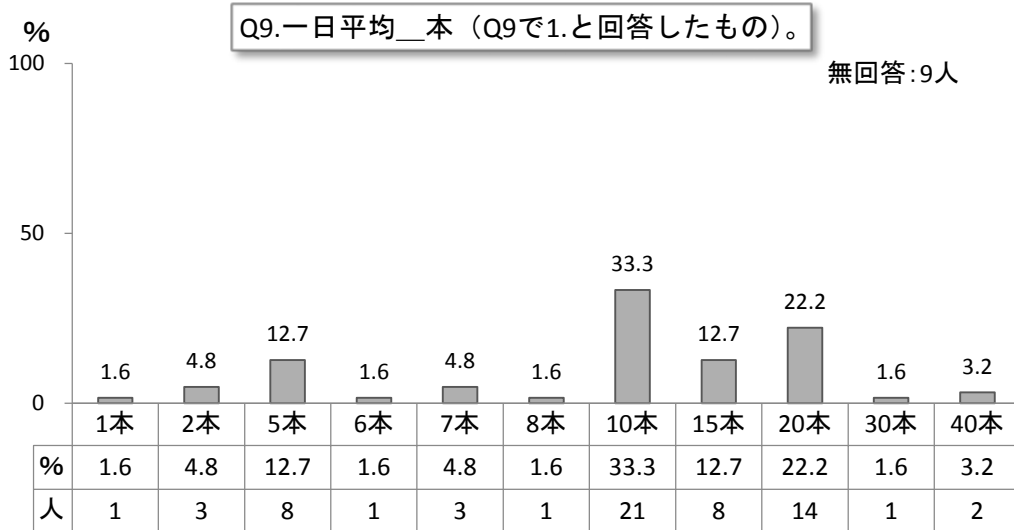
1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない



Q9. あなたの夫はタバコを吸いますか。

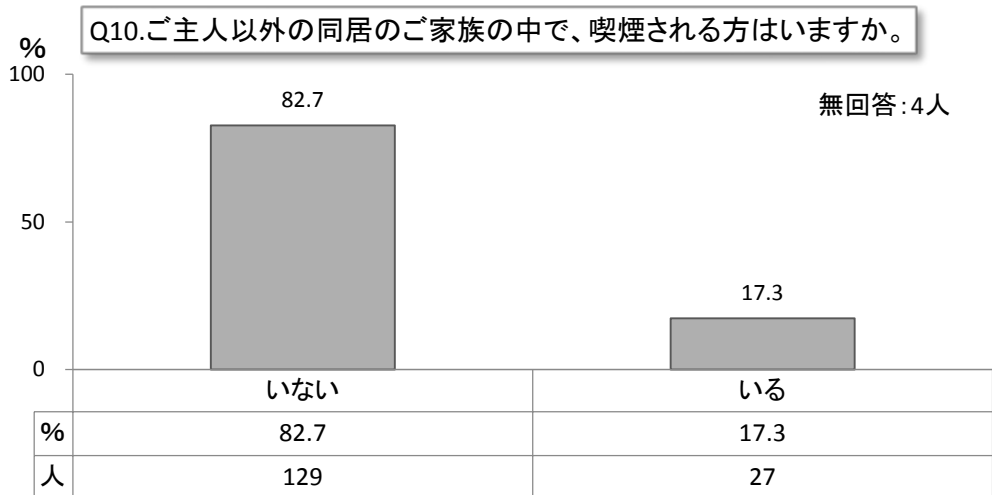
1. 吸う (一日平均___本)
2. 妊娠する前からやめていた
3. 妊娠を契機にやめた
4. 以前から全く吸わない





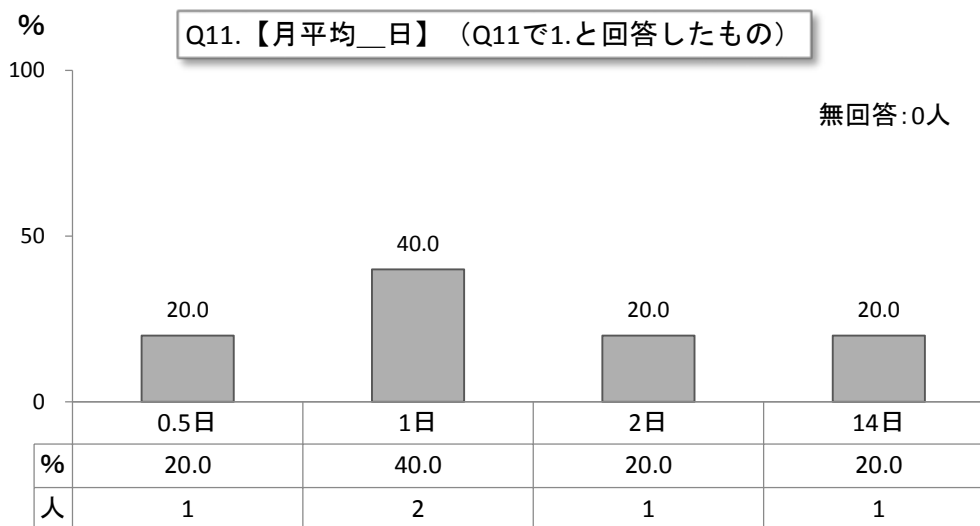
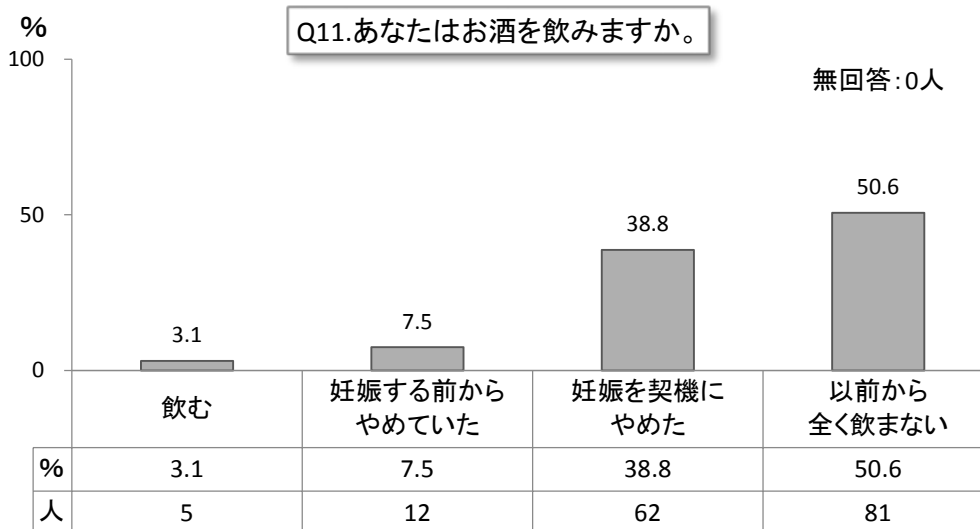
Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙される方はいますか。

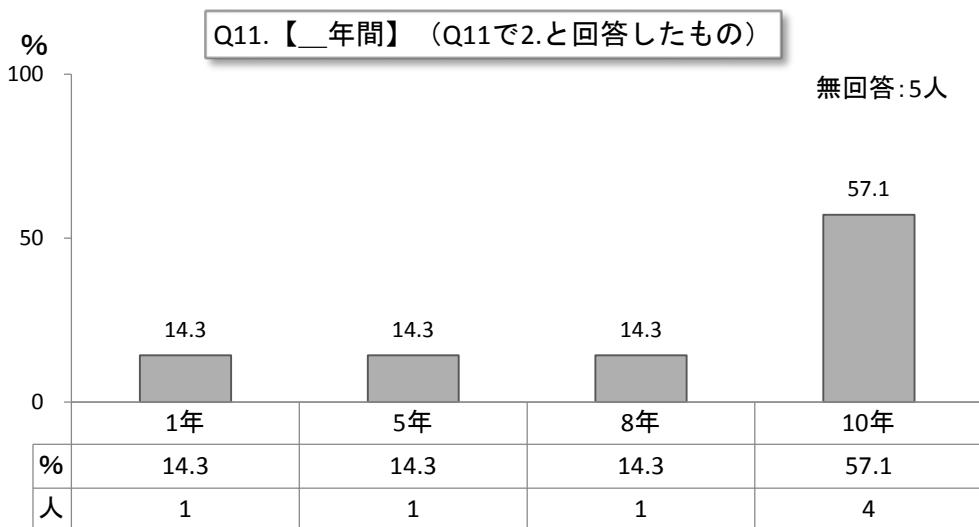
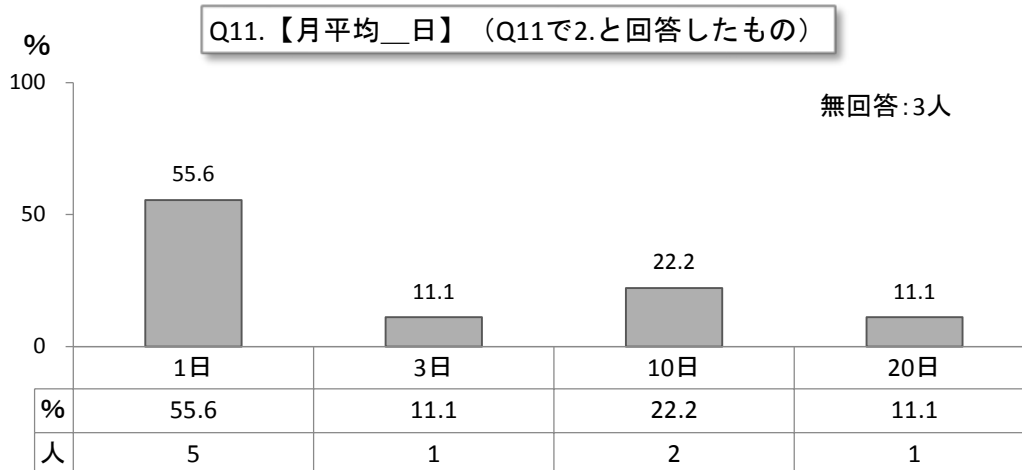
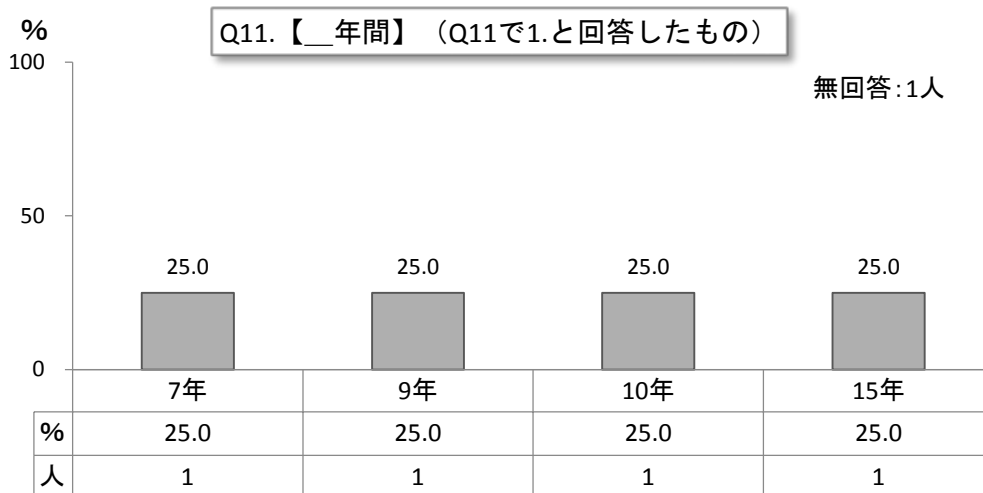
1. いない 2. いる (どなたですか? :)



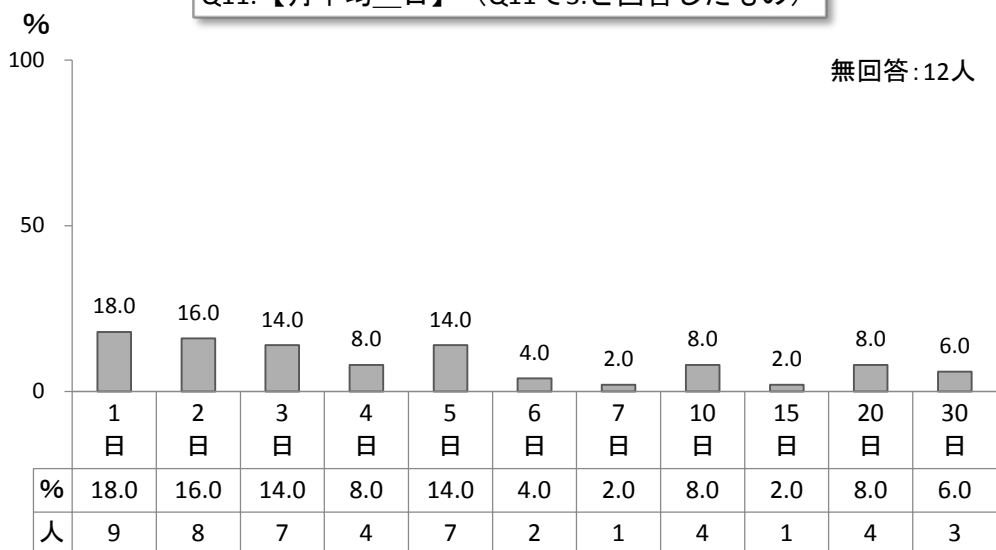
Q11. あなたはお酒を飲みますか。

1. 飲む (月平均__日、__年間飲んでいる)
2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均__日、__年間飲んでいた)
3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均__日、__年間飲んでいた)
4. 以前から全く飲まない

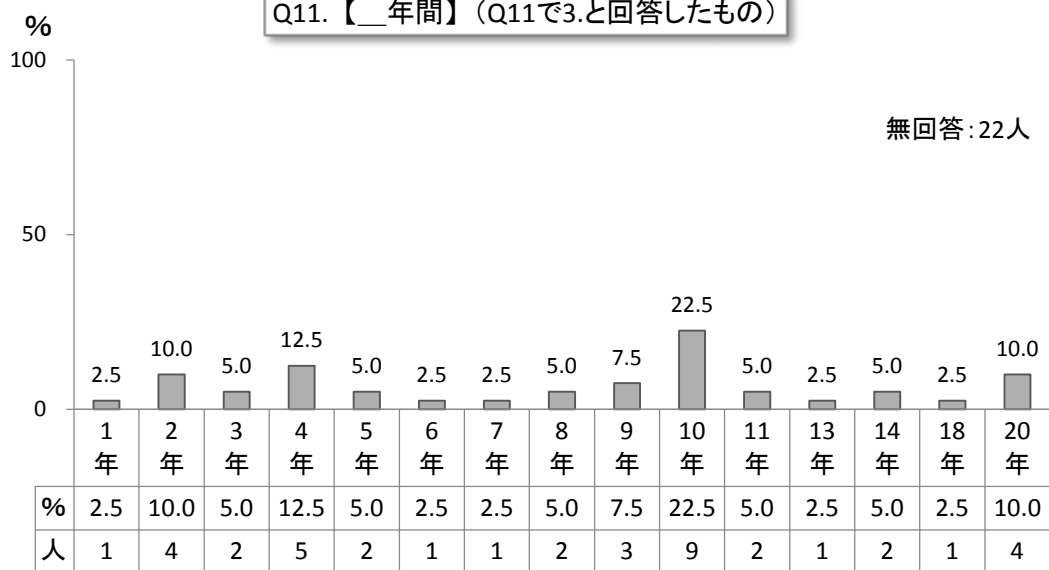




Q11. 【月平均__日】 (Q11で3.と回答したもの)



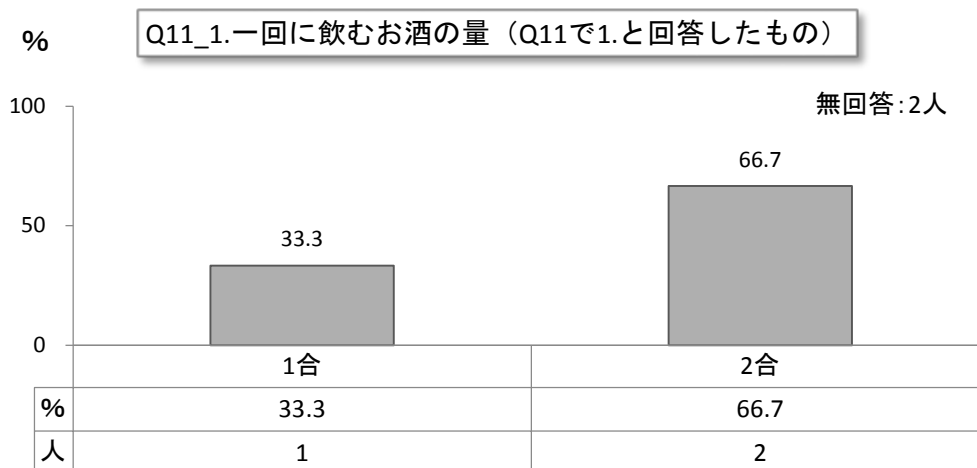
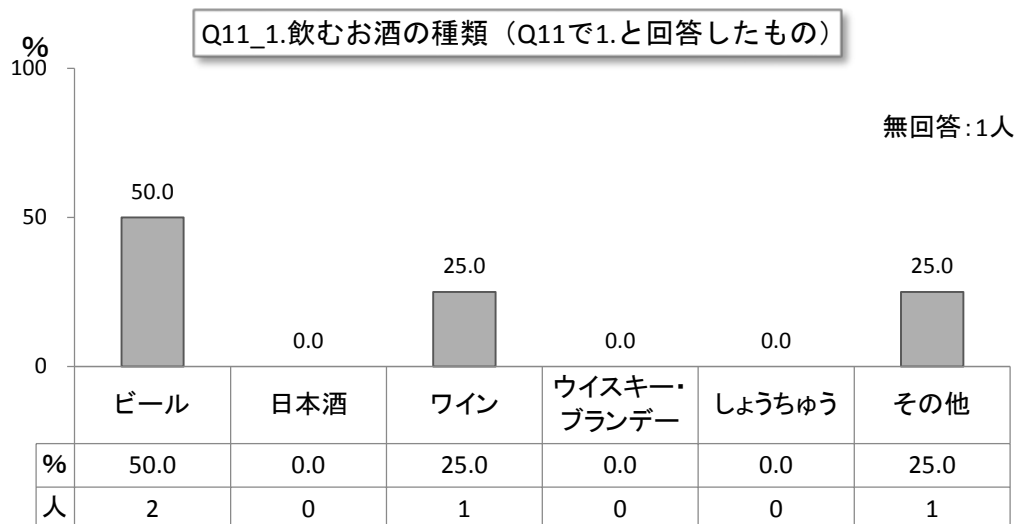
Q11. 【__年間】 (Q11で3.と回答したもの)



(Q11で1と答えた方のみお答えください。)

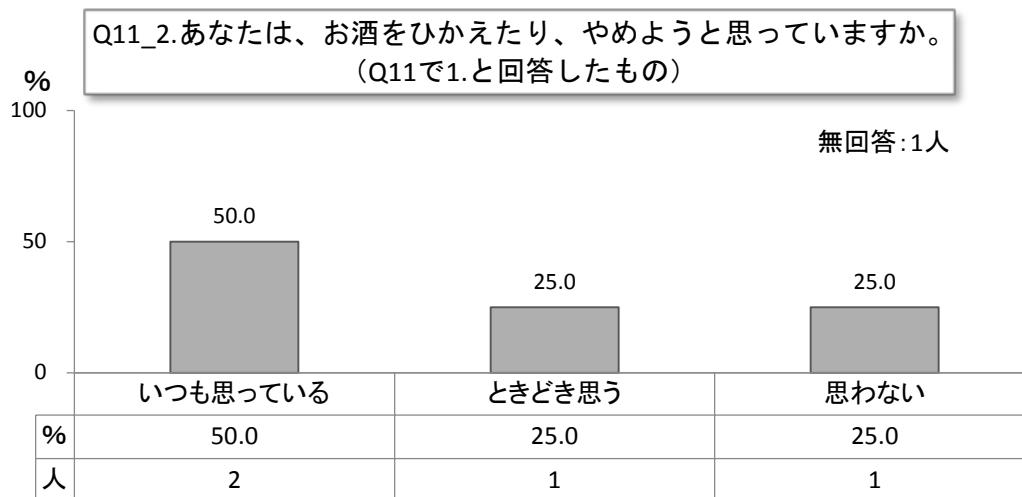
11-1. 飲むお酒の種類は何ですか。一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

1. ビール (大びん__本) 2. 日本酒 (__合) 3. ワイン (__合)
 4. ウイスキー・ブランデー (水割り__杯) 5. しょうちゅう (水割り等__杯)
 6. その他 ()



11-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない

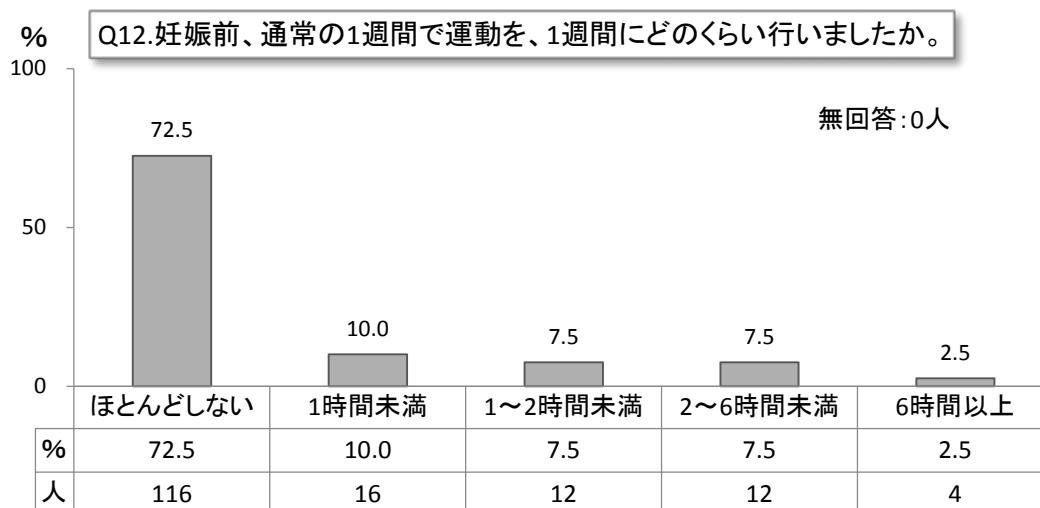


Q12. 妊娠前、通常の1週間で運動（体力の維持・向上を目的として、計画的・意図的に実施するウォーキングやスポーツなど）を1週間にどのくらい行いましたか。

1. ほとんどしない 2. 1時間未満 3. 1～2時間未満
4. 2～6時間未満 5. 6時間以上

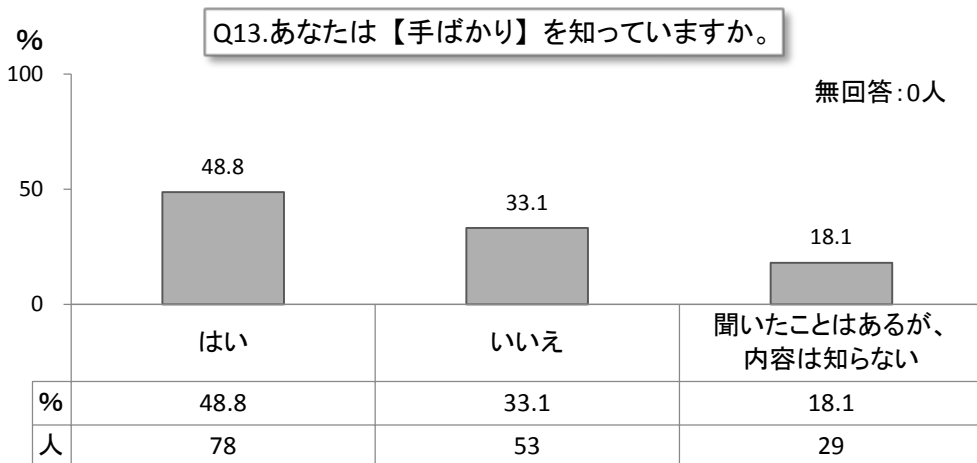
12-1. 行っているという方はどのような内容ですか。具体的にお書きください。

()



Q13. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

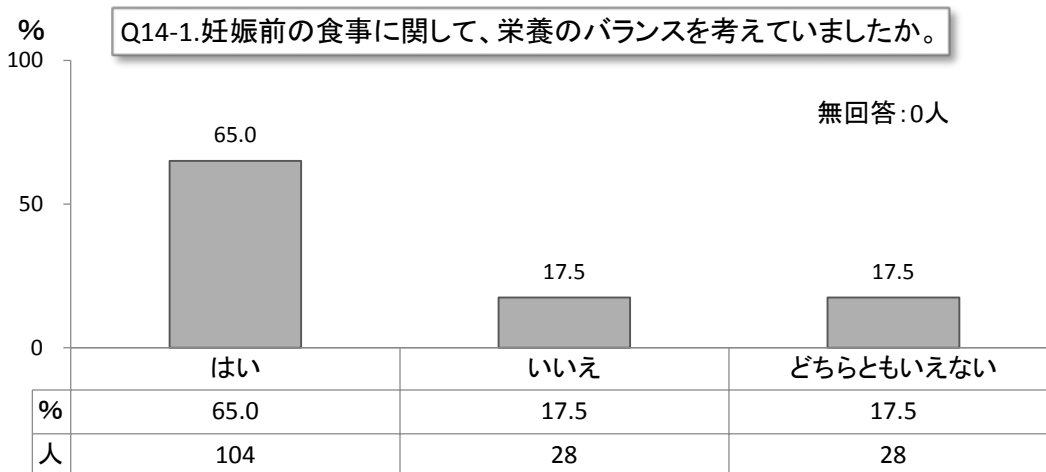


Q14. 妊娠前の食事に関してうかがいます。

※妊娠前とは、おおよそ妊娠する1年間くらい前までのこととお考えください。

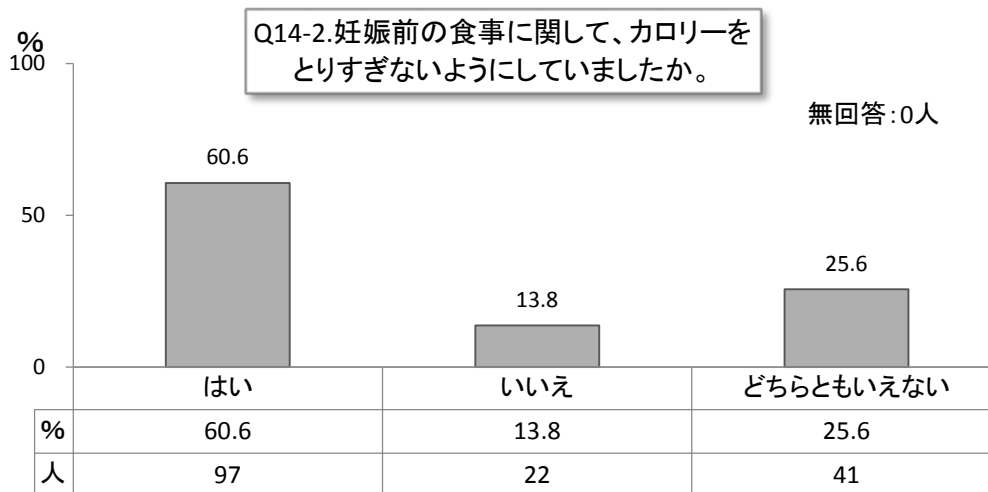
14-1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. は い 2. いいえ 3. どちらともいえない



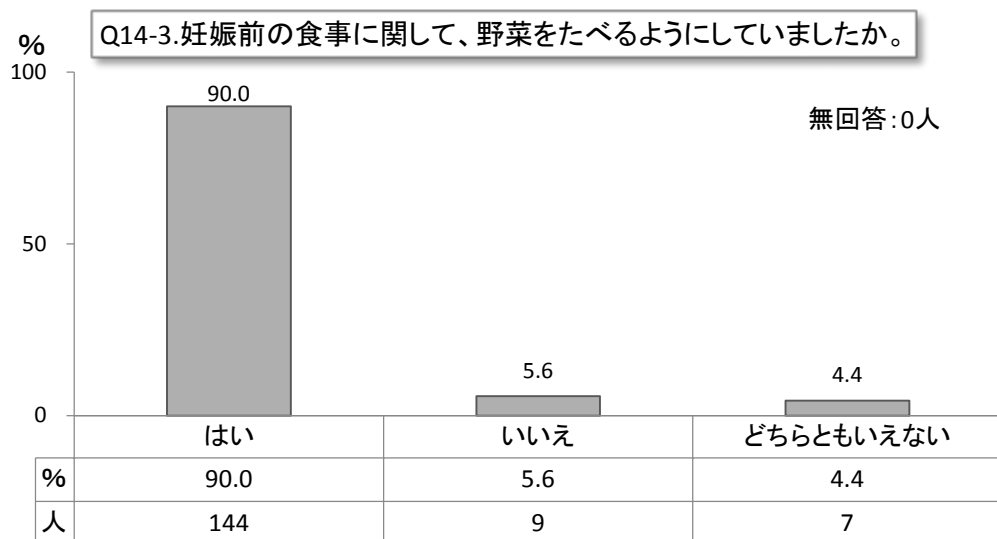
14-2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



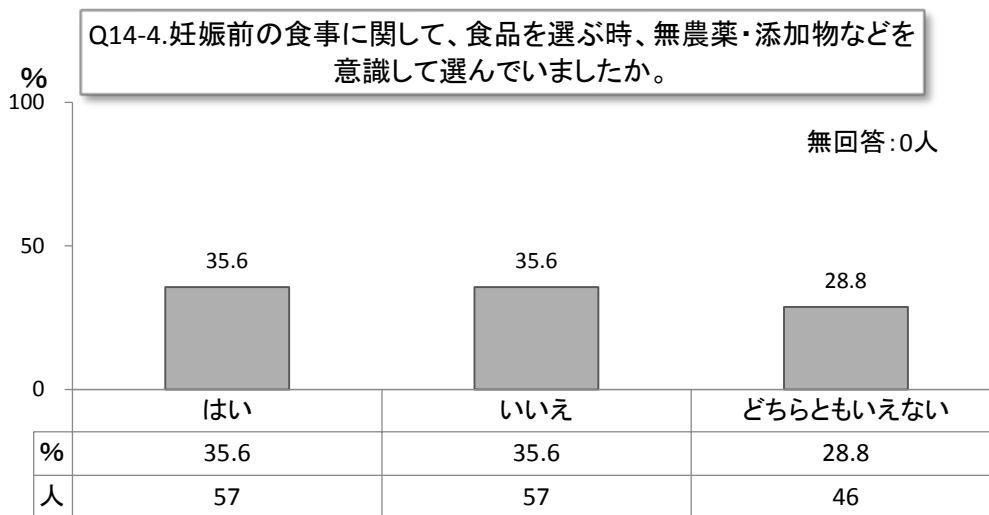
14-3. 野菜を食べるようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



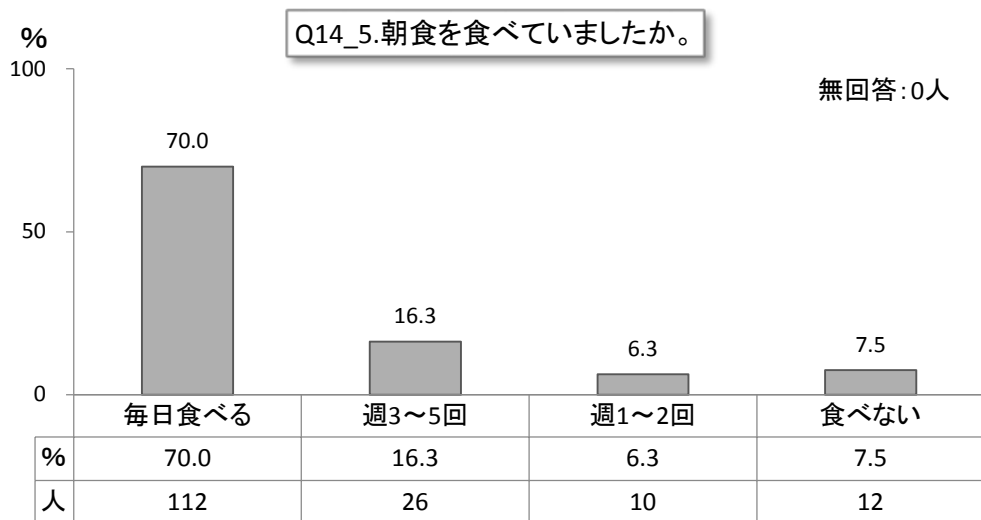
14-4. 食品を選ぶ時、無農薬・添加物などを意識して選んでいましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



14-5. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる 2. 週3~5回 3. 週1~2回 4. 食べない



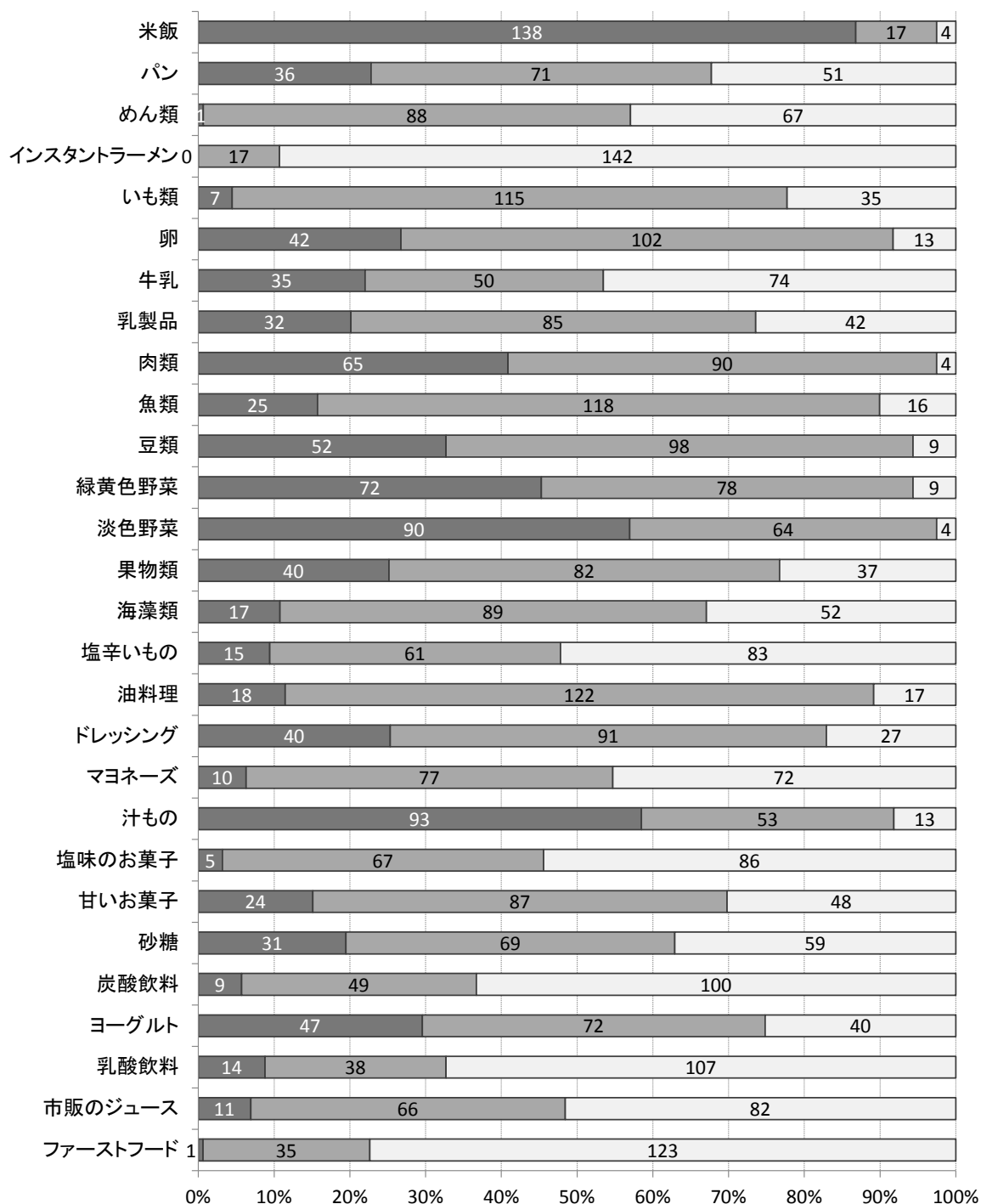
Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。

当てはまる箇所に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

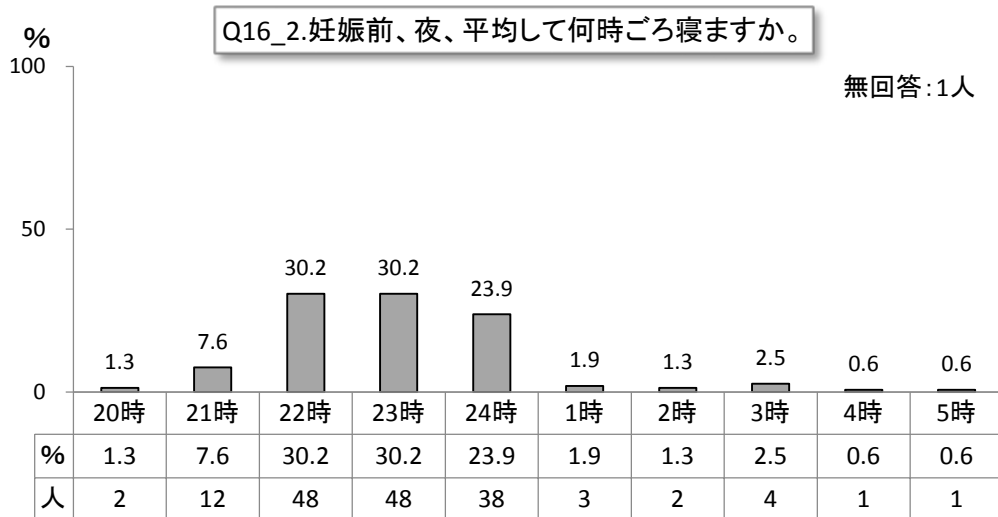
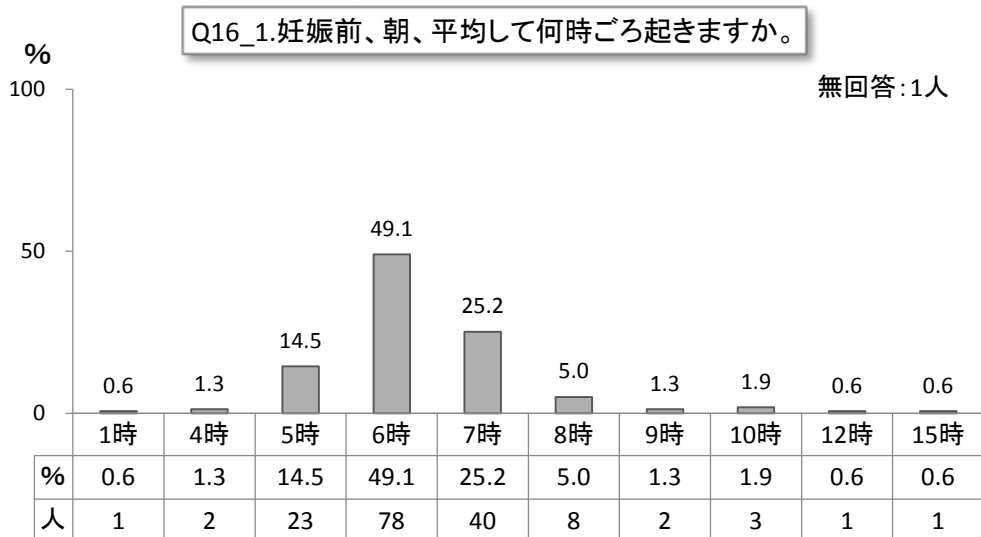
Q15.妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。

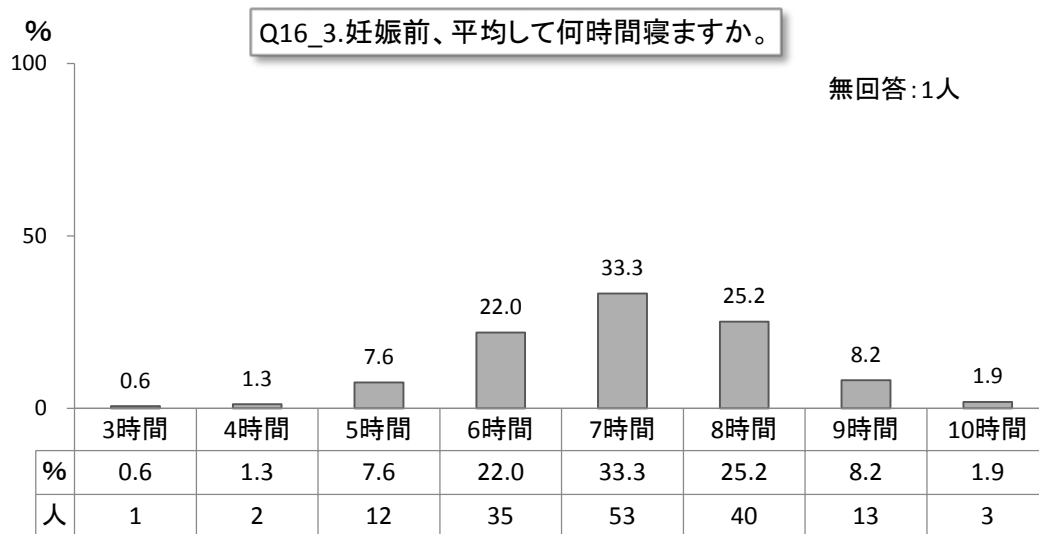
■ほとんど毎日 ■週3回位 □ほとんどとらない



Q16. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝時間についてうかがいます。

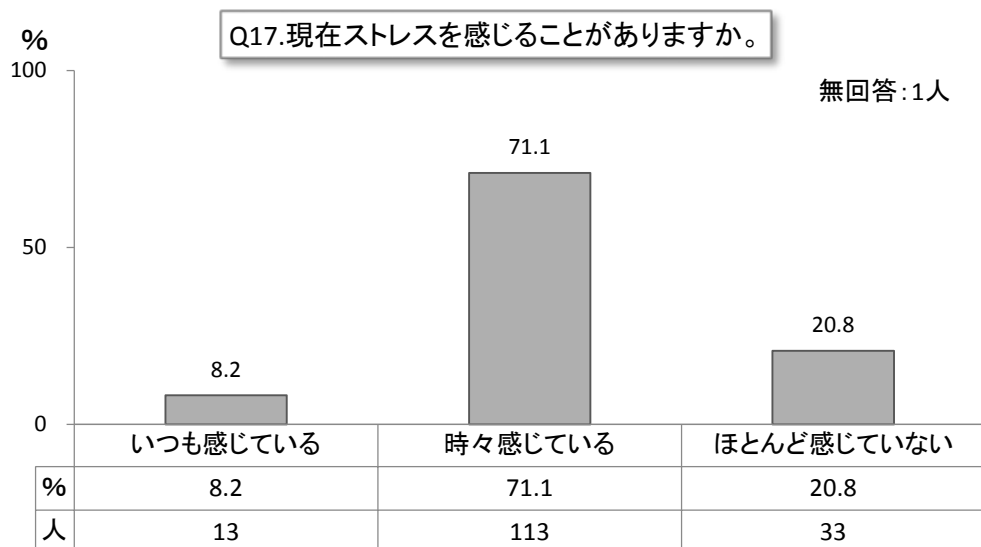
1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時ころ
3. 平均して何時間寝ますか () 時間位





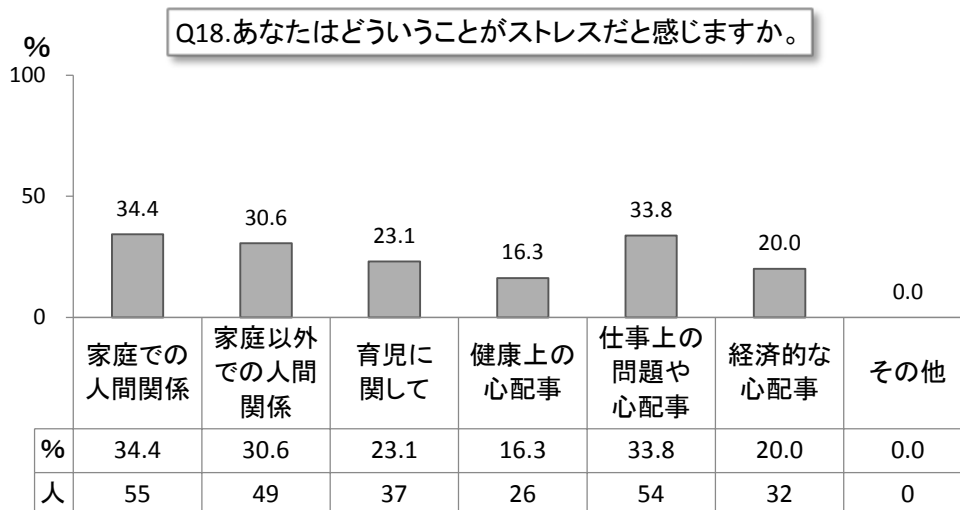
Q17. 現在ストレスを感じることがありますか。

1. いつも感じている 2. 時々感じている 3. ほとんど感じていない

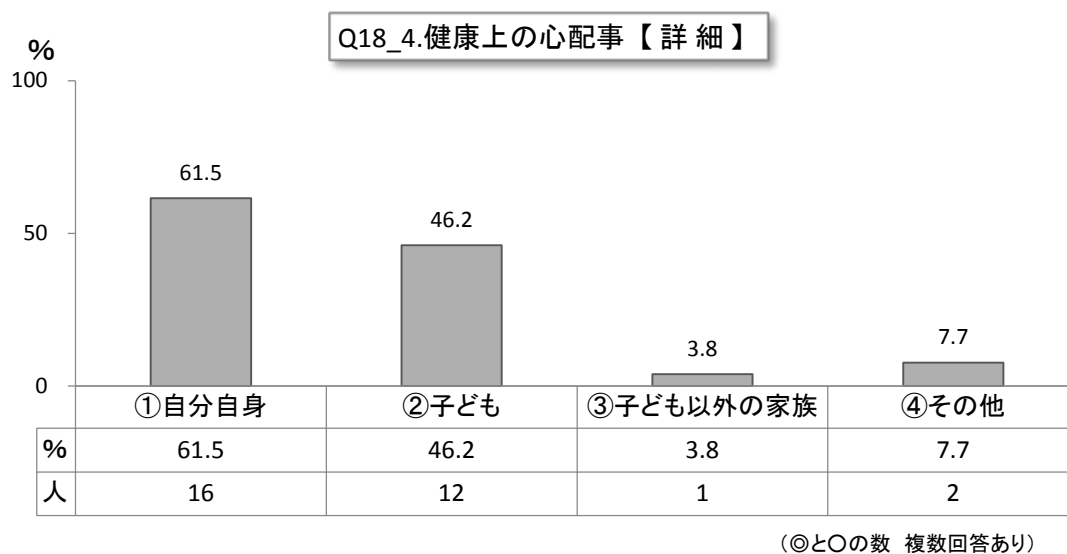
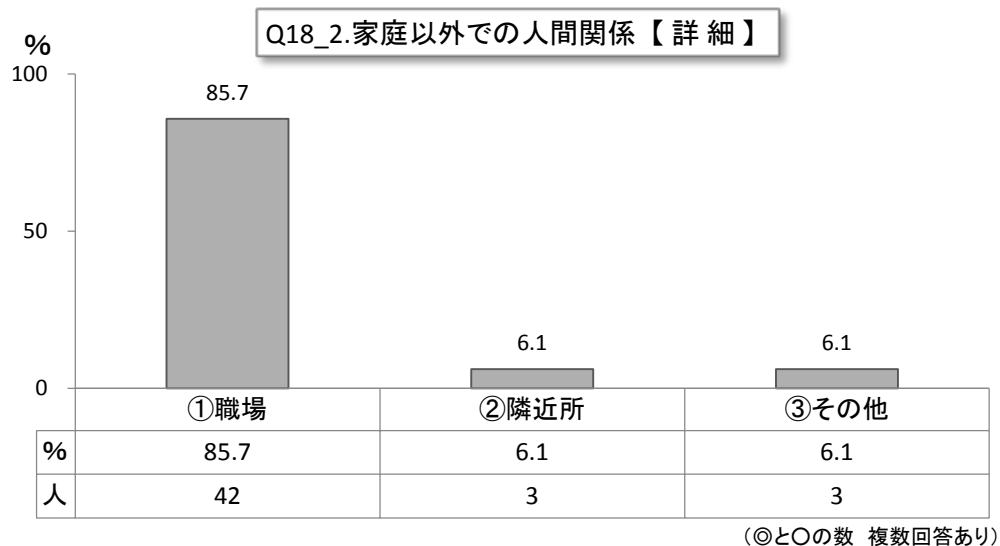
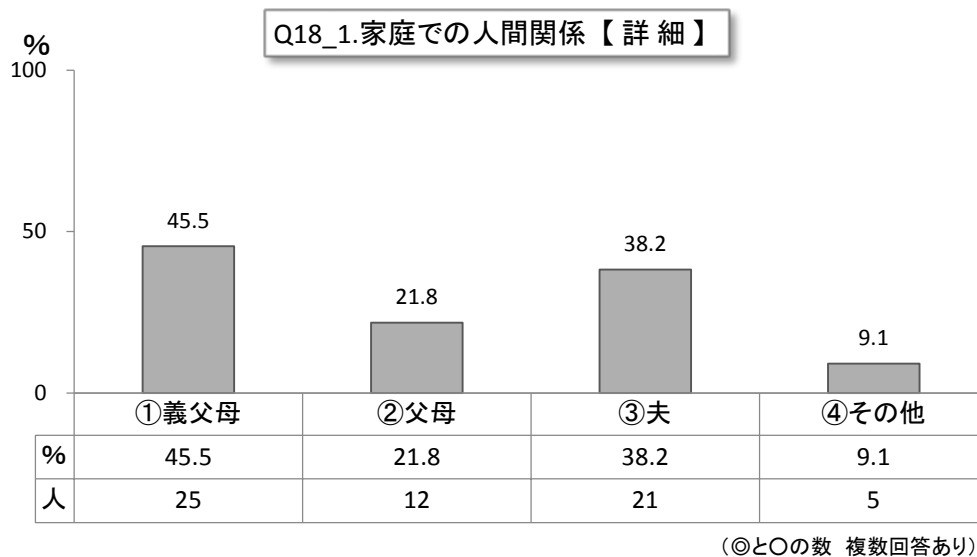


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③夫
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

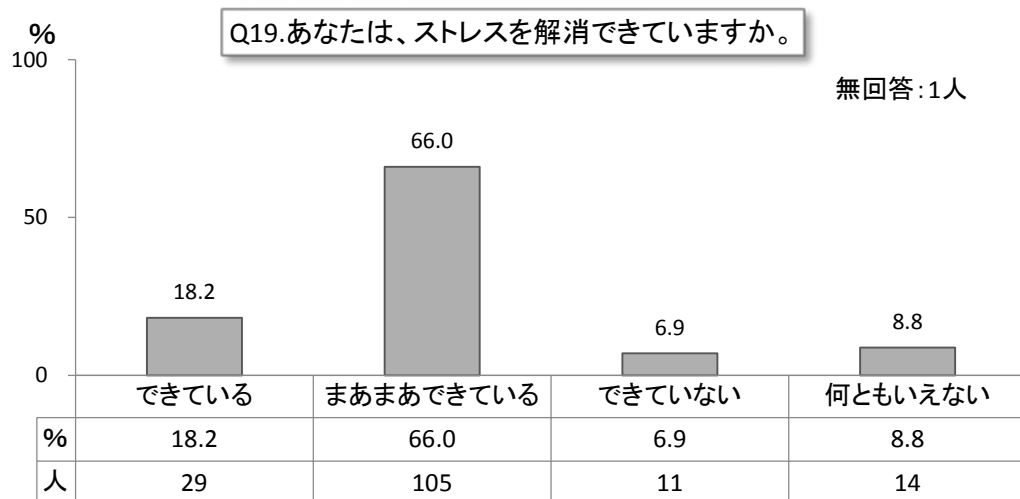


(◎と○の数 複数回答あり)



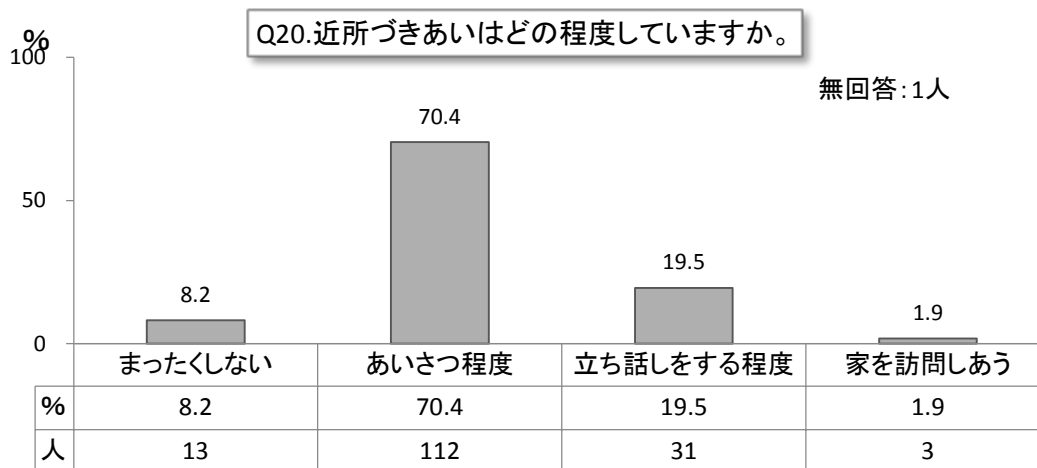
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



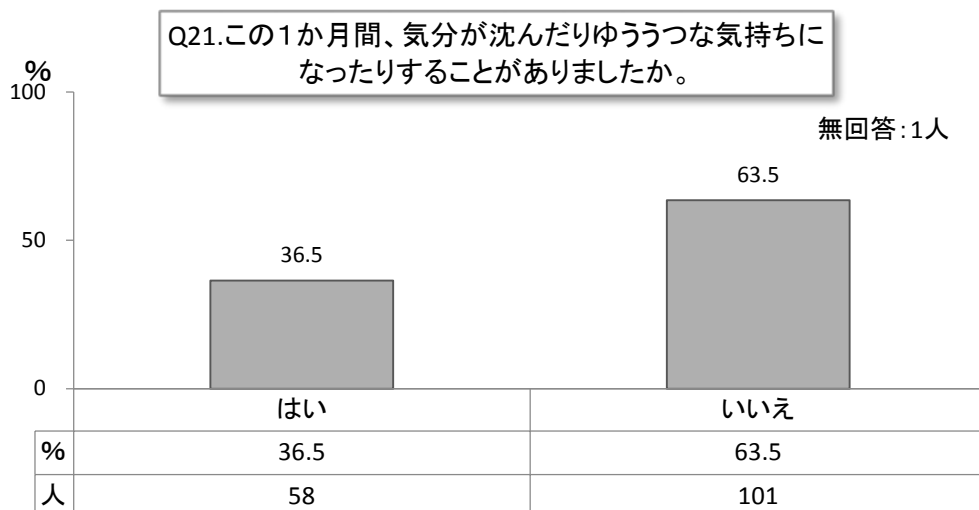
Q20. 近所づきあいほどの程度していますか。

1. まったくしない 2. あいさつ程度 3. 立ち話しをする程度 4. 家を訪問しあう



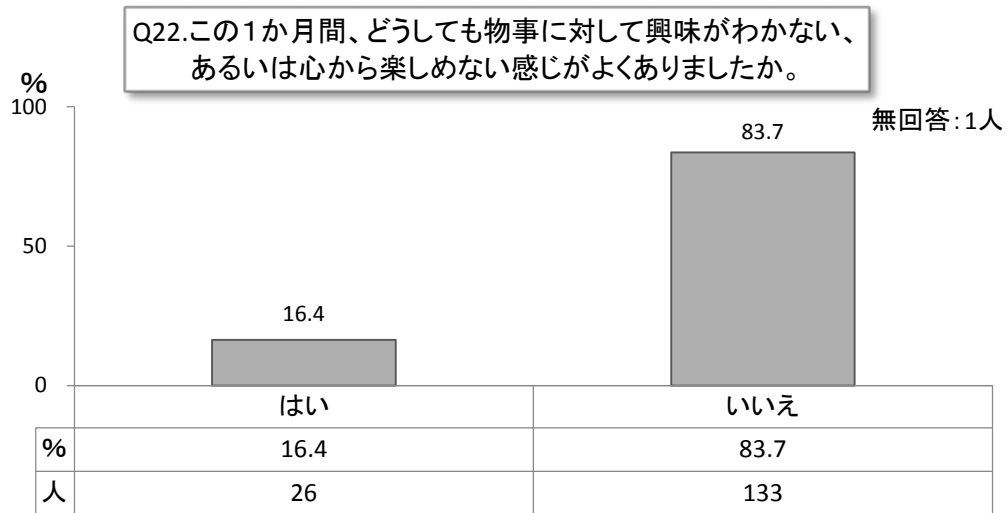
Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい 2. いいえ



Q22. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

1. はい 2. いいえ



以上です。ご協力ありがとうございました。

IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)

IV-2.1 歳 6 ヶ月児健診時

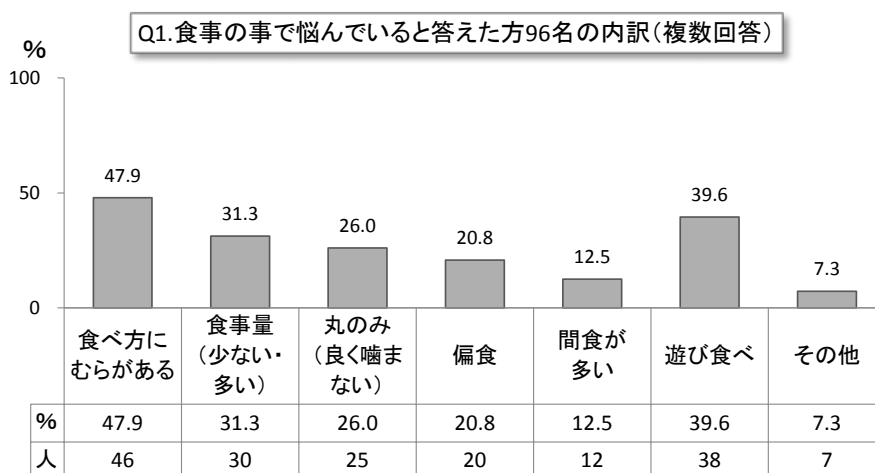
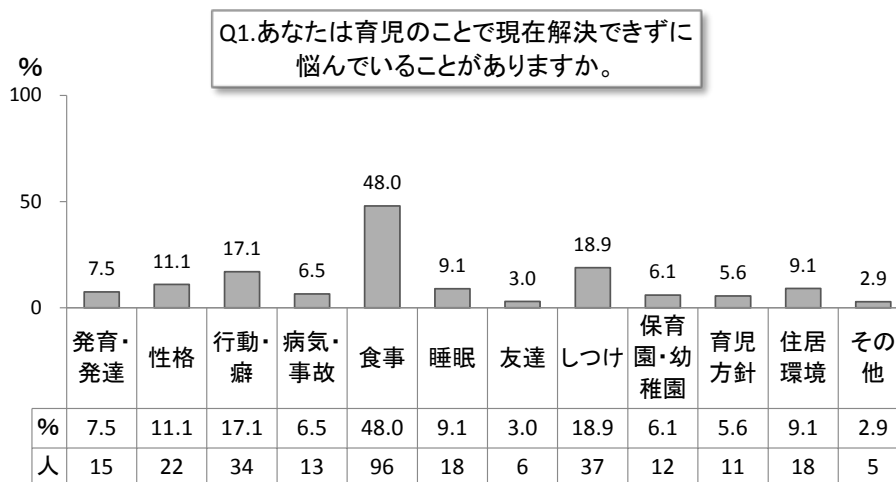
IV. 調査結果 (2.1 歳 6 ヶ月児健診時)

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

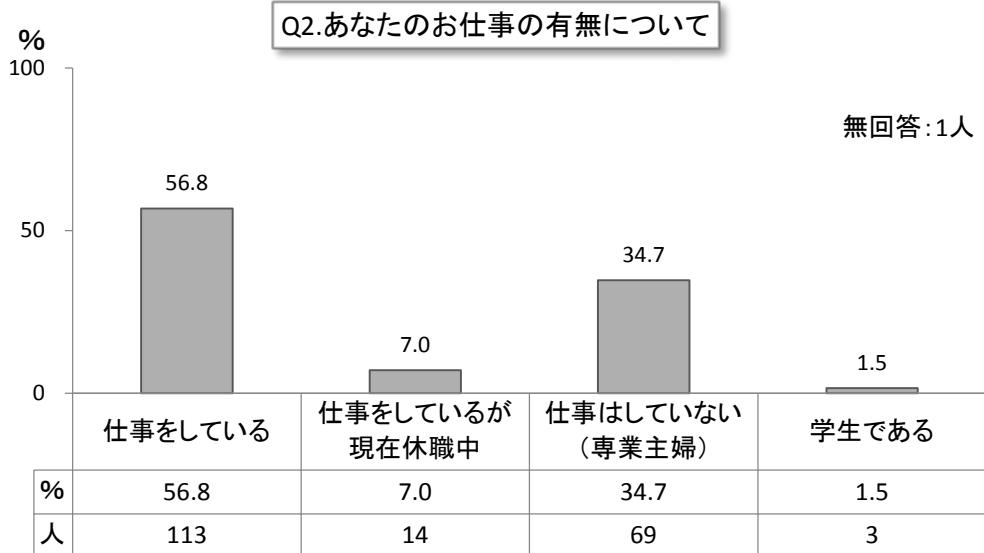
- 1. 食べ方にむらがある 2. 食事量 (少ない・多い) 3. 丸のみ (良く噛まない)
- 4. 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()
- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧しつけについて (トイレトレーニング含む) 1. ない 2. ある ()
- ⑨保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()



Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

1. 仕事をしている
2. 仕事はしているが現在休職中である
3. 仕事はしていない (専業主婦である)
4. 学生である

→3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

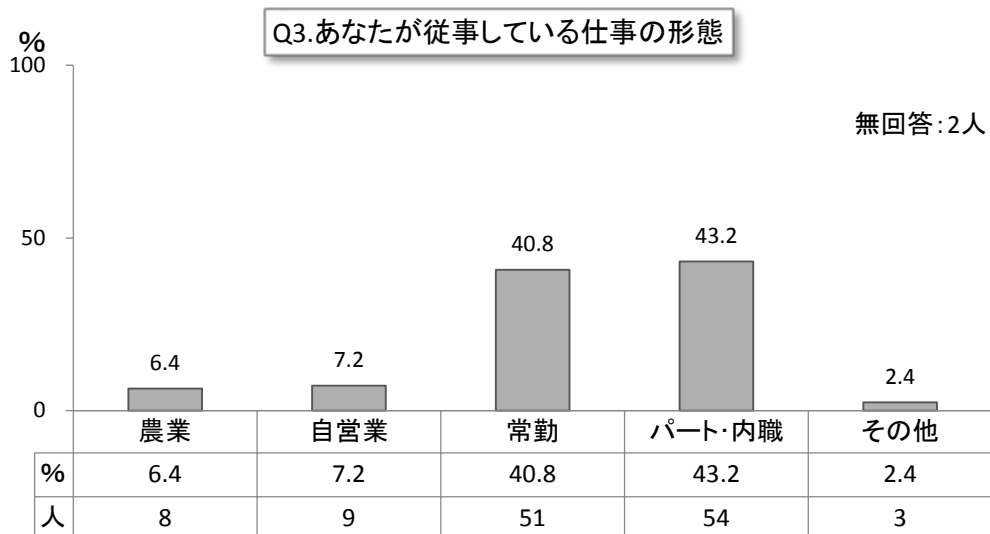


Q3. Q2で1. 2. と答えた方のみお答えください。

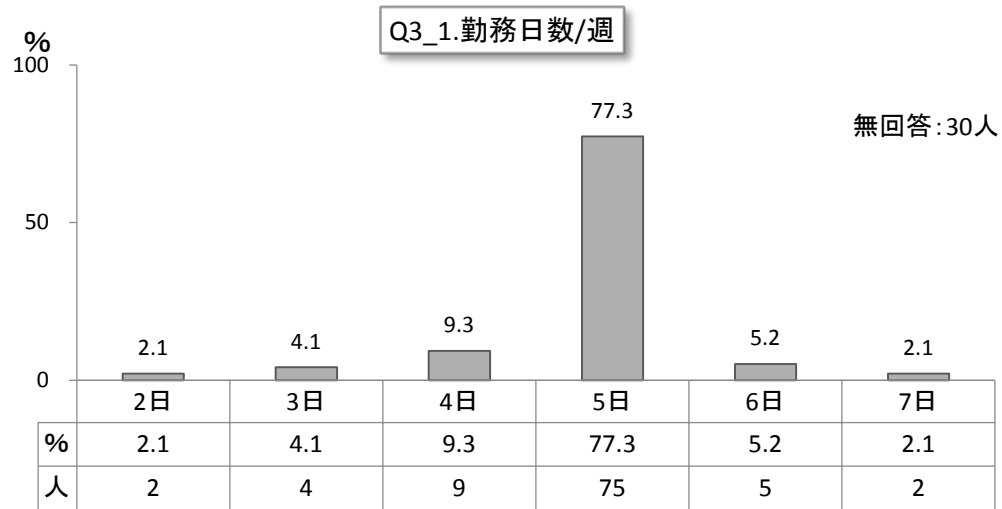
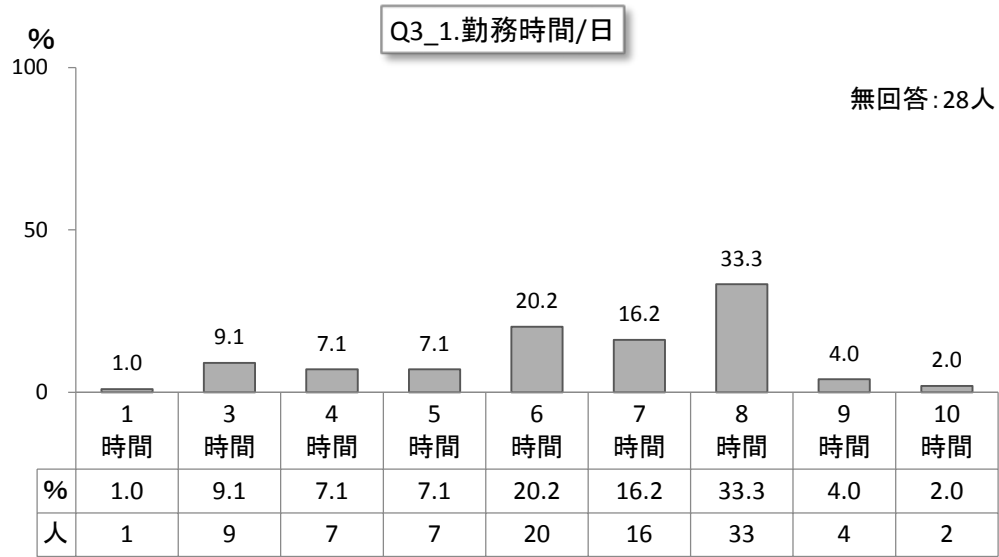
あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業
2. 自営業
3. 常勤
4. パート・内職
5. その他 ()

3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

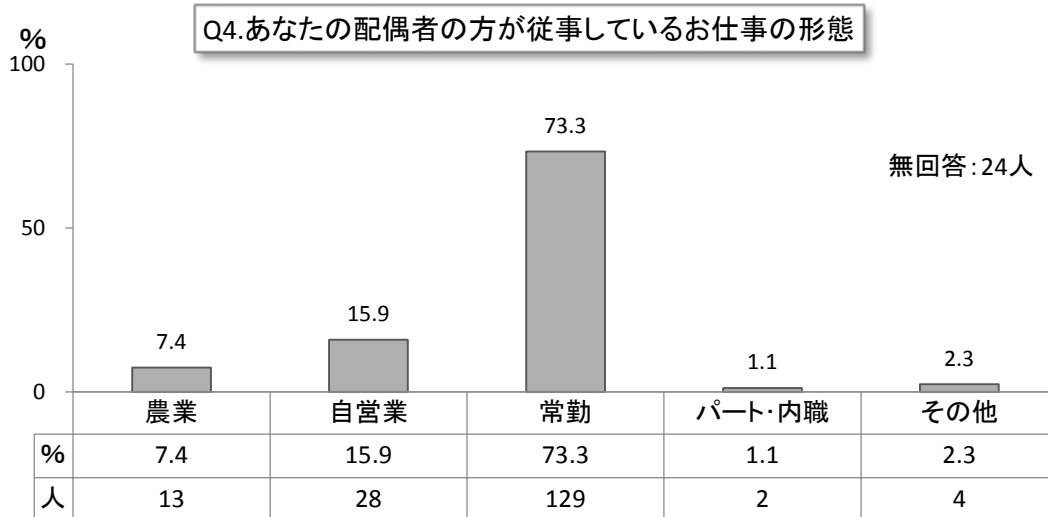


IV. 調査結果 (2.1 歳 6 ヶ月児健診時)

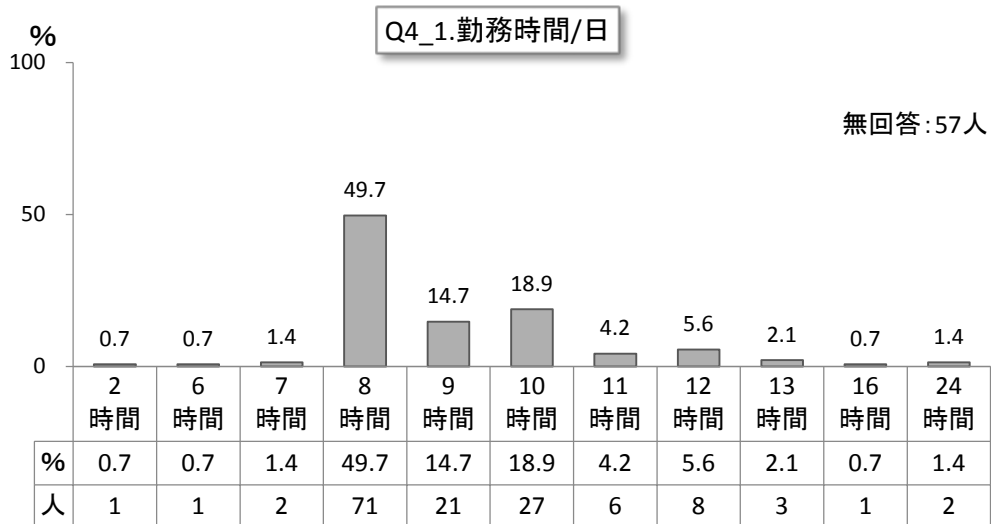


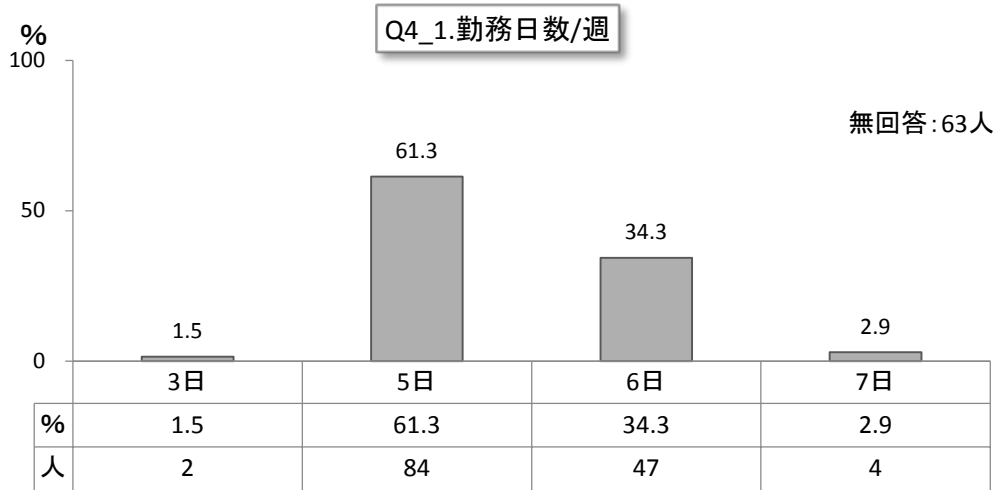
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

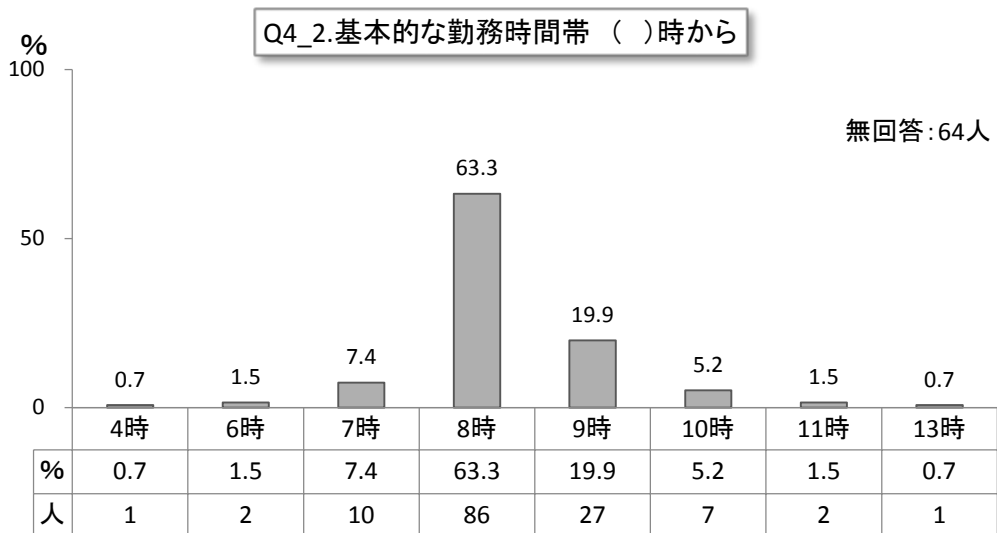


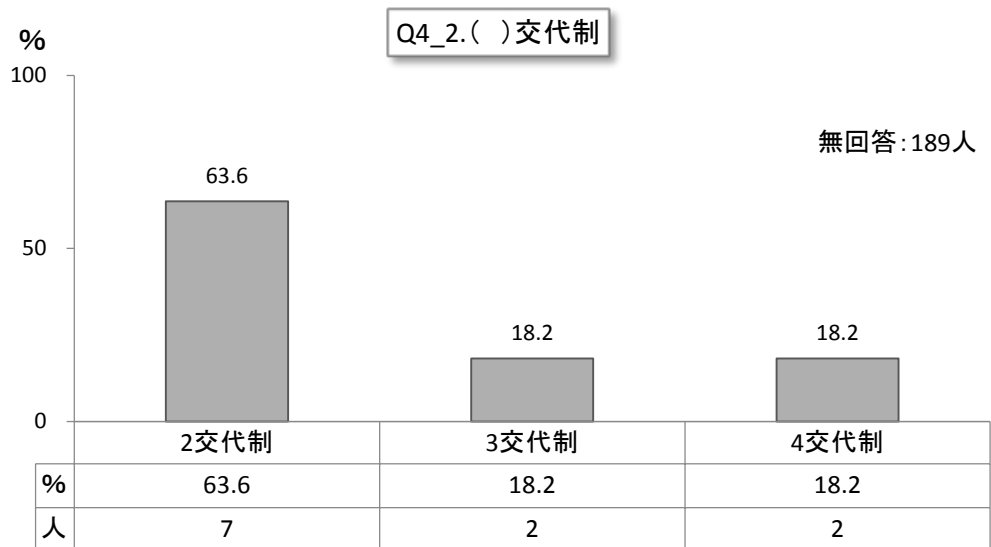
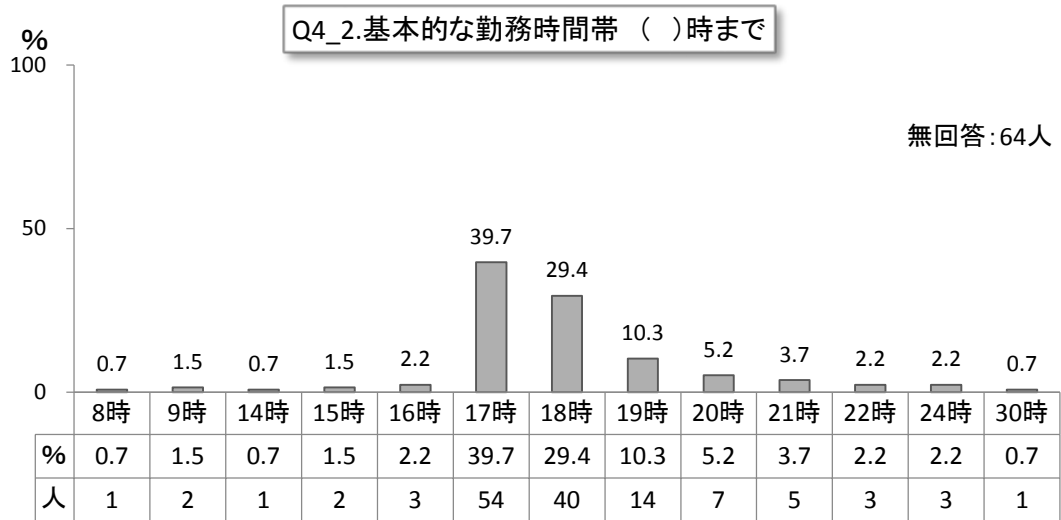
4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務





4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制

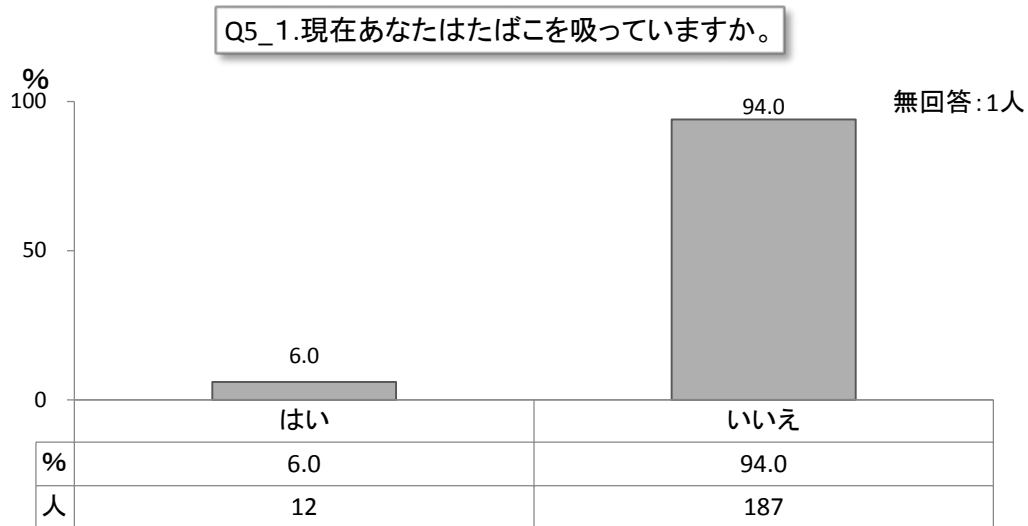




Q5. たばこについておききします。

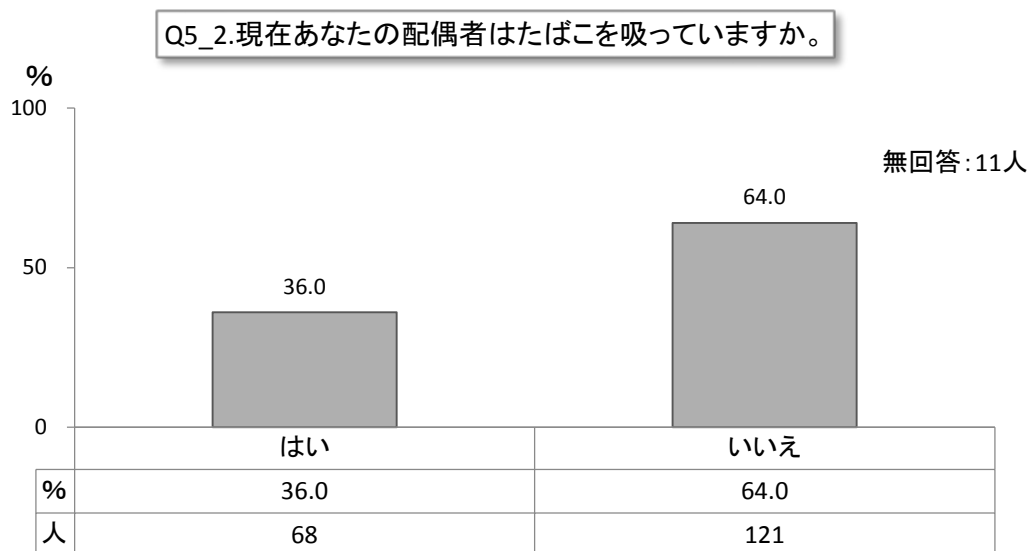
5-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。

1. はい 2. いいえ



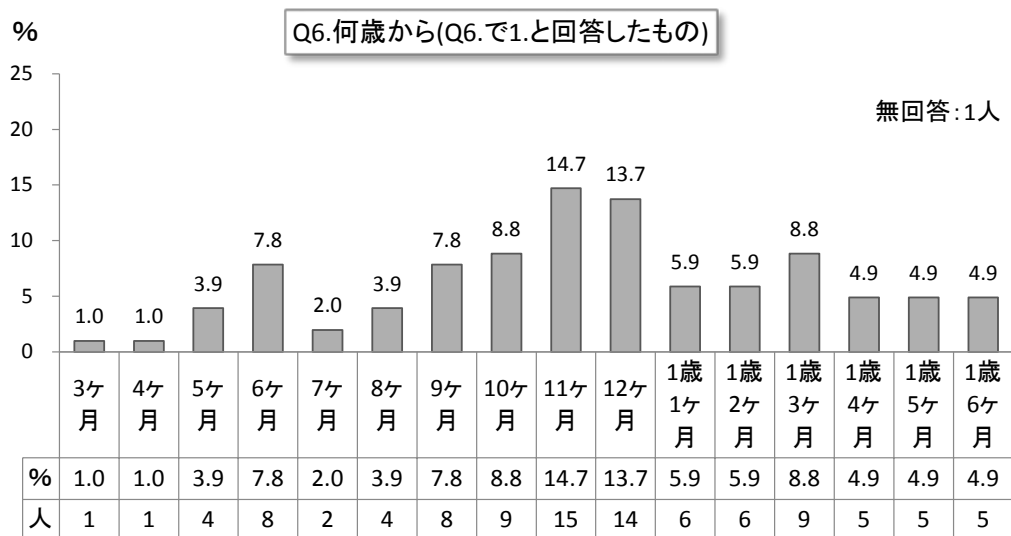
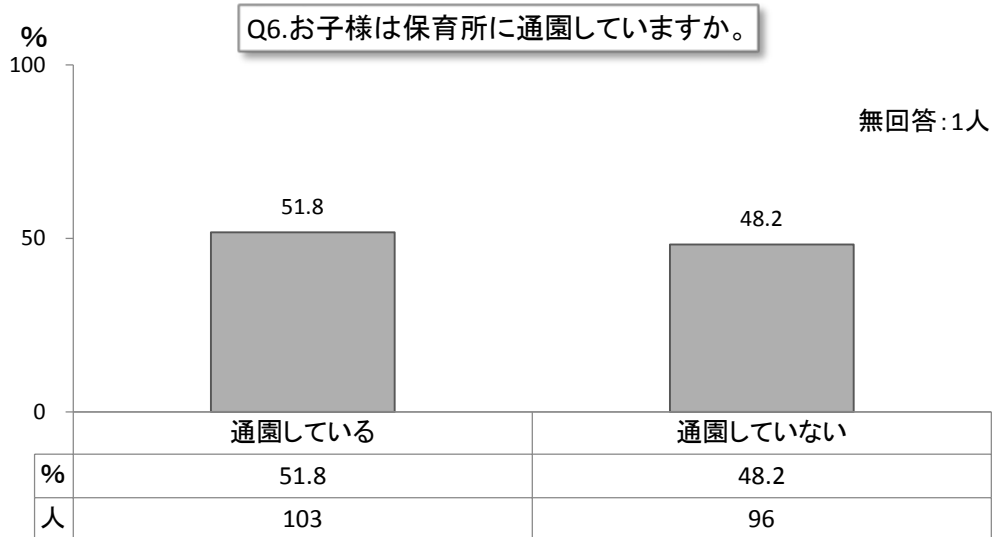
5-2. 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか。

1. はい 2. いいえ



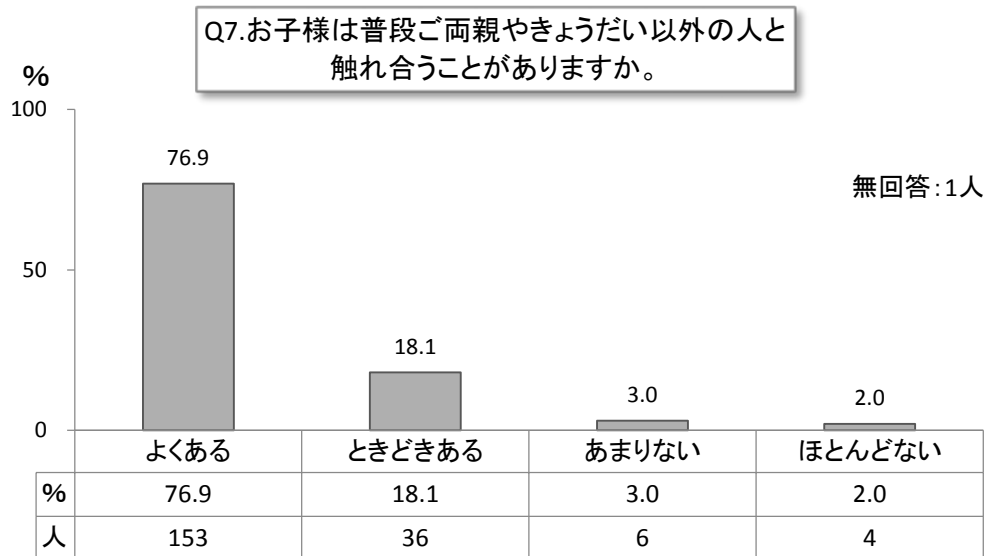
Q6. お子様は保育所に通園していますか。

1. 通園している (歳 カ月から) 2. 通園していない



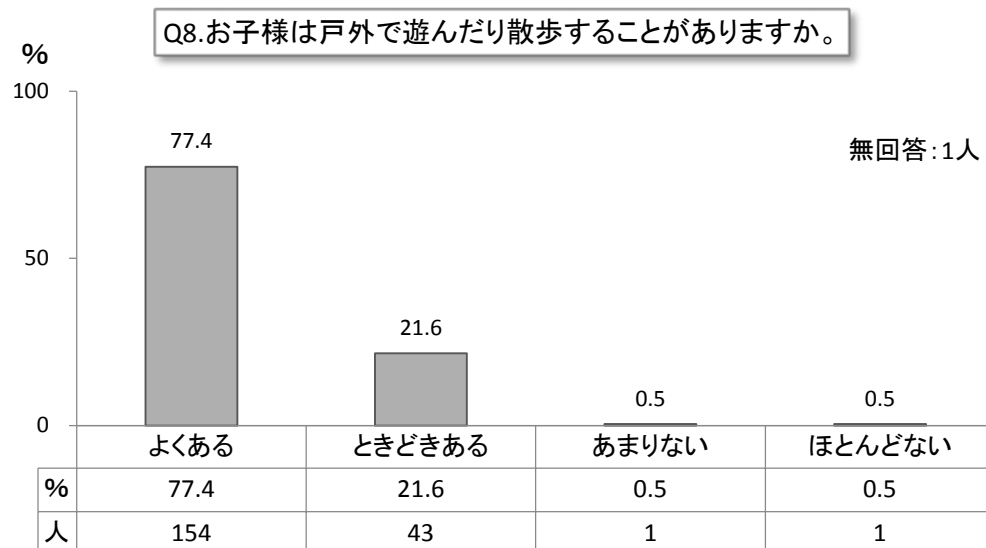
Q7. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



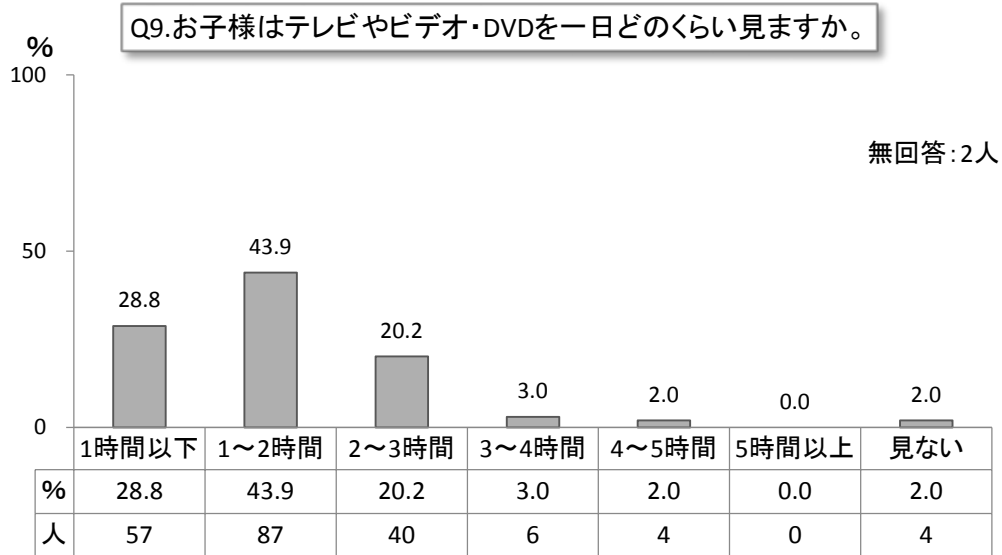
Q8. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

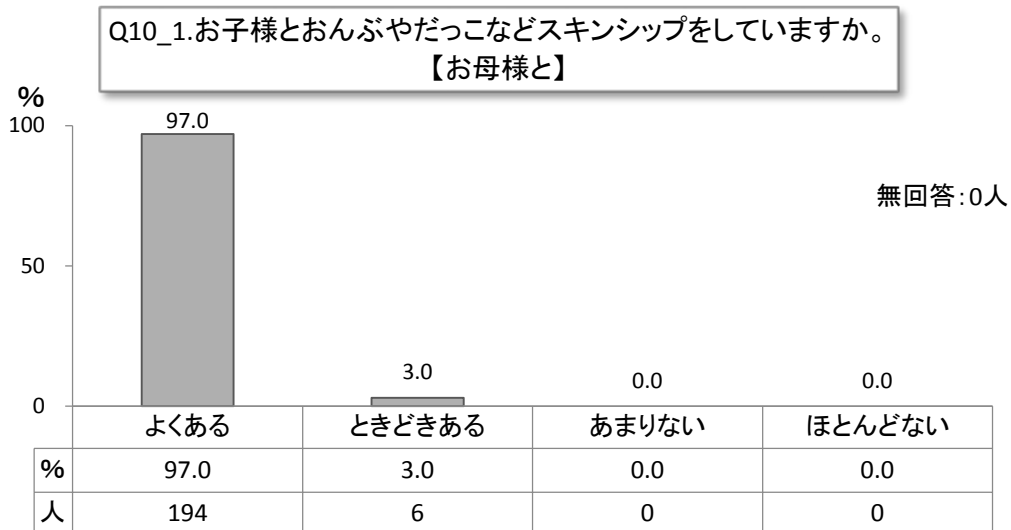
1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
 5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



Q10. お母様は、お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか。お母様とお母様以外の人の人についてそれぞれお答えください。

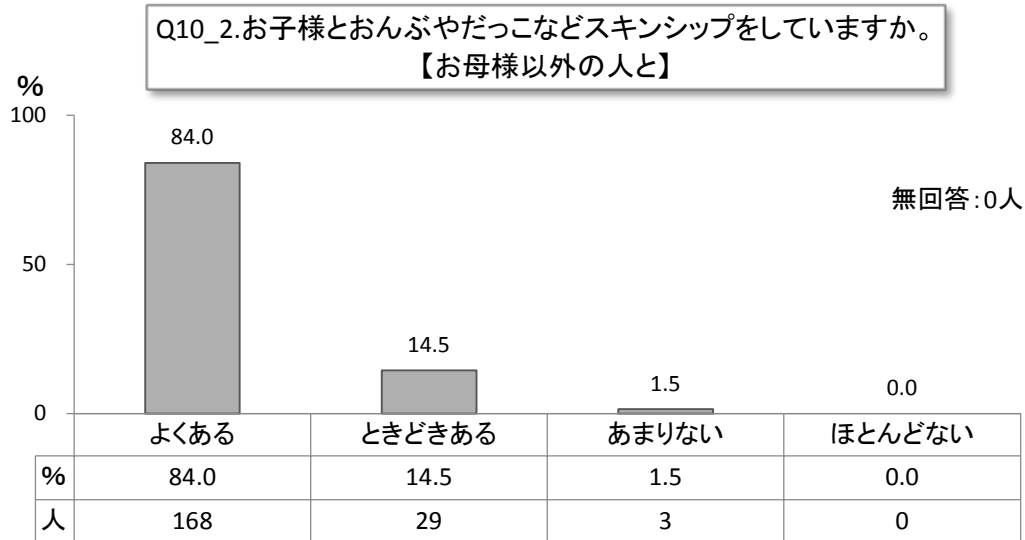
10-1. お母様とはどうですか

1. よくある 2. ときどきある
 3. あまりない 4. ほとんどない



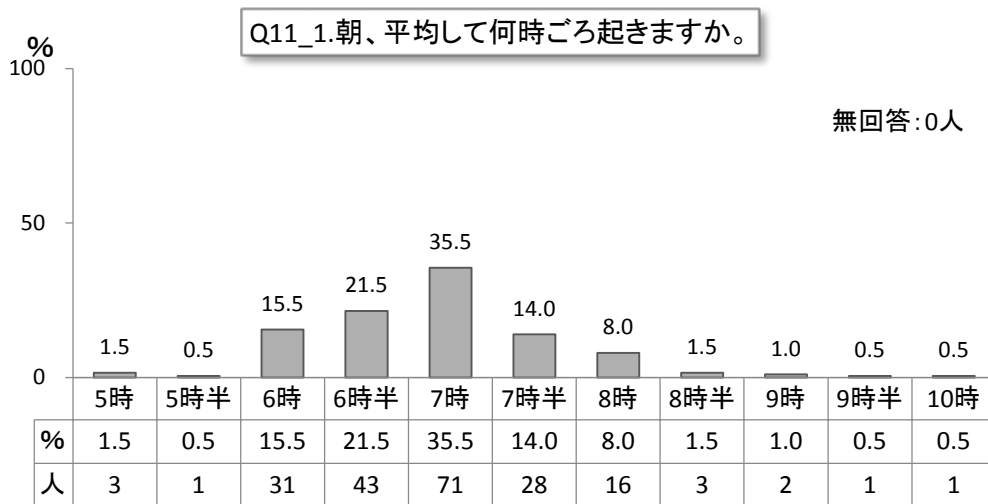
10-2. お母様以外の人とはどうですか

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない

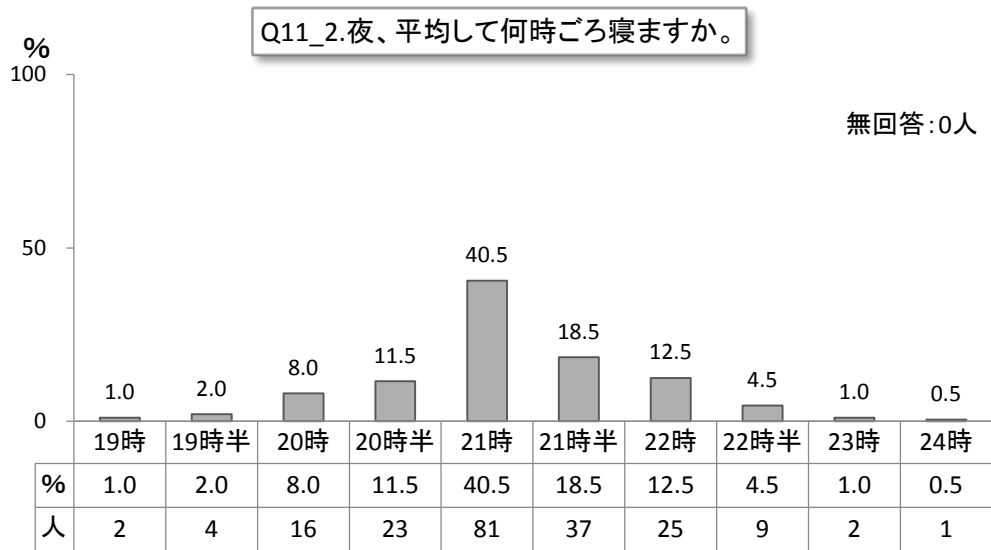


Q11. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

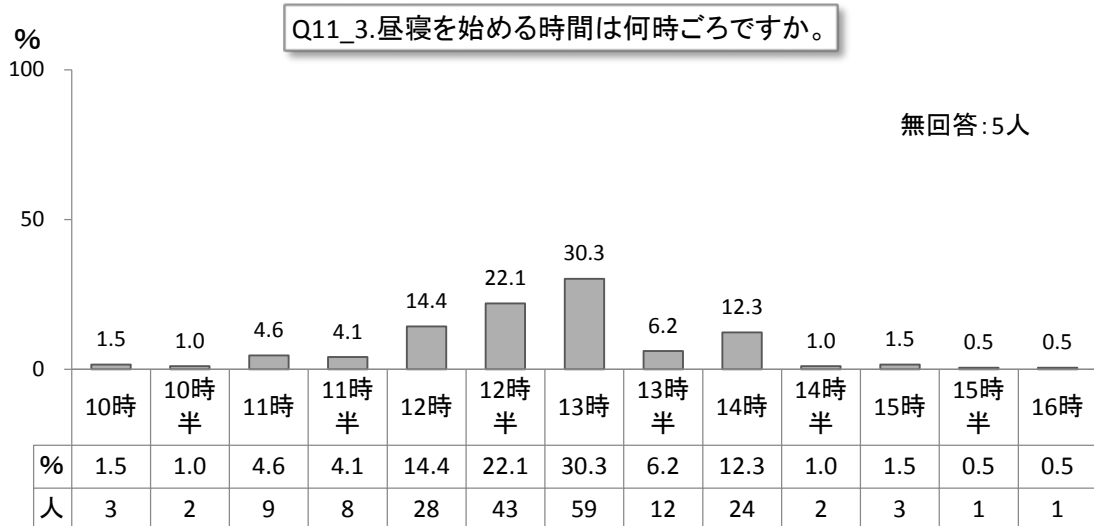
11-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分ころ



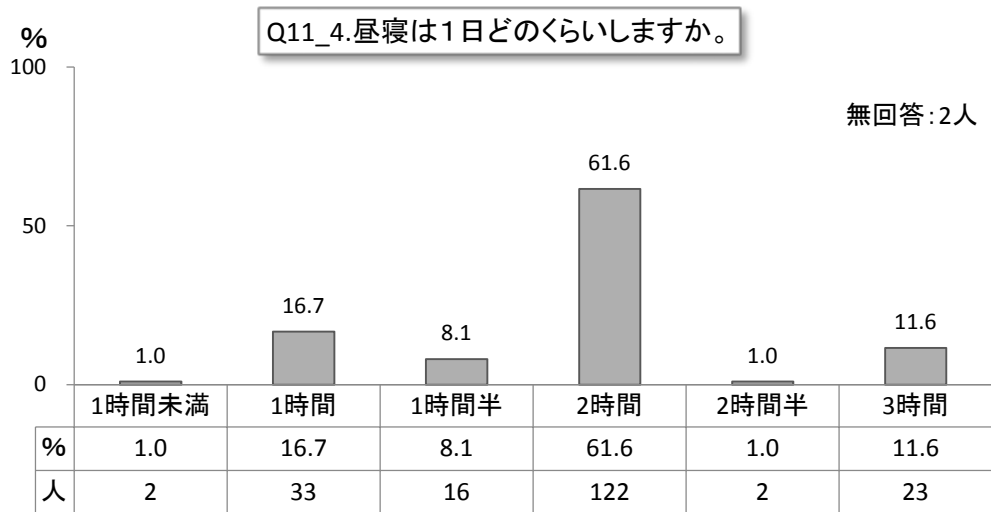
11-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか ()時()分ころ



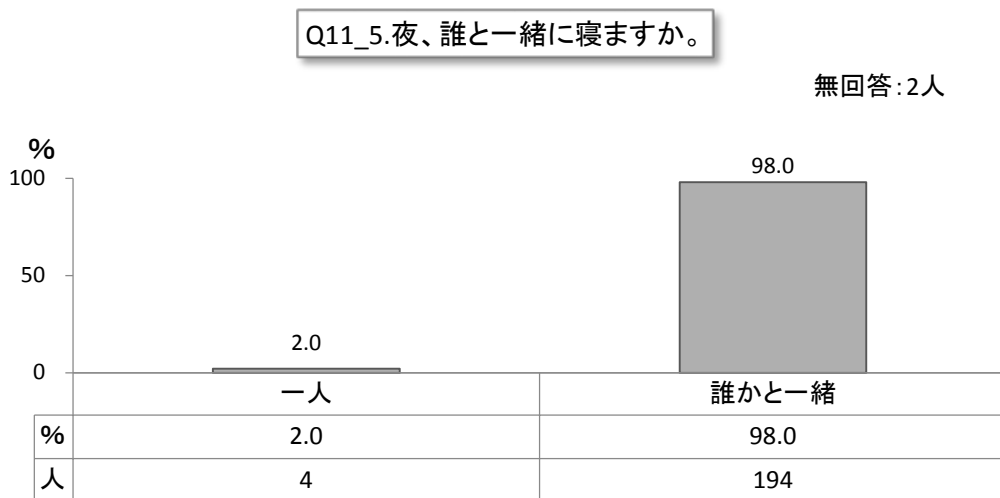
11-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか ()時()分ころ



11-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位

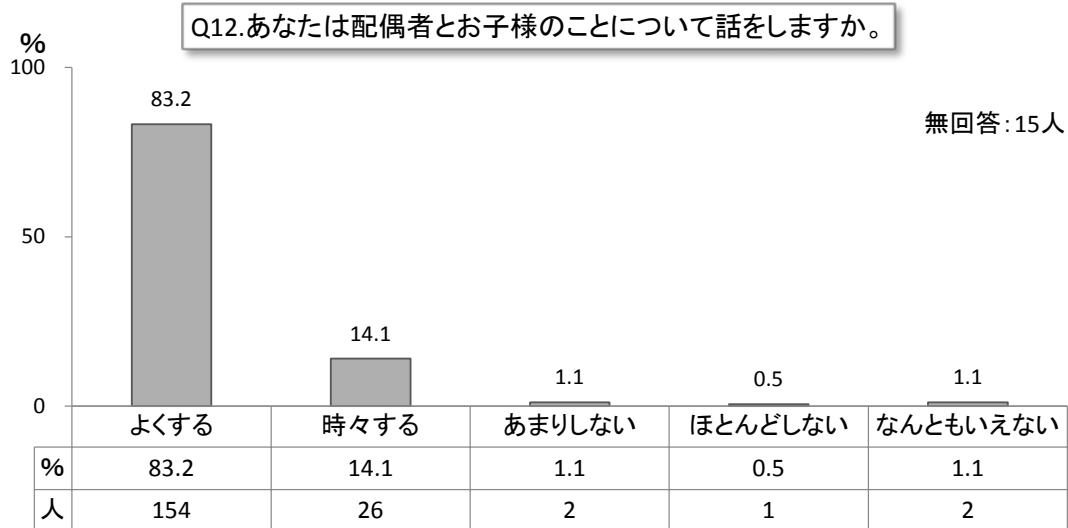


11-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)



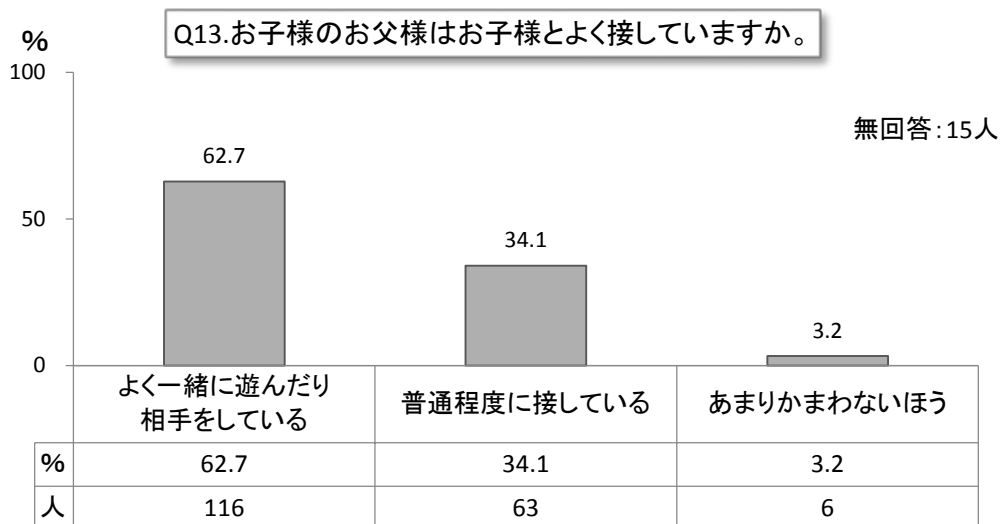
Q12. あなたは配偶者とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



Q13. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

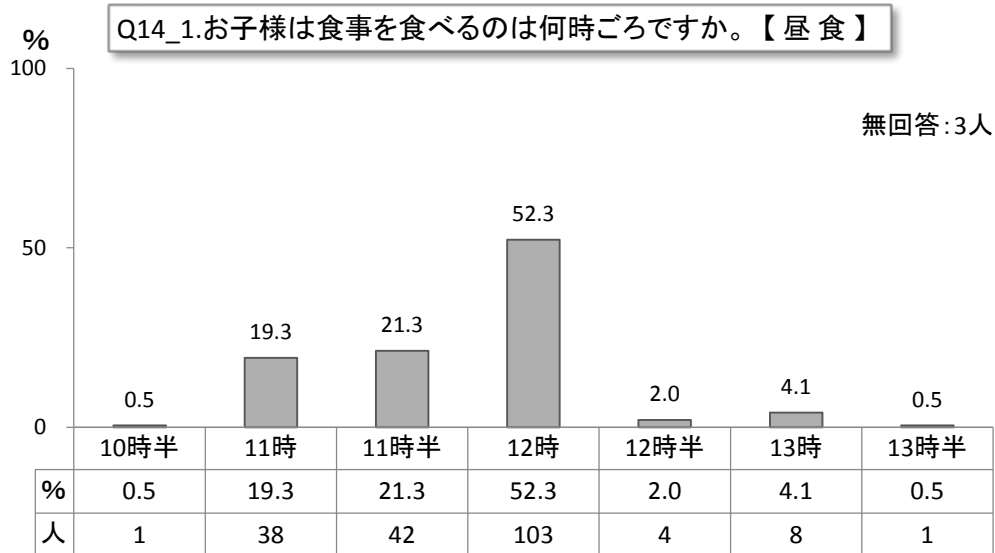
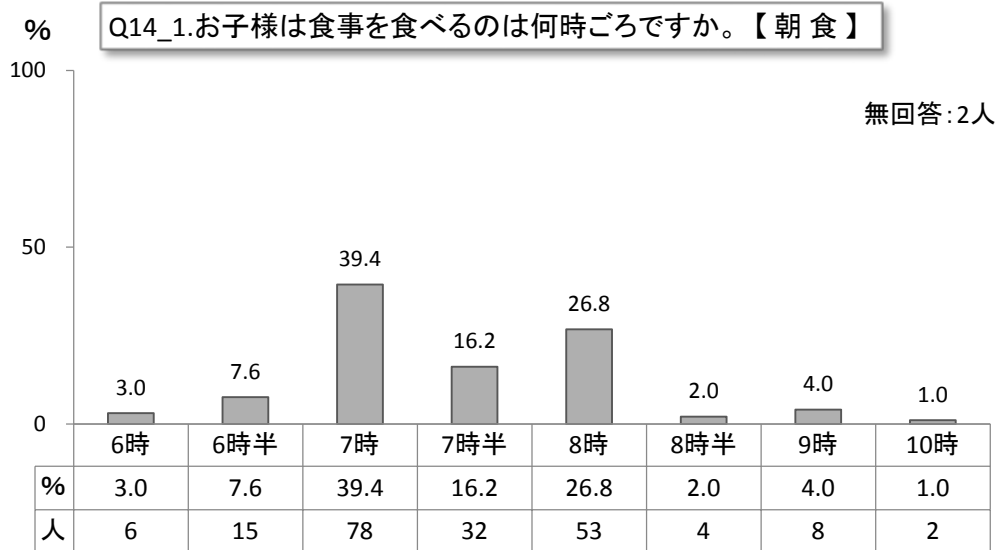
1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである

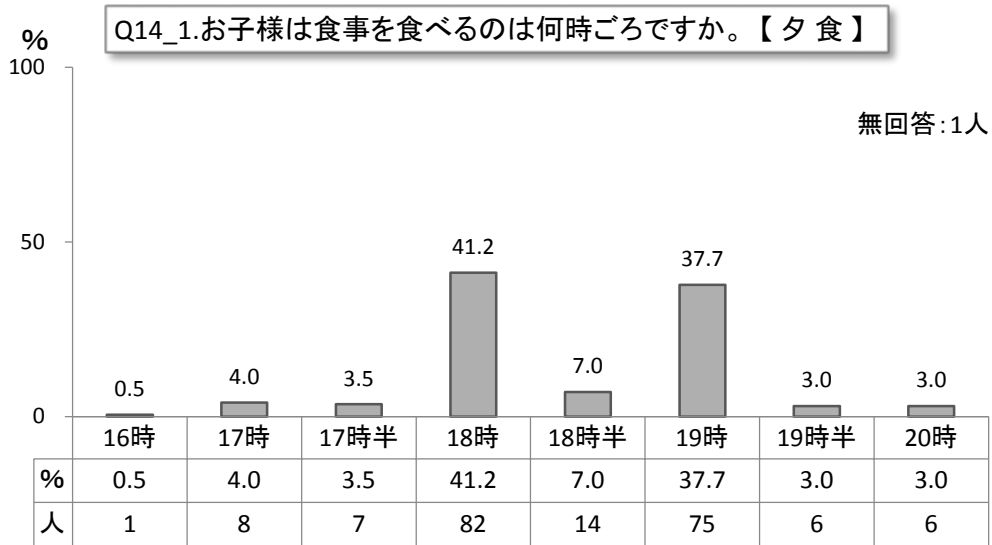


Q14. お子様の食事について伺います。

14-1. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

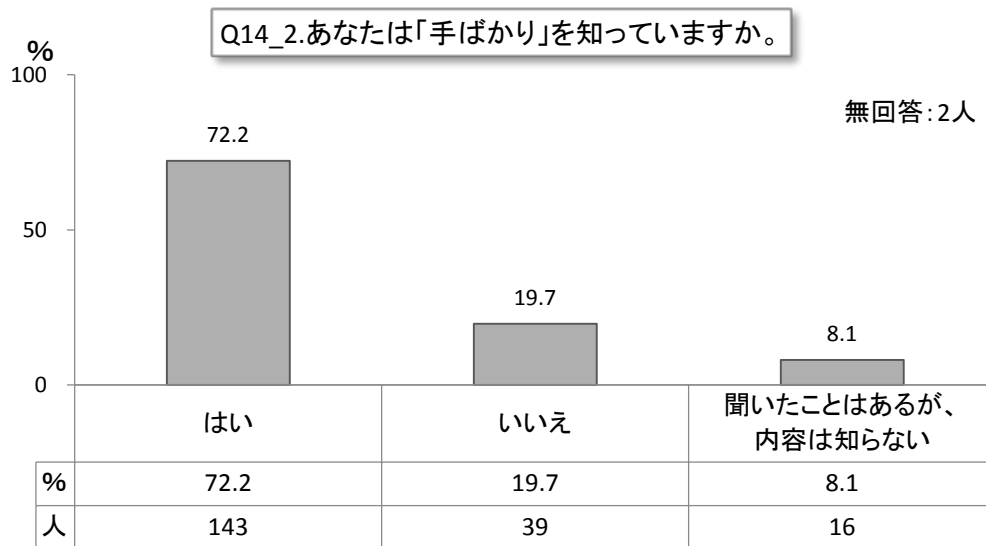
朝食 () 時 ころ
 昼食 () 時 ころ
 夕食 () 時 ころ





14-2. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

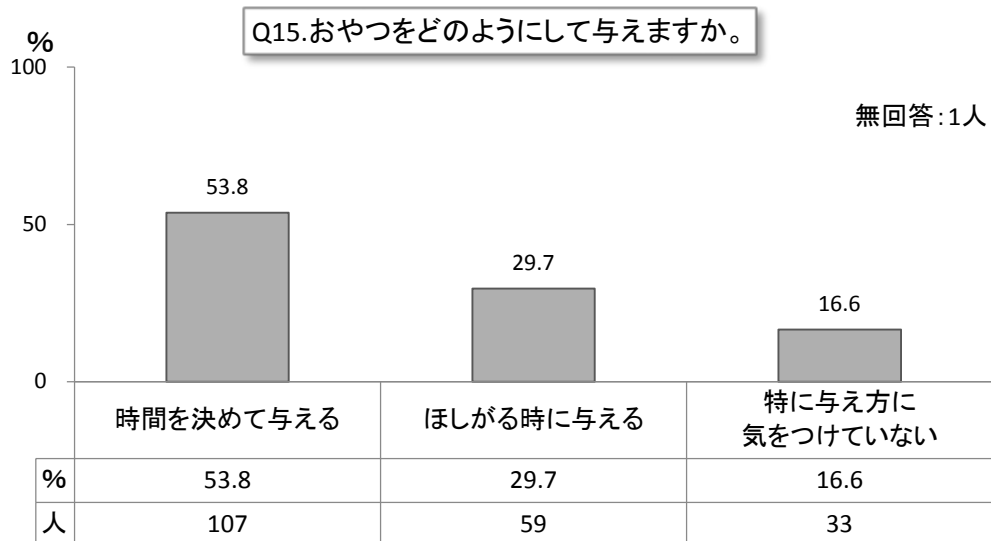
1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q15. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）をどのようにして与えますか。

(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい。)

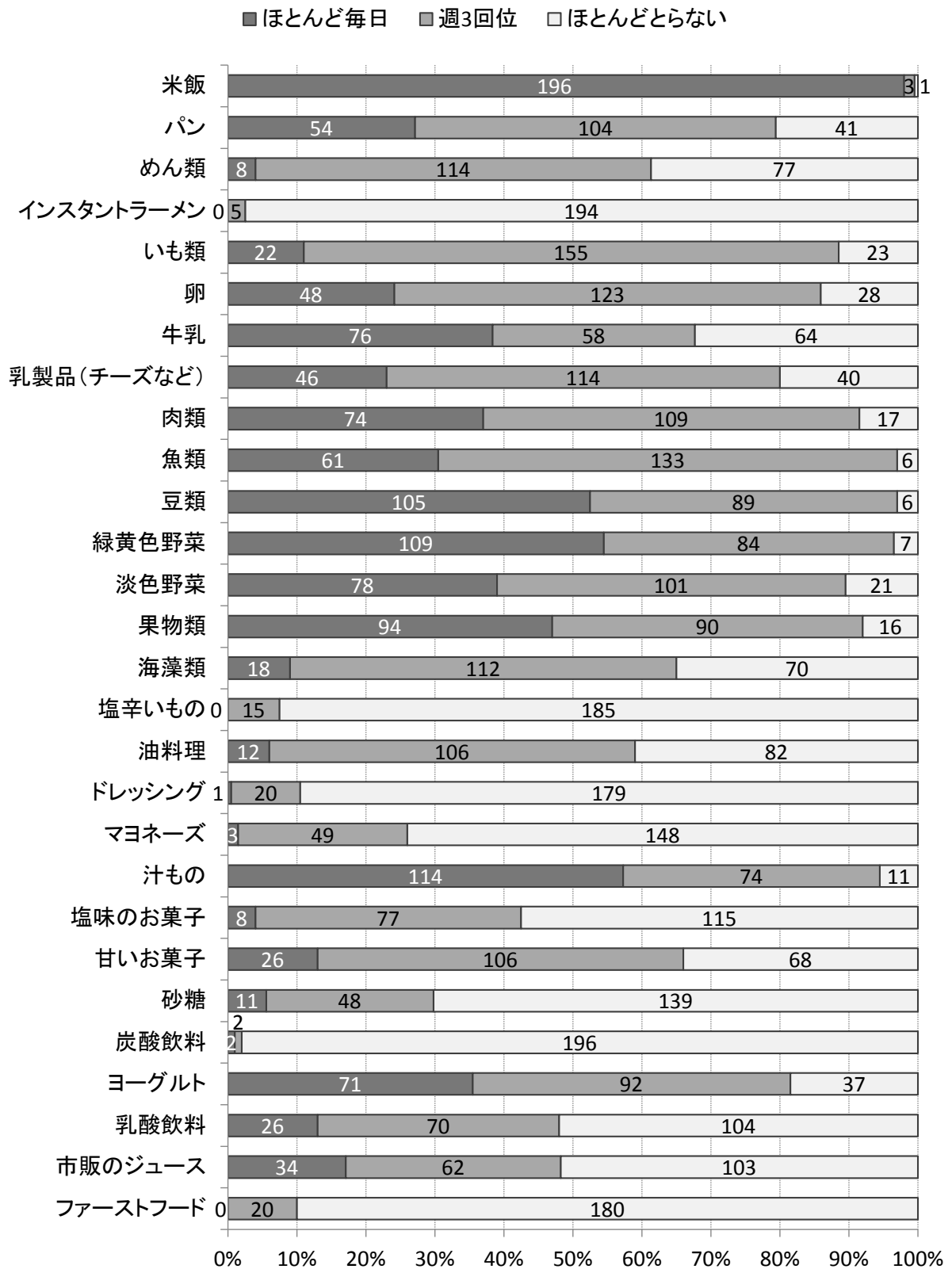
1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



Q16.お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

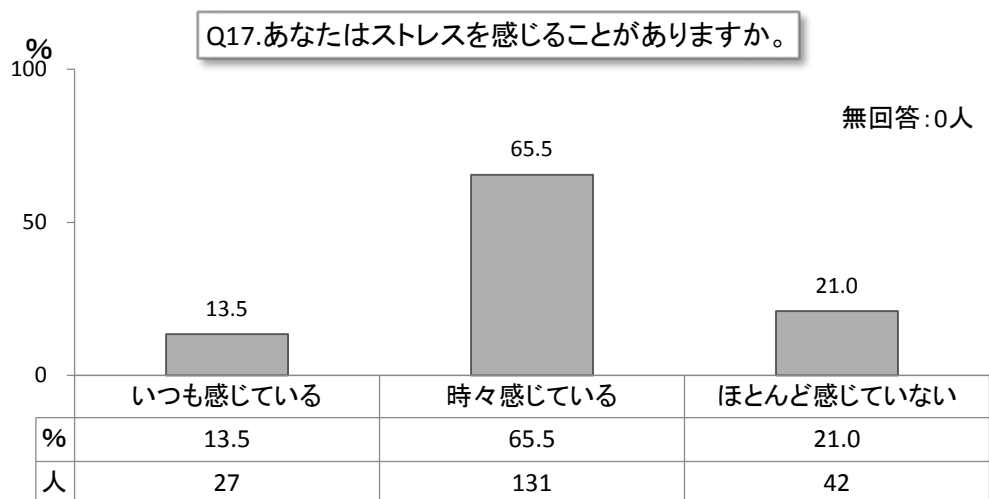
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れる ものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q16.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。



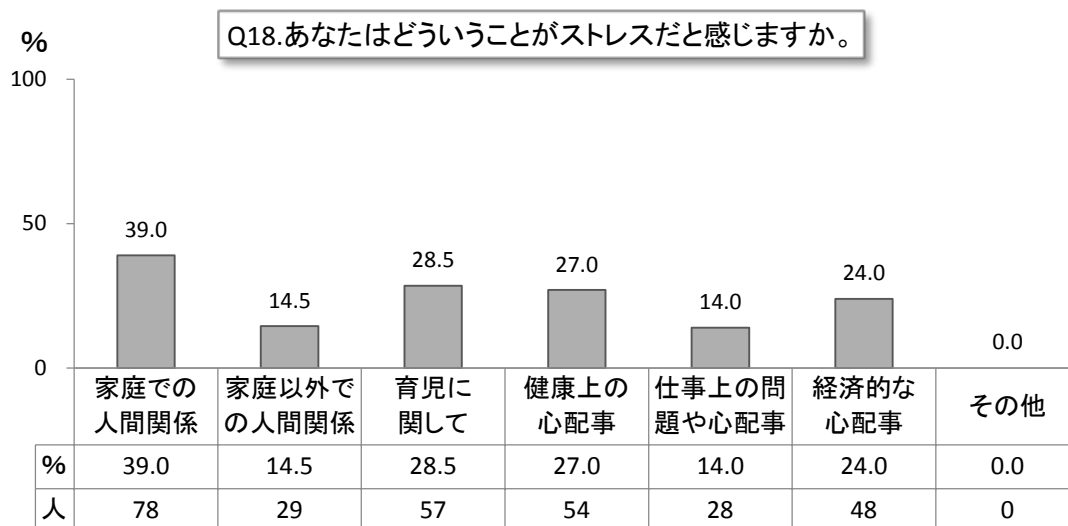
Q 17. あなたはストレスを感じることがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

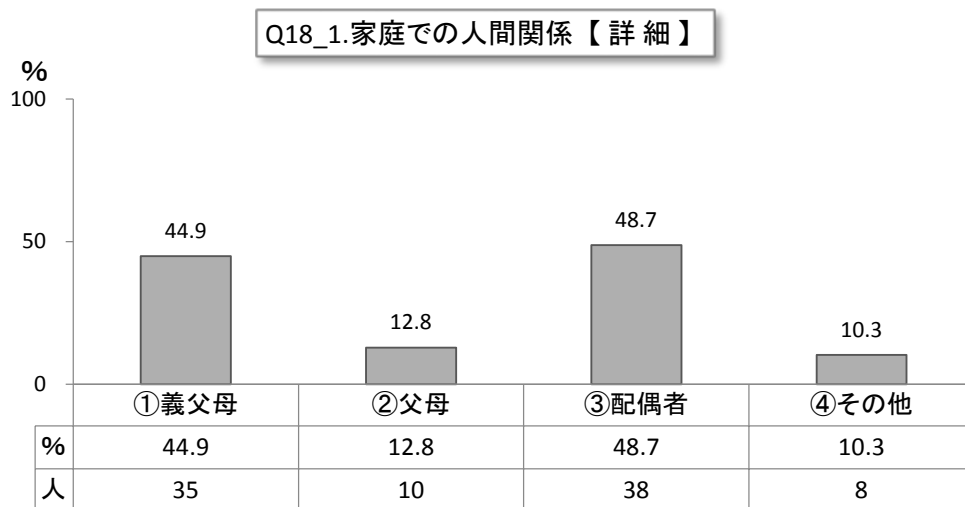


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

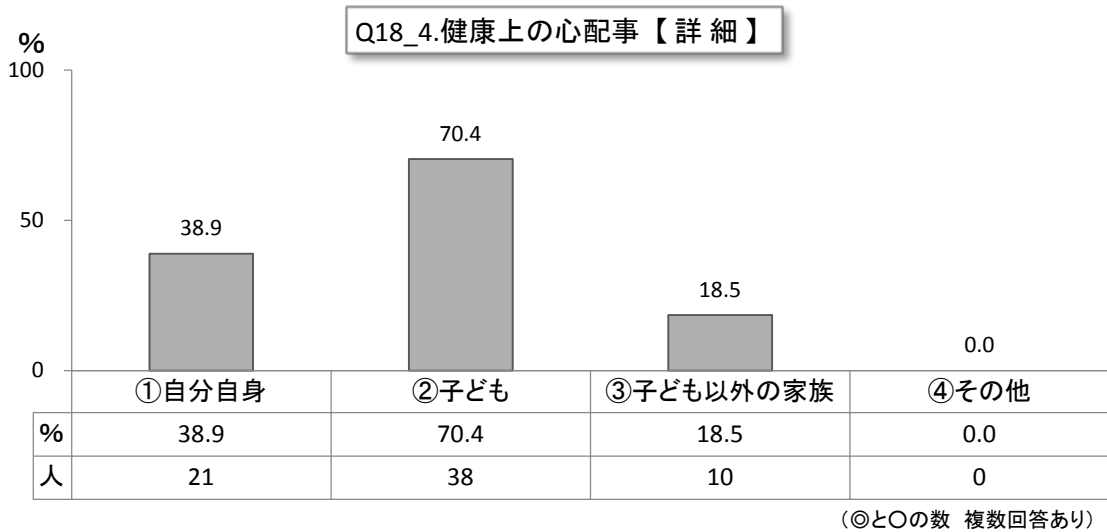
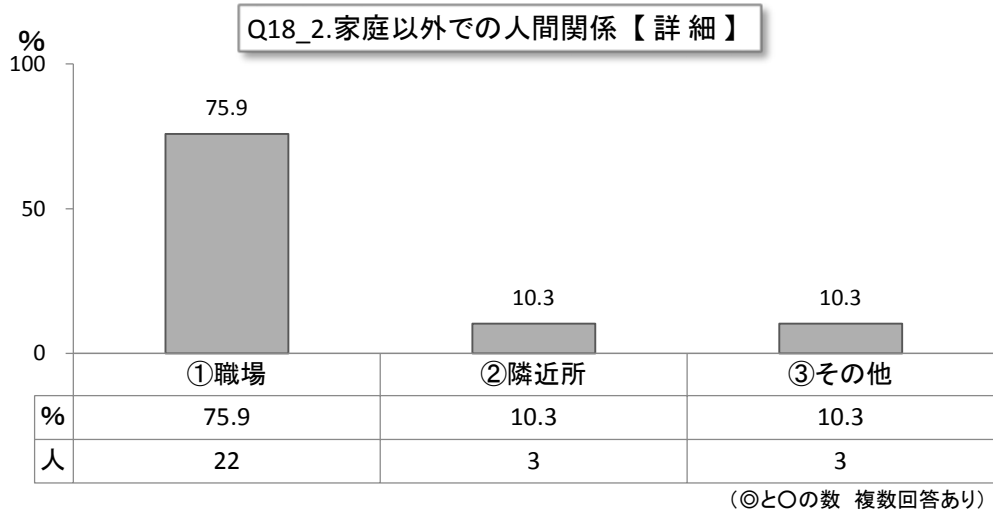
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()



(◎と○の数 複数回答あり)

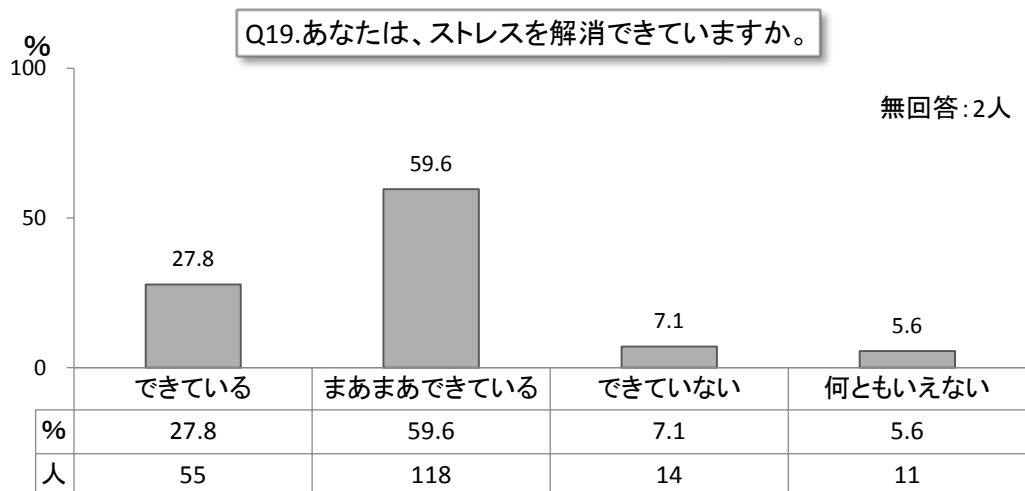


(◎と○の数 複数回答あり)



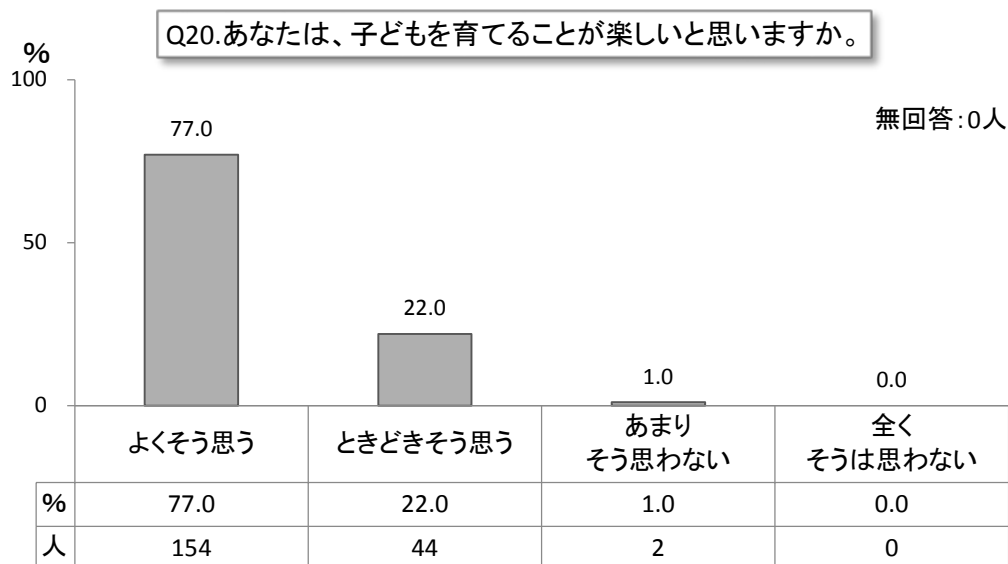
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



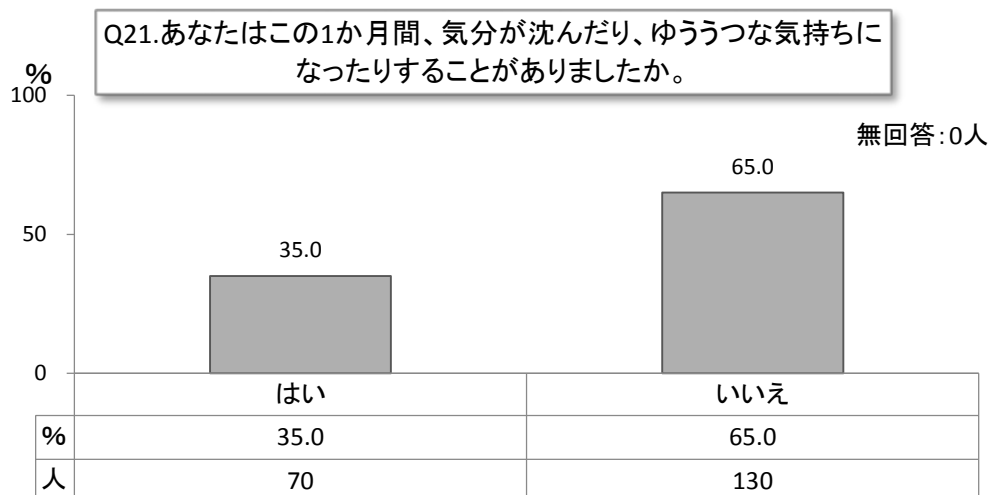
Q20. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそうは思わない



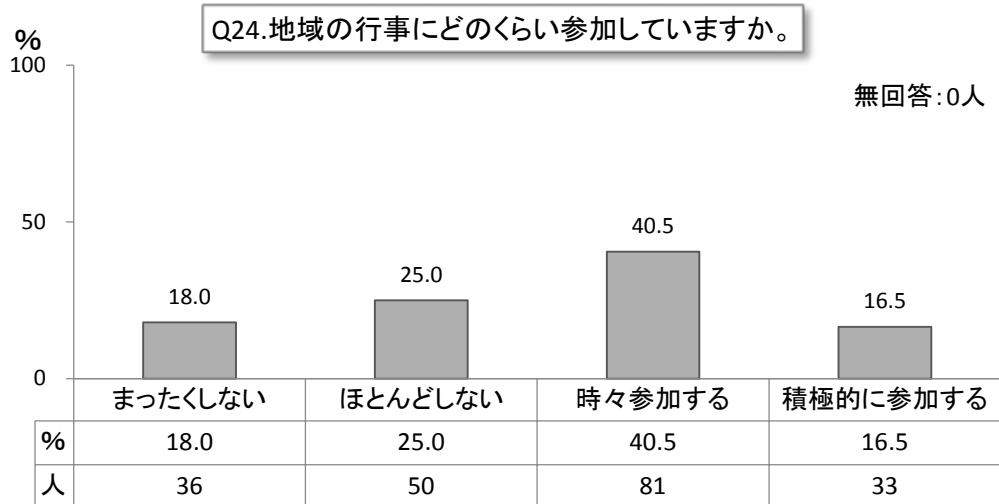
Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい
2. いいえ



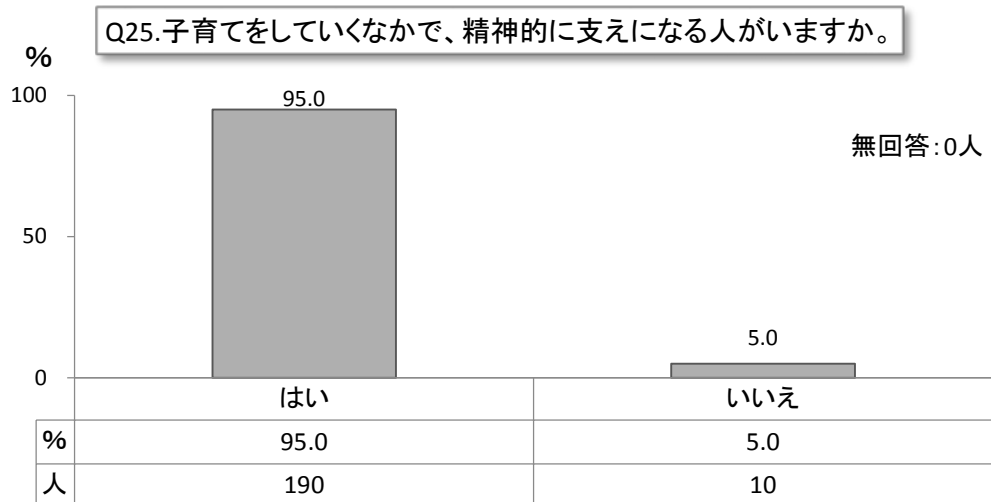
Q24. 地域の行（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

- 1. まったくしない
- 2. ほとんどしない
- 3. 時々参加する
- 4. 積極的に参加する



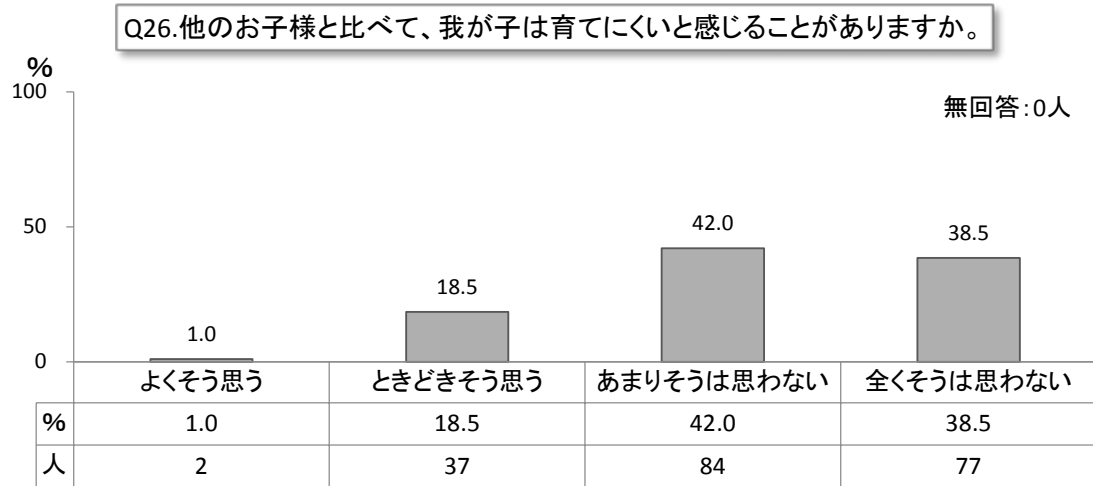
Q25. 子育てをしていくなかで、あなたにとって誰か精神的に支えになる人がいますか。

- 1. はい
- 2. いいえ



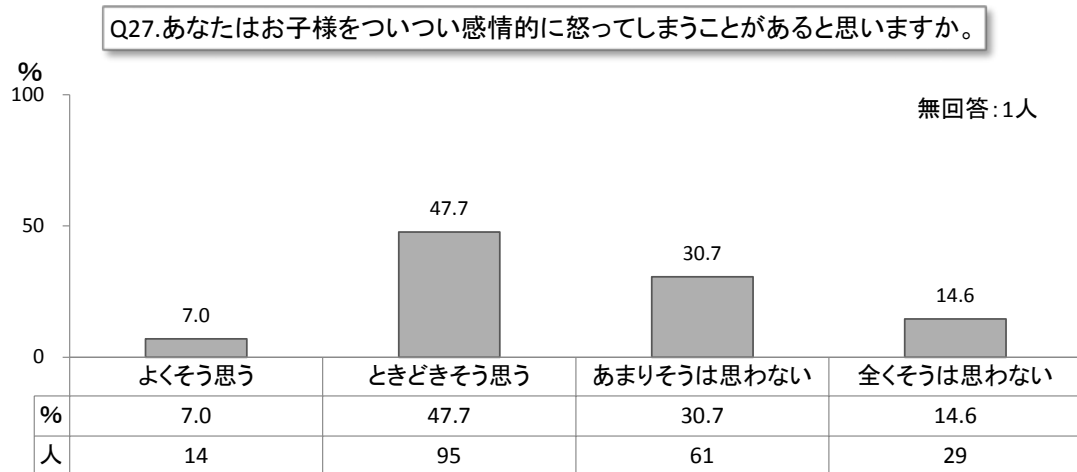
Q26. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



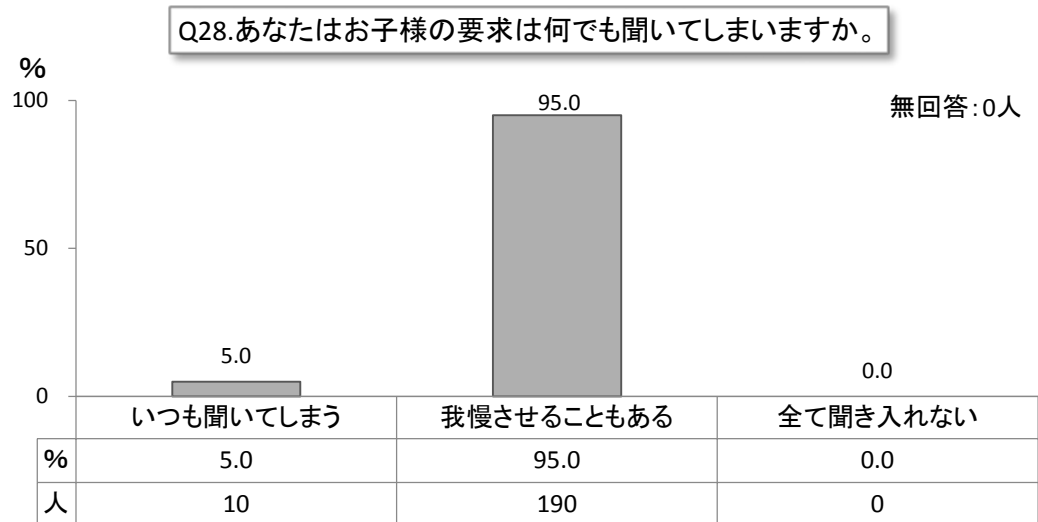
Q27. あなたはお子様をつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



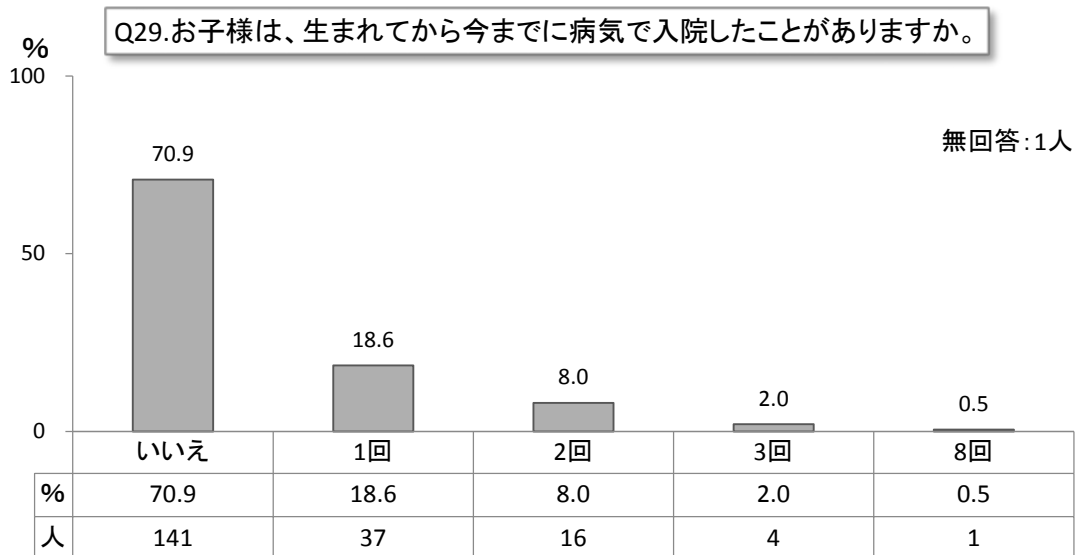
Q28. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 我慢させることもある
3. 全て聞き入れない



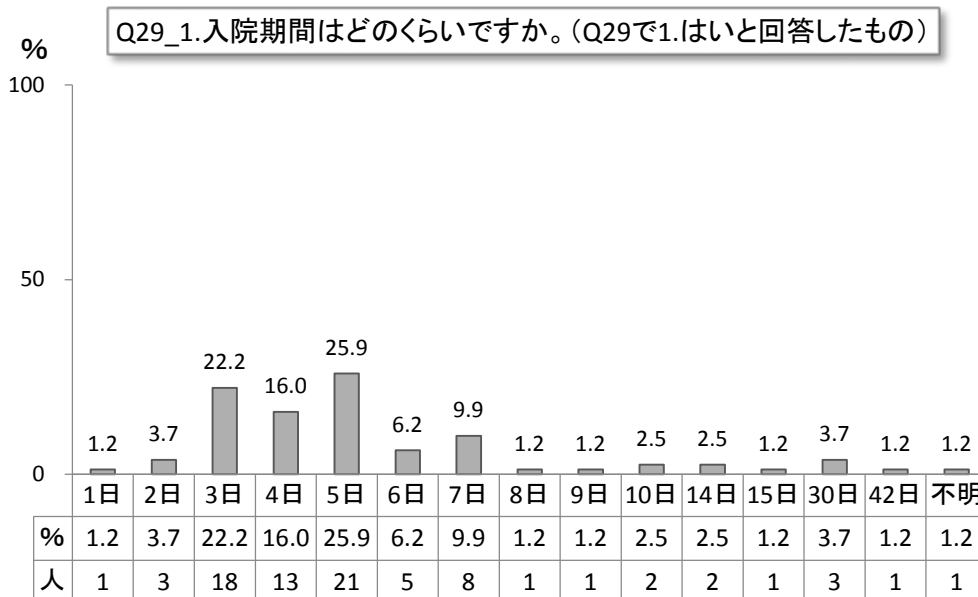
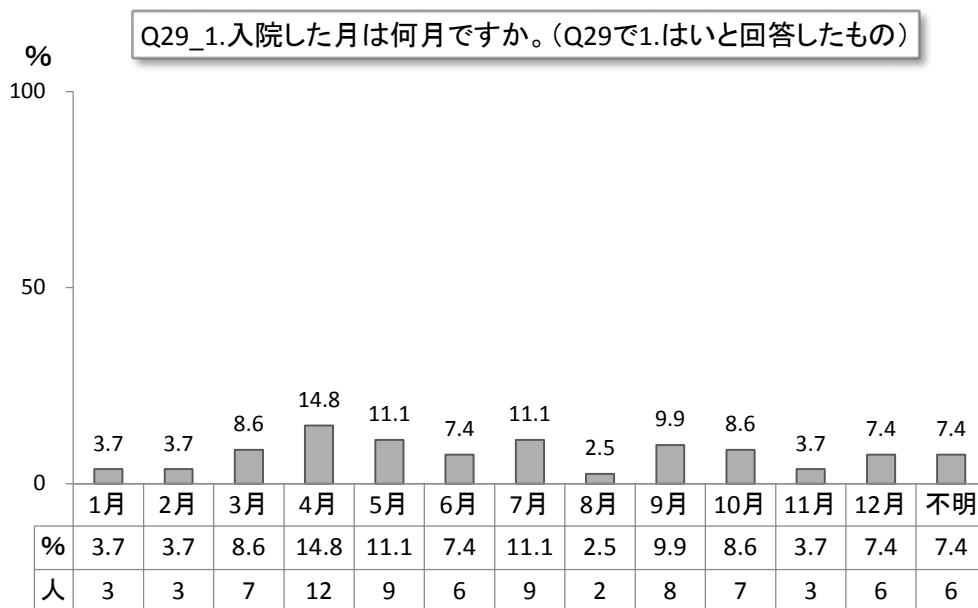
Q29. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



29-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入ください。

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()

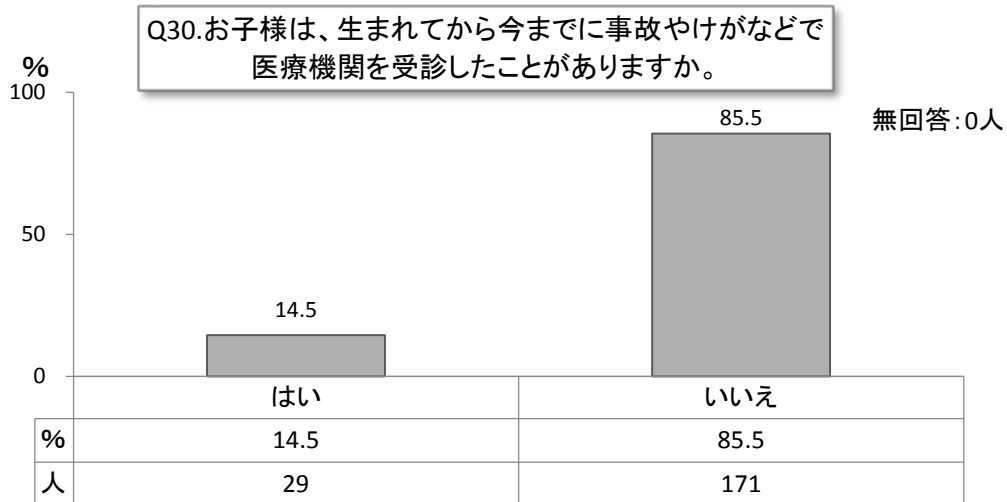


入院病名	人
肺炎	19
熱性けいれん	6
感冒	6
RSウイルス	6
発熱	3
気管支喘息	3
肺炎、喘息	2
尿路感染症	2
新生児無呼吸発作	2
低出生体重児	1
羊水大量吸引症候群	1
多呼吸	1
動脈管開存症	1
臍炎	1
副耳手術	1
多指症	1
乳糖不耐症	1
アデノウイルス	1
溶連菌	1
インフルエンザ	1
ヘルパンギーナ	1
気管支炎	1
胃腸炎	1
川崎病	1
血球貧食症候群	1
顔面神経麻痺	1
咽頭浮腫	1
発疹	1
突発性発疹	1
てんかん	1
アナフィラキシー	1
食物アレルギー検査	1
脱水症	1
熱中症	1
頭部骨折	1
不明	6

Q30. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

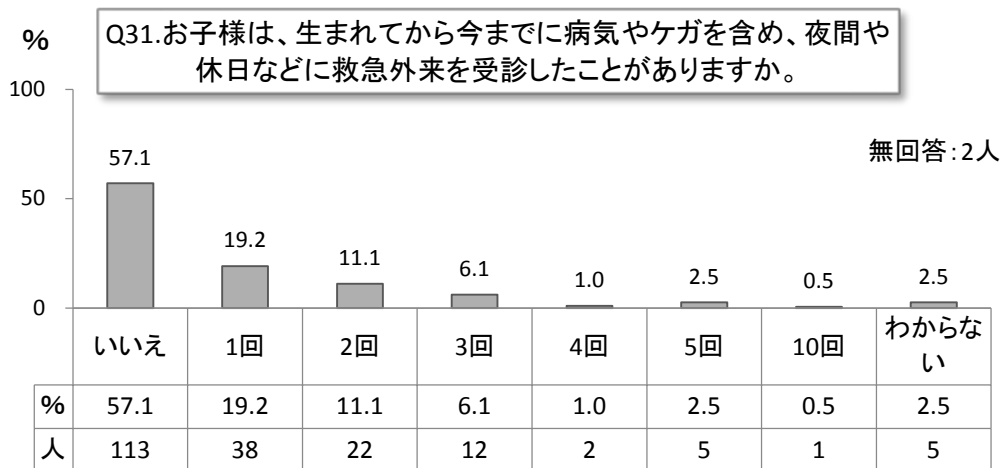
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます。)

1. はい
2. いいえ



Q31. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

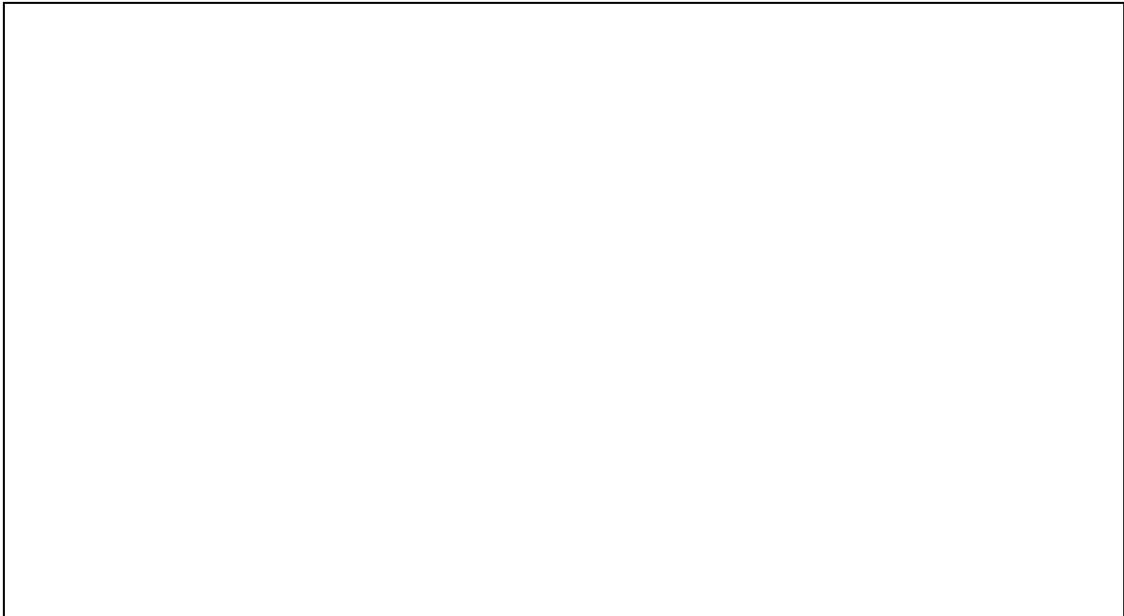


31-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()
()	()

救急病名	人
発熱	24
感冒	23
突発性発疹	11
嘔吐	5
インフルエンザ	4
熱性けいれん	4
胃腸炎	4
気管支喘息	3
じんましん	3
誤飲	3
クループ症候群	2
気管支炎	2
RSウイルス	2
食物アレルギー	2
手足口病	2
外傷	2
川崎病	1
ロタウイルス感染症	1
ノロウイルス感染症	1
ヘルパンギーナ	1
流行性耳下腺炎	1
水痘	1
結膜炎	1
臍炎	1
血便	1
便秘	1
そけいヘルニア	1
口腔内外傷	1
顔面神経麻痺	1
おむつかぶれ	1
虫刺症	1
熱傷	1
熱中症	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。



以上です。ご協力ありがとうございました。

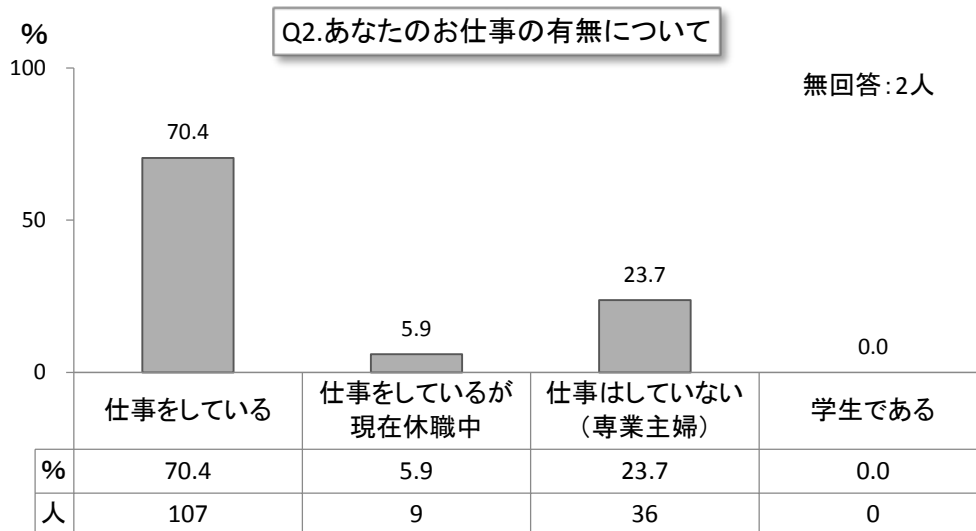
IV-3.3 歳児健診時

IV. 調査結果 (3.3 歳児健診時)

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

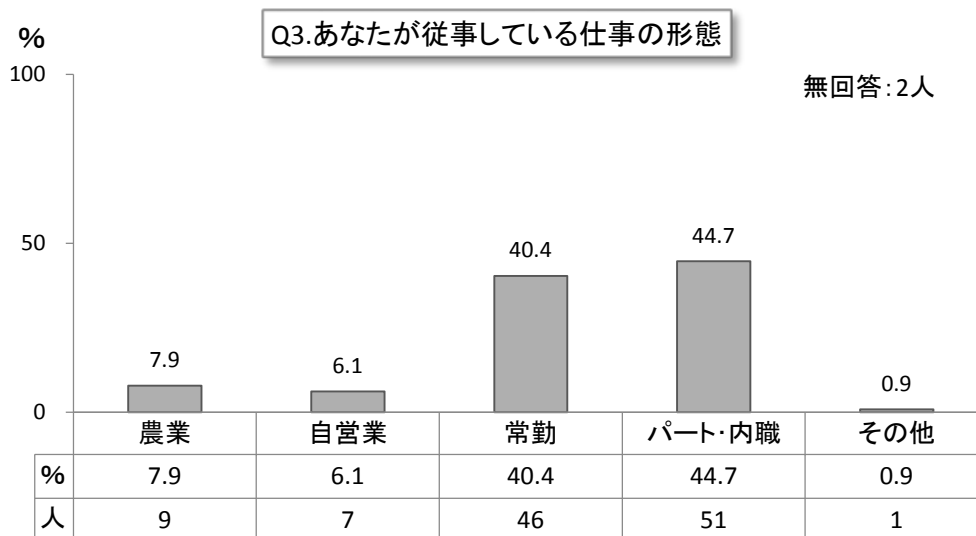
1. 仕事をしている
2. 仕事はしているが現在休職中である
3. 仕事はしていない (専業主婦である)
4. 学生である

→3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

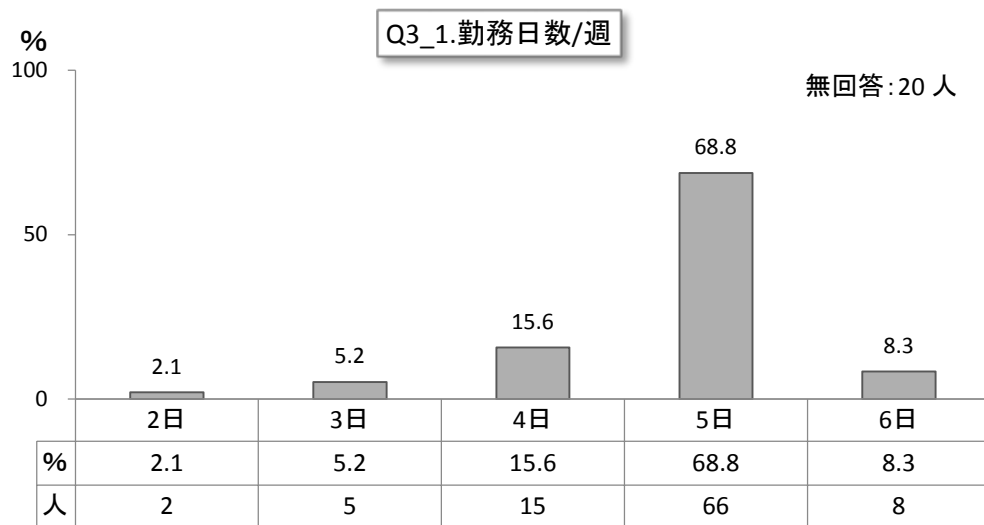
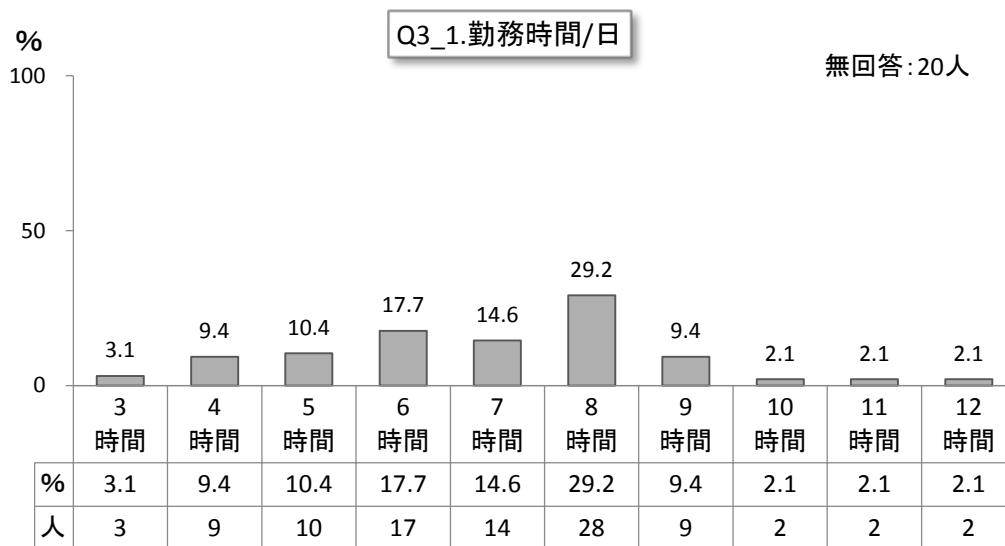


Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

1. 農業
2. 自営業
3. 常勤
4. パート・内職
5. その他 ()

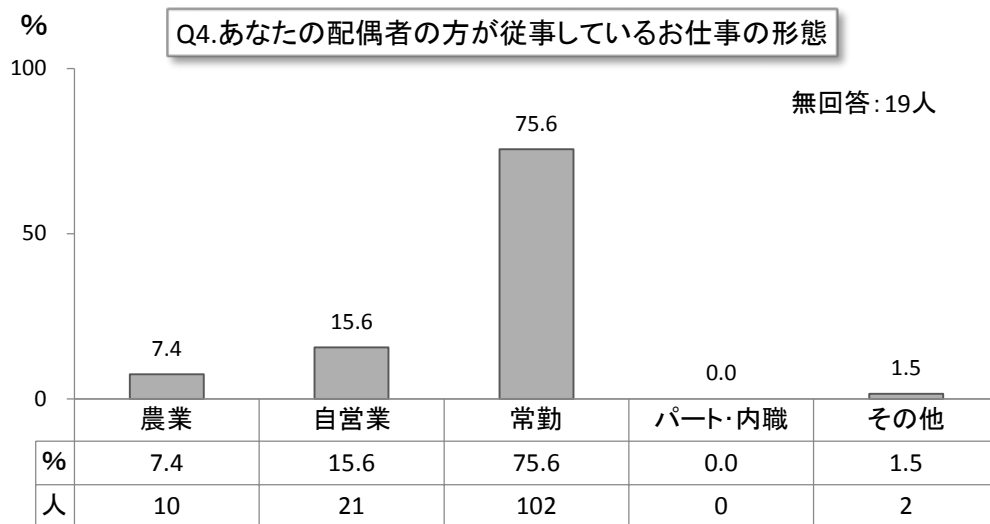


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

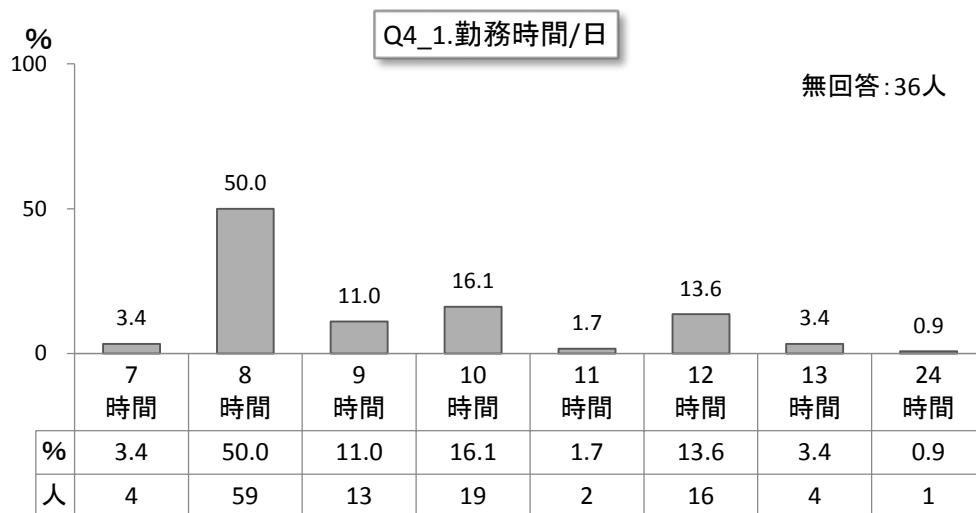


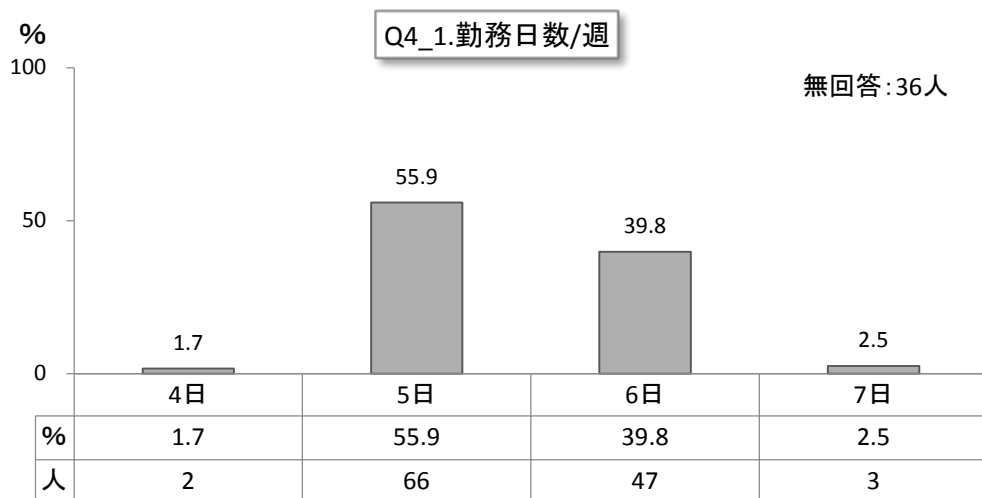
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

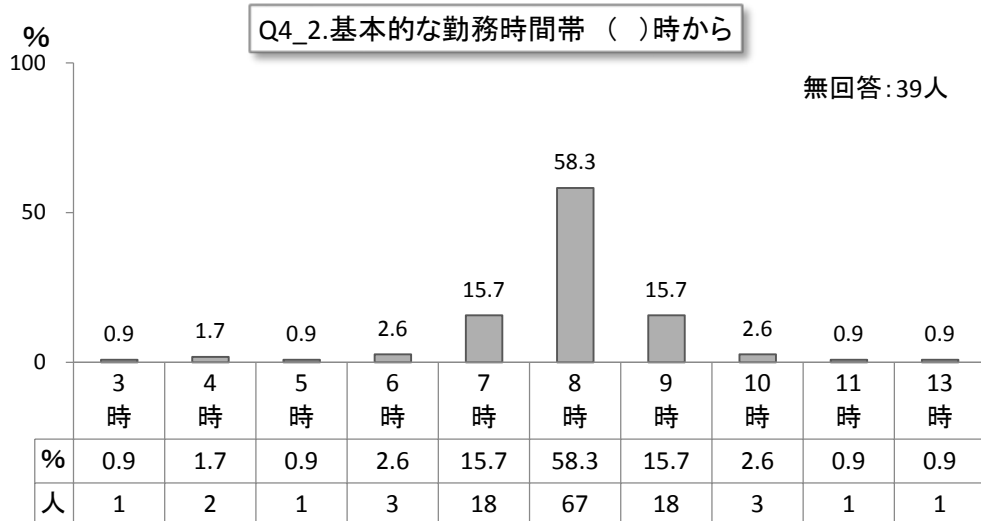


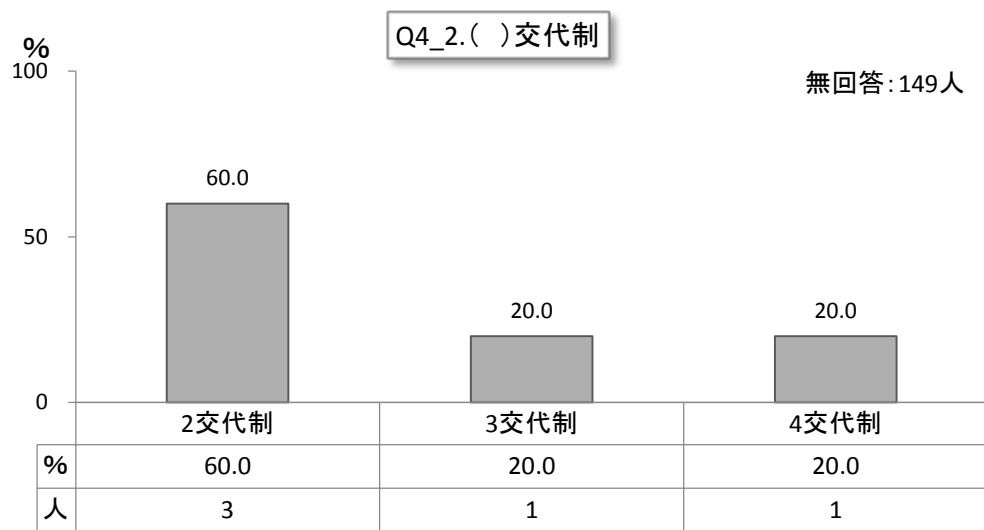
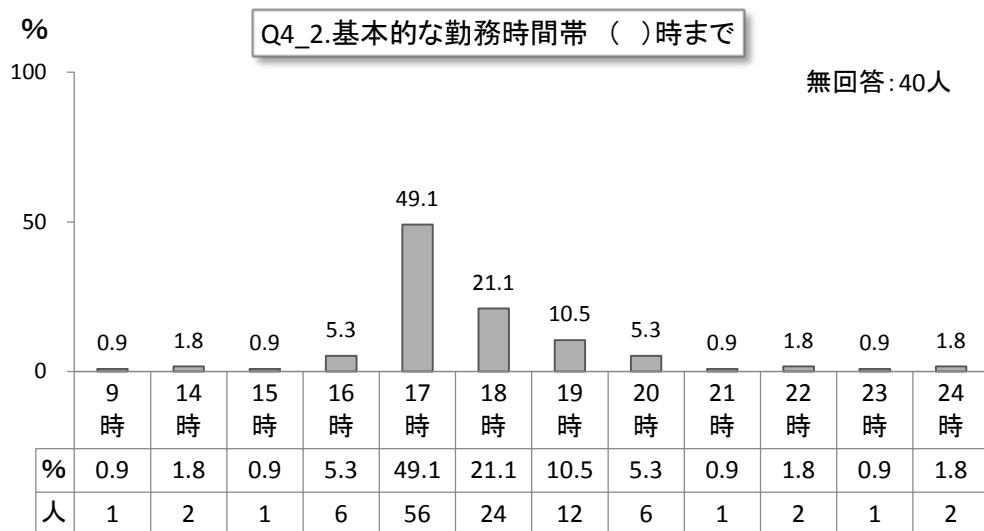
4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務





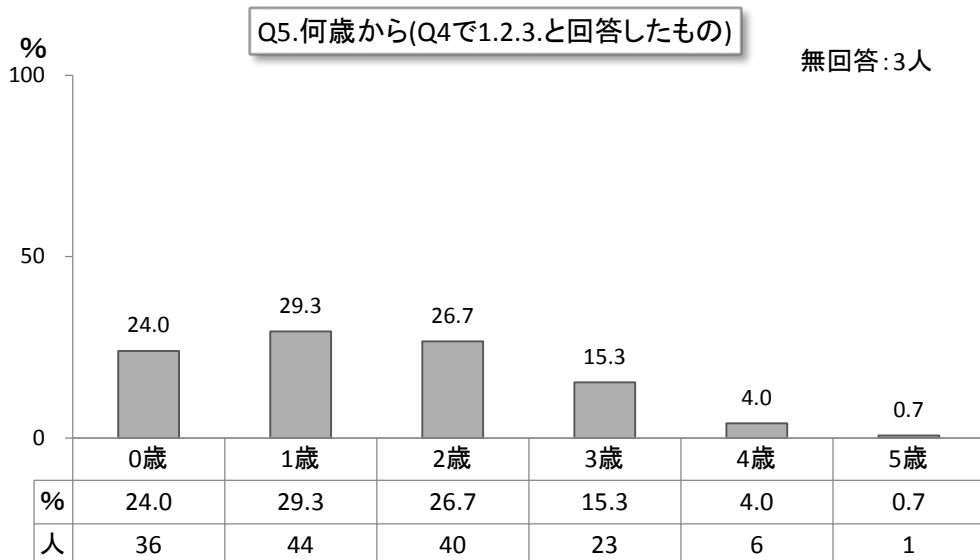
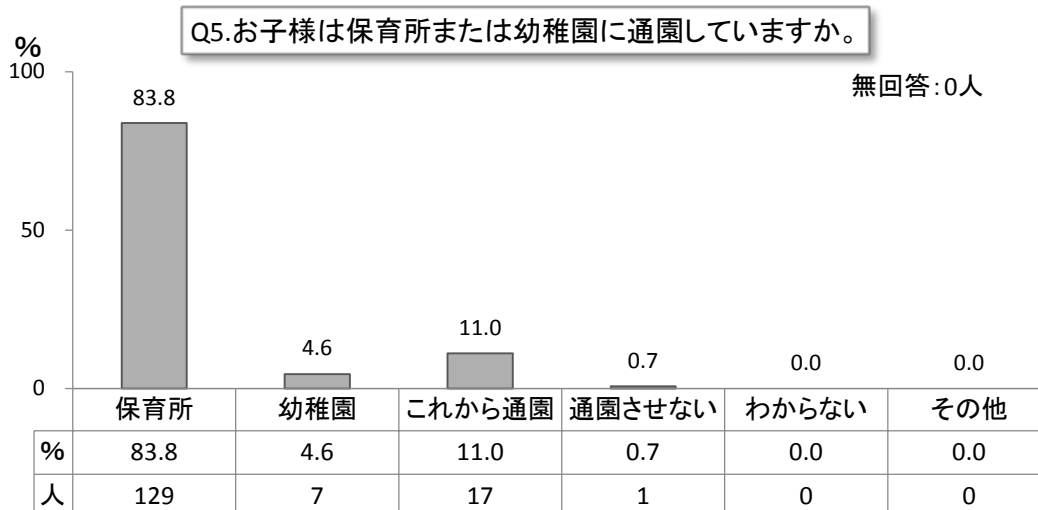
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制





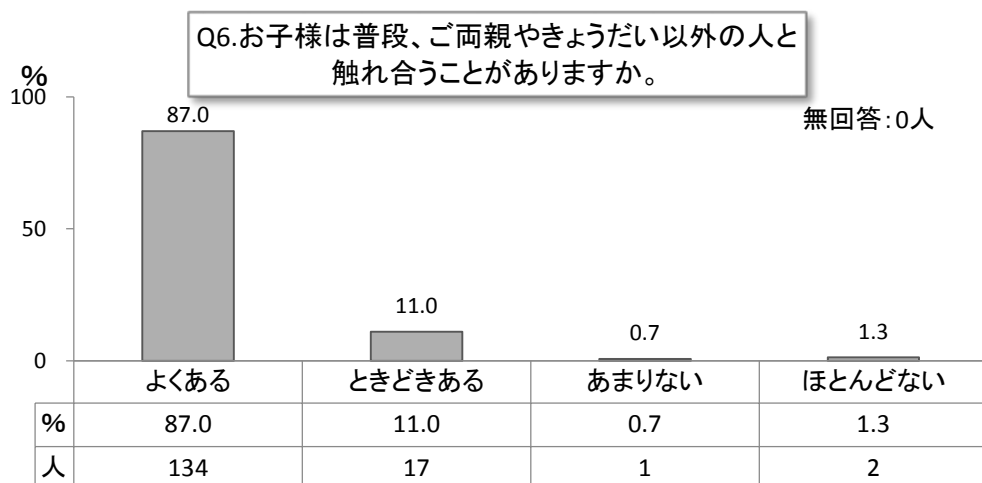
Q5. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

1. 保育所に通園している (歳から)
2. 幼稚園に通園している (歳から)
3. 通園していないが、これから通園させたい (歳から)
4. ずっと通園させないつもりである
5. わからない／なんともいえない
6. その他



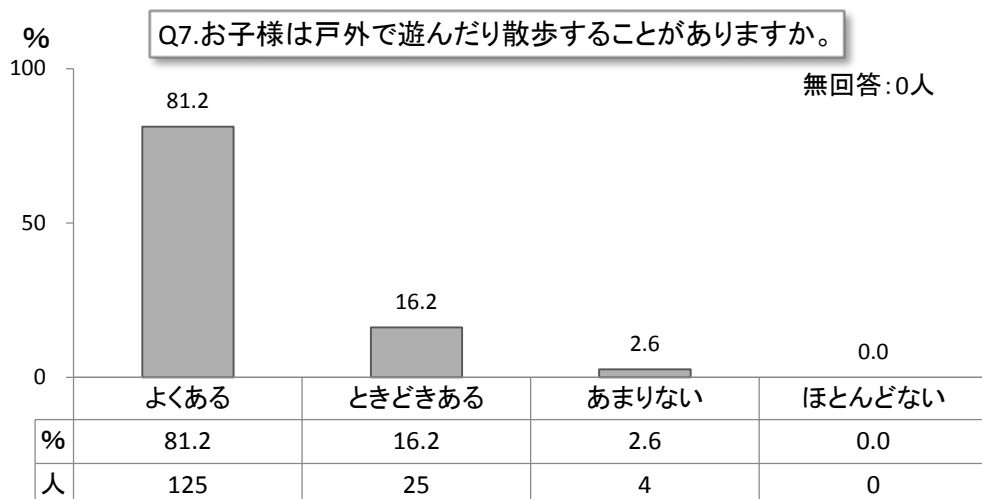
Q6. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない



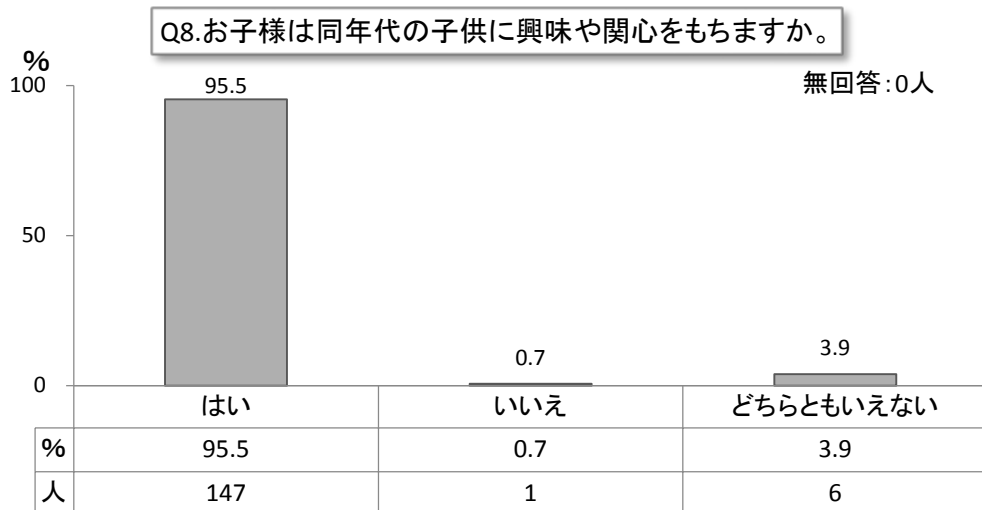
Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない



Q8. お子様は同年代の子どもに興味や関心をもちますか。

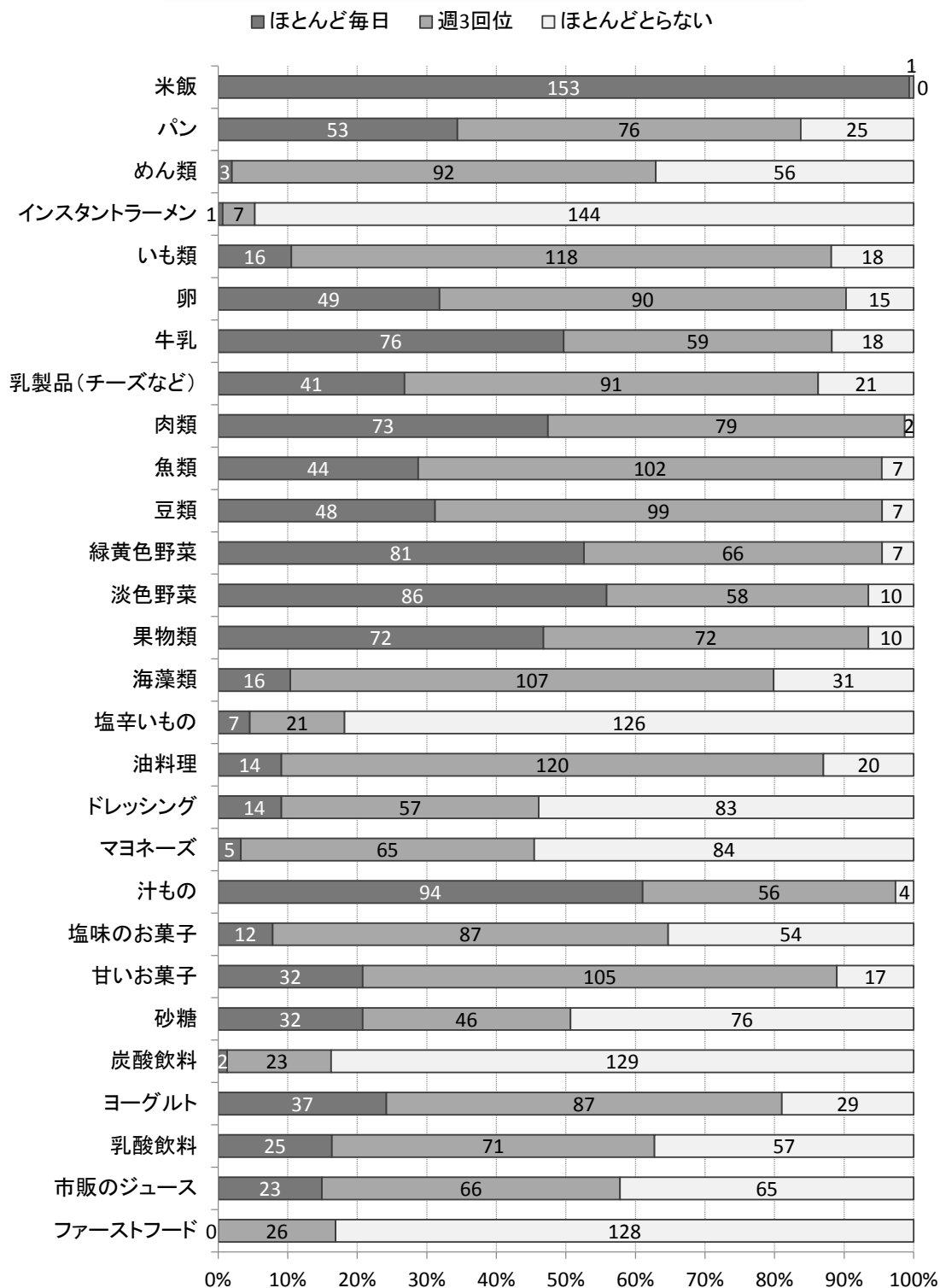
1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



Q9. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

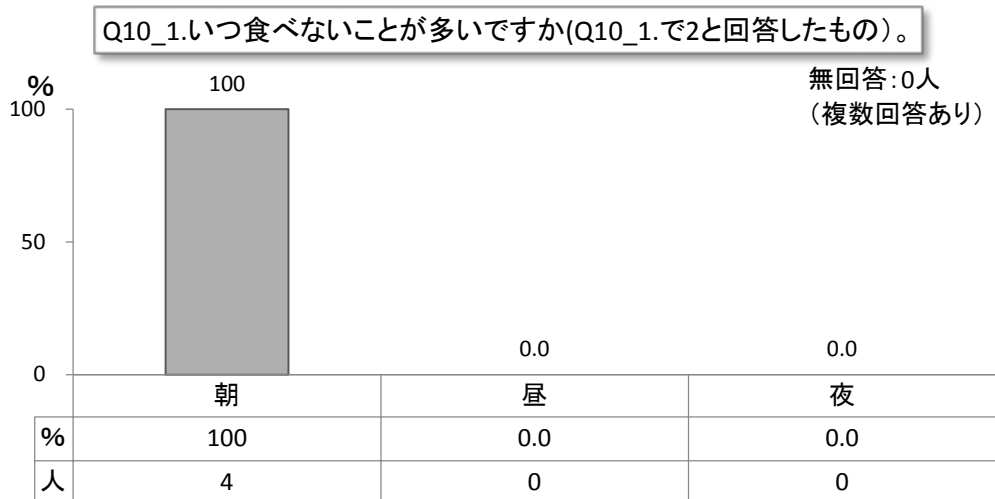
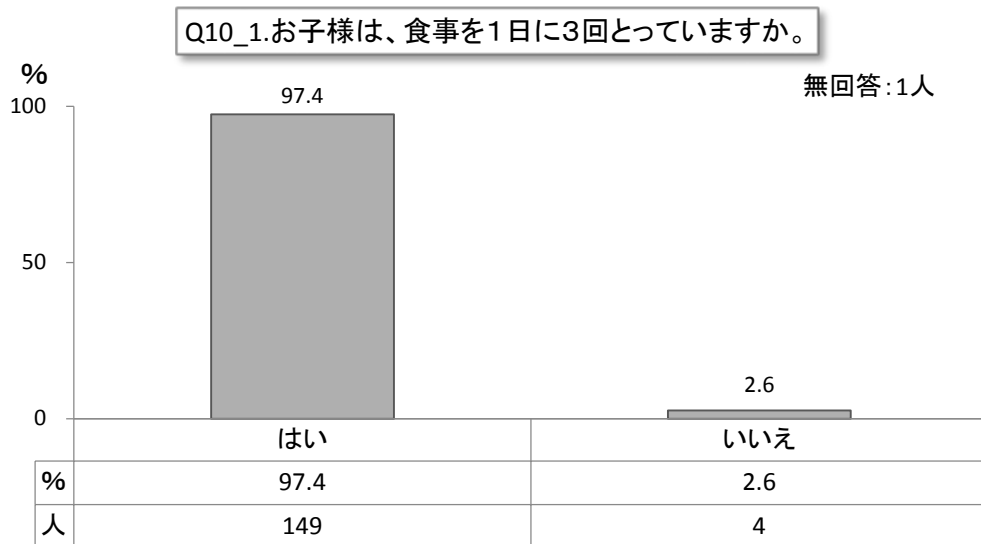
Q9.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。



Q10. お子様の食事について伺います。

10-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜)

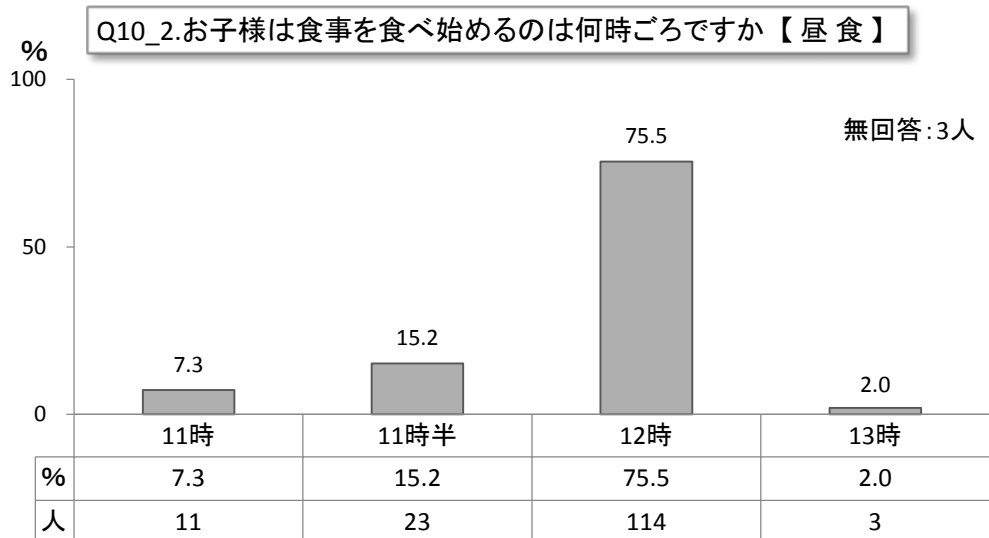
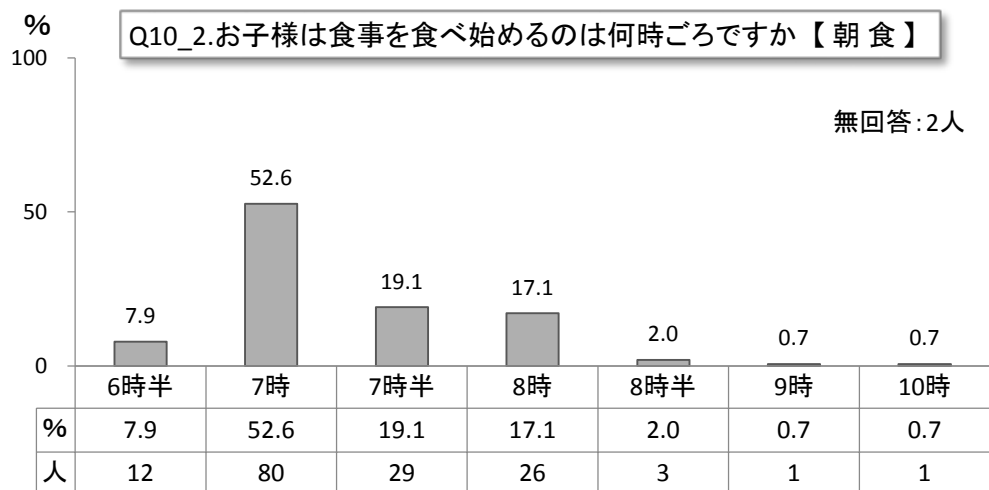


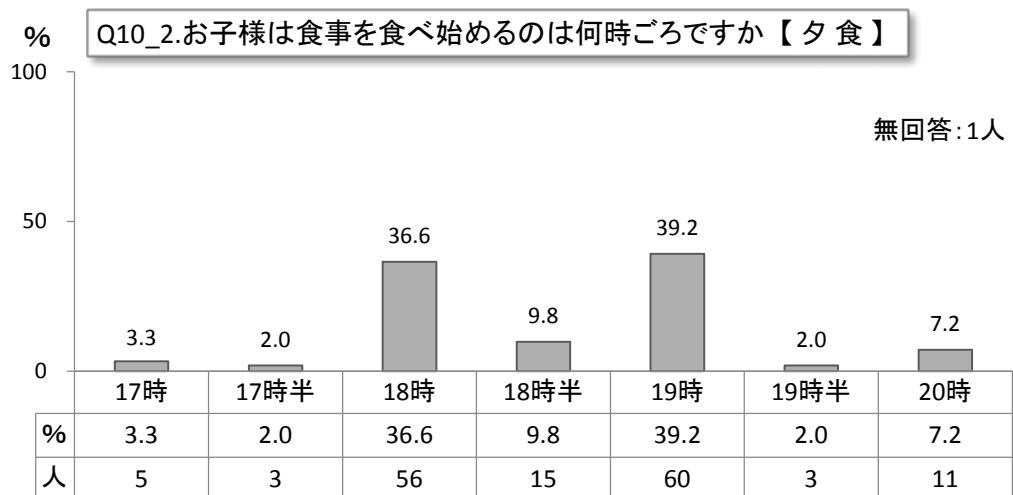
10-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ

昼食 () 時 ころ

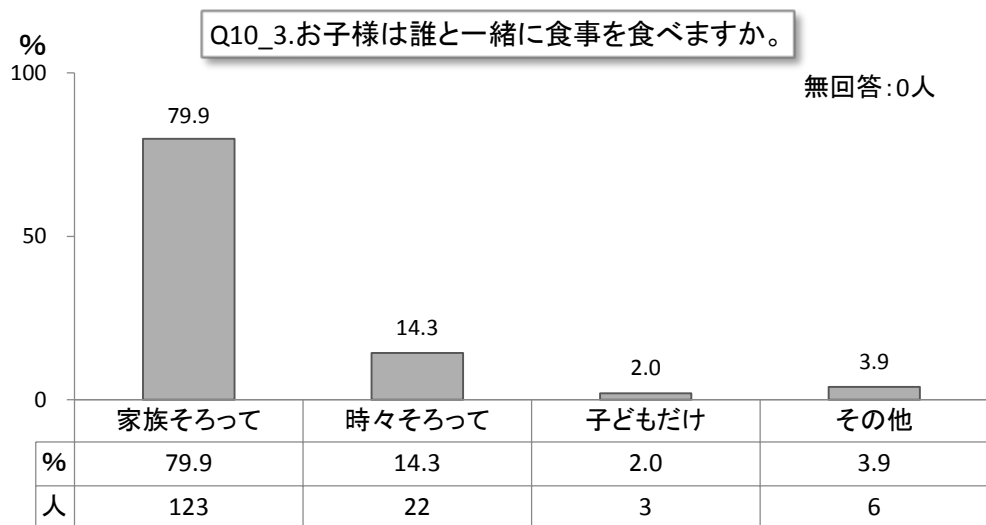
夕食 () 時 ころ





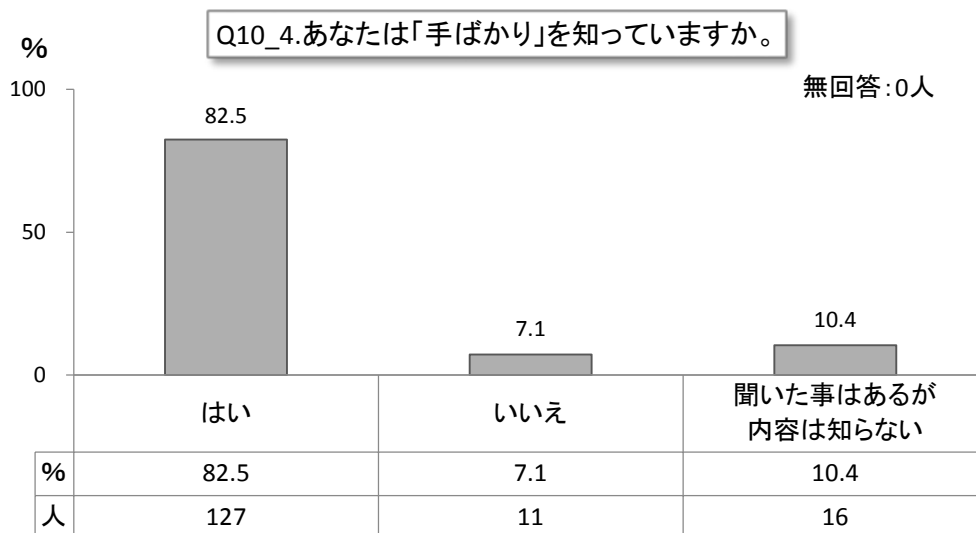
10-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ()



10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

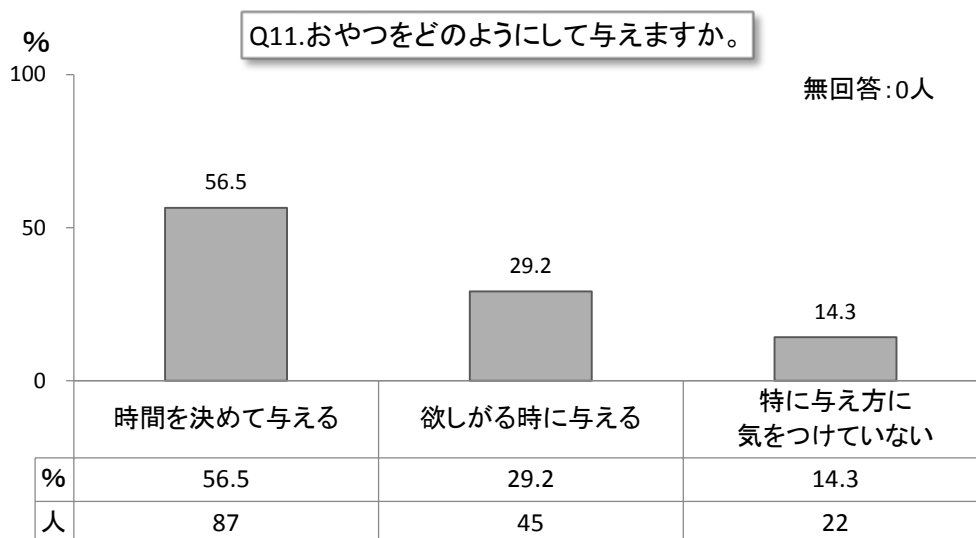
1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q11. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）はどのようにして与えますか。

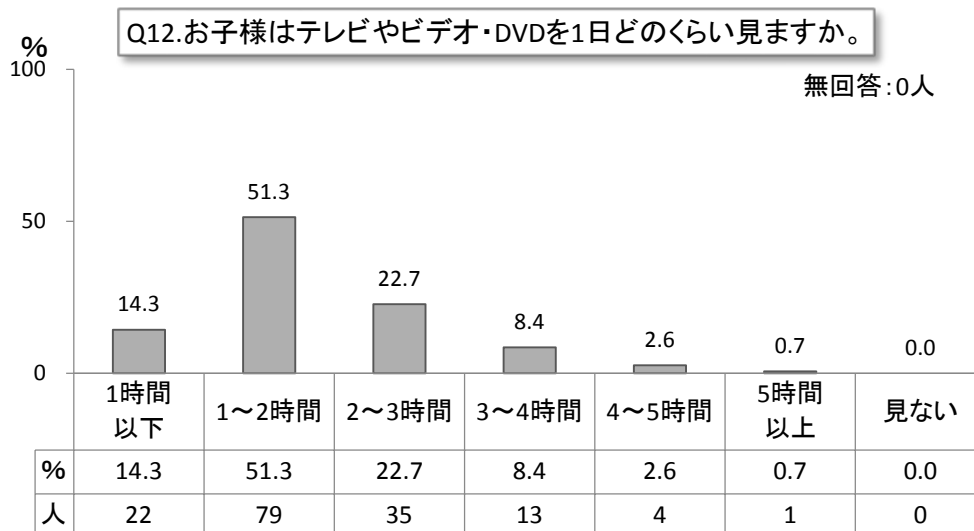
(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



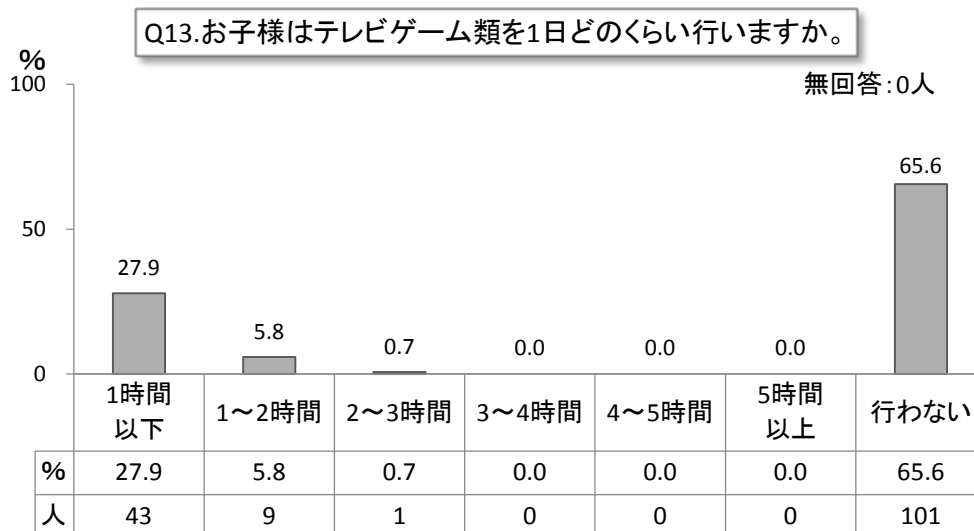
Q12. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



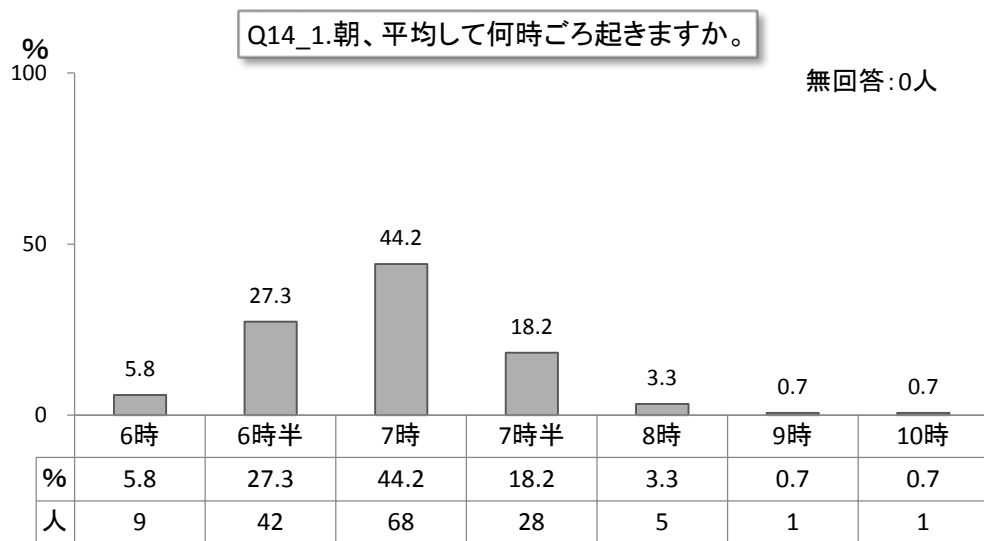
Q13. お子様はテレビゲーム類（ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む）を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

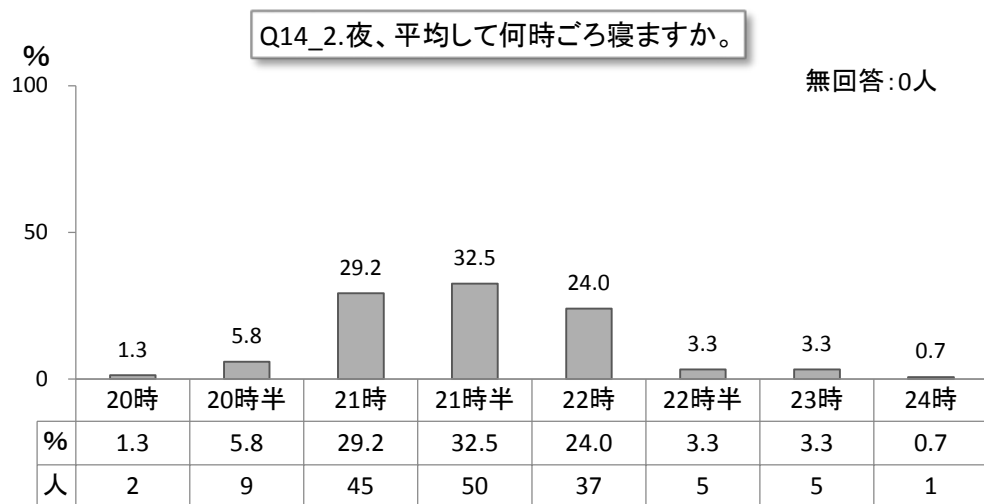


Q14. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

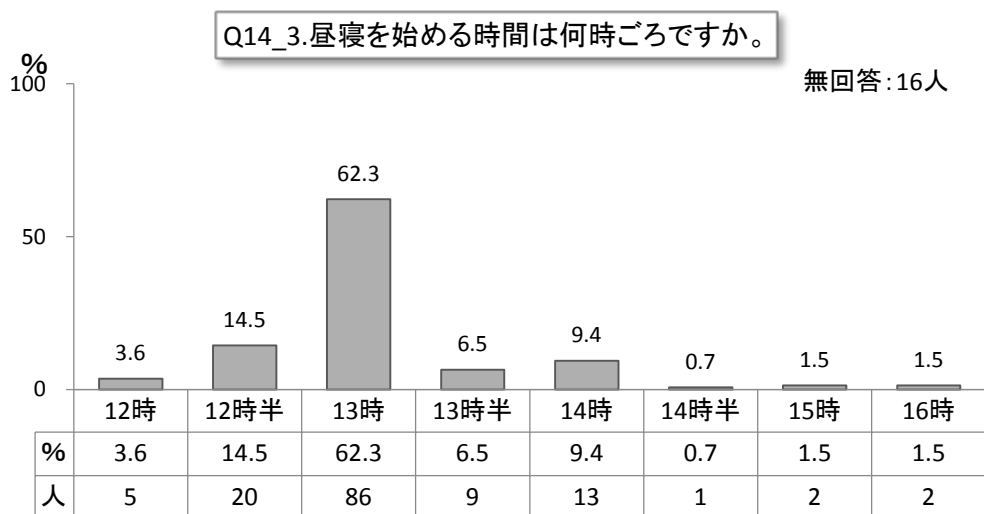
14-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分ころ



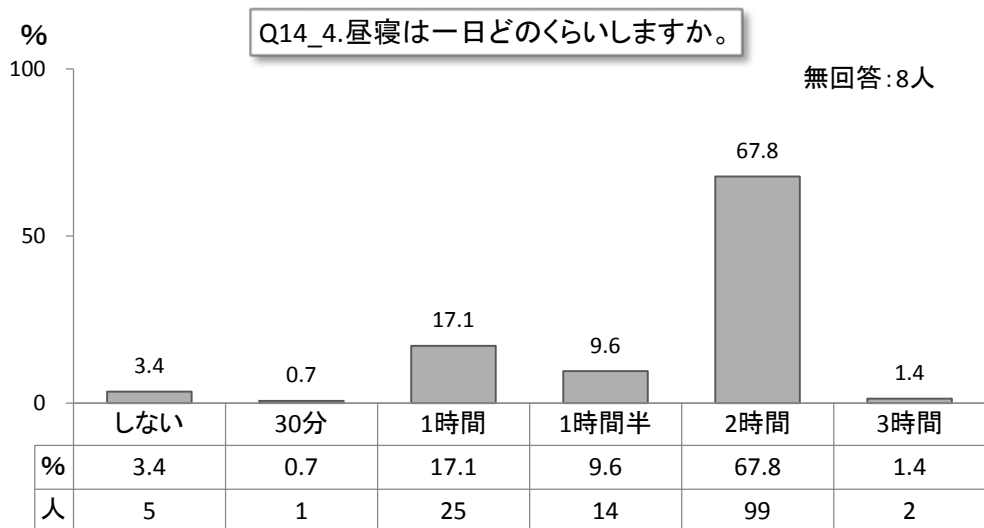
14-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分ころ



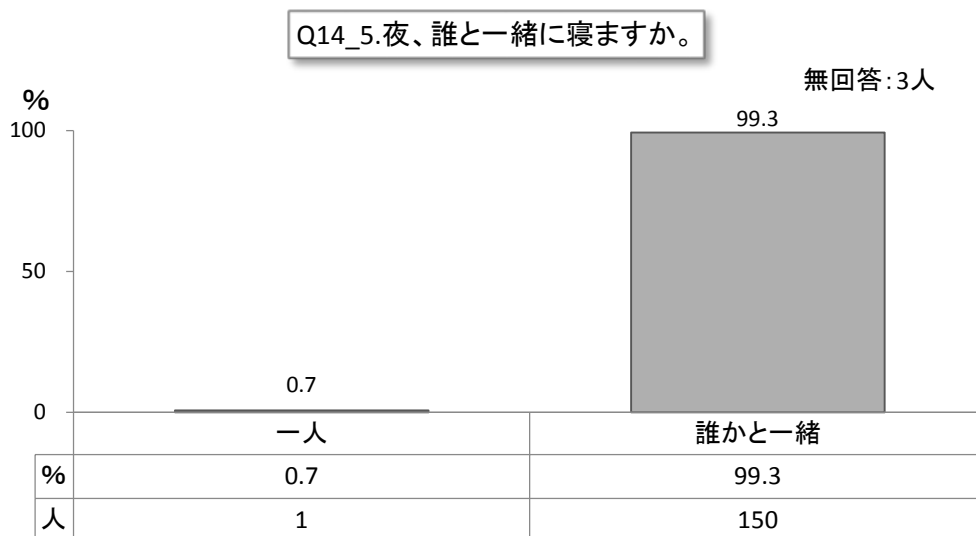
14-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分ころ



14-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位

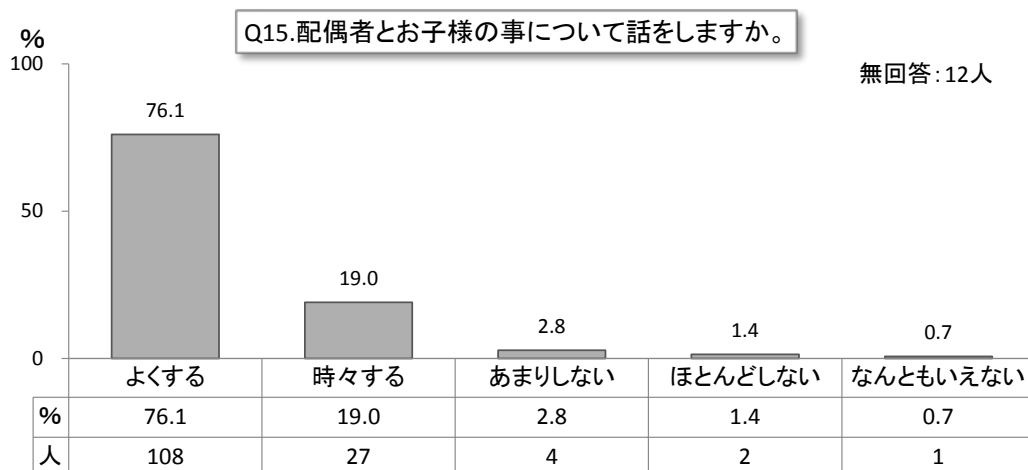


14-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)



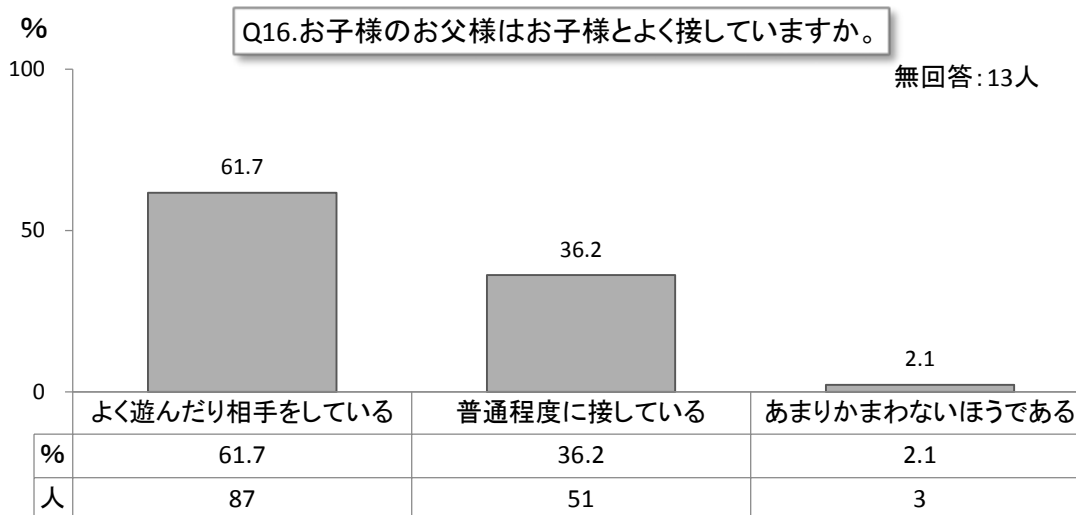
Q15. あなたは配偶者とお子様の事について話をしますか。

- 1. よくする
- 2. 時々する
- 3. あまりしない
- 4. ほとんどしない
- 5. なんともいえない



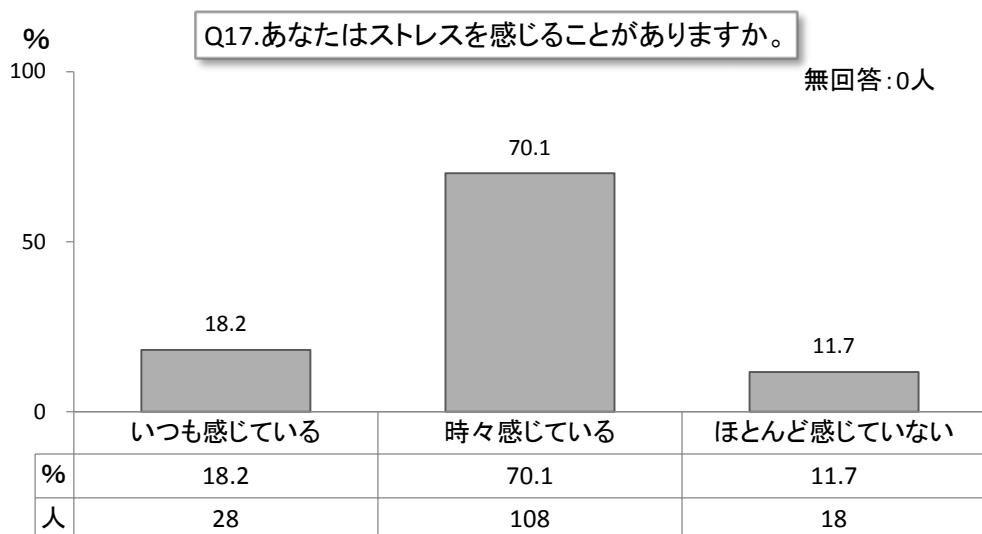
Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく遊んだり、相手をしている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



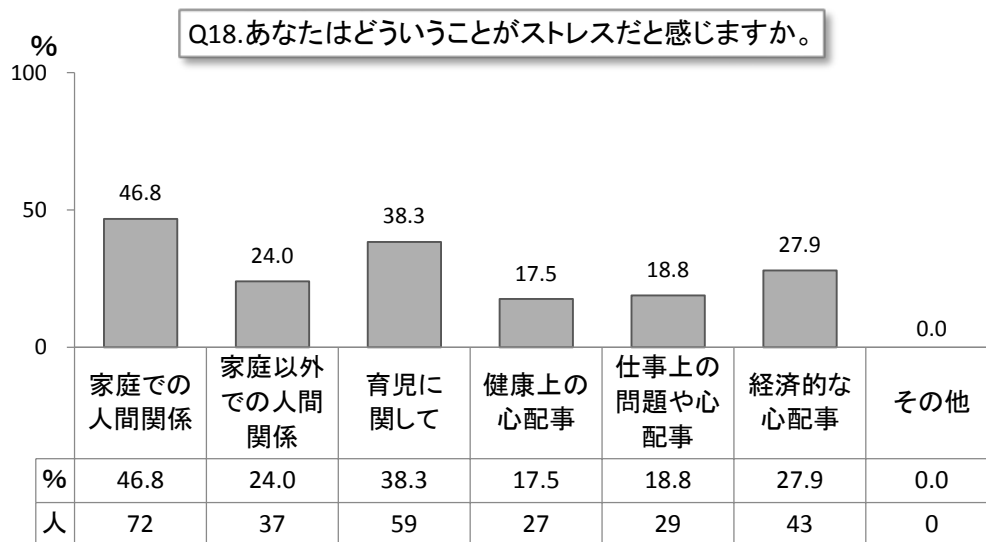
Q17. あなたはストレスを感じることはありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

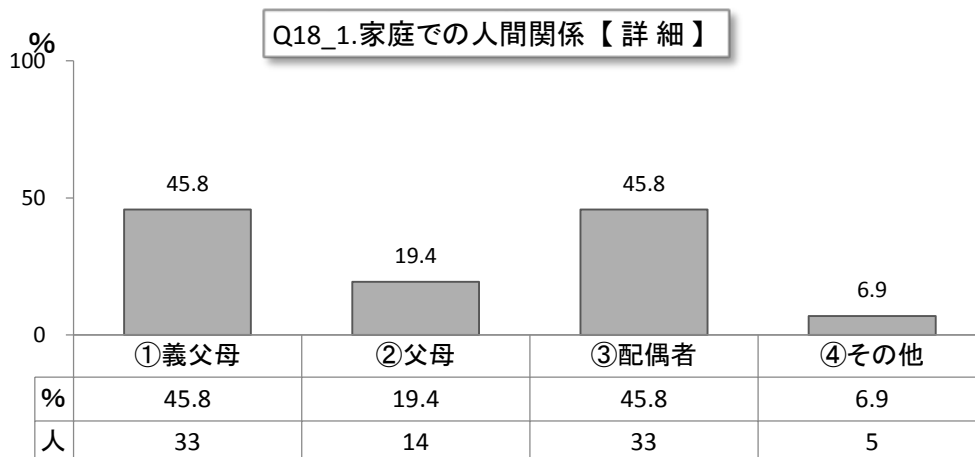


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

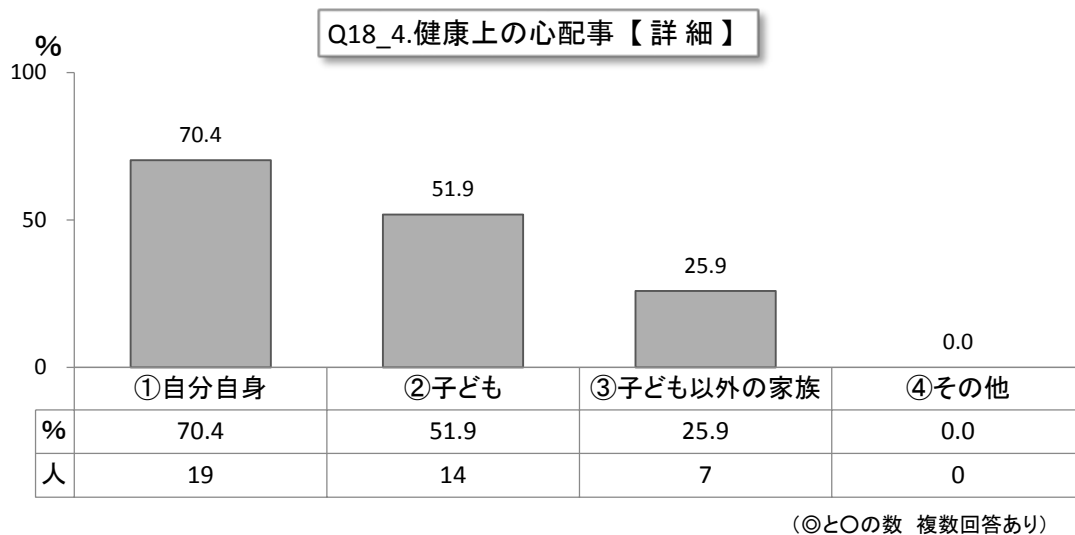
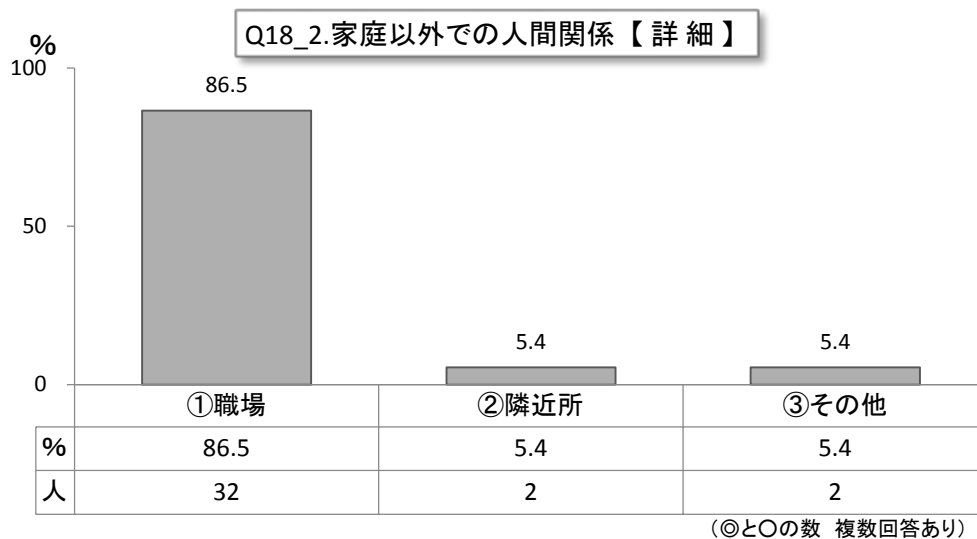
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()



(◎と○の数 複数回答あり)

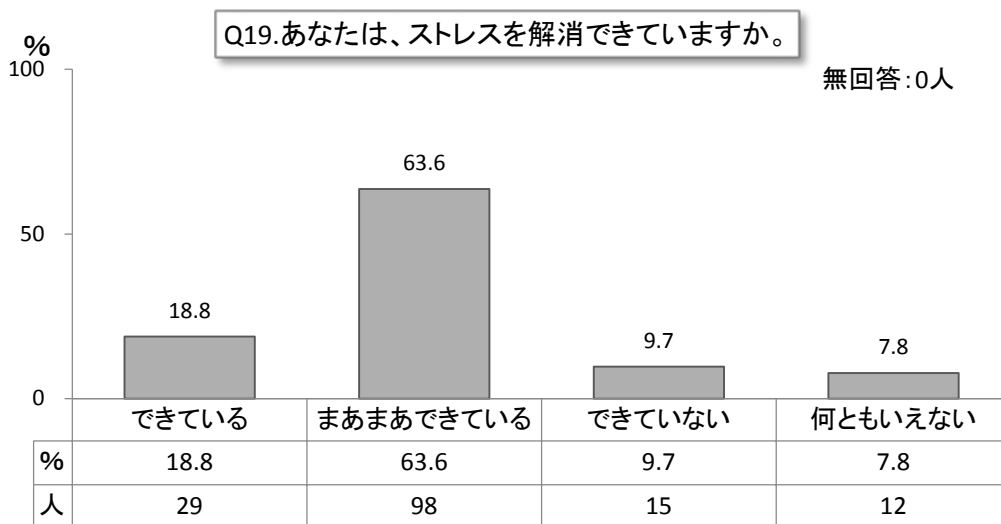


(◎と○の数 複数回答あり)



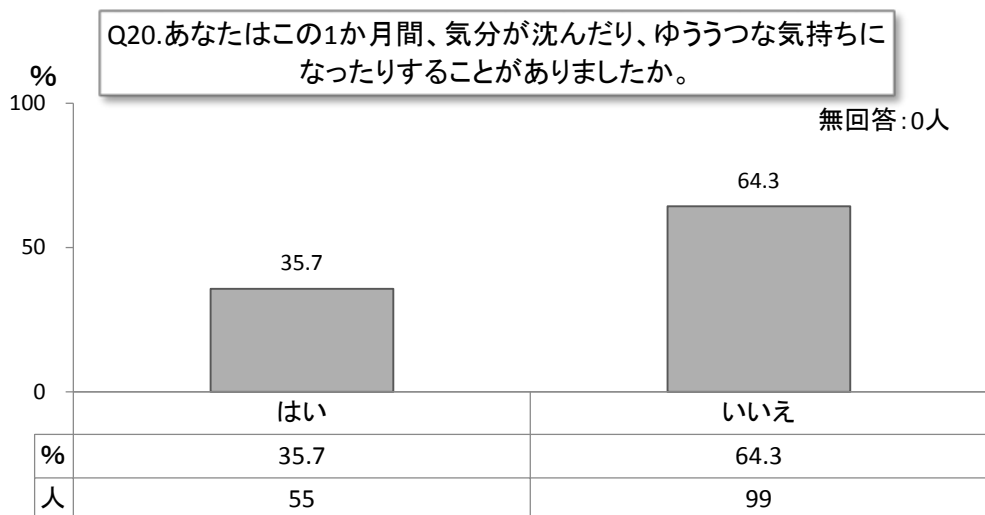
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

- 1. できている
- 2. まあまあできている
- 3. できていない
- 4. 何ともいえない



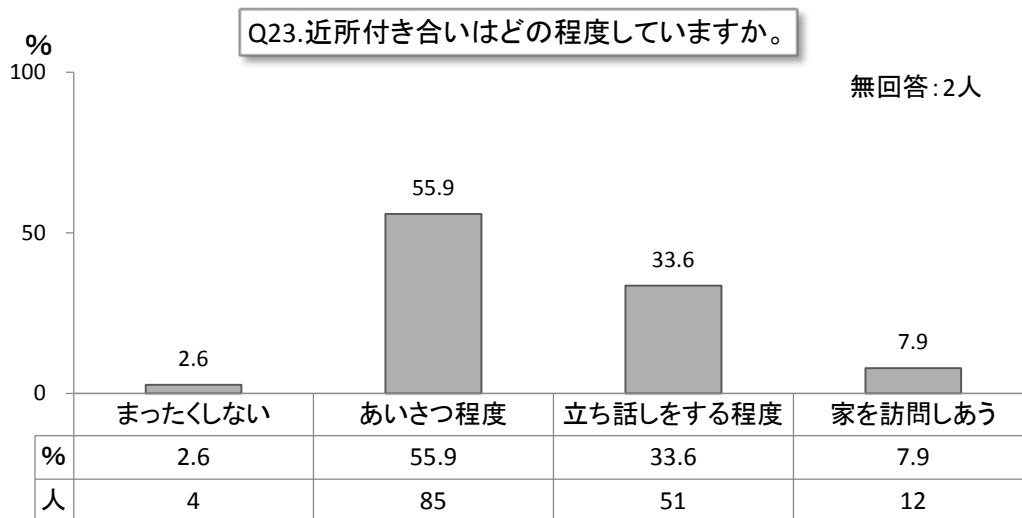
Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ



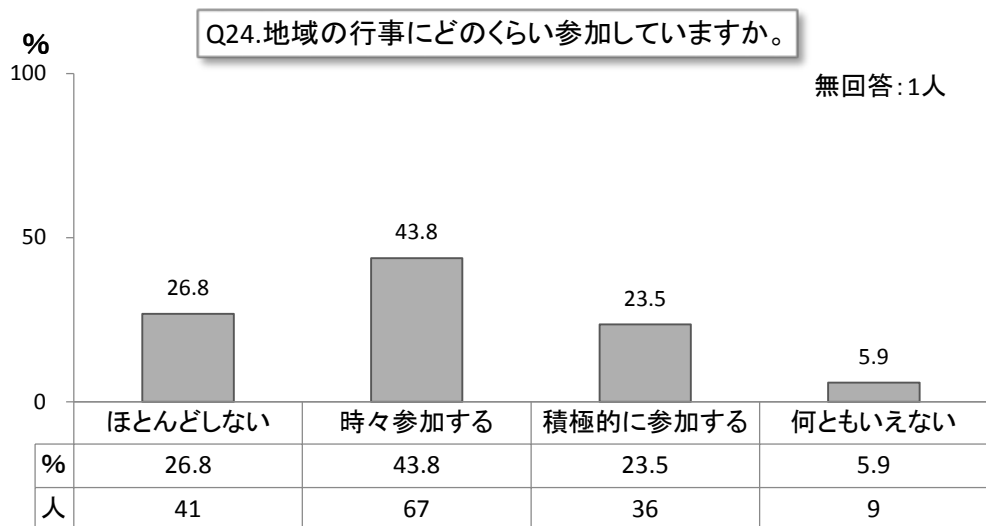
Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。

- 1. まったくしない
- 2. あいさつ程度
- 3. 立ち話しをする程度
- 4. 家を訪問しあう



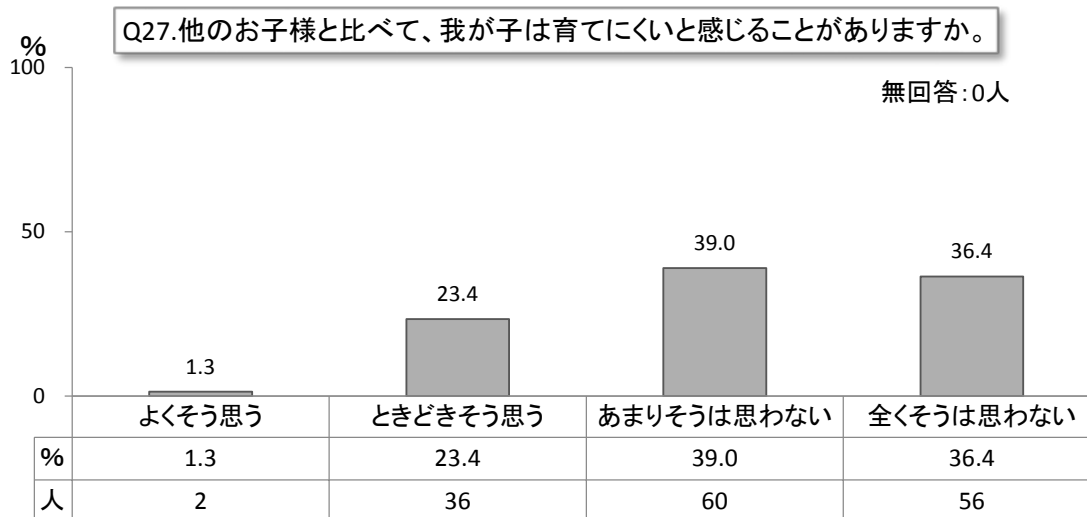
Q24. 地域の行事（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

- 1. ほとんどしない
- 2. 時々参加する
- 3. 積極的に参加する
- 4. 何ともいえない



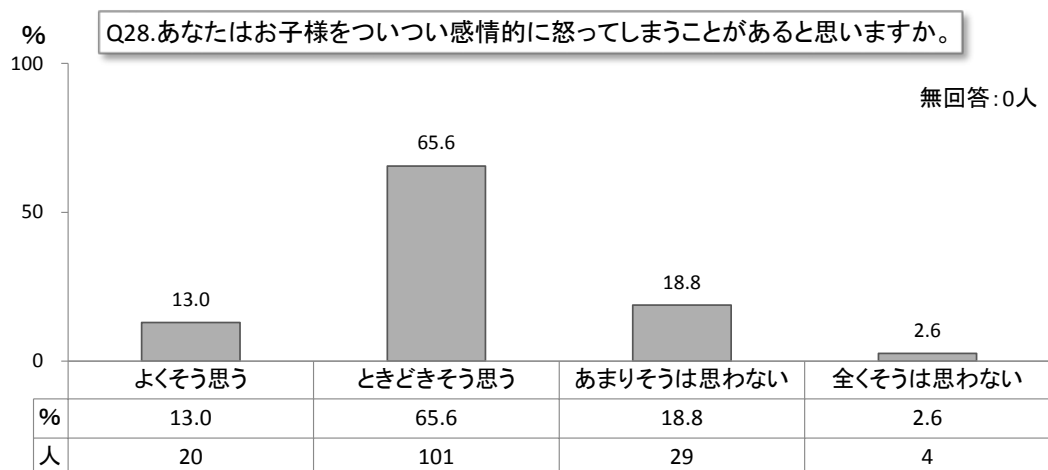
Q27. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



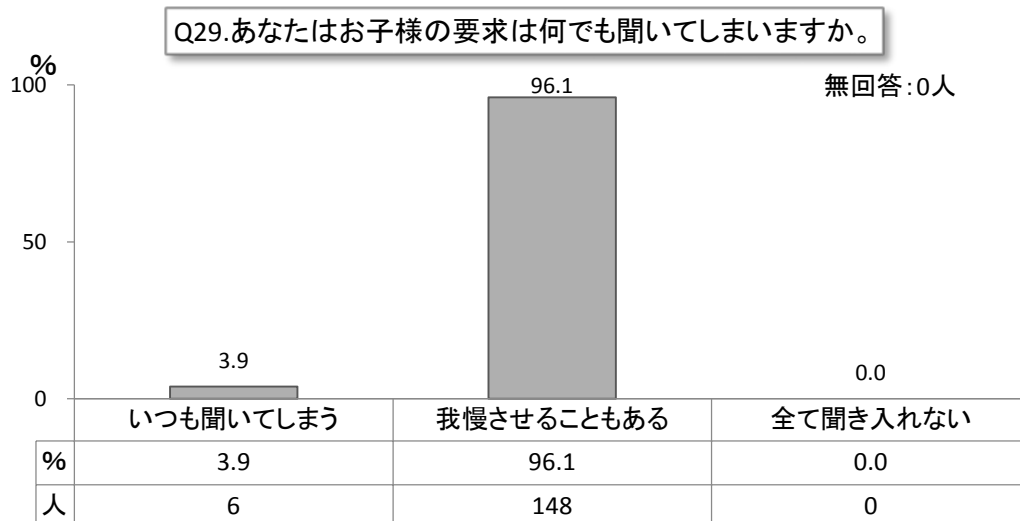
Q28. あなたはお子様をじっくり感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



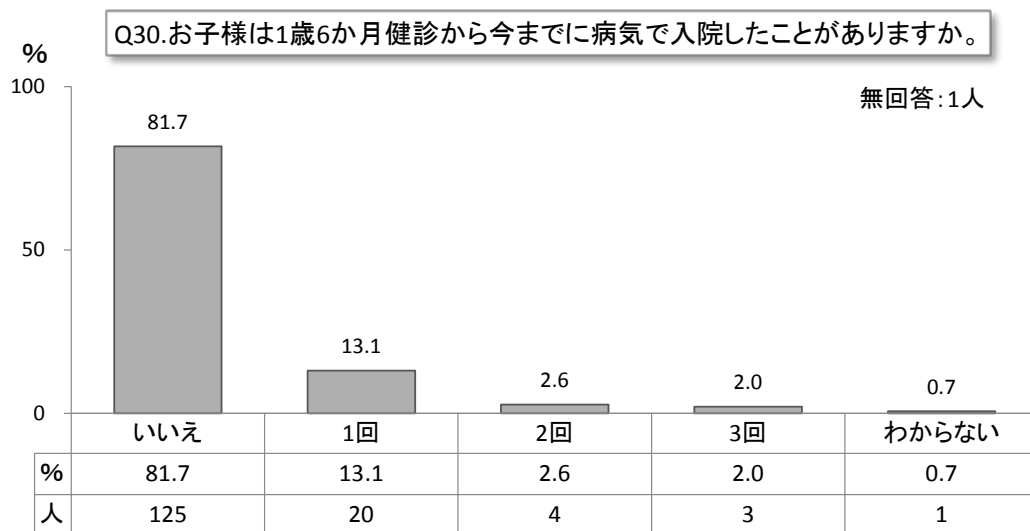
Q29. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 我慢させることもある
3. 全て聞き入れない



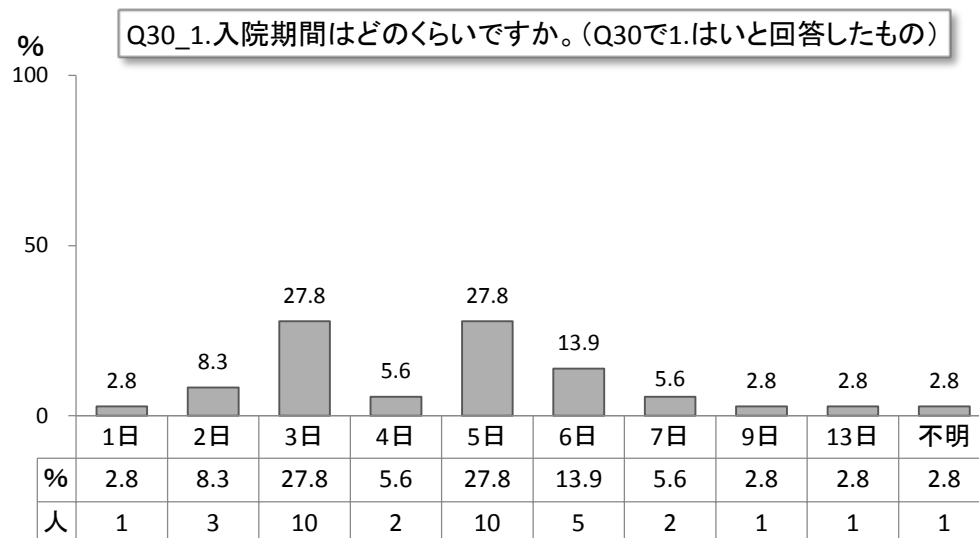
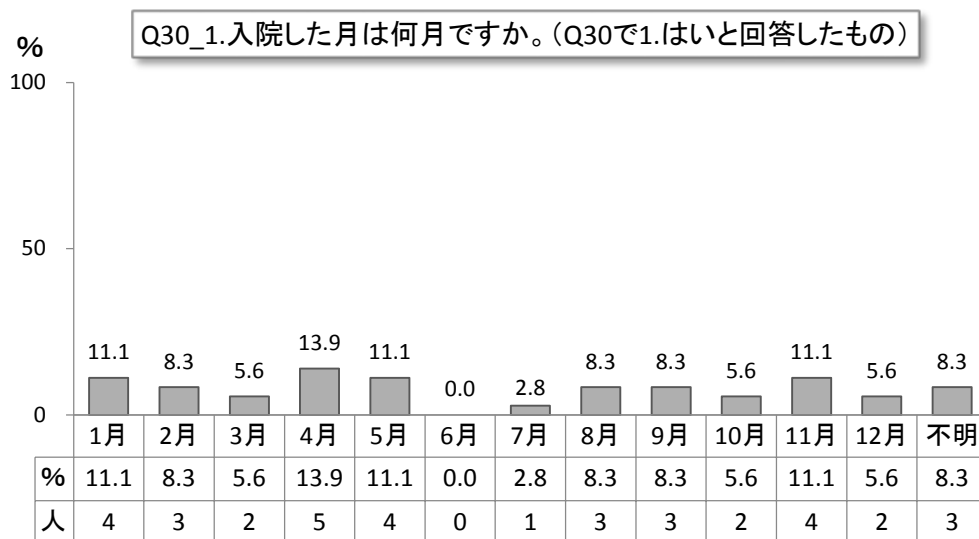
Q30. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



30-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1 回目	2 回目	3 回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()

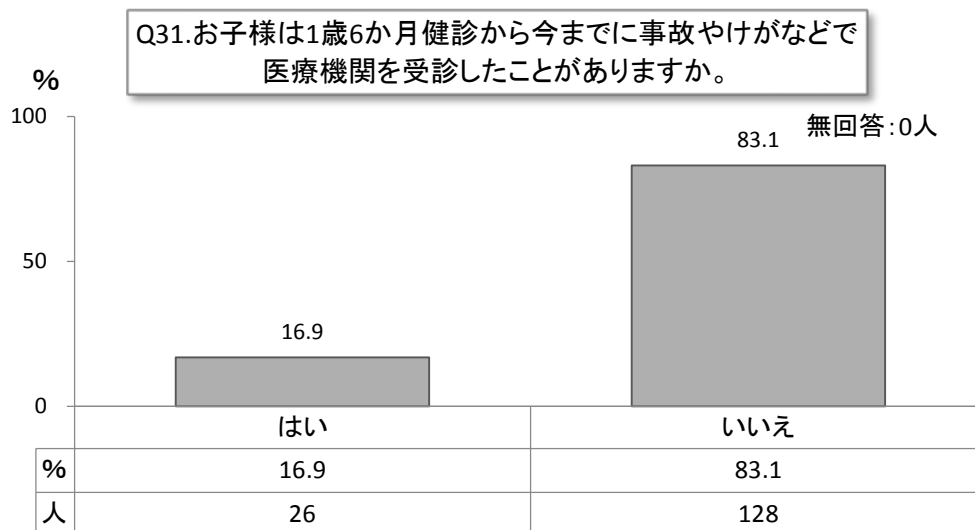


入院病名	人
肺炎	11
急性胃腸炎	5
熱性けいれん	4
そけいヘルニア	3
RSウイルス	1
ロタウイルス性胃腸炎	2
川崎病	2
肺炎、気管支喘息	1
気管支喘息	1
発熱	1
感冒	1
アデノウイルス	1
扁桃肥大検査	1
扁桃肥大手術	1
不明	1

Q31. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

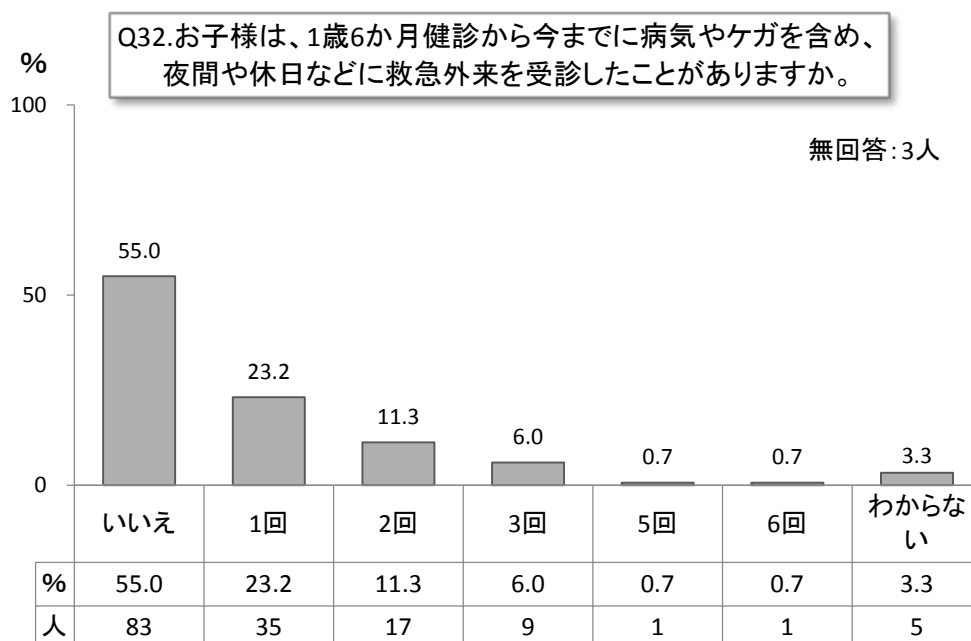
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)

1. はい
2. いいえ



Q32. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



32-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()
()	()

救急病名	人
風邪	20
発熱	15
インフルエンザ	5
肘脱臼	5
急性胃腸炎	4
切創	4
中耳炎	3
咳嗽	3
手足口病	2
じんましん	2
頭部打撲	2
嘔吐	2
熱性けいれん	2
ノロウイルス	2
熱傷	2
気管支炎	1
気管支喘息	1
クループ	1
肺炎	1
頭痛	1
川崎病	1
水痘	1
RSウイルス	1
ロタウイルス	1
突発性発疹	1
食物アレルギー	1
脱臼	1
肘骨折	1
捻挫	1
外傷	1
足のとげ	1
鼻出血	1
歯痛	1
犬咬傷	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。



以上です。ご協力ありがとうございました。

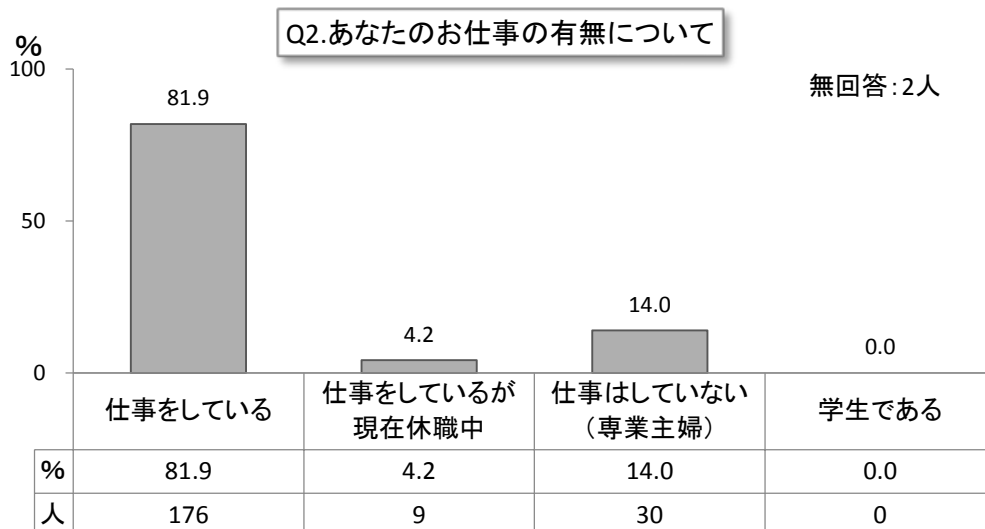
IV. 調査結果 (3.3 歳児健診時)

IV-4.5 歳児健診時

IV. 調査結果（4.5 歳児健診時）

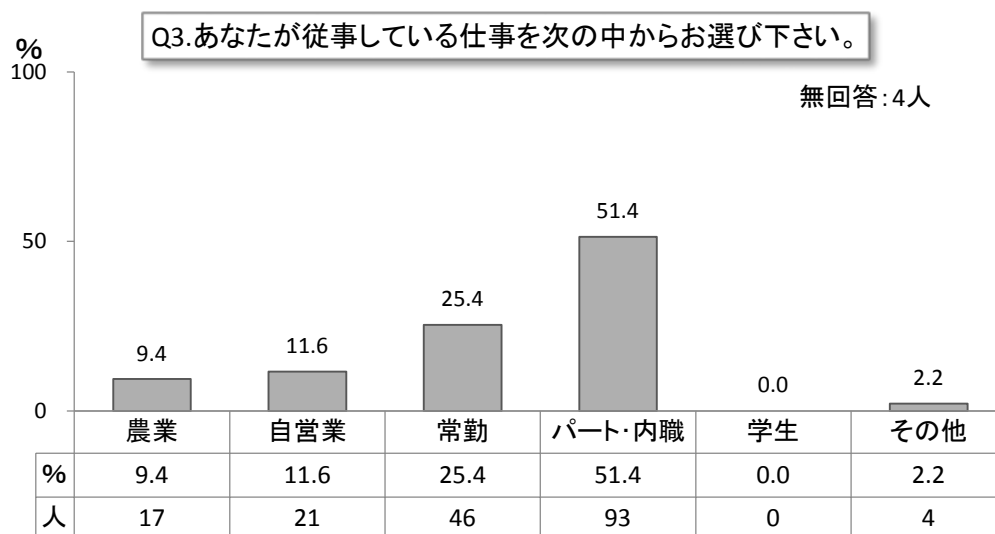
Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

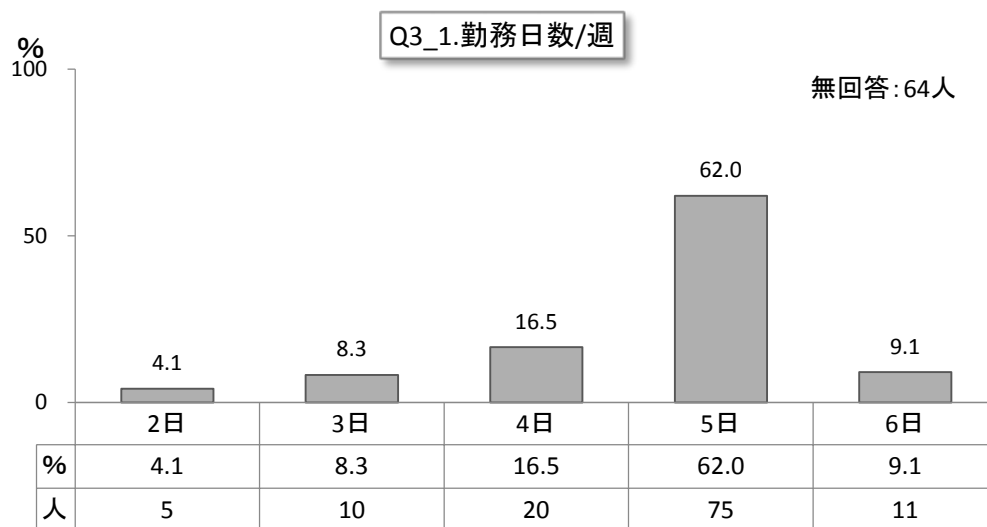
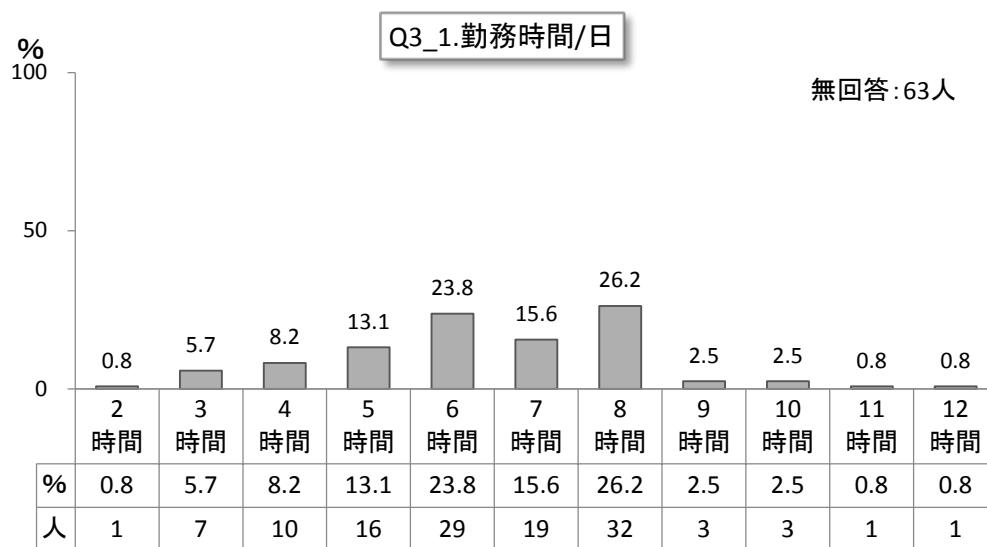


Q3. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. 学生
- 6. その他 ()

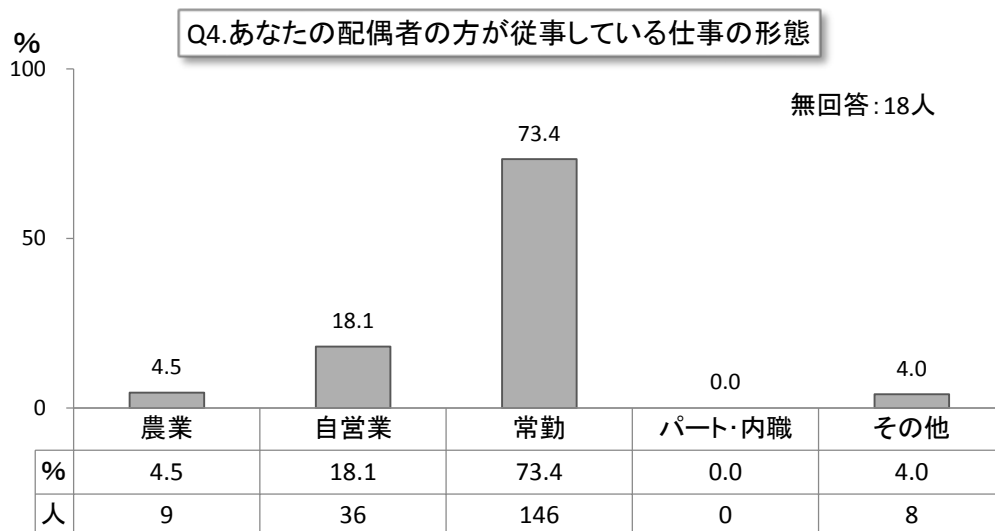


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

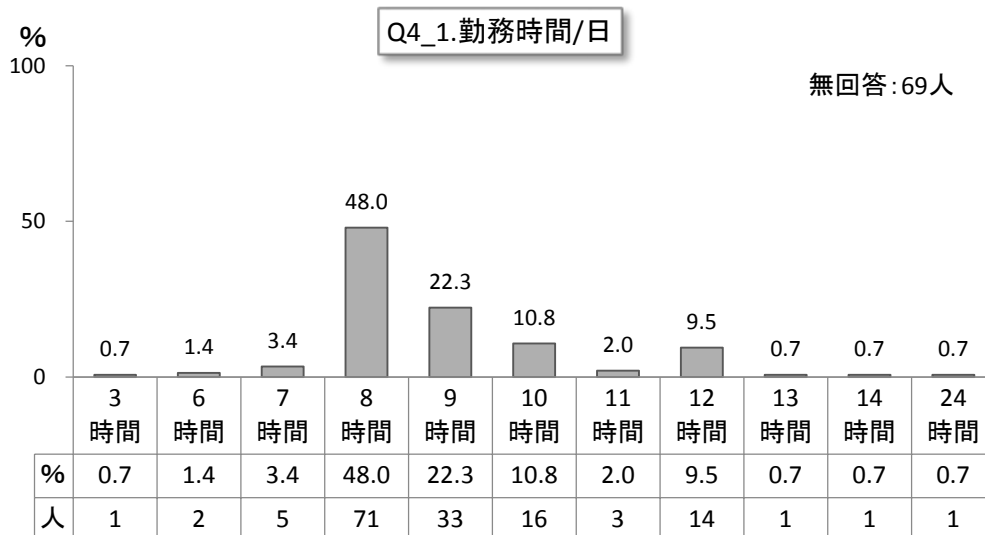


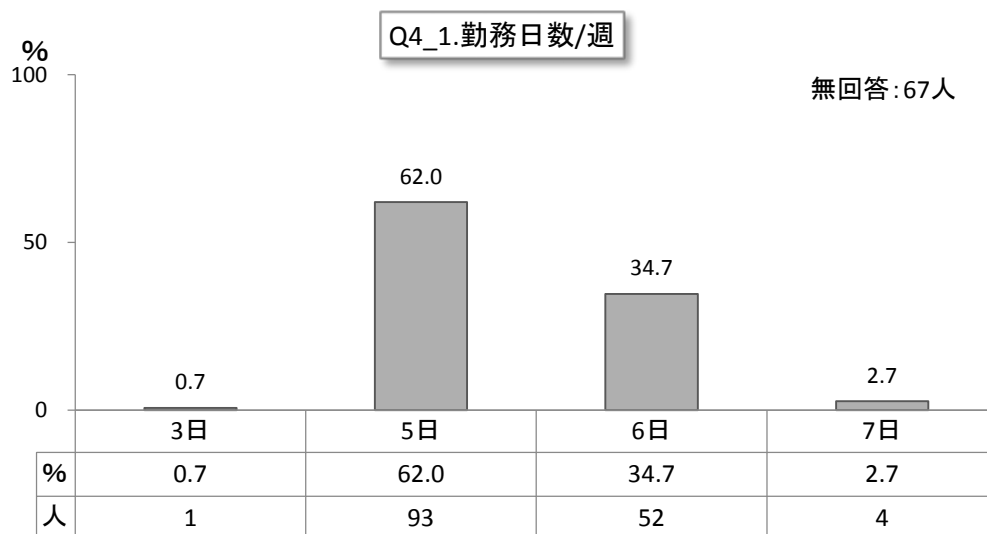
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

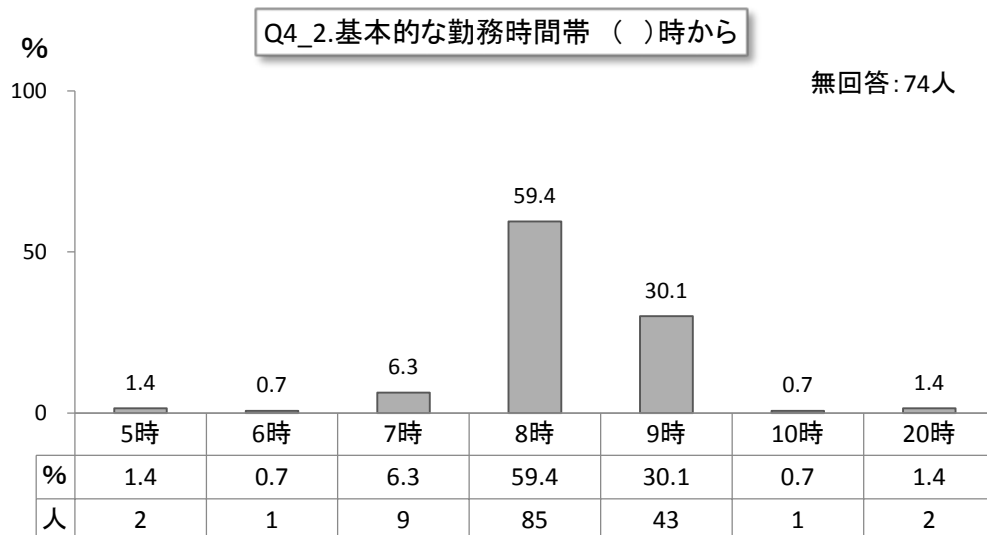


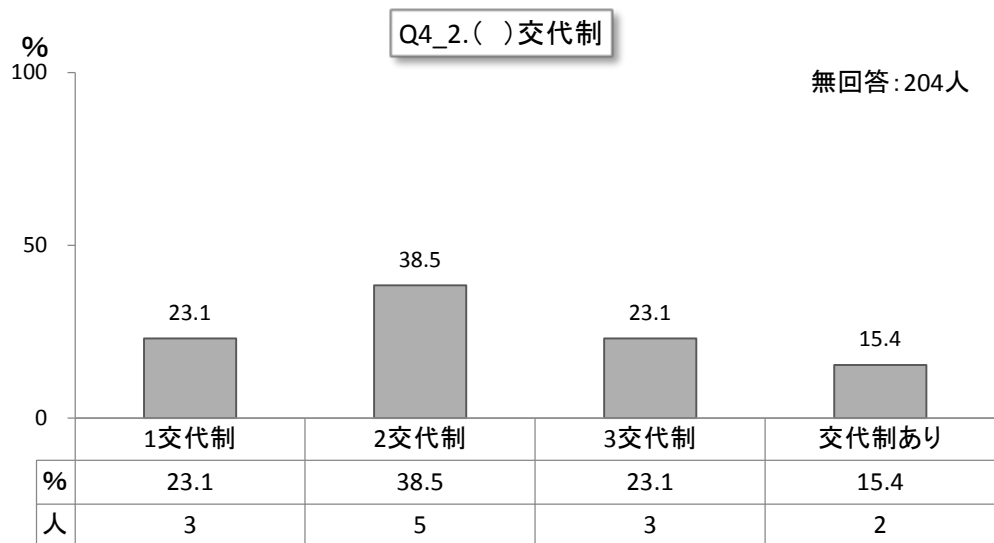
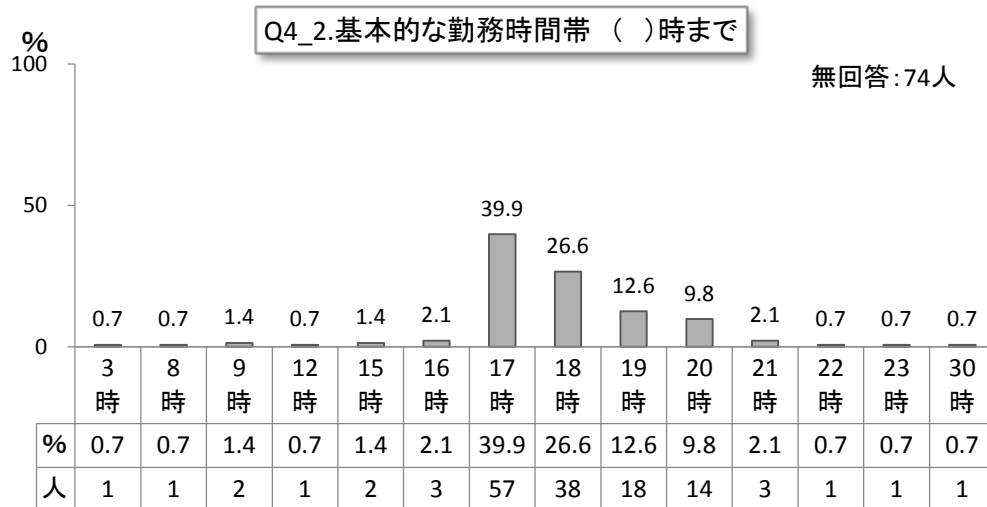
4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務





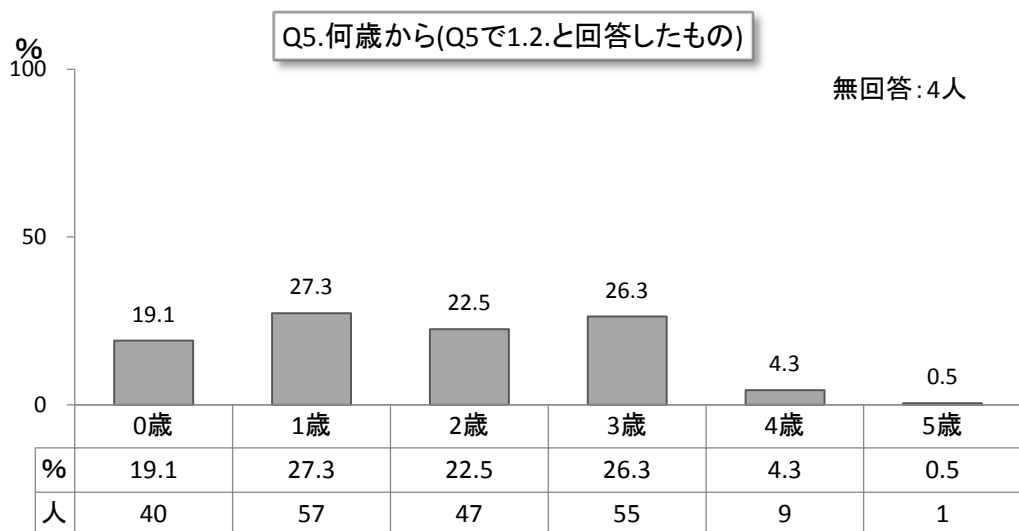
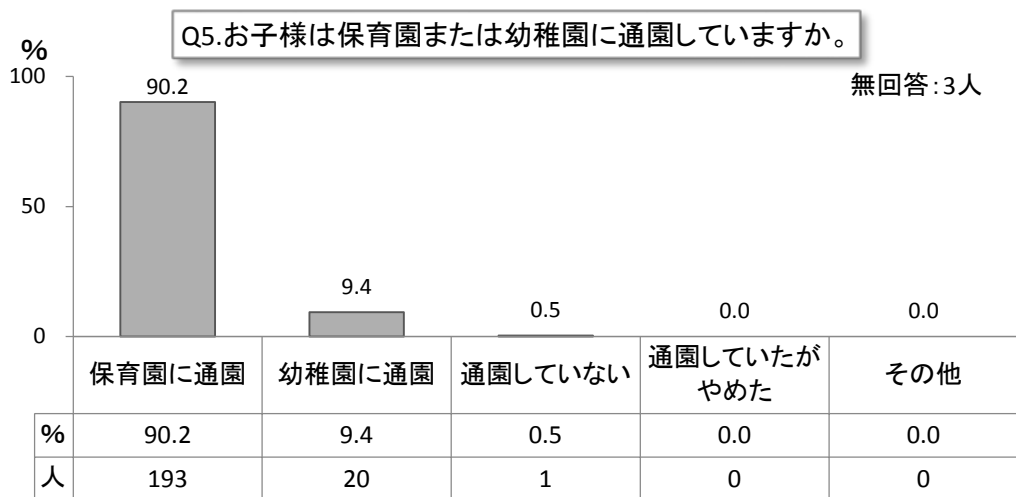
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制





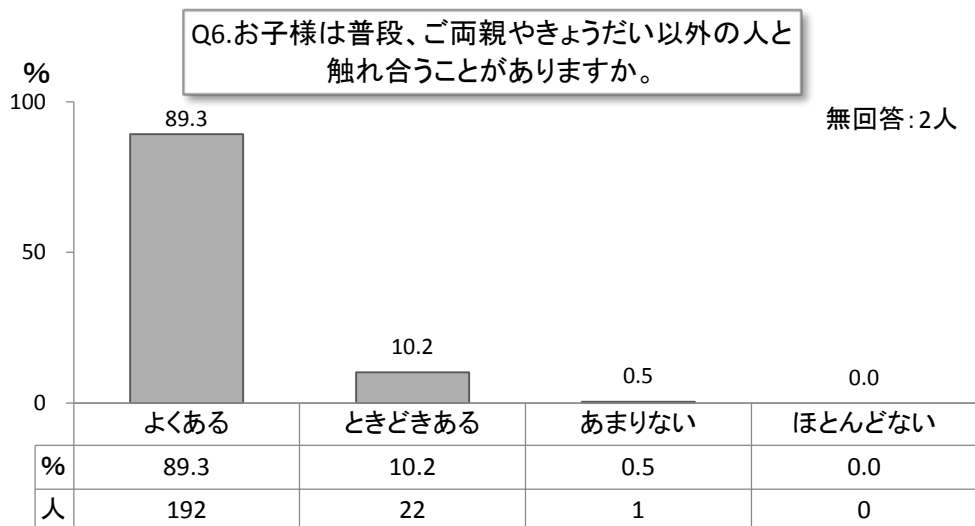
Q5. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

1. 保育園に通園している (歳から)
2. 幼稚園に通園している (歳から)
3. 通園していない
4. 通園していたがやめた
5. その他 ()



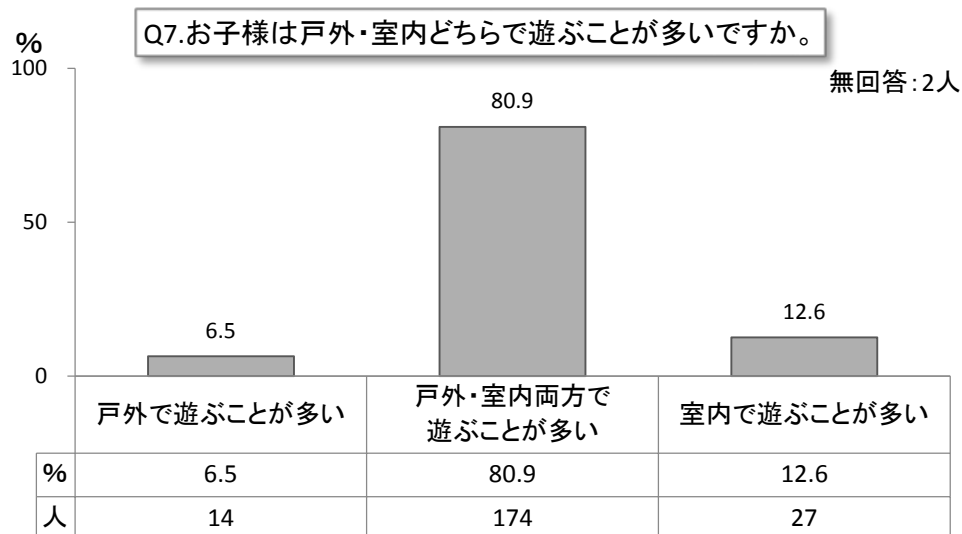
Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



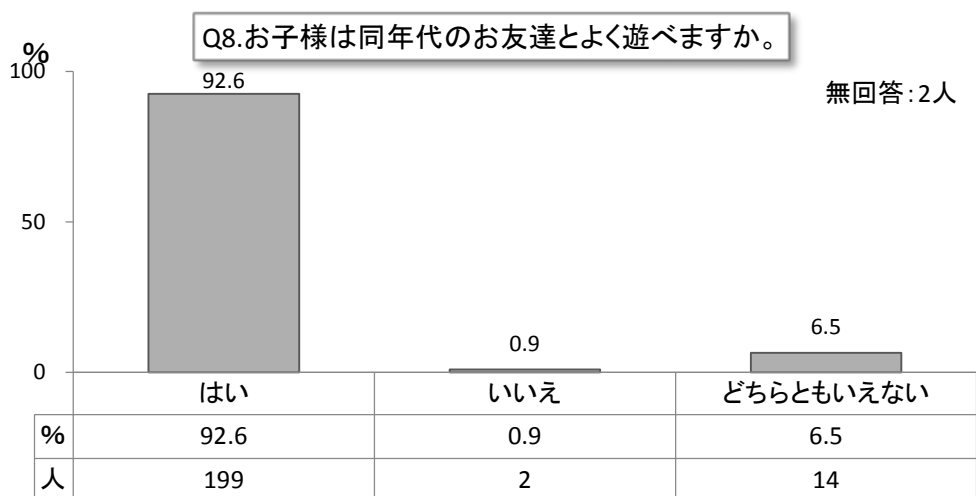
Q7. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

- 1. 戸外で遊ぶことが多い。
- 2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
- 3. 室内で遊ぶことが多い。



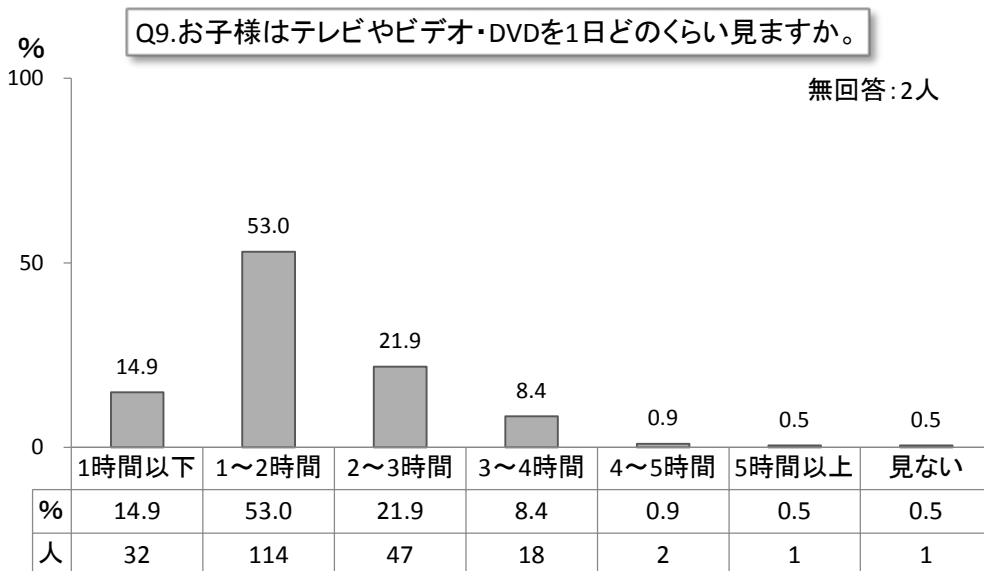
Q8. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



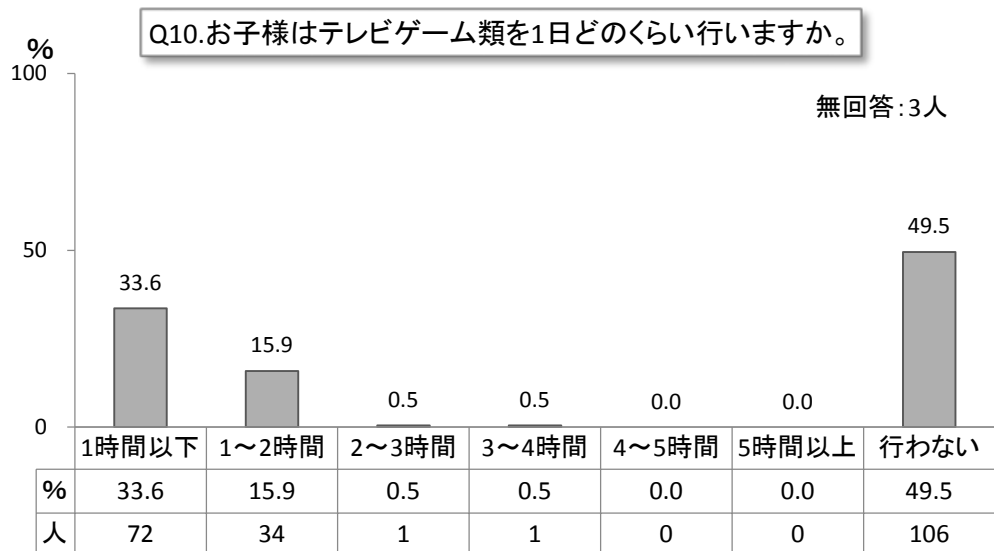
Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



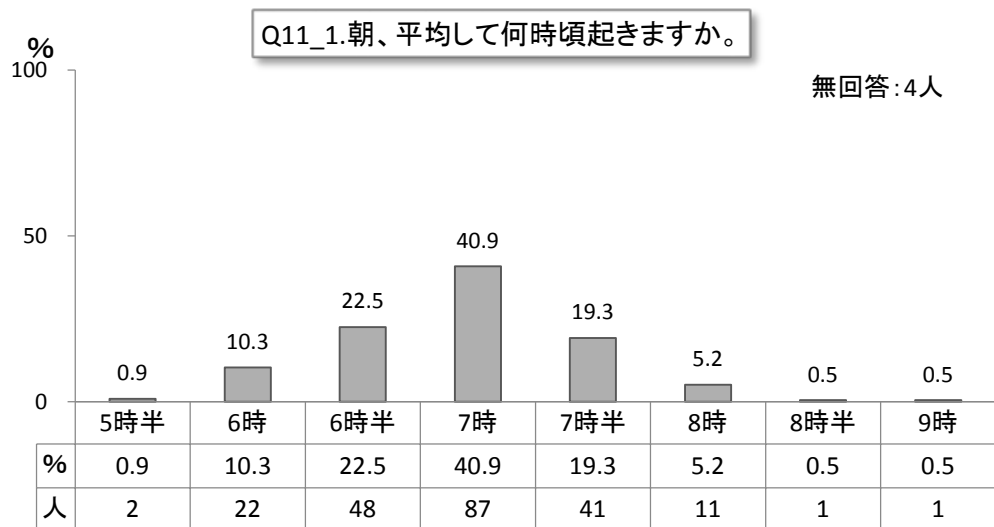
Q10. お子様はテレビゲーム、テレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下 2. 1~2時間 3. 2~3時間 4. 3~4時間
 5. 4~5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

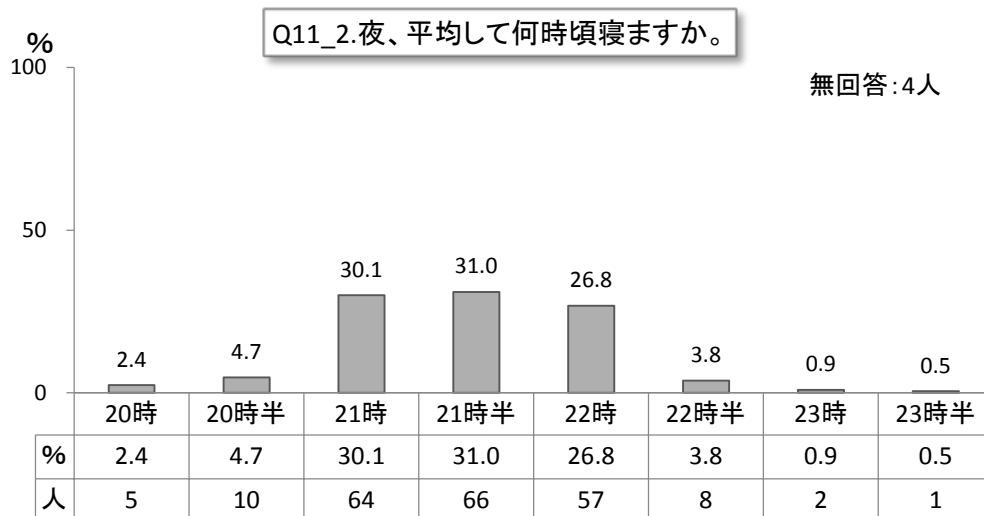


Q11. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

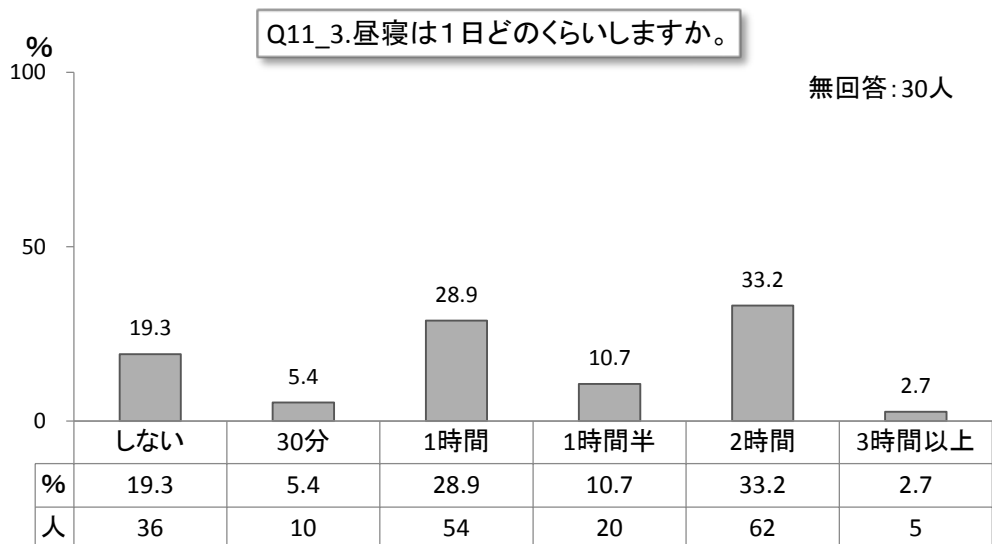
11-1. 朝、平均して何時頃起きますか () 時 () 分ころ



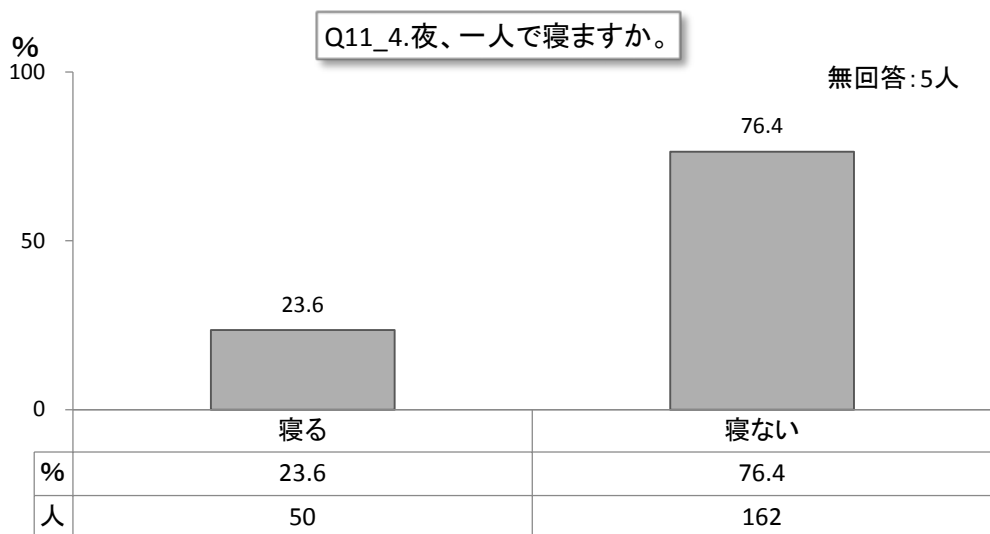
11-2. 夜、平均して何時頃寝ますか () 時 () 分ころ



11-3. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位



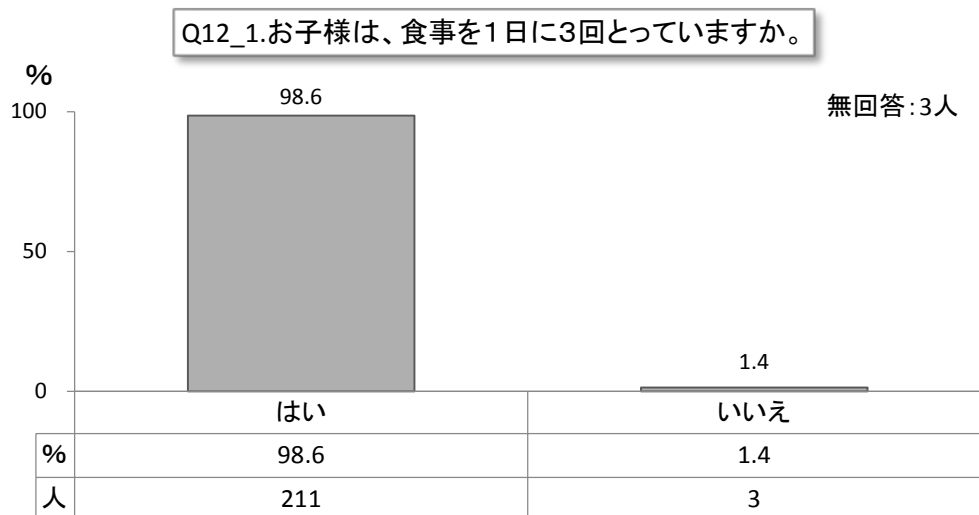
11-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る ②寝ない (誰と :)



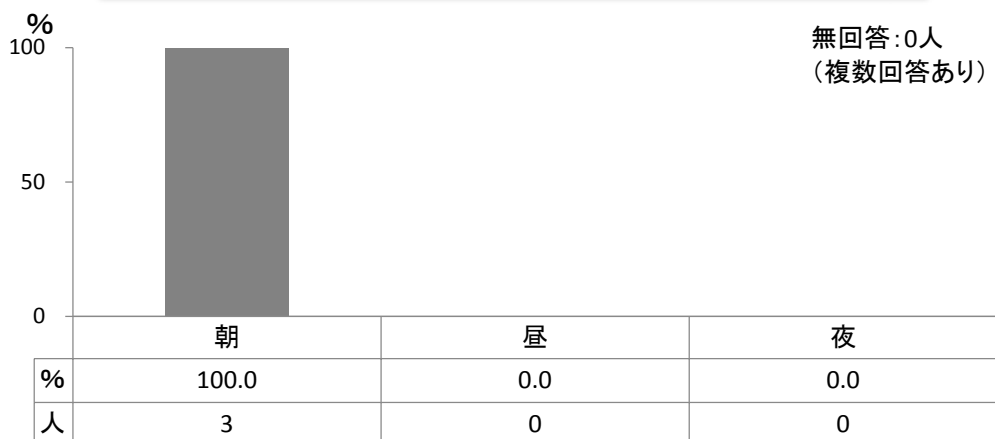
Q12. お子様の食事について伺います。

12-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか: 朝・昼・夜)



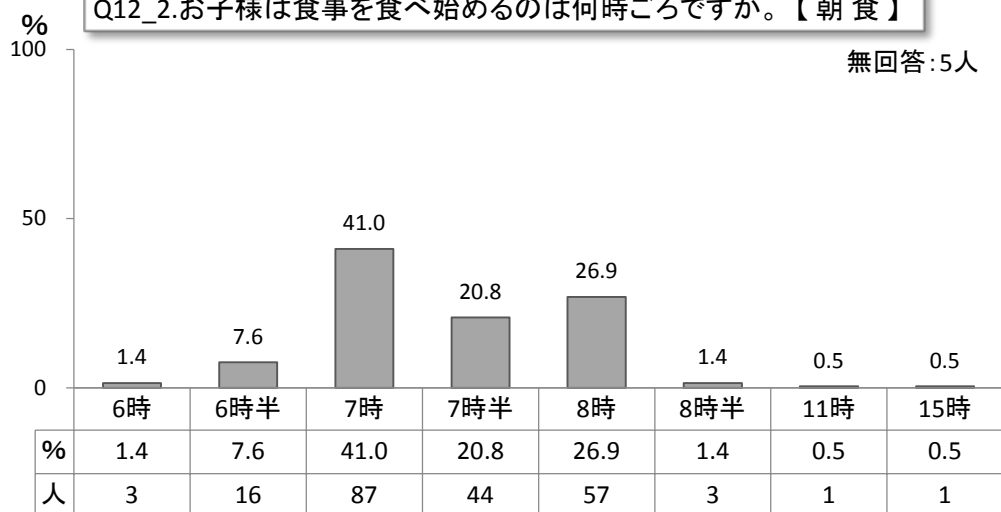
Q12_1.いつ食べないことが多いですか(Q12_1.で2と回答したもの)。

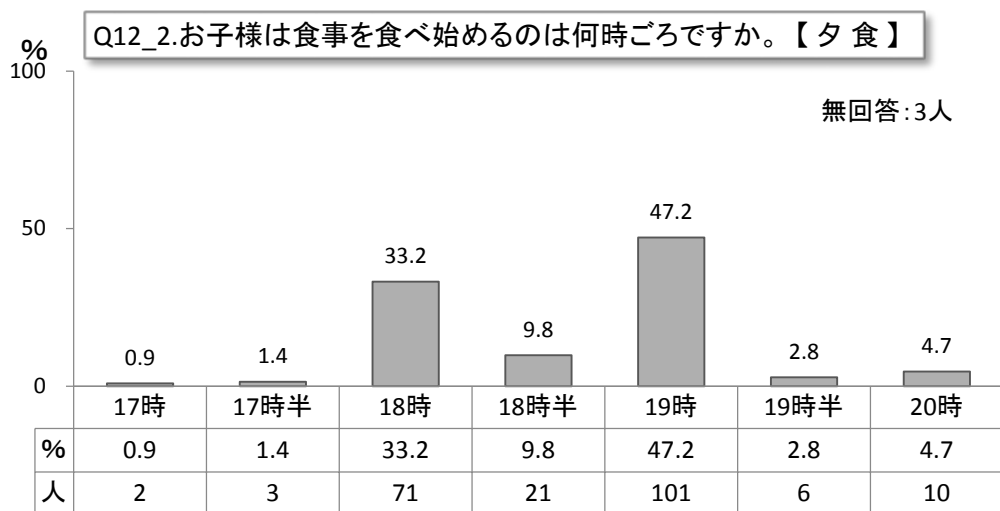
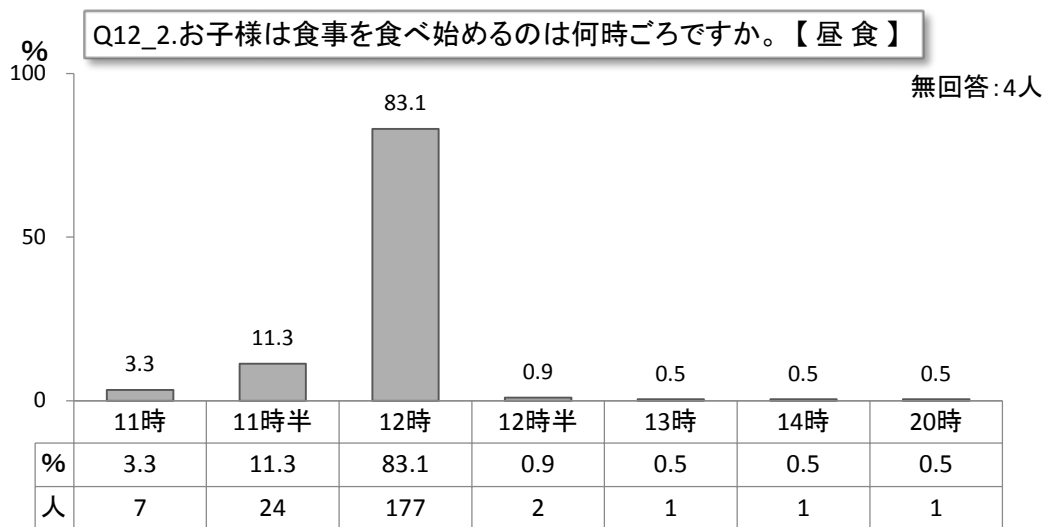


12-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ
 昼食 () 時 ころ
 夕食 () 時 ころ

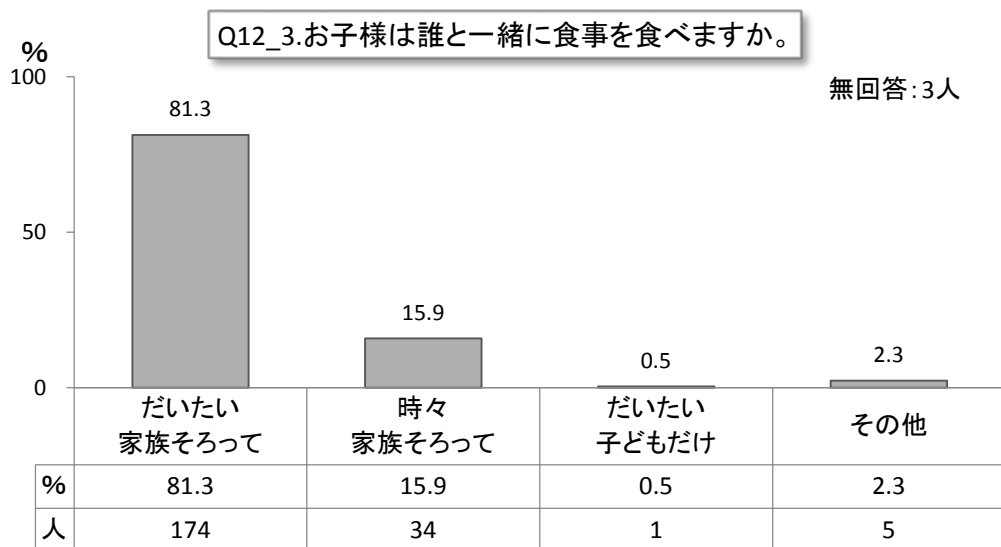
Q12_2.お子様は食事を食べ始めるのは何時ごろですか。【朝食】





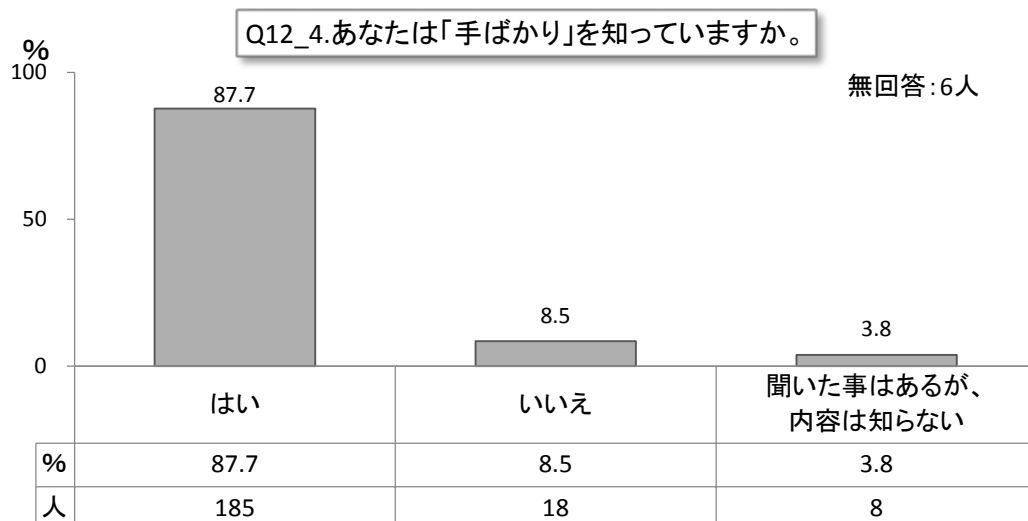
12-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ()



12-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

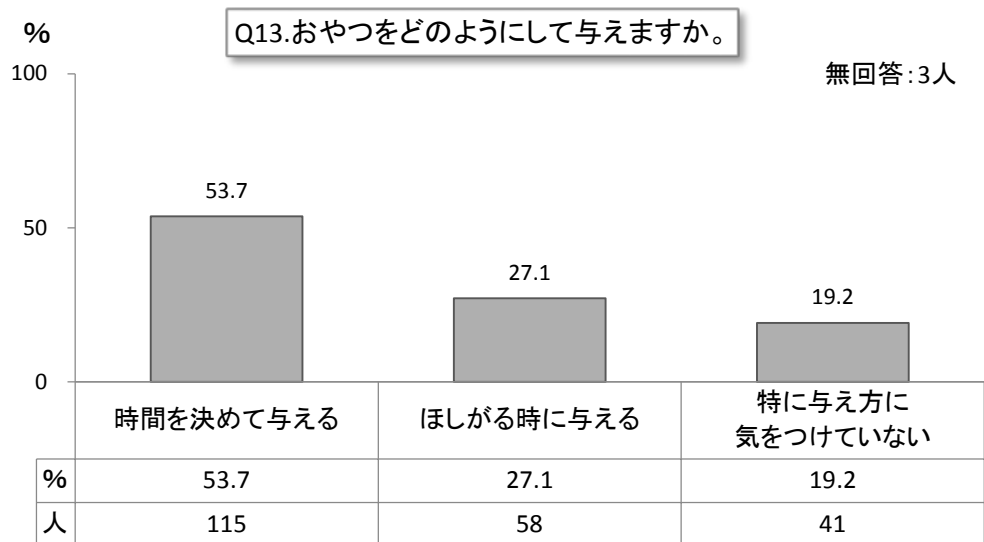
1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q13. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）はどのようにして与えますか。

（保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい）

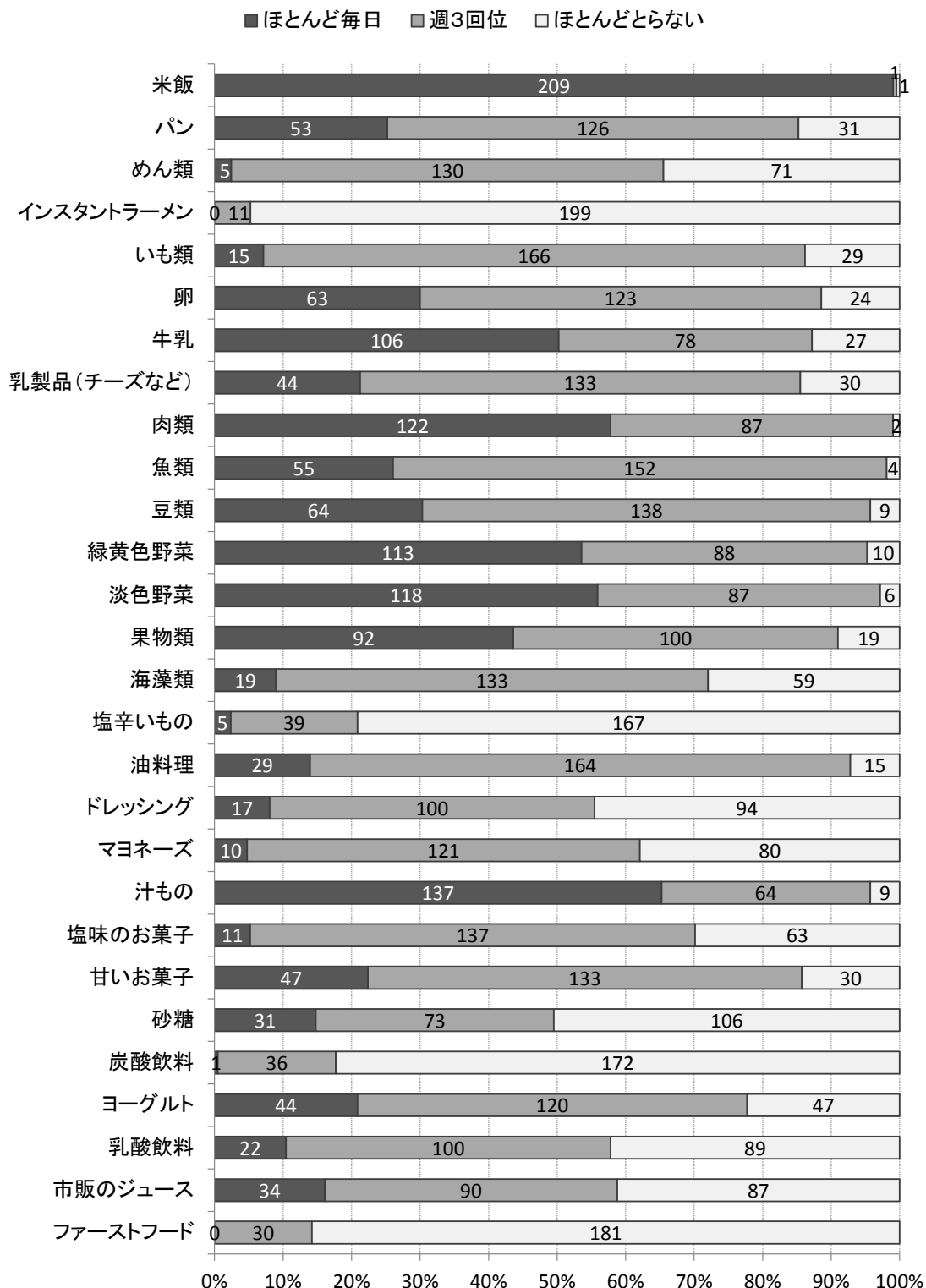
1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



Q14. お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

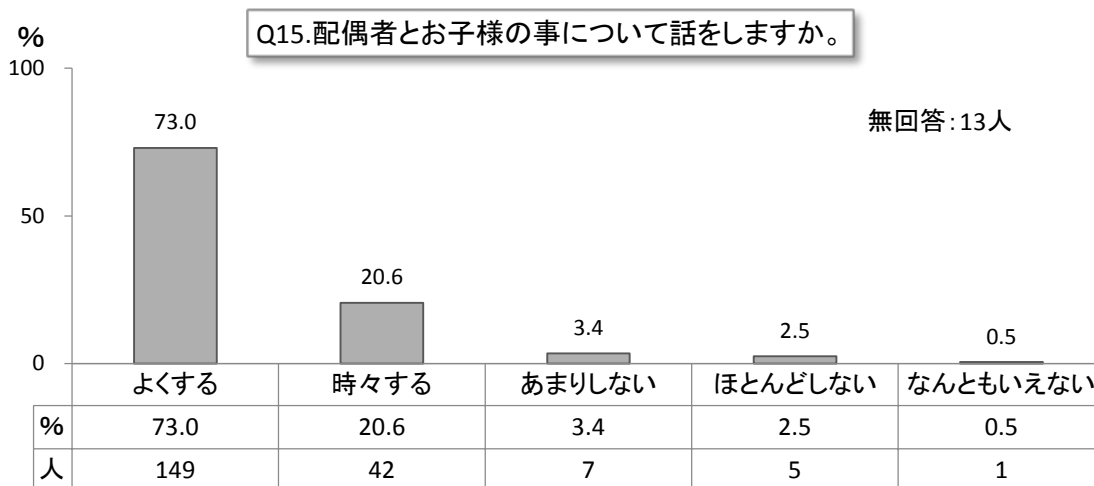
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q14.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。



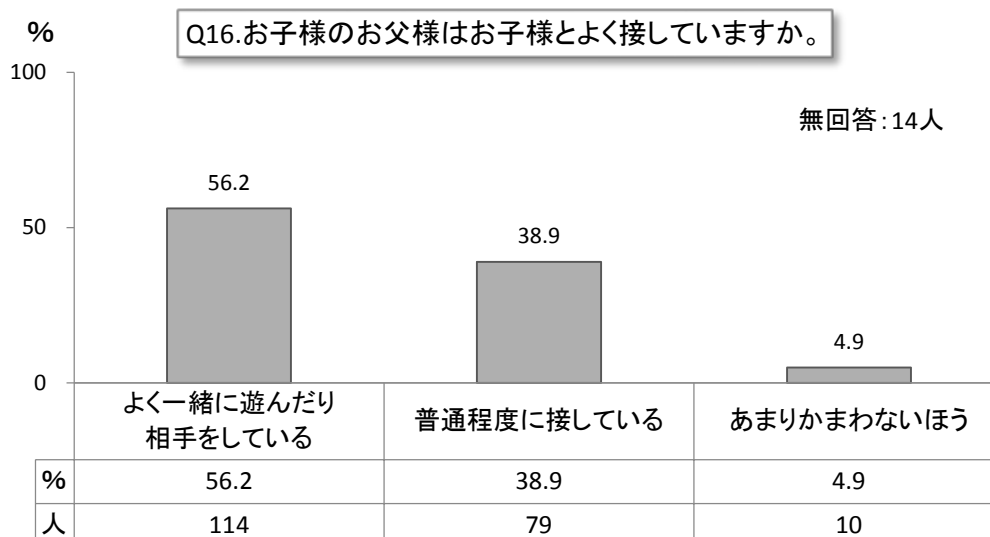
Q15. あなたの配偶者とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



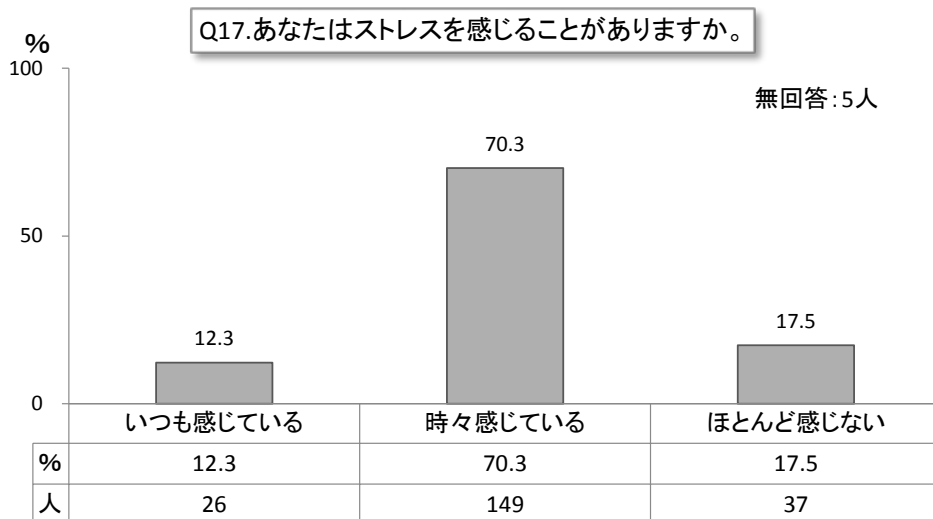
Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



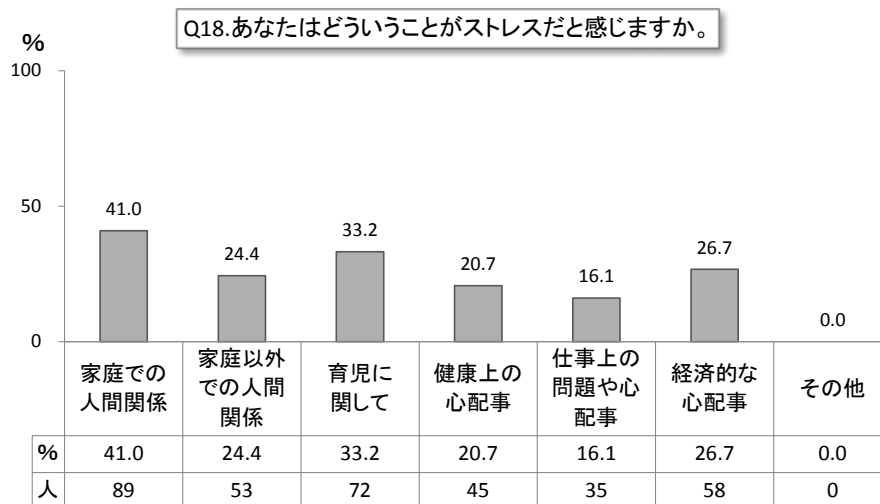
Q17. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じない

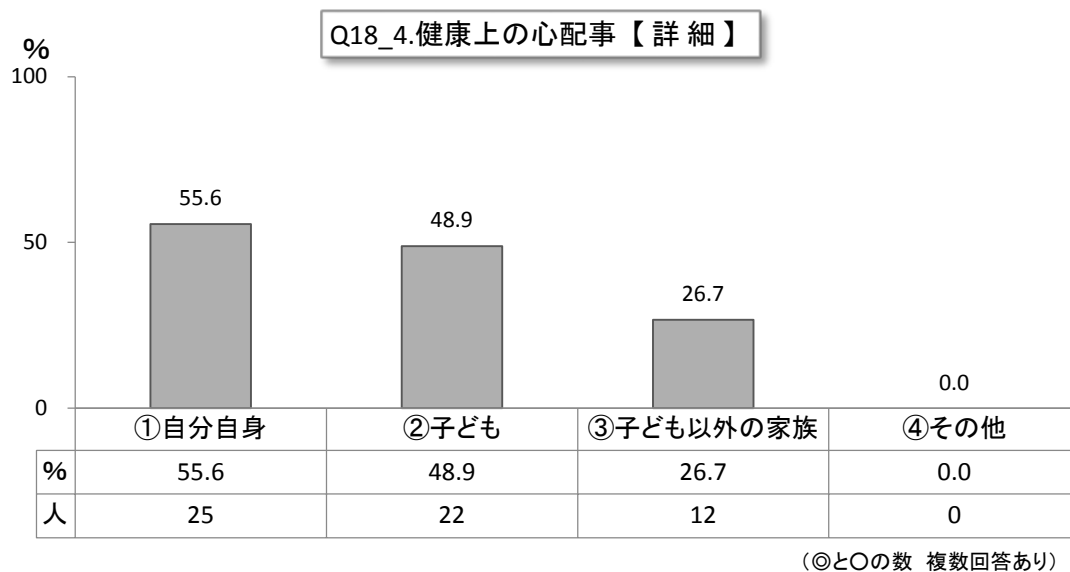
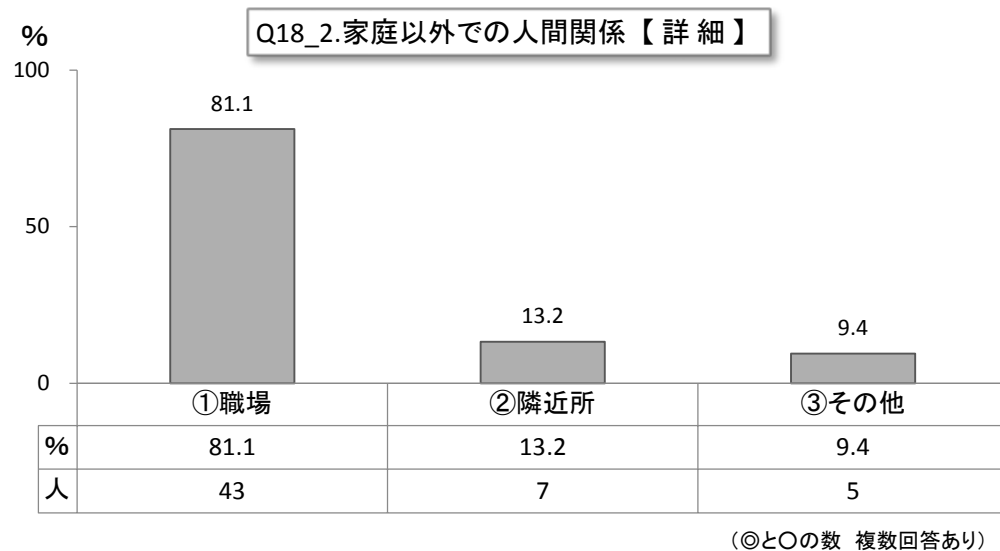
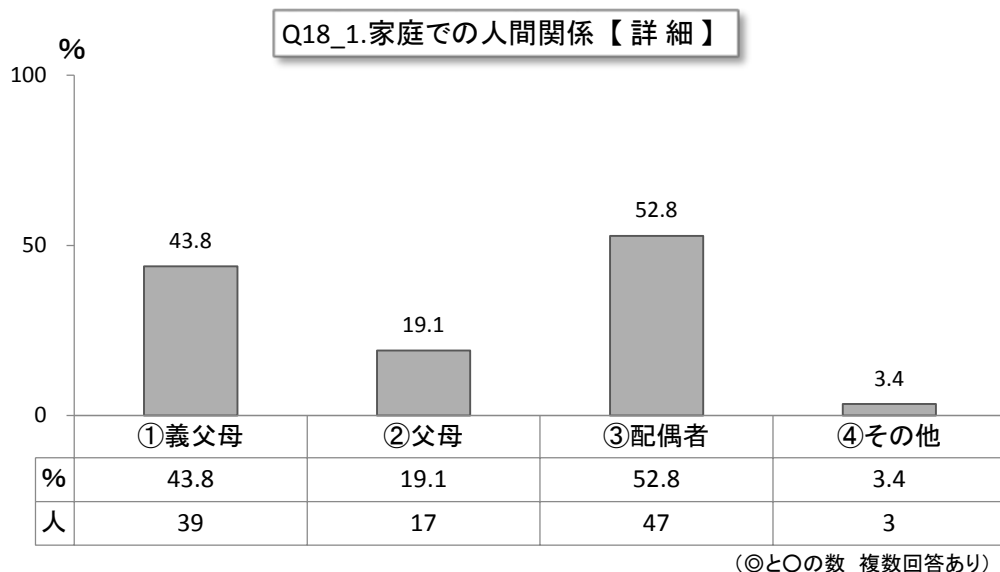


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることをすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

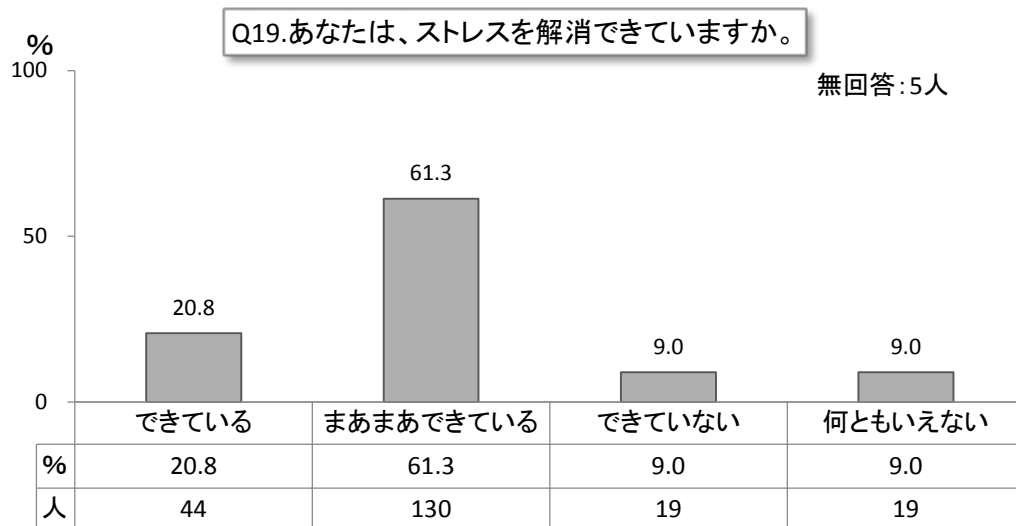


(◎と○の数 複数回答あり)



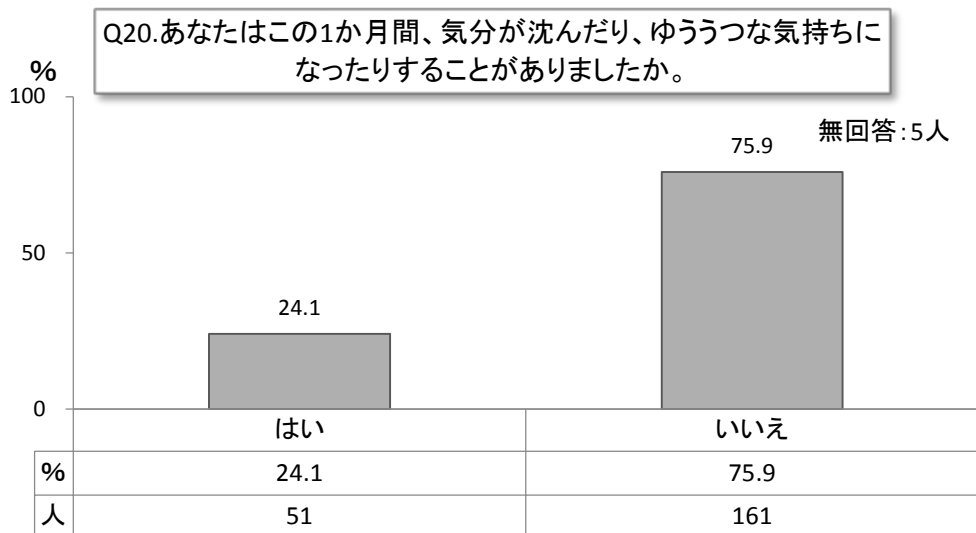
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

- 1. できている
- 2. まあまあできている
- 3. できていない
- 4. 何ともいえない



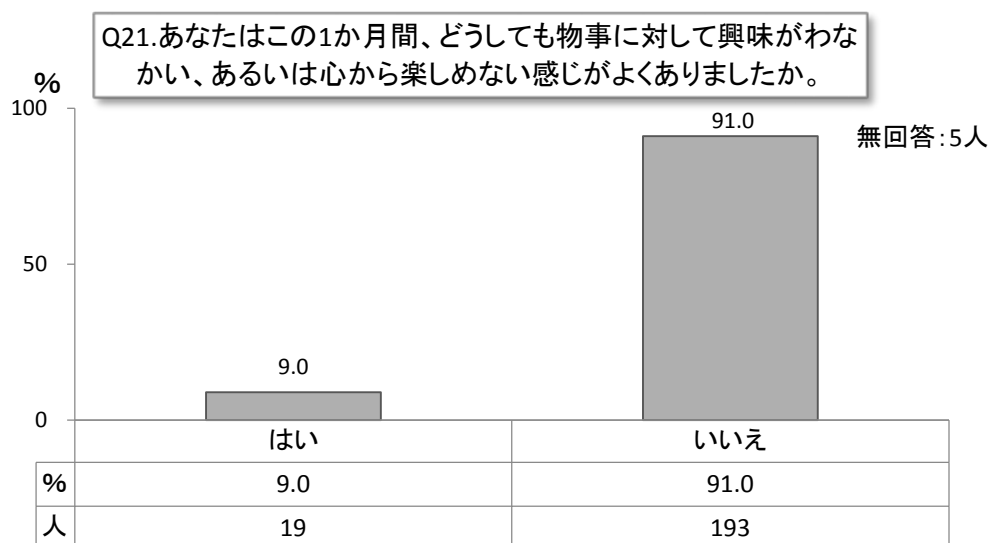
Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ



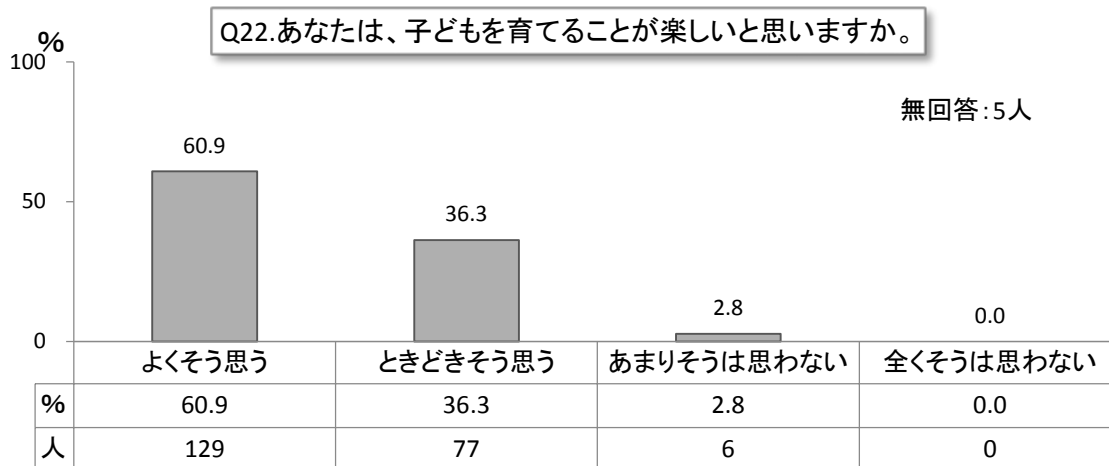
Q21. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

1. はい 2. いいえ



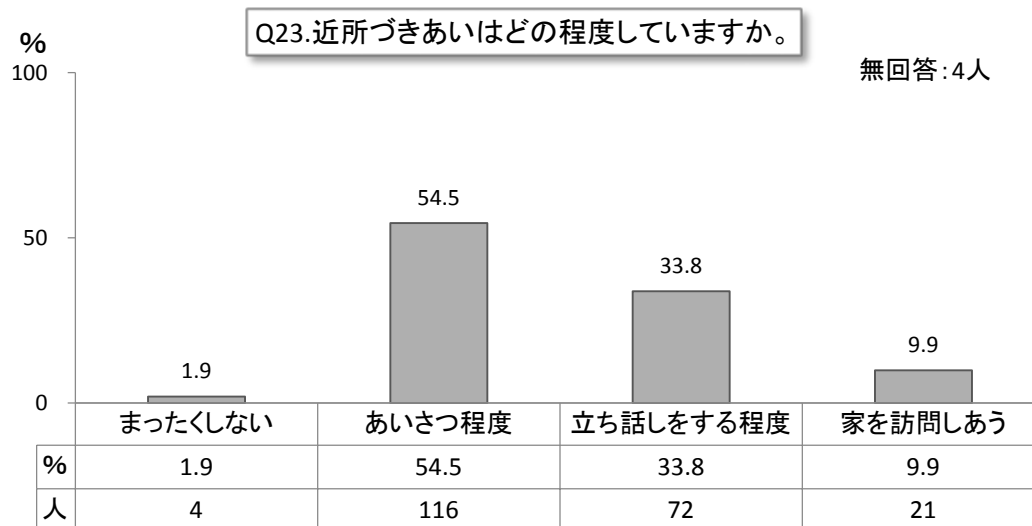
Q22. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う 2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない 4. 全くそうは思わない



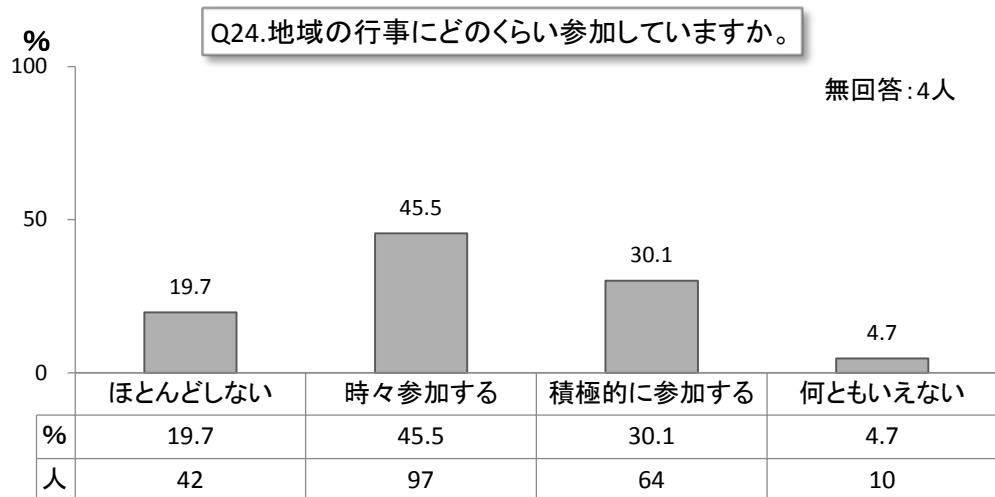
Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。

- 1. まったくしない
- 2. あいさつ程度
- 3. 立ち話しをする程度
- 4. 家を訪問しあう



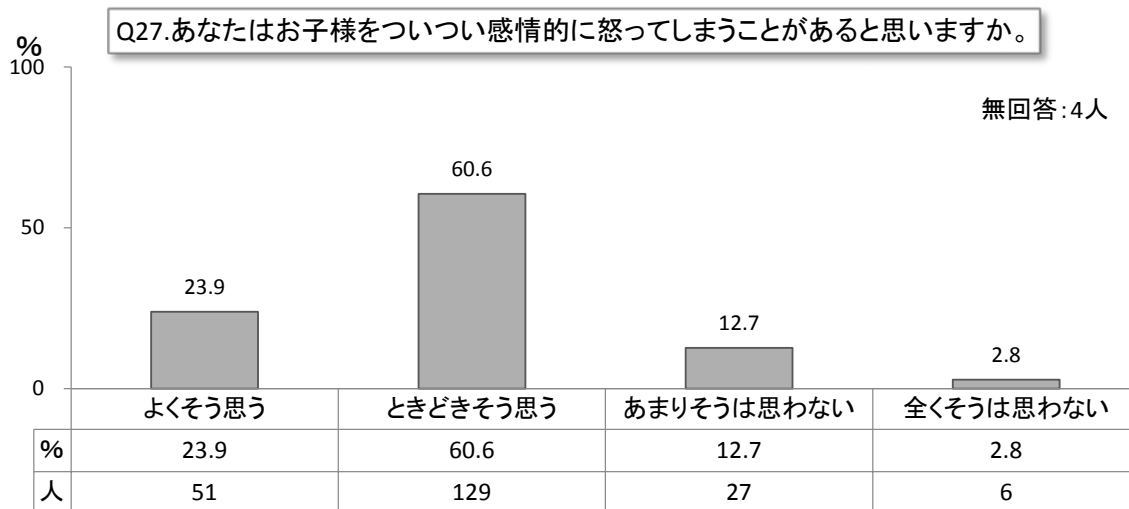
Q24. 地域の行事（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

- 1. ほとんどしない
- 2. 時々参加する
- 3. 積極的に参加する
- 4. 何ともいえない



Q27. あなたはお子様をじっくり感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

- 1. よくそう思う
- 2. ときどきそう思う
- 3. あまりそうは思わない
- 4. 全くそうは思わない



今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

以上です。御協力ありがとうございました。

V. 調査票

母子健康手帳の交付を受けられる方へ (H22～)

妊娠おめでとうございます。新しい生命の誕生に向け、期待に胸をふくらませていることと思います。

さて、甲州市（健康増進課）では皆様方が妊娠中の生活を健やかに送れますように、様々な方面から健康支援に努めております。より健やかにお子様のご誕生を迎えられるよう、皆様方と一緒に考えていくために、アンケート調査を行っています。このアンケートの結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、皆様の妊娠中の健康支援に役立たせると共に、将来妊娠される方々の保健指導にも生かしていきたいと思っております。

記入された個々の内容に関しては、秘密が守られますので、ありのままにお答えください。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

注：妊娠された本人以外の方が母子健康手帳を受け取る場合は、窓口の指示により本アンケート用紙を家庭に持ち帰り、必ず本人が記入したうえで早急に健康増進課まで届けてください。
(記入法：各質問に対し、該当する番号に○印や記入をしてください。)

氏名 _____
 出産予定日 年 月 日
 記入年月日 年 月 日

Q1. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- 1. 仕事をしている
- 2. 仕事はしているが現在休職中である
- 3. 仕事はしていない（専業主婦である）
- 4. 学生である

→3. 4 と答えた方は
Q3. へお進みください

Q2. Q1で1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 2-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

Q3. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務
- 3-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～() 時 () 交代制

Q4. 妊娠とわかった時の気持ちちはどんなでしたか。

- SQ1. あなた自身 ↓
- 1. うれしかった
 - 2. なんとなく照れくさかった
 - 3. 特になんとも感じなかった
 - 4. 困ったと思った
 - 5. その他 ()
- SQ2. 夫 ↓
- 1. うれしかった
 - 2. なんとなく照れくさかった
 - 3. 特になんとも感じなかった
 - 4. 困ったと思った
 - 5. その他 ()

Q5. 今回の妊娠は計画的な妊娠ですか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらともいえない

Q6. 子どもは全部で何人くらい希望しますか。

- 6-1. 自分は ① () 人 ② わからない
- 6-2. 夫は ① () 人 ② わからない

Q7. あなたはタバコを吸いますか。

- 1. 吸う (一日平均__本、今まで__年間吸っている)
- 2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均__本、今まで__年間吸った)
- 3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均__本、今まで__年間吸った)
- 4. 以前から全く吸わない

Q8. Q7で1. と答えた方のみお答えください。

あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

- 1. いつも思っている
- 2. ときどき思う
- 3. 思わない

Q9. あなたの夫はタバコを吸いますか。

- 1. 吸う (一日平均__本)
- 2. 妊娠する前からやめていた
- 3. 妊娠を契機にやめた
- 4. 以前から全く吸わない

Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙される方はいますか。

- 1. いない
- 2. いる (どなたですか?)

Q11. あなたはお酒を飲みますか。

- 1. 飲む (月平均__日、__年間飲んでいる)
- 2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均__日、__年間飲んでいました)
- 3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均__日、__年間飲んでいました)
- 4. 以前から全く飲まない

Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。当てはまる箇所に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

(Q11 で1と答えた方のみお答えください。)
 H1-1. 飲むお酒の種類は何ですか。一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

1. ビール (大びん__本)
2. 日本酒 (__合)
3. ワイン (__合)
4. ウイスキー・ブランデー (水割り__杯)
5. しょうちゅう (水割り等__杯)
6. その他 ()

H1-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている
2. ときどき思う
3. 思わない

Q12. 妊娠前、通常の1週間で運動 (体力の維持・向上を目的として、計画的・意図的に実施するウォーキングやスポーツなど) を、1週間にどのくらい行いましたか。

1. ほとんどしない
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～6時間未満
5. 6時間以上

12-1. 行っているという方はどのような内容ですか。具体的に書きください。
 ()

Q13. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q14. 妊娠前の食事に関してうかがいます。

※妊娠前とは、おおよそ妊娠する1年間くらい前までのこととお考えください。

14-1. 栄養のバランスを考えましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-3. 野菜をたべるようにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-4. 食品を選ぶ時、無農薬・添加物などを意識して選んでいましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-5. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる
2. 週3～5回
3. 週1～2回
4. 食べない

Q16. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝時間についてうかがいます。

1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時ころ
3. 平均して何時時間寝ますか () 時間位

Q17. 現在ストレスを感じることはありませんか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母 ②父母 ③夫 ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場 ②隣近所 ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない

Q20. 近所づきあいはどの程度していますか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話しをする程度
4. 家を訪問しあう

Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

1. はい
2. いいえ

Q22. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい
2. いいえ

以上です。ご協力ありがとうございました。

1歳6カ月から6ヶ月児健康診査に来られる保護者の皆様へ (H22-2)

1歳6カ月を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市(健康増進課)では、お子様が心身ともに一層健やかに成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、1歳6カ月児に関するアンケート調査を行っています。

このアンケートの結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様のこれからの健康支援に役立つ大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答えください。

甲州市役所 健康増進課
世帯
個人

【この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。】
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → ()年()月()日 記入者続柄【 父 母 その他()】
お子様のお名前 () 生年月日 ()年()月()日生

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。

- ① 食べ方にむらがある 2. 食量(少ない・多い) 3. 丸のみ(良く噛まない)
- ④ 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()
- ⑥ 睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦ お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧ しつけについて (トイレトレーニング含む) 1. ない 2. ある ()
- ⑨ 保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑩ 祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪ 住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫ その他 1. ない 2. ある ()

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない(専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3, 4と答えた方は
Q4へお進みください

Q3. Q2で1, 2と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
- 5. その他 ()

3-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 ()時間 週 ()日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
- 5. その他 ()

4-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 ()時間 週 ()日勤務

4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。()時～()時 ()交代制

Q5. たばこについてお答えください。

- 5-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。
1. はい 2. いいえ

5-2. 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか。

- 1. はい 2. いいえ

Q6. お子様は保育所に通園していますか。

- 1. 通園している ()歳 ()月から 2. 通園していない

Q7. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q8. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

- 1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
- 5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない

Q16. お子様の食事について、該当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q10. お母様は、お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか？お母様とお母様以外の人についてそれぞれお答えください。

- 10-1. お母様とはどうですか
1. よくある
 2. ときどきある
 3. あまりない
 4. ほとんどない
- 10-2. お母様以外の人とはどうですか
1. よくある
 2. ときどきある
 3. あまりない
 4. ほとんどない

Q11. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

- 11-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分 ころ
- 11-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分 ころ
- 11-3. 起床を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分 ころ
- 11-4. 起床は一日どのくらいしますか () 時間位
- 11-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)

Q12. あなたは配偶者とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q13. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないうほうである

Q14. お子様の食事について伺います。

14-1. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 ころ
- 昼食 () 時 ころ
- 夕食 () 時 ころ

14-2. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q15. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) をどのようにして与えますか。(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時と与える
3. 特に与え方に気をつけていない

Q25. 子育てをしていくなかで、あなたにとって誰か精神的に支えになる人がいますか。

1. はい 2. いいえ

Q26. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は)育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうとは思わない
4. 全くそうとは思わない

Q27. あなたはお子様をいつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうとは思わない
4. 全くそうとは思わない

Q28. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 我慢させることもある
3. 全て聞き入れない

Q29. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい () 回
2. いいえ

29-1. 上記で「1. はい」と答えられた方は、その時の詳しい内容をご記入ください

入院年月日	1回目			2回目			3回目		
	年	月	日	年	月	日	年	月	日
入院期間	()	()	()	()	()	()	()	()	()
病名	()	()	()	()	()	()	()	()	()
医療機関名	()	()	()	()	()	()	()	()	()

Q30. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます。)

1. はい
2. いいえ

Q17. あなたはストレスを感じることはありませんか。

1. いつも感じている 2. 時々感じている 3. ほとんど感じていない

Q18. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
①義父母 ②父母 ③配偶者 ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
①職場 ②隣近所 ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない

Q20. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそうとは思わない

Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

1. はい 2. いいえ

Q22. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい 2. いいえ

Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。

1. まったくしない 2. あいさつ程度 3. 立ち話をする程度 4. 家を訪問しあう

Q24. 地域の行事 (区や組の行事) にどのくらい参加していますか。

1. まったくしない 2. ほとんどしない 3. 時々参加する 4. 積極的に参加する

Q31. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

31-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
() ()	()
() ()	()
() ()	()
() ()	()

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である) → 3. 4. と答えた方は
 - 4. 学生である
- Q4. へお進みください

Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をすする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をすする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務
- 4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。() 時～() 時 () 交代制

Q5. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

- 1. 保育所に通園している (歳から)
- 2. 幼稚園に通園している (歳から)
- 3. 通園していないが、これから通園させたい (歳から)
- 4. ずっと通園させないつもりである
- 5. わからない/なんともいえない
- 6. その他

Q6. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない

Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない

Q8. お子様は同年代の子どもに興味や関心をもちますか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらともいえない

3 歳児健康診査に来られる保護者様へ (H22～)

3 歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の方の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市 (健康増進課) では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、3 歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康支援に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

[この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。]
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → () 年 () 月 () 日 記入者続柄【 父 母 その他 () 】
お子様のお名前 () 生年月日 () 年 月 日生

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1. 食べ方にむらがある
- 2. 食量 (少ない・多い)
- 3. 良く噛まない
- 4. 偏食
- 5. 間食が多い
- 6. 遊び食べ
- 7. その他 ()
- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()

Q10. お子様の食事について伺います。

Q9. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

10-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜)

10-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 ころ
昼食 () 時 ころ
夕食 () 時 ころ

10-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ()

10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q11. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) はどのようなように与えますか。
(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

Q12. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下
2. 1~2時間
3. 2~3時間
4. 3~4時間
5. 4~5時間
6. 5時間以上
7. 見ない

Q13. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピュータゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下
2. 1~2時間
3. 2~3時間
4. 3~4時間
5. 4~5時間
6. 5時間以上
7. 行わない

Q14. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

- 14-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分 ころ
14-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分 ころ
14-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分 ころ
14-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位
14-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰：)

- Q22. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。
1. まったくしない
 2. あいさつ程度
 3. 立ち話をする程度
 4. 家を訪問しあう程度
- Q24. 地域の行事 (区や組の行事) にどのくらい参加していますか。
1. ほとんどしない
 2. 時々参加する
 3. 積極的に参加する
 4. 何ともいえない
- Q25. あなたには、子ども連れで親同士が集まれる場所がありますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q26. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q27. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q28. あなたはお子様をいつい感情的に怒ってしまうことがありますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q29. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。
1. いつも聞いてしまう
 2. 我慢させることもある
 3. 全て聞き入れない

- Q15. あなたは配偶者とお子様の事について話をしますか。
1. よくする
 2. 時々する
 3. あまりしない
 4. ほとんどしない
 5. なんともいえない
- Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。
1. よく遊んだり、相手をしている
 2. 普通程度に接している
 3. あまりかまわわないほうである
- Q17. あなたはストレスを感じることがありますか。
1. いつも感じている
 2. 時々感じている
 3. ほとんど感じていない
- Q18. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
 2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
 3. 育児に関して
 4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
 5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
 6. 経済的な心配事
 7. その他 ()
- Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。
1. できている
 2. まあまあできている
 3. できていない
 4. 何ともいえない
- Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか?
1. はい
 2. いいえ
- Q21. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか?
1. はい
 2. いいえ

Q30. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

30-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()

Q31. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけなどが医療機関を受診したことがありますか。

(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)

1. はい
2. いいえ

Q32. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

32-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

5 歳児健康診査に来られる保護者様へ (H22～)

5 歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市 (健康増進課) では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、5 歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康支援に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

【この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。】
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → 平成()年()月()日 記入者続柄【 父 母 その他() 】
お子様のお名前 () 生年月日 () 年 月 日生

- Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。
- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
 - ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
 - ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
 - ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
 - ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()
- あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。
- 1. 食べ方にむらがある 2. 食事量 (少ない・多い) 3. 長く噛まない
 - 4. 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()

- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()

Q2. あなたのお仕事の有無について次のからお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

Q3. あなたが従事している仕事を次のからお選び下さい。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. 学生 6. その他 ()
- 3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1 日 () 時間 週 () 日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次のからお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1 日 () 時間 週 () 日勤務
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。() 時～() 時 () 交代制

Q5. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

- 1. 保育園に通園している () 歳から
- 2. 幼稚園に通園している () 歳から
- 3. 通園していない
- 4. 通園していたがやめた ()
- 5. その他 ()

Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q7. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

- 1. 戸外で遊ぶことが多い。
- 2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
- 3. 室内で遊ぶことが多い。

Q8. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

- 1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q9. お子様はテレビやビデオ・DVD を一日どのくらい見ますか。

- 1. 1 時間以下 2. 1～2 時間 3. 2～3 時間 4. 3～4 時間
- 5. 4～5 時間 6. 5 時間以上 7. 見ない

Q14. お子様の食事について、該当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q10. お子様はテレビゲーム・テレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピュータゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか

1. 1時間以下 2. 1~2時間 3. 2~3時間 4. 3~4時間
5. 4~5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

Q11. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

- 11-1. 朝、平均して何時頃起きますか () 時 () 分 ころ
11-2. 夜、平均して何時頃寝ますか () 時 () 分 ころ
11-3. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位
11-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る ②寝ない (誰と:)

Q12. お子様の食事について伺います。

12-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか: 朝・昼・夜)

12-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか?平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 ころ
昼食 () 時 ころ
夕食 () 時 ころ

12-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって 2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ 4. その他 ()

12-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q13. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) はどのようにして与えますか。
(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

Q22. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話をする程度
4. 家を訪問しあう

Q24. 地域の行事(区や組の行事)にどのくらい参加していますか。

1. ほとんどしない
2. 時々参加する
3. 積極的に参加する
4. 何ともいえない

Q25. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

1. はい
2. いいえ

Q26. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は)育てにくく感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

Q27. あなたはお子様をいつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

Q15. あなたの配偶者とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである

Q17. あなたはストレスを感じることがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じない

Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
 - ④その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事(内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない

Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

1. はい
2. いいえ

Q21. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい
2. いいえ

VI. 個別研究

原著

1 ■ Wei Zheng, Kohta Suzuki, Miri Sato, Hiroshi Yokomichi, Ryoji Shinohara, Zentaro Yamagata: Pubertal timing and a family history of hypertension: Prospective cohort study. *Pediatrics International* 58(4): 284–289. 2016. 4



Original Article

Pubertal timing and a family history of hypertension: Prospective cohort study

Wei Zheng,¹ Kohta Suzuki,¹ Miri Sato,² Hiroshi Yokomichi,¹ Ryoji Shinohara² and Zentaro Yamagata^{1,2}

¹Department of Health Sciences and ²Center for Birth Cohorts Studies, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Chuo, Yamanashi, Japan

Abstract *Background:* Hypertension is heritable, and genetic factors likely exert an effect from childhood. Puberty is an early life milestone that may relate to adult hypertension. Therefore, this study examined whether there is an association between a family history of hypertension and pubertal growth.

Methods: The participants were children from a prospective cohort study called Project Koshu, who were born between 1991 and 1998 in Japan. Data on family history of hypertension, maternal characteristics, birth and early life factors were collected from the questionnaire administered to the mothers at the time of pregnancy registration or medical check-up. Child age at peak height velocity (early or non-early) was calculated from the anthropometric data collected during annual school check-up.

Results: Data on 919 children (479 boys and 440 girls) were included in the analysis; 478 participants had a family history of hypertension. After adjustment for potential confounders (birth month, maternal body mass index, maternal work status, maternal education, and paternal education), early age at peak height velocity was found to be associated with a family history of hypertension (OR, 1.52; 95% confidence interval (CI): 1.04–2.24; $P = 0.03$) and specifically, with having at least one maternal hypertensive relative (OR, 1.81; 95% CI: 1.23–2.68; $P = 0.003$).

Conclusions: Together with previous reports on the relationship between puberty and adult hypertension, the present results suggest that the timing of pubertal growth is involved in the process of hypertension development in people with a family history of hypertension. Further confirmative studies are needed.

Key words children, cohort study, family history, hypertension, puberty.

Puberty is a critical stage of human growth and maturation involving both physical and sexual changes. Hormone secretion changes dramatically during this period. Many studies have reported that pubertal timing may influence factors affecting health in later life, such as obesity and cardiovascular disease.^{1,2} Earlier pubertal timing has recently been reported to be a risk factor for adult hypertension.³ According to a systematic review by Prentice and Viner, nine studies found an association between pubertal timing and blood pressure, and six of them reported an increased risk of higher blood pressure in men or women with earlier puberty.⁴ Mechanisms linking pubertal timing and adult blood pressure, however, remain obscure.

In contrast, the pathogenesis of hypertension is generally considered to involve a strong genetic contribution. Therefore, family history is regarded as a major predictor of hypertension. Many studies have indicated an association between family history and the risk of hypertension. A cohort study by Tozawa *et al.* reported

a strong association between family history and the risk of hypertension (OR, 3.018; 95% CI: 2.694–3.381).⁵ Another epidemiological study by Kupper *et al.* suggested that genetic factors accounted for approximately 30% of the variation in blood pressure.⁶ Several genetic variants have been linked to the development of hypertension, but the genetic basis of hypertension is far from well understood.

Some studies focusing on the development of hypertension indicated that children of hypertensive patients tend to have hypertensive risk factors when they are young. Burke *et al.* showed that systolic blood pressure was significantly higher in children of hypertensive fathers at the ages of 9 and 18 years.⁷ This implies that the genetic factors may be exerting their effect from childhood. Pubertal development, as a factor likely to influence adult blood pressure, may be involved in this process. To our knowledge, however, no studies have been published, to date, on whether there is an association between blood pressure-related genetic factors and pubertal events. Additionally to this hypothesis, body composition may be another important related early life factor, because obesity is a well-known risk factor for hypertension, and body composition is related to pubertal timing.^{8,9} Hence, in this study, we investigated the association between pubertal growth timing in children and their family history of hypertension, with regard to body composition.

Correspondence: Zentaro Yamagata, PhD, Center for Birth Cohorts Studies, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, 1110 Shimokato, Chuo, Yamanashi 409-3898, Japan. Email: zenymgt@yamanashi.ac.jp

Received 22 September 2014; revised 4 August 2015; accepted 31 August 2015.

© 2015 Japan Pediatric Society

2 ■ 山北満哉, 佐藤美理, 安藤大輔, 鈴木孝太, 山縣然太郎: 両親の学歴と子ども運動時間の
 関連. 運動疫学研究 19 (1): 36-43. 2017. 3

運動疫学研究 2017; 19(1): 36-43.
 Copyright © 2017 by the Japanese Association of Exercise Epidemiology

【原 著】

両親の学歴と子どもの運動時間の関連

山北 満哉¹⁾ 佐藤 美理²⁾ 安藤 大輔³⁾
 鈴木 孝太⁴⁾ 山縣然太郎^{2,5)}

- 1) 北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位
 2) 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター
 3) 山梨大学大学院総合研究部教育学域 4) 愛知医科大学医学部衛生学講座
 5) 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

【要約】目的: 両親の収入や職業, 学歴といった社会経済状況が子どもの運動時間に影響を及ぼすことが多数報告されているが, 我が国の子どもを対象とした報告はほとんどみあたらない。本研究は, 家庭の社会経済状況の指標として用いられている両親の学歴と子どもの運動時間との関連を検討することを目的とした。

方法: 2011年7月に山梨県甲州市で実施した児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査に参加した小学4年生から中学3年生(9~15歳)とその両親を対象とした。両親の学歴は妊娠届出時に作成された母子管理カードより収集し, 子どもの運動時間は質問紙により本人から回答を得た。児童生徒の月齢とBMIを調整したポアソン回帰分析を用いて, 両親の学歴と子どもの運動時間の関連について検討を行った。

結果: 658人(男子360人, 女子298人)より追跡データが得られた(追跡率87.5%)。小学生の女子において, 両親の学歴がともに13年以上の児童は, 両親の学歴がともに12年以下の児童と比較して, 1週間の総運動時間が7時間未満である割合が有意に多かった(Prevalence ratio: 1.30, 95%信頼区間: 1.00 - 1.69, $p = 0.0498$)。男子, および中学生の女子では有意な関連は示されなかった。

結論: 両親の学歴は小学生女子の運動時間と負の関連を示す可能性が示された。我が国においても子どもの運動時間に両親の社会経済状況が影響する可能性が示唆されたが, 他の地域での更なる検証が必要である

Key words: 親の学歴, 社会経済状況, 思春期の子ども, 運動習慣

1. 結 言

定期的な運動は, 子どもの体力の向上だけでなく, 肥満予防¹⁾や精神的な健康²⁾など, 子どもの心身の健康に良い影響をもたらすことが示されている。また, 子どもの頃の運動習慣の影響は成人期以降の運動習慣や健康状態にも持ち越されると考えられており³⁾, 子どもの頃に運動習慣を形成することが生涯を通じた健康に重要な役割を果たす可能性が示唆されている⁴⁾。

しかしながら, 2015(平成27)年度の全国体力・

運動能力, 運動習慣等調査によると, 1週間の総運動時間が60分未満である小学生の割合は, 男子で6.6%, 女子で13.0%であり⁵⁾, 女子においてはおよそ8人に1人がほとんど運動を実施していない状況にあると考えられる。また, 中学生においては, 1週間の総運動時間の分布に二峰性がみられるため, 運動する子としない子の二極化が指摘されている。したがって, 小中学生における運動習慣形成に関連する要因を明らかにすることは, 子どもの運動時間の減少や体力低下が問題となっている我が国において重要な課題であり, 運動格差の是正, および生涯を通じた運動習慣獲得の早期対策につながる可能性が示唆される。

子どもの身体活動・運動には, 生物学的(性, 年齢等), 心理的(自尊感情など), 社会文化的(家庭のサポート, 両親の運動経験など)および環境的要

連絡先: 山北満哉, 北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位, 〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1, yamakita@kitasato-u.ac.jp

投稿日: 2016年12月12日, 受理日: 2017年2月7日

学会・研究会等

29th Annual Meeting of SPER (Society for Pediatric and Perinatal Epidemiologic Research).
June 20–21, 2016. Miami, Florida

3 ■ Kohta Suzuki, Miri Sato, Sonoko Mizorogi, Ryoji Shinohara, Zentaro Yamagata: Effect of maternal smoking during pregnancy on childhood growth by quartile of birth weight using multilevel analysis

EFFECT OF MATERNAL SMOKING DURING PREGNANCY ON CHILDHOOD GROWTH BY QUARTILE OF BIRTH WEIGHT USING MULTILEVEL ANALYSIS

Kohta Suzuki, Miri Sato, Sonoko Mizorogi, Ryoji Shinohara, Zentaro Yamagata

Maternal smoking during pregnancy is associated with childhood obesity; however, whether maternal smoking affects childhood growth according to birth weight has not been examined. Thus, this study aimed to examine the effect of maternal smoking on childhood growth stratified by quartile of birth weight using multilevel analysis. The study participants were 1,956 women and their single-born babies, born between April 1, 1991, and March 31, 2003, who had complete data for birth weight, maternal body mass index (BMI) before pregnancy, and smoking status during pregnancy. Maternal smoking status during pregnancy was collected using a questionnaire at their pregnancy registration. Childhood growth was estimated by BMI z-score, established by the World Health Organization. Birth weight and anthropometric data were collected from 1,950 (at birth, 99.7%), 1,643 (at age 3 years, 84.0%), 1,517 (at age 5 years, 77.6%), 1,487 (at age 7–8 years, 76.0%), and 1,491 (at age 9–10 years, 76.2%) children. Quartile of birth weight was determined by sex and parity (first vs. second or higher). Multilevel analysis, including both individual and age as different level variables, by each quartile of birth weight was used to describe the trajectories of BMI z-scores for statistical analyses. In every quartile group, although children born to smoking mothers were leaner at birth, their BMI z-score increased rapidly by age 3; after age 3, these children were larger than children born to non-smoking mothers. Significant interactions between maternal smoking during pregnancy and each age of children were seen in children in the third- and fourth-quartiles of birth weight. Particularly in the children in the third-quartile, the difference of trajectories between children of smoking and non-smoking mothers was larger than the other groups. In conclusion, the effect of maternal smoking during pregnancy on childhood growth seemed more apparent among children in the third quartile of birth weight.

4 ■Miri Sato, Kohta Suzuki, Sonoko Mizorogi, Zentaro Yamagata: Effects of depression on later onset of Internet addiction in puberty: A community-based cohort study

Effects of depression on later onset of Internet addiction in puberty: A community-based cohort study

Miri Sato, Kohta Suzuki, Sonoko Mizorogi, Zentaro Yamagata (University of Yamanashi, Japan)

Internet addiction (IA) has become a serious health problem in industrialized countries, especially among adolescents. Several studies have examined the associations between Internet usage, mental health, and IA. Although most of these studies treated mental health as a comorbidity of IA, it is still unclear whether depressive symptoms precede the onset of IA. This study aimed to examine the effects of depressive symptoms on later onset of IA. Study participants were 1045 students (5th–7th grades, age 10–12 years) who participated in an on-going community-based birth cohort study in a rural area of Japan. At baseline, the presence of depressive symptoms was assessed using the Birmleson Depression Self-Rating Scale for Children as a study factor. Two years later, IA was assessed using the Young Internet Addiction Test. Participants were identified as average Internet users, or users with moderate or severe addiction. In the analyses, we excluded children who used the Internet for more than 2 hours a day at baseline, because these children might already have IA. Finally, baseline participants were 858 and 781 participants were followed up (follow-up rate: 91%). Adjusting for age, sex, duration of Internet use, bedtime and weight status, because these factors were considered as confounders, multiple logistic regression analyses were conducted to examine the associations between depressive status and IA. As a result, depressive symptoms were found in 6.0% at baseline and 2 years later, 14.8% were defined as having some degree of IA. Depressive symptoms were significantly associated with later onset of IA (odds ratio, 2.4; 95% confidence interval, 1.1–5.2). In conclusion, it was suggested that having depressive symptoms was one of risk factors on later onset of IA.

49th Annual SER Meeting (in the 2016 Epidemiology Congress of the Americas). June 21–24, 2016. Miami, Florida

5 ■ Kohta Suzuki, Miri Sato, Sonoko Mizorogi, Ryoji Shinohara, Zentaro Yamagata: Effect of maternal smoking during pregnancy on childhood growth by quartile of birth weight using multilevel analysis

EFFECT OF MATERNAL SMOKING DURING PREGNANCY ON CHILDHOOD GROWTH BY QUARTILE OF BIRTH WEIGHT USING MULTILEVEL ANALYSIS Kohta Suzuki*, MiriSato Sonoko, Mizorogi Ryoji, Shinohara Zentaro Yamagata (University of Yamagata)

Maternal smoking during pregnancy is associated with childhood obesity; however, whether maternal smoking affects childhood growth according to birth weight has not been examined. Thus, this study aimed to examine the effect of maternal smoking on childhood growth stratified by quartile of birth weight using multilevel analysis. The study participants were 1,956 women and their single-born babies, born between April 1, 1991, and March 31, 2003, who had complete data for birth weight, maternal body mass index (BMI) before pregnancy, and smoking status during pregnancy. Maternal smoking status during pregnancy was collected using a questionnaire at their pregnancy registration. Childhood growth was estimated by BMI z-score, established by the World Health Organization. Birth weight and anthropometric data were collected from 1,950 (at birth, 99.7%), 1,643 (at age 3 years, 84.0%), 1,517 (at age 5 years, 77.6%), 1,487 (at age 7–8 years, 76.0%), and 1,491 (at age 9–10 years, 76.2%) children. Quartile of birth weight was determined by sex and parity (first vs. second or higher). Multilevel analysis, including both individual and age as different level variables, by each quartile of birth weight was used to describe the trajectories of BMI z-scores for statistical analyses. In every quartile group, although children born to smoking mothers were leaner at birth, their BMI z-score increased rapidly by age 3; after age 3, these children were larger than children born to non-smoking mothers. Significant interactions between maternal smoking during pregnancy and each age of children were seen in children in the third- and fourth-quartiles of birth weight. Particularly in the children in the third-quartile, the difference of trajectories between children of smoking and non-smoking mothers was larger than the other groups. In conclusion, the effect of maternal smoking during pregnancy on childhood growth seemed more apparent among children in the third quartile of birth weight.

第 19 回日本運動疫学会学術総会、2016 年 6 月 18 日～19 日、早稲田大学東伏見キャンパス
（東京都）

6 ■山北満哉、安藤大輔、佐藤美理、鈴木孝太、山縣然太郎：子どものスポーツクラブ等の所属と Grit（やり抜く力）との関連

子どものスポーツクラブ等の所属と Grit（やり抜く力）との関連

山北満哉¹⁾、安藤大輔²⁾、佐藤美理³⁾、鈴木孝太⁴⁾、山縣然太郎⁴⁾

1) 北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位 2) 山梨大学大学院総合研究部教育学域人間科学系 3) 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター
4) 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

【背景・目的】近年、非認知能力が学歴や雇用形態、収入などの成果に影響することが示唆されている。非認知能力の一つである Grit（やり抜く力）は、「長期的な目標達成のための根気や熱意」と定義され、成功を予測できる気質として注目されている。一方、スポーツ活動も将来の成功と関連することが示されており、スポーツ活動が Grit を高める要因の一つである可能性が考えられる。これまでに Grit とスポーツ活動（運動習慣）の関連について検討した報告は成人に限られており、非認知能力及び運動習慣の形成に重要な時期である児童期を対象とした報告はみあたらない。そこで本研究は、小学生を対象にスポーツクラブ等の所属と Grit の関連を検討することを目的とした。

【方法】対象者は山梨県甲州市内すべての小学校の 5 年生 287 名とし、2015 年 12 月に実施した社会環境に関する質問紙調査に回答し、欠損のなかった 273 名（男子 130 名、女子 143 名）を分析対象とした。Grit は Duckworth らが開発した子ども用の 8 項目の Grit 尺度を和訳したものを用いて評価した。Grit 尺度の信頼性は成人用（子ども用とほぼ同じ項目）の 8 項目 Grit 尺度で確認されており、根気と一貫性の 2 因子構造を示すことが報告されているが、子どもを対象とした本研究でも同様の因子構造を示すかどうかを確認するために因子分析を行った。スポーツクラブ等の所属の有無は、一週間の運動やスポーツの習い事の予定に記載のあった者を所属ありとし、記載されたスポーツ種目をチームで試合を行う種目（団体種目）とそれ以外（個人種目）に分類した。家庭の社会経済状況は Family Affluence Scale を用いて評価した。Grit スコア（下位尺度含む）を目的変数、スポーツクラブ等の所属の有無および種目のタイプを説明変数として、家庭の社会経済状況を共変量とした共分散分析を行った。

【結果】 因子分析の結果，成人用と同様の2因子の下位尺度からなる因子構造が確認された（Cronbachの α 係数はGritスコアが0.73，下位尺度の根気スコアは0.77，一貫性スコアは0.69）。Gritスコアと一貫性スコア，および女子の根気スコアとスポーツクラブ等の所属の有無および種目のタイプに有意な関連は示されなかった。一方，男子の根気スコアでは，所属あり群は所属なし群と比較して有意に高い値を示した（ 3.3 ± 0.64 vs 3.0 ± 0.65 ）。また，種目のタイプを考慮した男子の根気スコアの3群の比較では，団体種目群が所属なし群に比して有意に高い値を示した（ 3.4 ± 0.63 vs 3.0 ± 0.65 ）。

【結論】 小学5年生の男子において，スポーツクラブ等の所属の有無とGrit（やり抜く力）に関連が示された。今後は，他学年を対象とした調査や縦断的な検討を行う必要がある。

第 63 回日本小児保健協会学術集会. 2016 年 6 月 23 日～25 日. 大宮ソニックシティ（埼玉県）
 7 ■ 溝呂木園子、鈴木孝太、佐藤美理、篠原亮次、横道洋司、山縣然太郎:5 歳時の就寝時刻に
 影響を及ぼす 3 歳児の生活習慣因子

5 歳時の就寝時刻に影響を及ぼす 3 歳児の生活習慣因子

溝呂木園子¹、鈴木孝太¹、佐藤美理²、篠原亮次²、横道洋司¹、山縣然太郎^{1,2}

1 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

2 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

【目的】我が国において小児の睡眠不足や睡眠の質の低下が指摘されており、不適切な睡眠習慣は、特に就寝時刻が遅くなること（遅寝）に起因するといわれている。幼児期の遅寝に影響する因子としては夕食時刻や TV/DVD 視聴が関連していることが報告されているが、生活習慣と睡眠習慣を縦断的に検討した報告は十分とはいえない。従って本研究では、5 歳時の遅寝に影響を及ぼす 3 歳時の生活習慣の関連を明らかにすることを目的とした。

【方法】山梨県甲州市と共同で行っている母子保健縦断調査（甲州プロジェクト）において、2004 年 4 月から 2012 年 3 月に 3 歳児健診を受診し、5 歳児健診の間診票より児の睡眠情報が得られた児を対象とした。まず、主要解析として、3 歳時にすでに 22 時以降に就寝している児を除外し、5 歳時の 22 時以降の就寝（遅寝）と 3 歳時の生活習慣等との関連をロジスティック回帰解析により検討した。次に、3 歳時に遅寝である児が 5 歳時で早寝に改善する 3 歳時の生活習慣についても同様に検討した。

【結果】対象の 1679 人のうち、3 歳時早寝群は 959 人で、このうち 5 歳時早寝は 845 人（88.1%）であった。3 歳時遅寝群 720 人のうち 5 歳時早寝は 348 人（48.3%）であった。検討した 3 歳時の生活習慣因子は、起床時刻、睡眠時間、TV/DVD 視聴時間、外遊びをよくするか、友達とよく遊ぶか、母のストレスは解消できているか、子育ては楽しいか、夕食時刻、昼寝時間を抽出した。主要解析では、性別、出生順位、家族構成、通園の有無で調整した多変量解析の結果、3 歳時早寝群の 5 歳時の遅寝と関連していた 3 歳時の生活習慣因子は、起床時刻が 8 時以降（オッズ比（OR）2.5、95%信頼区間（CI）：1.2-5.5）、20 時以降の夕食（OR：3.3、95%CI：1.3-8.7）であった。サブ解析では、3 歳時遅寝群でも、起床時刻が 8 時以前であること（OR：1.6、95%CI：1.0-2.6）と夕食時刻が 20 時以前であること（OR：2.8、95%CI：1.2-6.3）が 5 歳時に早寝に改善することと影響していた。

【考察】3 歳時の起床時刻や夕食時刻の遅れは 5 歳時の就寝時刻に影響を与えていた。幼少期においては、起床時刻や夕食時刻を早めに設定する等の工夫によって、将来の睡眠習慣が改善する可能性が示された。

【結論】3 歳時点の、起床時刻や夕食時刻が 5 歳時の就寝時刻と関連していた。

第5回日本小児診療多職種研究会. 2016年7月30日～31日. パシフィコ横浜（神奈川県）
8 ■ 溝呂木園子、鈴木孝太、佐藤美理、篠原亮次、横道洋司、山縣然太郎：5歳時の睡眠習慣
と関連する因子の検討 — 甲州市母子保健縦断調査から —

5歳時の睡眠習慣と関連する因子の検討 — 甲州市母子保健縦断調査から —

溝呂木園子¹、鈴木孝太¹、佐藤美理²、篠原亮次²、横道洋司¹、山縣然太郎^{1,2}

1 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

2 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

【目的】5歳時の睡眠習慣と関連する妊娠期の母親の情報および5歳時の生活習慣の因子を明らかにすること。

【方法】山梨県甲州市と山梨大学が共同で行っている母子保健縦断調査において、妊娠期から追跡可能で1993年4月から2002年3月までに生まれた児およびその母親を対象とした。5歳時の質問票の中から、9時以降の起床（遅起き）、22時以降の就寝（遅寝）のそれぞれをアウトカムとして、母親の妊娠時および5歳時の児の生活習慣等の因子との関連を検討した。解析はロジスティック回帰分析を用いた。

【結果】対象の1738人のうち、5歳時の睡眠情報が得られた1353人（77.8%）を解析対象とした。5歳時の遅起きは21人（1.6%）、遅寝は609人（45.0%）であった。性別、出生順位、家族構成、母の年齢で調整した多変量解析の結果、遅起きと関連していた因子は、妊娠判明時の母のネガティブな気持ち（オッズ比(OR):3.3、95%信頼区間(CI):1.2-9.1)、児の朝食欠食（OR:7.6、95%CI:2.3-24.8）であった。遅寝と関連していた因子は、母の高学歴（OR:0.7、95%CI:0.6-0.9）、母が専業主婦であること（OR:0.7、95%CI:0.6-0.9）が予防的に関連しており、妊娠判明時の母のネガティブな気持ち（OR:1.8、95%CI:1.2-2.6）、児の朝食欠食（OR:4.5、95%CI:2.2-9.3）、児のTV/DVD視聴2時間以上（OR:1.7、95%CI:1.1-2.7）も関連がみられた。

【考察】睡眠習慣には、母親の心理社会的要因や児の生活習慣など多くの要因が関連しており、睡眠衛生指導の際には、多様な状況に配慮した情報提供が必要だと考えられる。

第 71 回日本体力医学会. 2016 年 9 月 23 日～25 日. いわて県民情報交流センター、盛岡市民文化ホール（岩手県盛岡市）

9 ■山北満哉、安藤大輔、佐藤美理、鈴木孝太、山縣然太郎：子どものスポーツクラブの所属および身体活動と社会経済状況との関連

子どものスポーツクラブの所属および身体活動と社会経済状況との関連

山北満哉¹、安藤大輔²、佐藤美理²、鈴木孝太³、山縣然太郎²

¹北里大学、²山梨大学、³愛知医科大学

【背景】

社会経済状況が子どものスポーツ参加や身体活動に関連することが示されているが、わが国においてそれらの関連を検討した報告はみあたらない。

【目的】

家庭の社会経済状況と子どものスポーツクラブの所属および身体活動との関連を検討すること。

【方法】

対象者は 2015 年 12 月に山梨県甲州市で実施した加速度計を用いた身体活動量調査に参加した小学 5 年生 277 名（男子 132 名、女子 145 名）とした。家庭の社会経済状況は Family Affluence Scale により評価し、Low、Middle、High 群の 3 群に分類した。加速度計の装着時間、スポーツクラブの所属（身体活動量の分析のみ）、BMI を調整したポアソン回帰分析により、男女別にスポーツクラブの所属および身体活動量との関連を検討した。

【結果】

男子では、Low 群は High 群と比較して、スポーツクラブに所属している割合が有意に少なかった（PR: 0.47, 95%CI: 0.23 - 0.95）。一方で、一日の身体活動が 60 分以上の割合は Low 群と High 群に有意な違いはみられず（PR: 1.16, 95%CI: 0.69 - 1.95）、Middle 群が High 群に比して有意に多かった（PR: 1.52, 95%CI: 1.18 - 1.95）。女子ではスポーツクラブの所属の有無、身体活動量ともに有意な関連はみられなかった。

【結論】

家庭の社会経済状況は男子小学生のスポーツクラブの所属および身体活動量に影響を及ぼす要因である可能性が示唆された。

第 75 回日本公衆衛生学会総会. 2016 年 10 月 26 日～28 日. グランフロント大阪 他
（大阪府大阪市）

10 ■ 山北満哉、安藤大輔、佐藤美理、鈴木孝太、山縣然太郎：小学生の骨強度と加速度計で測定した身体活動、座位時間の関連

小学生の骨強度と加速度計で測定した身体活動、座位時間の関連

山北満哉¹、安藤大輔²、佐藤美理³、鈴木孝太⁴、山縣然太郎^{3,5}

¹北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位、²山梨大学大学院総合研究部教育学域人間科学系、³山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター、⁴愛知医科大学医学部衛生学講座、⁵山梨大学大学院総合研究部医学域基礎医学系社会医学講座

【目的】身体活動は成長期における骨量増大に寄与する重要な要因であることが示されている。また、近年、座位行動が骨量増大に負の影響を及ぼすことも報告されているが、わが国においてそれらの関連を検討した報告はみあたらない。本研究は小学生を対象として、加速度計で測定した身体活動、及び座位時間と骨強度との関連を検討することを目的とした。

【方法】2015 年 8 月に山梨県甲州市で実施した骨強度測定、及び 2015 年 12 月に実施した加速度計による身体活動調査に参加し、分析に必要な項目に回答のあった小学 5 年生 134 名（男子 60 名、女子 74 名）を対象とした。骨強度測定には超音波骨量測定装置（Achilles A-1000 InSight, GE healthcare）を使用し、右足踵骨の Stiffness 値を骨量指標として使用した。身体活動量、座位時間は 1 軸加速度計（Lifecorder GS, スズケン）により測定した。加速度計のデータは 1 日 10 時間以上装着していた日が 4 日以上（休日 1 日を含む）あったものを採用した。中強度以上の身体活動時間、及び座位時間を性別に三分位に分類し、月齢、体重、カルシウム摂取量、家庭の社会経済状況、初経の有無（女子のみ）、中強度以上の身体活動時間（座位行動の分析のみ）を共変量とした共分散分析を実施し、Stiffness 値との関連を検討した。

【結果】男子の Stiffness 値は、中強度以上の身体活動時間の低位群（ 80.6 ± 2.2 , mean \pm SE）と中位群（ 80.8 ± 2.2 ）に比して高位群（ 89.3 ± 2.2 ）が有意に高い値を示し（それぞれ、 $p=0.025$, $p=0.033$ ）、身体活動時間と正の関連を示した（Trend $p=0.008$ ）。女子では各群間に有意な差は示されなかったものの、身体活動時間の増加に伴って段階的に高値を示した（低位群： 79.8 ± 2.0 , 中位群： 80.4 ± 2.0 , 高位群： 85.6 ± 2.0 , Trend $p=0.043$ ）。座位時間については、女子では座位時間の増加に伴って低い Stiffness 値を示したが（低位群： 83.7 ± 2.0 , 中位群： 82.7 ± 2.0 , 高位群： 79.2 ± 2.0 , Trend $p=0.136$ ）、男女共に各群間に有意な差は観察されなかった。

【結論】小学 5 年生の骨強度は中強度以上の身体活動時間の増加に伴って段階的に高値を示す可能性が示唆された。今後は、より多くの子どもたちを対象に縦断的な検討を行う等、更なる検証が必要である。

第27回日本疫学会学術総会、2017年1月25日～27日、ベルクラシック甲府（山梨県）
11■溝呂木園子、佐藤美理、秋山有佳、大西一成、横道洋司、篠原亮次、鈴木孝太、山縣然太郎：5歳児健診で発達障害が疑われた児と関連する1歳6か月時の生活習慣

5歳児健診で発達障害が疑われた児と関連する1歳6か月時の生活習慣

溝呂木園子¹、佐藤美理²、秋山有佳¹、大西一成²、横道洋司¹、篠原亮次³、鈴木孝太⁴、
山縣然太郎^{1,2}

1 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

2 山梨大学大学院総合研究部出生コホート研究センター

3 健康科学大学健康科学部、4 愛知医科大学医学部衛生学講座

【背景】発達障害の多くを占める自閉スペクトラム症と注意欠如・多動性障害では、睡眠障害の合併や偏食などの食事の問題が多いことが報告されている。昨年の本学会で、我々は5歳児健診で発達障害が疑われた児と3歳時の生活習慣を検討し、食事の問題と長時間のTV/DVD視聴との関連を報告した。しかし、睡眠との関連は明らかではなかった。

【目的】1歳6か月時の生活習慣のうち、5歳児健診で発達障害疑いとなることに関連している因子を明らかにすること。

【方法】山梨県甲州市と共同で行っている母子保健縦断調査において、2003年4月から2011年3月に1歳6か月児健診を受診した児を対象とした。1歳6か月児健診時の問診票より児の睡眠習慣や生活習慣の情報を入手した。5歳児健診では、問診票や保健師による行動観察に加えて、保育園や幼稚園の巡回相談の情報なども加えられた。診察においては小児神経科医が担当し、発達障害が疑われるか否かを総合的に判定した。この判定結果をアウトカムとして1歳6か月時の生活習慣との関連を検討した。解析はロジスティック回帰分析を用いた。

【結果】期間内に1歳6か月児健診を受診した1917人のうち、5歳児健診まで追跡可能であった1478人（77.1%）を解析対象とした。5歳児健診で発達障害が疑われた児は265人（17.9%）であった。このうち、1歳6か月歳時の生活習慣と関連していた因子は、単変量解析で、男児（オッズ比(OR)：2.8、95%信頼区間(CI)：2.1 - 3.8）、睡眠時間9時間未満（OR：2.2、95%CI：1.3 - 3.6）睡眠の悩みありであった（OR：1.6、95%CI：1.1 - 2.3）。家族構成や通園の有無で調整した多変量解析においても、男児と睡眠時間9時間未満は関連していた（OR：2.9、95%信頼区間(CI)：2.0 - 4.1、OR：3.0、95%CI：1.6 - 5.5）。食事の悩みありやTV/DVD視聴時間との関連は認めなかった。

【結論】1歳6か月時に、短時間睡眠であることや母親が子どもの睡眠について悩んでいることは5歳児健診時に発達障害疑いであることと関連していた。

12 ■岡安こずえ、佐藤美理、山縣然太郎：思春期の口腔内細菌の相対量に関連する因子の検討

思春期の口腔内細菌の相対量に関連する因子の検討

岡安こずえ 1)、佐藤美理 2)、山縣然太郎 2)、3)

1) 山梨大学大学院総合教育部

2) 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

3) 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

【背景】

う蝕や歯周病に代表される歯科疾患はその原因菌による感染、および、日々の口腔衛生習慣、さらに、その他の様々な因子が重なり発症する生活習慣病の一つである。近年の研究により思春期前の子どもの口腔内に歯周病の原因菌が存在すること明らかとなっており、将来の歯科疾患に対するリスクが思春期に既に存在する懸念が示されている。

【目的】

歯科疾患の原因菌は多種類に及ぶがリスク因子の1つである日常の口腔衛生習慣の影響が直接的に口腔内の細菌数に反映されると考えられる。そこで、永久歯列完成直後である思春期の口腔内細菌数の状況を把握すること、また、その細菌数を指標として口腔内所見や生活習慣など、その他の因子との関連について検討を行うことを目的とした。

【方法】

山梨県の甲州市立中学校5校に在籍する全ての生徒(n=1006)を対象とし、学校歯科健診時に口腔内細菌数測定装置を用いて舌背から検体を採取し細菌数の測定を行った。また、例年実施されている「甲州市 児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査」から歯磨きに関する回答結果を抽出し、健診による口腔内所見（う歯数、歯垢、歯肉、歯列）と合わせて、細菌数との関連について検討を行った。得られた細菌数を対数変換し、その分布を男女別、学年別に検討し、さらに、歯科医師による口腔内所見や歯磨き習慣との関連について検討を行った。

【結果】

参加者は男子 483 人、女子 483 人で計測された総菌数の中央値は 7.29 (25%値は 7.07、75%値は 7.47) であった。女子において、学年が上がる毎に有意な細菌数の増加が認められた ($p=0.016$)。細菌数と口腔内所見との間には一貫した関連は認められなかったが、1日3回歯磨きをしていない群において細菌数が有意に高かった。

【結論】

口腔内細菌数が口腔内環境を反映している可能性が示唆された。よって学校歯科健診の口腔内所見に加え、口腔内細菌数を用いて口腔内環境の把握を行うことによりさらに効果的な歯科保健指導につながることを期待される。

13 ■ 駒崎裕子、藤原武男、小川卓也、荒木美祐、佐藤美理、山縣然太郎、森山啓司：日本の中学生における不正咬合と顎関節症との関連性について～甲州市母子保健縦断調査～

日本の中学生における不正咬合と顎関節症との関連性について～甲州市母子保健縦断調査
～

駒崎裕子 1)、藤原武男 2)、小川卓也 1)、荒木美祐 1)、佐藤美理 3)、山縣然太郎 3)、
森山啓司 1)

- 1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野
- 2) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野
- 3) 山梨大学大学院総合研究部

【背景】顎関節症は、顎関節雑音、顎関節痛、開口障害を主症状とする疾患であり、顎顔面領域にみられる疾患のなかでも発症頻度が高いとされている。しかしながら、その発症要因には統一した見解が得られていない。不正咬合が影響しているとの報告も散見されるが、思春期の一般集団を対象とした疫学研究はほとんどない。

【目的】本研究の目的は、日本人の中学生(12-15歳)において、不正咬合と顎関節症との関連性について検討することである。

【方法】甲州市立中学校全5校に在籍し健康診断の欠席者を除く全ての生徒(966名：男子51.4%)を対象とした。各校の学校歯科健診時に、矯正歯科医が矯正治療必要度指標(Index of Orthodontic Treatment Need)に準じて、不正咬合の審査を行った。同時に、触診による顎関節雑音の有無、顎関節痛および開口障害の有無を調査し、いずれか一つでも該当する場合に顎関節症と評価した。不正咬合と顎関節症の関連性については学年、性別、矯正歯科治療歴の有無を調整した多変量ロジスティック解析を用いた。さらに、顎関節症と不正咬合の種類ごとの関連性についても検討した。

【結果】不正咬合の発症率は44.7% (95%信頼区間 [CI] :41.6-47.9)であった。顎関節症の有症率は12.0% (95%CI: 10.0-14.1)であり、不正咬合を有する群で15.1%、不正咬合を有さない群で9.6%であった。不正咬合を有する群は有さない群より、交絡因子を調整した上でも顎関節症の有症率が高かった (adjusted Odds Ratio [OR], 1.65; 95%CI, 1.11-2.44)。また顎関節症と不正咬合の種類ごとの関連性においては、上顎前突および過蓋咬合と顎関節症との間に有意差を認めた (adjusted OR, 1.97; 95%CI, 1.03-3.76、adjusted OR, 2.19; 95%CI, 1.06-4.53)。

【結論】今回の中学生を対象とした調査の結果、不正咬合者において有意に高い頻度で顎関節症を認め、特に上顎前突と過蓋咬合を有する群でその傾向が強いという結果を得ることができた。

講演会・研修会

北海道大学特別セミナー（「循環器疾患における集団間の健康格差の実態把握とその対策を目的とした大規模コホート共同研究」）. 2016年4月26日 17:30-19:00. 北海道大学医学部

14 ■ 山縣然太郎：出生コホート研究の実践

お詫びと訂正

以下の質問項目につきまして、プログラムのミスにより数値に誤りがありましたので、訂正しお詫び申し上げます。

母子手帳交付時_Q.あなたはということがストレスだと感じますか。

<誤>

		家庭での人間関係	家庭以外での人間関係	育児に関して	健康上の心配事	仕事上の問題や心配事	経済的な心配事	その他
H21 (2009)	%	20.9	17.7	13.7	14.1	13.4	14.8	5.4
	人	58	49	38	39	37	41	15
H22 (2010)	%	25.3	17.9	13.2	16.9	13.2	13.5	0.0
	人	96	68	50	64	50	51	0
H23 (2011)	%	24.5	15.7	13.1	15.4	14.1	17.3	0.0
	人	75	48	40	47	43	53	0
H24 (2012)	%	22.3	18.7	13.0	17.3	15.3	13.3	0.0
	人	67	56	39	52	46	40	0
H25 (2013)	%	21.6	19.2	14.6	19.2	11.6	13.7	0.0
	人	71	63	48	63	38	45	0
H26 (2014)	%	23.2	18.3	11.3	17.4	14.7	15.0	0.0
	人	76	60	37	57	48	49	0
H27 (2015)	%	21.3	19.3	13.4	17.3	14.2	14.6	0.0
	人	54	49	34	44	36	37	0

<正>

		家庭での人間関係	家庭以外での人間関係	育児に関して	健康上の心配事	仕事上の問題や心配事	経済的な心配事	その他
H21 (2009)	%	32.8	27.7	21.5	22.0	20.9	23.2	8.5
	人	58	49	38	39	37	41	15
H22 (2010)	%	39.5	28.0	20.6	26.3	20.6	21.0	0.0
	人	96	68	50	64	50	51	0
H23 (2011)	%	39.1	25.0	20.8	24.5	22.4	27.6	0.0
	人	75	48	40	47	43	53	0
H24 (2012)	%	34.9	29.2	20.3	27.1	24.0	20.8	0.0
	人	67	56	39	52	46	40	0
H25 (2013)	%	32.4	28.8	21.9	28.8	17.4	20.6	0.0
	人	71	63	48	63	38	45	0
H26 (2014)	%	39.8	31.4	19.4	29.8	25.1	25.7	0.0
	人	76	60	37	57	48	49	0
H27 (2015)	%	32.5	29.5	20.5	26.5	21.7	22.3	0.0
	人	54	49	34	44	36	37	0

平成 28 年度
甲州市母子保健調査報告書

平成 30 年 3 月 発行

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座
山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

編集・発行 株式会社プリメドジャパン